

# 岐阜市民病院年報

第42号・第43号合併号



2022・2023



岐阜市民病院

Annual of Gifu  
Municipal Hospital  
No.42 • No.43

2022 • 2023

Gifu Municipal Hospital  
7-1 Kashimacho, Gifu 500-8513, Japan

# 岐阜市民病院の理念

## 心にひびく医療の実践

### 基本方針

- 1 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療を行います。
- 1 安全で信頼されるチーム医療を行います。
- 1 地域の医療機関と連携し、患者さん中心の継続した医療を行います。
- 1 地域の中核病院として、最新かつ高度な医療を提供できるよう努めます。
- 1 職員が生き生きと働くことができる環境づくりに努めます。
- 1 病院の理念を理解し、専門性を持った人材を育成します。

## 序 文

岐阜市民病院長 山 田 誠



令和5年5月8日に3年間我々に脅威を与え続けた新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が2類から5類に変更となり、医療をとりまく環境はコロナ前に戻ったこともあれば、コロナ禍を通じて大きく変わったこともあると思われます。そうした中、岐阜市民病院年報第42号・43号発刊の運びとなりました。今回は2022年、2023年の合併号のためこの変更前後の我々の2年間の足跡を皆様方のご高覧に供することができますことは、ひとえに平素からの皆様のご支援、ご高配によるものと厚く御礼申し上げます。

また、令和6年1月1日に起きた能登半島地震では、震災が我々の間近にあることを改めて痛感させられました。当院からもDMATが4隊とDPAT（災害派遣精神医療チーム）が1隊被災地へ支援に参りましたが、今回の経験を基に災害拠点病院として支援・受援体制を見直し、強化していくことが必要と考えております。そして、被災された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧を願っております。

令和6年4月からは5年間の猶予期間が終了し、医師の働き方改革として時間外労働の上限規制が始まりました。また、秋からは健康保険証の廃止とマイナンバーカードとの一体化を政府が宣言しております。6月には医療・介護・障害福祉の3つの報酬が同時に改定される、6年に1度のトリプル改定も控えており、医療を取り巻く環境が大きく変わろうとしております。

当院の取り組みとしては令和5年4月に、患者総合支援センターを立ち上げました。従来からの入退院支援センター、地域連携部、医療相談係を統合・再編し、開業医の先生方からご紹介を受けた患者さんの入院や治療、紹介いただいた開業医さんへの退院後の逆紹介、あるいは他の適した病院へ紹介するといった一連のサポートが、別々の部署ではなく同じ部署でシームレスにできるようになりました。職員同士の情報交換やコミュニケーションがスムーズになり、より患者さん一人ひとりに適した支援ができるようになったと考えています。そして、令和6年4月には、患者総合案内も立ち上げ更なるサービス体制の向上も目指しております。

設備面では今年度320列マルチスライスCTと放射線治療装置の更新を予定しており、計画的に高度急性期病院としての機能の充実を図って参ります。

今後も当院が目指す方向性は、地域に根ざした高度急性期病院として安定した経営基盤を確立し、新しい時代でも持続可能な医療を提供できる体制整備を行うことであり、社会情勢や医療環境が大きく変化する中でも当院の責務を果たすべく、職員一丸となって地域医療に貢献してまいります。

最後になりましたが、この年報42号・43号をご高覧いただき、忌憚なきご意見、ご批評をいただければ幸甚に存じます。引き続き、皆様方のご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



# 岐阜市民病院年報

第42号



2022

岐阜市民病院



Annual of Gifu  
Municipal Hospital  
No.42

2022

Gifu Municipal Hospital  
7-1 Kashimacho, Gifu 500-8513, Japan



# 目 次

活動報告	1
学会発表抄録	4
活動記録（講演・学会発表等）	23
活動記録（誌上）	37
<b>病院統計</b>	
消化器病センター統計	45
認知症疾患医療センター統計	46
腎臓病・血液浄化センター統計	54
中央検査部統計	57
病理診断科部統計	60
輸血部統計	69
健康管理センター統計	76
栄養管理室統計	77
ゲノム医療センター統計	79
薬剤部統計	80
看護部統計	87
診療情報管理室統計	90
地域連携室統計	95
入退院支援センター統計	102
看護専門学校統計	105
投稿規定	110



## 活動報告

### 腎臓内科

令和4年4月1日から、腎臓内科に河村涼花先生が常勤医師として着任されましたのでご報告いたします。腎臓病・血液浄化センターでの勤務が主となりますのでご紹介させていただきます。

昭和47年10月に人工透析部として開設され、急性・慢性腎不全患者さんの血液透析導入を中心に診療にあたってきました。平成14年4月からは腎臓病・血液浄化センターと呼称変更し、より総合的な腎疾患診療を行う体制となっています。

血液浄化療法の進歩により、腎不全の血液透析ばかりでなく、LDLアフェレーシスや炎症性腸疾患・関節リウマチへの白血球除去療法、敗血症の際のエンドトキシン除去、ギランバレー症候群に対する免疫吸着療法などさまざまな血液浄化療法に対応しています。

また透析療法としては血液透析だけではなく、在宅でも行うことができ、心臓血管などにも優しい治療である腹膜透析にも対応しています。血液透析と腹膜透析を組み合わせた治療なども可能です。

血液浄化療法を新規に導入した患者さんは年間約100名と多く、高齢化や糖尿病患者さんの増加に伴い今後ますます増加していくことが予想されます。

患者さんのQOLの充実を目指すという目標に向かってスタッフ一同頑張っていますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

文責：高橋 浩毅

### 糖尿病・内分泌内科

2006年4月、岐阜市民病院に総合内科兼糖尿病・内分泌代謝内科が発足以来、その礎を築かれ、充実、発展を導いてくださいました山田浩司先生が2022年3月末日を以って定年退職をされました。これまでの御尽力に厚く感謝申し上げます。

また、窪田紗希先生、今井理紗子先生が2022年3月末日を以って異動となり、岐阜大学医学部附属病院糖尿病代謝内科/免疫・内分泌内科へ戻られました。今後、益々のご活躍を祈念申し上げます。

2021年度の当科診療実績ですが、外来患者数、入院患者数、紹介患者数ともに2020年度と比較してお陰様で増加をしております。当科を信頼して診療を受けて下さる患者さん、御紹介頂きました各医療機関の諸先生方、平素より御指導を頂いております矢部大介教授を始め大学医局の先生方、同門会の諸先生方、関係各位の皆様に重ねて御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬ御指導を賜りたく存じます。

2022年4月1日より、当院初期研修医から当科専攻医となられた幅智教先生、岐阜大学医学部附属病院糖尿病代謝内科/免疫・内分泌内科より赴任された専攻医2年目尾関咲耶子先生、2021年度より引き続き専攻医3年目隅田旭先生、松波総合病院より当科医長として赴任された山川顕吾先生、私、黒田英嗣と総合内科部長/健康管理センター長であられる丸山貴子先生の6人で当科を担当することとなりました。また5月からはチーム制による診療を試行しております。多様な糖尿病・内分泌代謝疾患、症例を若い先生方が的確に診療している姿、互いに切磋琢磨しカンファレンス等で討議をしている姿には目を見張ります。このような雰囲気、環境の下、より良い未来を切り開いて行ってほしい、そして後に続く新たな先生方に伝えていってもらいたいと願っています。私自身、若い先生方に教えられることを通じてより良い方向へ変化し、還元することができればと考えております。

大学医局からは毎週月曜日に富田礼子先生、毎週金曜日に窪田創大先生、毎週火曜日に矢部大介教授に外来診療にお越し頂いております。また、矢部大介教授におかれましては、診療後に初期研修医、専攻医の先生方へレクチャーを行って頂いております。私自身、初期研修医、専攻医の先生方への指導等を学ばせて頂いております。御高配に改めて感謝申し上げます。

最後になりますが、山田浩司先生、矢部大介教授の御尽力、御高配による大変恵まれた環境を損なうことなく、より充実、発展させ、初期研修医、専攻医の先生方を始め、当科に在籍をされた方々が勉学、働き甲斐のある診療科を丸山貴子先生とともに形作っていく所存です。大学医局、関連病院、同門会の諸先生方におかれましては、今後とも御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

文責：黒田 英嗣

## スタッフ、専攻医の一覧（2021年度）

部長	山田 浩司
副部長/健康管理センター長	丸山 貴子
医員	窪田 紗希
専攻医	隅田 旭 今井理紗子

## 呼吸器・腫瘍内科

2021年度もCOVID19感染による診療不可が大きくかかった状態でした。ただ、診断や治療薬など対処法がわかってきたことや、ワクチン接種やPPEに必要な十分なマスクやガウンなどのおかげで精神的な負担はかなり和らいできました。また、年後半の10月からは塚本先生が長良医療センターの研修を終えて戻ってきてくれたことや、岩井先生が岐阜大学から研修に赴任してくださったことで、久々にスタッフの充実がはかれました。

2021年の気管支検査数は、昨年と同様でコロナ前までには回復せず、年間230例程度でコロナ前の数を30%減少したままでした。入院患者数には、大きな変化はなく、入院患者は10人前後と医師が増えたことで若干減少しました。

学会などの活動は、感染防御の関係から、学会への参加もリモートが主体となり、専攻医、研修医の学会への参加が困難となりました。Web開催でしたので、研修医に呼吸器内科の地方会では発表していただけました。最近の悩み事は、病院では働き方改革を推進していますが、医師数が少ない当科では、担当入院患者が多いので時間外労働が多くなるのは仕方がないと思うのですが、事務からは改善してほしいとプレッシャーをかけられます。スタッフが増えるか、患者を減らすかどうかですが難しい問題です。

文責：吉田 勉

## リハビリテーション科

2021年は、前年度よりさらに処方数が増加した状況で、限られた療法士数で患者の治療にあたらなければいけませんでした。療法士1名あたりの担当患者数が多いままで、患者の治療時間が十分確保できないため、リハビリテーション治療効果が十分に発揮できずもどかしい状態でした。また、担当患者増加に伴う事務作業の増加も問題で

した。このような現状をご配慮いただき、引き続き療法士増員に向けて病院に検討をしていただいております。その他、COVID-19感染症へのリハ医療体制継続、職員の質向上のための抄読会継続など、体制維持に努めた1年でした。

このように繁忙な中、第58回日本リハビリテーション医学会学術集会に当科から10演題もの発表をしました。残念ながら学会がハイブリッド形式で開催されたため療法士、医師クランクは現地参加できませんでしたが、発表者以外も協力して、科全体で研究および発表に向けて努力し成し遂げたことは、今後の臨床・研究活動に非常に重要な意味を持つものであったと考えられます。医師個人としては、前の所属である和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座の田島文博教授が大会長であったことから、学術集会の実行委員として現地参加し会の運営にあたりました。発表は一般口演2題、消化器外科学会とのシンポジウム1題の発表を行いました。特にシンポジウムでは、リハ学会代表として食道がんの周術期リハビリテーション治療の発表を行い、消化器外科医の先生方との交流を図れたことは大きな収穫でした。

学術集会以外では、医師、療法士が計5回の講演を行い地域医療への貢献ができました。執筆では、大野千種理学療法士が前在籍の和歌山医大での研究で英文論文がアクセプトされました。

また、医師個人としては、東京五輪のホッケー競技アスリートドクターとして参加したことも有意義な出来事でした。自らもプレーしていた競技のトップアスリートの試合を担当し、スーパープレーの連続に目を奪われてしまう楽しい時間でした。

今後も「心に響く患者中心のリハビリテーション医療」を理念に、患者中心のプロフェッショナルなリハ治療を提供するべく活動していきます。

### 【臨床】

2021年度入院リハ新患者数は4838人で、2020年度より400人以上増加。年々増加している。

リハスタッフ数は、理学療法士 24名、作業療法士 9名、言語聴覚士4名。2021年採用はPT0名、OT2名、ST1名。

腎臓リハビリテーション教育入院の開始。運動指導内容の検討、パンフレットの作成。

### 【医師研究】

「頰椎前方手術後の嚥下障害」

【医師・療法士 学会発表・講演・講義】

学会発表抄録、活動記録を参照。

### 【医師講演】

- ・佐々木裕介, 化学療法・放射線療法の合併症とリスク管理, 令和2年度がんのリハビリテーション研修会in和歌山, 2021.1.30, 和歌山市
- ・佐々木裕介, チームで共有しよう! 嚥下の基本, 第1回誤嚥窒息zero研修, 2021.2.13, 羽島市
- ・佐々木裕介, 福祉用具・環境調整・社会的支援, 総合力のつくりハビリテーション専門職研修会, 2021.3, オンデマンド配信

#### 【医師執筆】

- ・佐々木裕介, 福祉用具・環境調整・社会支援, 総合力がつくりハビリテーション医学・医療テキスト, 256~276, 一般社団法人 日本リハビリテーション医学教育推進機構, 2021年

#### 【教育】

研修医：2年目の11名がそれぞれ1~2週間研修  
療養士学生：理学療法学科27名, 作業療法学科2名

#### 【医師役職】

日本リハビリテーション医学会代議員, 中部東海地方会幹事

第58回日本リハビリテーション医学会学術集会実行委員

第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 プログラム委員

#### 【医師地域貢献】

食べるを支えるネットワーク(岐阜地域の地域包括ケアシステム構築専門部会(4))：誤嚥性肺炎予防ワーキンググループ コアメンバー：

岐阜市医師会長・歯科医師会長を代表として, 岐阜地域の誤嚥性肺炎予防連携を立ち上げ. 岐阜地域での切れ目のない情報の共有化を行うことを目的とする.

岐阜県多“食”種連携研究会：世話人

多職種が連携することで, 「食」におけるプロフェッショナルな人材を育成し, 岐阜県下に幅広く高度な摂食嚥下医療を普及させることを目的とする.

#### 【医師その他の活動】

東京オリンピック・パラリンピック競技会 2020：ホッケー競技アスリートドクター

2021.7.24~7.28 大井ホッケー競技場, 東京

文責：佐々木裕介

況にて, 1年を通じて診療制限がつづいた.

白内障手術226件 硝子体内注射711件

## 麻酔科・集中治療部

2021年の麻酔科は, 太田病院長以下11名のスタッフ(うち麻酔科学会認定麻酔科専門医が9名在籍)でスタートし, 中央手術部の手術室9室をベースにした安全な手術を担うための手術室運営と麻酔管理, および集中治療室専従医として重症管理部門の運営と患者治療に携わらせていただいた. さらに院内で発生する救急症例への対応やHCUでの重症患者管理のサポート役としても積極的に携わることもできていたと評価している.

2021年の麻酔科管理症例数は2815件で, 前年度よりも約200件も増やすことができた(手術室全体の件数は約100件増加). このことは何よりも麻酔科スタッフの頑張り, そして各診療科の麻酔科医による安全な麻酔管理への要望が定着している証拠だと思われる.

今後とも超音波ガイド下での様々な手技を積極的に取り入れ, 自らの安全な手技の遂行を進めるとともに, 院内全体への伝道者として活躍してくれており, 今後ますます中央診療部門の運営に貢献していける診療科として成長していきたいと考えている.

文責：大畠 博人

## 眼科

2001年は, 視能訓練士が3人から1人体制へ減員, 医師(1人)の体調不調とコロナ禍などの状

## 学会発表抄録

### 消化器内科・血液内科

#### 国際学会発表抄録 (2021年1月～12月)

##### ePoster Presentation 237-73

##### Eligible cases of stent-in-stent placement for malignant hilar biliary obstructions in consideration of endoscopic reintervention

<sup>1)</sup>Mitsuru Okuno, <sup>1)</sup>Tsuyoshi Mukai,  
<sup>1)</sup>Ryuichi Tezuka, <sup>2)</sup>Takuji Iwashita,  
<sup>2)</sup>Hironao Ichikawa, <sup>2)</sup>Yuhei Iwasa,  
<sup>2)</sup>Naoki Mita, <sup>3)</sup>Kensaku Yoshida,  
<sup>3)</sup>Akinori Maruta, <sup>3)</sup>Keisuke Iwata,  
<sup>1)</sup>Eiichi Tomita, <sup>2)</sup>Masahito Shimizu

<sup>1)</sup>Department of Gastroenterology, Gifu Municipal Hospital, Gifu, Japan

<sup>2)</sup>First department of internal medicine, Gifu University Hospital, Gifu, Japan

<sup>3)</sup> Department of Gastroenterology, Gifu Prefecture General Medical Center, Gifu, Japan

**Background:** Bilateral SEMSs placement is effective for long-term management of unresectable malignant hilar biliary obstruction (UMHBO). However, endoscopic reintervention (ERI) for bilateral SEMSs is sometime difficult. This study aimed to evaluate the risk factors for ERI failure after stent-in-stent (SIS) placement. **Methods:** Data of 34 patients who underwent ERI from May 2000 to March 2020 were analyzed. **Results:** The technical success rate of ERI was 82% (28/34) and the functional success rate was 100% (28/28). To evaluate the risk factors for ERI failure, the patients were divided into successful and failure groups. There were no significant differences between the etiology, Bismuth classification, type of initial SEMS (laser-cut and large cell-width). The number of patients with multiple liver metastases ( $p=0.03$ ) and overgrowth ( $p=0.01$ ) were significantly higher in the failure group. The angle between the bilateral SEMSs (ABBS) was also larger in the failure group ( $p=0.03$ ). In the ROC analysis, the cutoff was calculated to be  $104^\circ$  for ABBS. In a multivariate analysis, ABBS over  $104^\circ$  (OR=56.5, 95%CI=3.74-2392,  $p=0.01$ ) and overgrowth (OR=28.7,

95%CI=1.23-1386,  $p=0.04$ ) were risk factors for ERI failure. **Conclusions:** ABBS over  $104^\circ$  and overgrowth were risk factors for ERI failure after SIS placement. In the decision-making process for initial SEMS placement for UMHBO, patient condition should be considered, including the angle between bilateral bile ducts and multiple liver metastases which cause the overgrowth.

APDW2021

2021年8月17日～22日 Web

### 整形外科

#### 腰椎手術における合併症,その予防と安全対策

岐阜市民病院 整形外科  
宮本 敬

腰椎手術における合併症、その予防と安全対策について述べる。術中合併症として神経損傷、硬膜損傷(髄液漏)、血管損傷、金属インプラントによるトラブル、レベル誤認等がある。これらは後方アプローチ、前方アプローチに共通している。また、近年広がりつつある腰椎前方アプローチによる手術において、大血管の直接損傷、尿管損傷、腸管損傷等の危険性もあり、致命的な事態となる可能性もある。これらの予防については、解剖学的知識の習得、患者固有の解剖把握、技術の研鑽、手術チームの技術・技量に合った術式選択、スタッフ同士のコミュニケーション等が肝要である。手術操作の鋭的操作、鈍的操作の2つに分けると、重症化あるいは致命的となり得る合併症の原因として、鋭的操作が原因として圧倒的に多く、特に前方アプローチの手術において鋭的操作は十分な注意が必要である。一方、術後に症状が発現する・発見される合併症として、血種による麻痺、創部感染、金属インプラントの脱転・破損、創内異物残留等があるが、特に血種による麻痺については、神経組織の非可逆的变化を生じる前に早期発見・対応を行う必要があり、これを想定した病棟管理が必要である。創部感染については、患者の免疫・栄養状態によっては、難治化し、致命的な合併症となる可能性もあり、術前より慎重な説明が必要である。各施設・または各地域の脊椎手術チームにおいて、これら合併症を未然に防ぐために、日頃から、生じた合併症の経験を共有し、それらが生じた背景を理解し、“他者の経験から学ぶ・語

り継ぐ”システムを確立する必要がある。ただし、重篤な合併症に関しては、倫理的・法的な問題もあり、経験の共有がされにくいという問題点もあり今後の課題であろう。

第31回 腰椎シンポジウム  
2021年2月27日 Web開催

### 先天性頸椎余剰椎による脊髄症に対し余剰椎部分切除を施行した1例

岐阜市民病院 整形外科

加藤 皓己 宮本 敬 奥村 孝臣  
梅村 浩輔 白井 之尋 佐々木裕介  
山本 孝敏 大野 義幸 清水 克時  
養老整形外科  
石井 光一  
世沢整形外科  
世沢 さ胤

65歳、男性。半年前より悪化傾向を呈した頸髄症状を主訴に、紹介受診となった。先天性頸椎余剰椎（C2-3間）による脊髄症と診断した。余剰椎の後方要素が脊柱管狭窄に加担していると推察し、余剰椎の部分切除を施行した。術後1年の経過にて、症状のある程度の改善を認め、経過良好である。本症例について考察を加え、報告する。

第94回東海脊椎脊髄病研究会学術集会  
2021年6月5日 名古屋

### 頸椎前方手術の合併症、ピットフォール、対策

岐阜市民病院 整形外科

宮本 敬 加藤 皓己 清水 克時

頸椎前方手術は神経症状に対する良好なキレを有する一方、独特の合併症を有し、その実践においては合併症の知識が必須です。予定している話題は以下の通りです。1) アプローチにおけるVA損傷：VAの異常走行の有無を知っておくことは必須、椎体前側方における電気メスの使用は禁忌。損傷が生じた場合、脳神経外科による血管内インターベンションを要請せざるを得ない場合がある。再手術の前方アプローチは困難な場合があり注意が必要。2) 単椎間除圧固定：左右幅の十分な除圧、確実なスプレッド、視野の確保、後方骨棘の確実な切除が肝要。3) 椎体全摘除圧固定：椎体掘削については、顕微鏡の位置・方向

が重要。先細りとならない掘削、左右均等除圧が必要。4) 硬膜管の除圧：正中において脊髄圧迫要素を縦割し、慎重に剥離・除圧を企図する。あるいは、硬膜骨化（後縦靭帯骨化症）が存在し剥離困難な場合は浮上を企図。側方において怒張した静脈叢を損傷しない、さもなくば、制御困難な大出血につながる。5) 椎体全摘後の移植骨及びプレートの設置：長すぎる移植骨は禁物、移植骨の設置は頸椎の荷重軸にあわせる。前方プレートの固定性に頼りすぎない。6) 術前後気道管理：術当日は挿管状態で管理、術翌日に抜管、その後24-48時間は厳重観察。気道閉塞発症時、挿管は時に困難であり、専門家の介入が望ましい。脊椎外科医師が駆けつける第1人目となった場合は開創・血種除去をまずは試みる、これが気道確保につながると言われている。

AO Spine Principles Webinar  
2021年6月11～12日 Web開催

### 難治性胸椎OPLLに対する後方除圧固定、前方除圧固定、後方前方法の選択と適用の現状

1岐阜市民病院 整形外科

2岐阜大学 整形外科

宮本 敬<sup>1</sup> 加藤 皓己<sup>1</sup> 野澤 聡<sup>2</sup>  
清水 克時<sup>1</sup>

難治性胸椎OPLLに対し、我々のチームにおいて、過去約20余年にわたり、適用した術式は期間を3期に分けると術式は、前期は前方法：13例・後方法：1例・前後合併：1例、中期は前方法：6例・後方法：5例・前後合併：4例、後期は前方法：1例・後方法：10例であった。前方法が減っているが、難易度の高く継承者が少ない、特有の合併症（頭蓋内合併症等）を経験した、JOAスコア改善率において後方法の成績が前方法に遜色ないものであったこと等が要因である。一方、腹臥位での麻痺悪化例、金属アレルギー例など、前方法しか打つ手がないという症例も存在する。なお、我々のチームにおける胸椎OPLLの神経学的改善成績は諸家の報告にくらべ、非常にいい訳ではないが、神経症状が重篤なほど合併症発生が多い印象を持っている。よって、重症例をつくらないための措置として、近年では神経症状が軽微なうちに後方からのインスツルメンテーションを用いて非除圧固定を行っている程度の効果をあげている。

第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会

2021年9月3～4日 京都

### 頸椎椎間板ヘルニアを伴う脊髄症（椎間板変性・骨棘によるものを含む）に対する前方除圧固定術（椎間板切除、椎体亜全摘）の功罪

1岐阜市民病院 整形外科

2岐阜大学 整形外科

宮本 敬<sup>1</sup> 加藤 皓己<sup>1</sup> 野澤 聡<sup>2</sup>  
清水 克時<sup>1</sup>

頸椎椎間板ヘルニアを伴う脊髄症（椎間板変性・骨棘によるものを含む）に対し、椎間板切除による前方除圧固定を選択する場合もあるが、前方経路による脊柱管拡大という意義にて、椎体亜全摘による前方除圧固定を選択する場合も少なくない。理想的には、脊髄症の要因となり得る正中中部・傍正中中部における骨棘を椎間板切除経路から鋭匙等を用いて丁寧に切除を加える方法が固定椎間を減らすうえでも望ましいと考えるが、技術的に困難である場合もあるとも思われるからである。神経症状の早期改善という点においては、病変を直接取り除く前方法は後方法にくらべ優れているとされており、また、頸椎変性疾患の術前術後にみられる頸部痛についても、前方法は有利である。一方、前方手術特有の合併症（嚥下障害、気道閉塞、移植骨及び内固定具の移動等）があり、時として重篤なものとなる。よって、これら合併症をチームアプローチにて克服しない限り、前方法の有する利点を強調できないとも考えている。

第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会

2021年9月3～4日 京都

### 成人脊柱変形症例に対するextra short fusion (1-2椎間のLIF) の適応と治療成績

岐阜市民病院 整形外科

宮本 敬 加藤 皓己 清水 克時

【目的】成人脊柱変形症例に対するextra short fusion (1-2椎間のLIF) の適応と治療成績を報告する。【方法】成人脊柱変形症例に対し1-2椎間のLIFを施行し、1年以上経過観察し得た11例について適応を考察し、治療成績を調査した。

【結果】成人脊柱変形における著しい変形椎間板、狭窄（脊柱管、椎間孔）を有する1-2椎間が固定対象となった。手術侵襲は少なく、問題となる合併症は認めなかった。手術は脊柱変形に対して有

意な影響を与えておらず、また、全例において痛みVAS値の減少が得られた。【結論】成人脊柱変形症例に対する超短椎間のLIFの適応は限られているが存在する。広範囲固定を望まない症例において、比較的侵襲の少ない有用な選択肢となり得ると思われる。

第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会

2021年9月3～4日 京都

### 成人脊柱変形・骨折後変形に対する脊椎インスツルメンテーション手術後の“感染を伴うPJK”に対する対応と治療成績

岐阜市民病院 整形外科

宮本 敬 加藤 皓己 清水 克時

【目的】脊柱変形手術における感染を伴うPJKに対する治療成績を報告する。【方法】対象は7例（女6, 男1, 平均年齢76歳, 69-83歳, 腰椎変性側弯: 2例, 骨折後後彎: 4例, TB後後彎: 1例）。前回手術はPSO: 4例, 前後固定術2例, BKP+後方固定1例。サルベージ手術として、ロッドの部分切断（姑息的）を5例に施行、頭側に固定範囲を延長した後方固定術を2例に施行。【結果】ロッド部分切断術を施行した5例中、1例を除き、4例において経過不良、うち2例は後方前方固定を追加施行、1例は遺残ロッドの調整を追加施行、1例は全身菌血症、肺炎を合併し死の転帰となる。後方固定術を施行した1例は創部感染発症し、後日インプラント全抜去。その1例を除き、固定範囲を延長した後方固定術を施行した症例のADL改善が得られた。【結論】感染にPJKによる不安定性が合併している本病態に対して、固定範囲を延長した固定術が第一選択であると思われる。

第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会

2021年9月3～4日 京都

### 硬膜外刺激電極の抜去到った2例

岐阜市民病院 整形外科

○奥村 孝臣 宮本 敬 加藤 皓己  
梅村 浩輔 白井 之尋 佐々木裕介  
山本 孝敏 大野 義幸 清水 克時

脊髄刺激装置・硬膜外刺激電極の抜去到る2例（他施設にて設置）を経験したので報告する。抜去を要する時点で、設置に関わった医師の受診が困難である場合もあり、脊椎外科医が担当せざ

るを得ない事例もあり得る。本治療の適用には慎重を要し、また、挿入後の長期フォローが必要であると思われた。

第95回東海脊椎脊髄病研究会学術集会  
2021年11月27日 名古屋

### 喉頭頸椎後方固定術によって縮小を認めた歯突起後方偽腫瘍の7例

木沢記念病院 整形外科<sup>1</sup>  
岐阜市民病院 整形外科<sup>2</sup>

○田口 恭平<sup>1</sup> 増田 剛宏<sup>1</sup> 宮本 敬<sup>2</sup>

歯突起後方偽腫瘍に対して後頭頸椎後方固定術を施行し、偽腫瘍の縮小を認めた症例を7例経験したので報告する。全症例後骨頭からの固定を行った。5例は固定術（+除圧術）が施行され、2例は除圧術のみを行ったのちに症状が再燃したため固定術を追加で施行した。JOAスコアは術前が平均7.6点（4-10点）、術後最終観察時で平均10.7点（7.5-17点）であった。全例で偽腫瘍は縮小を認め、再発はみられていない。固定術は除圧術のサルベージとして有用と考えられる。

第95回東海脊椎脊髄病研究会学術集会  
2021年11月27日 名古屋

### 骨粗鬆症性椎体骨折に対する棘突起プレートを併用したBalloon kyphoplasty

<sup>1</sup>岐阜市民病院 整形外科

<sup>2</sup>松波総合病院 脊椎センター

○加藤 皓己<sup>1</sup> 宮本 敬<sup>1</sup> 奥村 孝臣<sup>1</sup>  
梅村 浩輔<sup>1</sup> 白井 之尋<sup>1</sup> 佐々木裕介<sup>1</sup>  
山本 孝敏<sup>1</sup> 大野 義幸<sup>1</sup> 清水 克時<sup>1</sup>  
山口 良大<sup>2</sup> 日置 暁<sup>2</sup>

骨粗鬆症性椎体骨折に対する棘突起プレートを併用したBalloon kyphoplasty (BKP) について報告する。BKP単独では成績不良が危惧される不安定型骨折に対して本法を適応した。概ね成績良好であったが、成績不良例も経験した。本法の意義・限界について考察を加えて報告する。

第95回東海脊椎脊髄病研究会学術集会  
2021年11月27日 名古屋

## リハビリテーション科

### 当院リハビリテーション科における医師事務作業補助者の有用性

Usefulness of physician assistant in the rehabilitation department of our hospital

垣内 憲子<sup>1,2)</sup> 佐々木裕介<sup>1)</sup> 服部 悦郎<sup>2)</sup>

1)岐阜市民病院 リハビリテーション科

2)岐阜市民病院 医療クラーク室

【背景】当院は病床数565、平均在院日数10.6日の急性期総合病院である。リハビリテーション科医は1名で、一部診療科以外のリハビリテーション処方、外来診察、嚥下診察・検査、超音波検査、装具処方、痙縮治療、研修医教育等をおこなっている。訓練実施患者数は2014年には2683人であったのが、2019年には4231人と年々大幅に増加しており、医師の負担も増加している。2015年11月に医師事務作業補助者（以下クラーク）が配属された。

【目的】リハビリテーション科クラークが診療において改善をもたらした点を検討する。

【方法】クラークは、診察室での病歴・診察所見記載、往診同行（患者情報の提示、診察所見記載）、各種検査所見記載、検査オーダー、書類作成、研究データの入力、医師業績管理などを行った。

【結果】患者1名につき、病歴記載・診察・処方・書類作成を行うと平均約40分かかる。クラークが病歴、診察所見記載、書類作成を行うことで、平均約25分に短縮可能となった。さらに医師が患者に集中することで問診情報量が増え、詳細な身体診察が可能となり、患者背景の把握や疾患の診断・評価がしやすくなった。新患患者数が増えても診療速度や質を落とすことなく診療ができ、訓練開始の遅延防止にも寄与した。クラークのさらなるスキル向上を目標として、達成目標・方略を作成した。

【考察】クラークにより、医師の業務負担が軽減され、診察速度の向上、診療の質向上が図れた。これらはリハビリテーション治療成績向上、患者満足度の向上にも貢献すると考えられる。

第58回日本リハビリテーション医学会学術集会  
2021年6月12日 京都

### 消化器がん周術期の運動療法と嚥下障害 Perioperative exercise therapy and

## dysphagia in gastrointestinal cancer

岐阜市民病院 リハビリテーション科

佐々木裕介

胸部食道癌に対する食道切除術などの開胸術、胃癌、肝癌、膵癌に対する上腹部開腹術では、術後合併症、特に呼吸器合併症の発生頻度が高い。また、患者は術前の手術待機期間に心身ともにきわめて大きなストレスを受けており、日常の活動を制限する傾向にある。さらに入院後には病室での生活が主となり、不活動となる。したがって、診断から手術までの期間に運動耐用能や筋力の低下が生じ、入院後には不活動、手術侵襲、合併症等によりさらに低下することが予測される。術前の運動耐用能は、食道癌において術後の心肺合併症発生予測因子になることが報告されている。さらに、術後の体力低下は、術前の活動への早期復帰を困難にさせる。患者は単にADLが自立することではなく、「早期に」「活動的に」日常生活を送ることができる体力を必要としているのである。消化器がん患者に対する合併予防対策として、周術期呼吸理学療法、早期離床の有用性には多くの報告がある。そのため、従来がん患者に対する周術期リハビリテーション治療は、術前後の呼吸理学療法と術後の早期離床、歩行、ADL訓練が行われてきた。しかし、呼吸理学療法と術後の歩行、低強度の運動では筋力、運動耐容能は低下してしまう。近年、消化器がんにおいて術前からの心肺機能強化および筋力増強を目的としたトレーニングは、運動耐容能、筋力を増加させ、不安を軽減し、術後の離床が早くなると報告されている。手術前および術後早期から十分な負荷および時間をかけておこなうことが重要である。術前入院運動療法をおこなっている病院もあるが、当院では症例を選択し、外来通院訓練あるいは自主訓練を実施している。また、術後はベッド上臥床を可及的に減らすために、歩行・運動時間以外は椅子座位の時間を確保する。その結果、合併症予防効果が得られるとともに、体力が早期に回復することによって、術後化学療法への耐容能向上、早期退院、早期社会復帰に寄与することが期待される。

また、食道癌術後の嚥下障害、誤嚥性肺炎はしばしば経験される。原因としては、反回神経麻痺、喉頭挙上筋力低下、周囲癒痕に伴う喉頭挙上障害、咽頭の狭小化、輪状咽頭筋の機能不全、咳嗽反射低下、喀出力の低下などが挙げられる。嚥下障害発症時の対応として、まずは診察および嚥下造影検査・嚥下内視鏡検査によって診断をおこなう。また歯科診察を行い口腔内環境評価、歯の評価・

治療、義歯評価・調整を行う。そして、口腔ケア、嚥下機能訓練、食形態調整、食事姿勢調整、食事方法調整、精神的負担に対する心理的対応を行っていく。当院では術前に全例、歯科診察、リハビリテーション科嚥下診察をおこない、嚥下障害に関する説明を行った上で、術前嚥下機能訓練を実施している。術後は、嚥下障害に応じて評価およびリハビリテーション治療を実施している。誤嚥が顕著な場合には食物を用いない間接訓練を実施し、状態改善にともない食物を使用した直接訓練も実施していく。また、誤嚥性肺炎は食事のみで生じるものではなく、唾液等の誤嚥によっても生じるので、必ず口腔ケアを行う。嚥下訓練を担当するのは主に言語聴覚士であるが、理学療法士、看護師、管理栄養士、薬剤師、歯科医、歯科衛生士、医師事務作業補助者、消化器外科医、耳鼻咽喉科医、リハビリテーション科医など多職種によるチーム医療が必須である。さらに、嚥下障害は長期に持続することもあり、長期間経過後に経口摂取が獲得できる例も経験される。入院中の本人、家族への指導、および退院後の長期的なフォローアップが必要である。

## 当院における頸椎前方固定術後の嚥下障害・誤嚥・窒息予防

Prevention of dysphagia, aspiration, and choking after anterior cervical fusion surgery at our hospital

岐阜市民病院リハビリテーション科

佐々木裕介

【背景】頸椎前方術後の嚥下障害の割合は非常に多いと報告されている。

【目的】当院での頸椎前方術後に対する嚥下障害・誤嚥・窒息予防の取り組みを示し、症例提示を行う。

【方法】手術における対策は、(1)第2、3頸椎手術は行わない、(2)手術時間を短めにとどめる、(3)余裕をもった皮切を加え、軟部組織の展開を十分に行い、レトラクターと軟部組織にかかる圧を少なくする、である。また、術後の対策は、(1)喉頭鏡での咽頭評価、(2)リハビリテーション科医の診察、(3)必要に応じた嚥下機能検査、(4)歯科診察による動揺歯治療および義歯調整、(5)言語聴覚士による嚥下訓練・食形態・食事方法の調整、である。

【症例】81歳男性。後縦靭帯骨化症に伴う頸椎症性脊髄症に対して頸椎前方椎体間固定術(第3-6、3椎間)、自家骨移植術(腓骨)施行され翌日抜管、

翌々日嚥下評価を実施した。改訂水飲みテストでむせあり、喉頭鏡検査で喉頭蓋と咽頭後壁間隙の狭小化、披裂部・咽頭後壁の浮腫がみられた。嚥下障害のリスク因子を多数認めた。X線写真およびCTでは、頸椎前方軟部組織の腫脹あり、第3頸椎高位で術直後12.8mm、術後2日18.4mm、術後7日19.5mm、術後13日8.9mmであった。術後3日にやわらかいゼリー食から開始し、段階的に食形態や食事姿勢を調整し術後13日で常食となった。経過中、肺炎、誤嚥、窒息等の合併症はみられなかった。

【考察】頸椎前方固定術後は嚥下障害の合併が多いが、手術の工夫および多職種による術後の対策を行うことが嚥下障害・誤嚥・窒息の予防に有用であると考えられた。

## 急性期総合病院リハビリテーション科初診時における未把握・未診断疾患

Undiagnosed diseases at the first visit to the rehabilitation department of an acute care hospital.

岐阜市民病院 リハビリテーション科  
佐々木裕介

【目的】急性期総合病院のリハビリテーション科医師は、幅広い診療科患者を診察することが特徴である。訓練開始前に十分な全身的診断をおこなうことは重要であるが、紹介時に主科が未把握・未診断の疾患をしばしばみかける。しかし、その頻度と内容を調査した報告は見当たらないため、今回調査を実施した。

【方法】対象は2019年1月～3月に当科で診察、リハビリテーション処方をおこなった初診患者を後方視的に調査した。主科のカルテに記載なく、かつ情報収集、問診、診察し当科で診断した疾患を抽出した。運動器疾患は未診断であっても、痛み等症状がある場合のみ診断数に含めた。脳神経外科、整形外科、心臓血管外科、循環器内科の一部、血液腫瘍は主科が処方するため除外した。

【結果】該当総患者数は573人で、そのうち229人(男性132人女性97人、平均年齢79.1歳)に未把握・未診断疾患があり、診断疾患数は297例であった。器官別診断数は運動器が130例と最も多く、呼吸器72例、循環器40例、脳血管23例と続いた。

【考察】訓練開始時に未把握・未診断疾患が多く存在することが判明した。特に多かった運動器・呼吸器・循環器疾患は、それ自体がリハビリテーション治療の対象となり、かつ運動時の症状、動態変化の評価がきわめて重要な疾患群である。未

把握・未診断のまま訓練をおこなった場合、適切な訓練が実施困難であり、リスク管理にも問題があると考えられる。われわれ急性期総合病院のリハビリテーション科医師は、「whole bodyの診察」を心がけ医療を提供するよう心がけるべきである。

## 診療情報管理室

### 当院での診療録向上への取り組み

診療情報管理室

篠田 幸江

#### 【背景】

診療録とは、医師が診療に関する事項を記載すべきものとして、医師法第24条および保険医療機関及び保健医療養担当規則第8条、第22条等に規定されており、記載事項は医療法施行規則第23条に規定されている。診療記録の記載原則に則ったカルテは、カルテ開示や外部監査に耐えうる記録であるだけでなく、診療のプロセスを助け、質の高い医療を実現するために重要である。診療記録の質を向上する必要があると考えた。

#### 【方法】

平成29年8月の日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審にて、診療記録の評価項目の「診療記録を適切に記載している」で高評価を得ることを目標とし、平成28年にカルテの質的監査を開始した。方法・手順を診療録等管理委員会で決定し、監査要綱を作成した。監査項目は、算定条件を満たしているか、法やガイドラインに沿ったものを確認できるよう設定した。監査項目の達成率が80%未満だった場合、医師が再監査を行った。監査結果を紙面にて医師へフィードバックした。

#### 【結果】

初年度は85%だった達成率が、2年目に90%を超えた。機能評価ではA判定を獲得し、目標を達成できた。「質的監査が実施され、主治医にフィードバックするシステムもできており、改善に役立っている」と評価され、医師に監査を行うことの意義を印象づけることができた。

#### 【考察】

質向上の要因は、機能評価で高評価を得るといっははっきりとした目標があったこと、フィードバックを行うことで医師が記載の根拠を意識するようになったことがあげられる。また、電子カルテベンダーの変更が予定されており、改善要望がすぐに反映され、カルテの機能が向上したことが大き

かったと思われる。

今後の課題は、監査者の負担軽減や育成、改善しない医師への対応である。

また、指導料、加算の算定要件を満たしているかを監査項目に加え、より質の高い診療記録を目指したい。

第23回日本医療マネジメント学会学術総会

2021年7月15日～7月30日 オンデマンド

## 中央検査部

### パネルディスカッション

#### 肝硬変症例におけるDAA製剤の長期予後の検討

JDDW 2021

11月6日 2021年、神戸

岐阜市民病院 中央検査部/消化器内科

○内木 隆文

岐阜大学医学部 消化器内科

末次 淳

岐阜県総合医療センター 消化器内科

清水 省吾

【目的】2014年にDAA製剤初となるDCV/ASVが保険適応になりC型肝炎は全治時代になったと言える。しかし高リスク要因である肝硬変症例でのDAA治療後の長期予後の評価は依然不十分である。今回多施設共同研究において肝硬変症例の長期予後を検討した。

【対象】2014年から2016年の期間、当院ならびに共同研究施設においてDAA治療が導入され、5年以上経過した1153例のうち肝硬変症例362例(DCV/ASV147例, SOF/RBV78例, SOF/LDV107例, PTV/OBV26例, EBR/GZR2例, GLE/PIB2例):観察期間平均197.8週, 平均71.9歳, 男性164例/女性198例, SVR達成 92.2%)について検討した【結果】32例(8.8%)の死亡が確認され, 死因は肝関連死が17例, 他癌死が7例, その他8例であった。5年生存率は89.1%であり, 慢性肝炎例の96.1%に比し有意に悪い。肝癌治療後開始例では生存率は悪化するが, それでも5年生存率は80.5%と比較的高く保たれており, ウイルス排除が予後改善に寄与していると思われる。DAA治療開始時のデータで予後に影響する因子を検討すると, 肝癌治療歴, M2BP値, ALB値, ALBI scoreなど肝硬変の中でも肝予備能の低下が予後を悪化させることが示

された。ただし開始時ALB値が低いにも関わらず, ALBの治療反応性が良い一部の症例は, 予後の改善を認めた。SVR後初発肝癌は3年で15.0%, 5年で19.9%におよびまた再発率も3年で54.8%, 5年で66.2%で依然高率である。今回の検討では治療開始時での高リスク要因は明らかではなかったが, 治療後のFibroScan値の改善が得られない症例にやや高くみられた。

【結語】肝硬変症例におけるDAA製剤治療によるウイルス排除は長期予後を改善し得るが, 肝癌の発生を予防するには十分とは言えない。治療開始時の肝予備能を正確に評価し, 治療後も十分な対策を打つことが肝要と思われた。

活動記録 講演・学会発表等

糖尿病・内分泌内科

在宅中心静脈栄養 (HPN) により血糖  
2239mg/dlと著明な高血糖を呈した2型糖  
尿病の1例

隅田 旭 窪田 紗希 丸山 貴子  
山田 浩司

第95回日本糖尿病学会中部地方会 一般演題  
2021年9月4-5日 オンライン・三重

高血糖高浸透圧症候群の治療中に高Na血  
症, 低張尿が遷延し中枢性尿崩症の診断  
に至った一例

今井理紗子 隅田 旭 窪田 紗希  
丸山 貴子 山田 浩司

第21回日本内分泌学会東海支部学術集会 一般演  
題2021年9月25日 オンライン・愛知

腎臓内科

講演「腎性貧血治療のこれから～HIF-PH  
阻害薬を中心に～」  
ディスカッション「HIF-PH阻害薬適正使  
用に関するrecommendation」の確認と留  
意すべき点

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏

エベレンゾ錠適正使用を考える会  
2021.1.14 岐阜, ハイブリッド

「HIF-PH阻害薬と適正使用に関する  
recommendation」

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏

岐阜市民病院 内科専門研修教育部会 内科専門  
研修セミナー (院内)  
2021.2.19

基調講演「HIF-PH阻害薬と適正使用に関  
するrecommendationを踏まえ, HIF-PH阻

害薬をどう使うか」

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏

腎性貧血治療を考える会  
2021.6.9 岐阜, ハイブリッド

特別講演「ADPKD (常染色体優性多発  
性嚢胞腎) の早期診断・治療につなげる  
家族介入の試み」

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏

飛騨高山腎疾患講演会～CKD治療を考える～  
2021.6.24 高山, ハイブリッド

特別講演②「腎性貧血と新規治療薬・  
HIF-PH阻害薬について ～HIF-PH阻害  
薬と適正使用に関するrecommendationを  
踏まえて～」

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏

岐阜市薬剤師会学術講演会  
2021.6.27 岐阜, ハイブリッド

レクチャー「糖尿病性腎症とDKD+CKD  
の話題」

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏

第59回糖尿病よろず相談会 ぎふ  
2021.7.13 岐阜, ハイブリッド

特別講演①「腎臓内科医が診るCKDと高  
カリウム血症」

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏

ロケルマ発売1周年記念講演会in岐阜 (Web)  
2021.8.20

Day2 循環器医・腎臓内科医からARNIの  
立ち位置を考える  
講演Ⅰ「CKD合併心不全患者のマネージ  
メント」

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏

GIFU ARNI Week～慢性心不全治療について考え

る～エンレスト発売1周年記念講演会～ (Web)  
2021.8.31

香村 彰宏<sup>2)</sup> 犬塚 貴<sup>2)</sup>  
第66回日本透析医学会総会  
2021.6.6 横浜

### 「二次評価に耐えうる病歴要約作成の考え方」

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
岐阜市民病院 内科専門研修教育部会 内科専門  
研修セミナー (院内)  
2021.10.7

### 「塩酸ピルジカイニド中毒をきたしたCKD患者に対し血液浄化療法が有効であった1例」

1) 岐阜市民病院 腎臓内科  
2) 同 循環器内科  
江崎 菜生<sup>1)2)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup>  
小牧 久晃<sup>2)</sup> 河村 涼花<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup>  
久保田知希<sup>2)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>  
第66回日本透析医学会総会  
2021.6.6 横浜

### パネリスト

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
CKD Expert Meeting in GIFU (Web)  
2021.12.3

### 「維持透析患者へのサクビトリルバルサルタンの投与経験」

1) 岐阜市民病院 腎臓内科  
2) 同 循環器内科  
久納美蓉子<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup>  
河村 涼花<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup> 西垣 和彦<sup>2)</sup>  
湊口 信也<sup>2)</sup>  
第66回日本透析医学会総会  
2021.6.6 横浜

### Session2 「ADPKD (常染色体優性多発性嚢胞腎) の早期診断・治療につなげる家族介入の試み」

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
Otsuka ADPKD Web Seminar (Web)  
2021.12.14

### 学会発表 □国内学会

#### 「移植腎廃絶での透析再導入期に椎骨動脈解離によるくも膜下出血 (SAH) をきたした1例」

1) 岐阜市民病院 腎臓内科  
2) 同 脳神経外科  
3) 医療法人社団大誠会 サンシャインM&Dクリニック  
花木 建貴<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 伊藤 陽平<sup>2)</sup>  
小堀ことの<sup>1)</sup> 河村 涼花<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup>  
高橋 浩毅<sup>1)</sup> 伊藤 慎一<sup>3)</sup>  
第66回日本透析医学会総会  
2021.6.4 横浜

#### 「ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物 (SZC) 投与により緊急透析導入を回避した症例の検討」

1) 岐阜市民病院 腎臓内科  
2) 同 泌尿器科  
木村 行宏<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup> 河村 涼花<sup>1)</sup>  
久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup> 米田 尚生<sup>2)</sup>  
第66回日本透析医学会総会  
2021.6.6 横浜

### 【腎臓】

#### 「高度腎障害をきたした高血圧緊急症の2例」

1) 岐阜市民病院 腎臓内科  
2) 同 循環器内科  
前田 晃子<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup>  
河村 涼花<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>  
馬場 慎也<sup>2)</sup> 安田 真智<sup>2)</sup>  
第244回内科学会東海地方会 (Web)  
2021.6.27

#### 「バラシクロビル投与後に急性腎障害と脳症を来し血液浄化療法を施行した3例」

1) 岐阜市民病院 腎臓内科  
2) 同 神経内科  
小堀ことの<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 河村 涼花<sup>1)</sup>  
久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup> 原田 斉子<sup>2)</sup>

## 【循環器】

## 「慢性腎臓病患者に生じた薬剤性徐脈性不整脈の1例」

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 同 脳神経外科  
西脇 哲平<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup>  
河村 涼花<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>  
玉川 紀之<sup>2)</sup>

第244回内科学会東海地方会 (Web)  
2021.6.27

## 「強膜炎を契機に診断したANCA関連血管炎の1例」

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 同 総合内科
- 3) 眼科 好明館
- 4) 愛知医科大学 腎臓・リウマチ膠原病内科  
小堀ことの<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 藤岡 圭<sup>2)</sup>  
河村 涼花<sup>1)4)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>  
宇野 真<sup>3)</sup> 浅井 奈央<sup>4)</sup> 野畑 宏信<sup>4)</sup>  
勝野 敬之<sup>4)</sup> 坂野 章吾<sup>4)</sup> 伊藤 恭彦<sup>4)</sup>

第32回中部リウマチ学会  
2021.9.18 浜松, ハイブリッド

## 「高齢腹膜透析患者の1剖検例」

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 同 病理診断科
- 3) 岐阜大学医学部附属病院 病理診断科  
幅 智教<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup>  
河村 涼花<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>  
丹羽 亜弓<sup>3)</sup> 渡部 直樹<sup>2)</sup> 田中 卓二<sup>2)</sup>

第27回日本腹膜透析医学会  
2021.10.30-31 東京, ハイブリッド

## 「PDカテーテル周囲に被包化嚢胞を形成した1例」

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 同 外科
- 3) 同 心臓血管外科  
大野 泰輝<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup>  
河村 涼花<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>  
篠田 智仁<sup>2)</sup> 佐々木義之<sup>2)</sup> 東 健一郎<sup>3)</sup>

第27回日本腹膜透析医学会  
2021.10.30-31 東京, ハイブリッド

## 「門脈ガス血症を呈したPD患者の1例」

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 同 循環器内科
- 3) 同 外科  
小堀ことの<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 中島 拓哉<sup>3)</sup>  
吉住 瞭<sup>2)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>

第27回日本腹膜透析医学会  
2021.10.30-31 東京, ハイブリッド

## 「岐阜県透析医会における, COVID-19を含む感染対策の実態調査」

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏

第64回日本感染症学会中日本地方会  
2021.11.5 岐阜

## 「岐阜県透析医会における, COVID-19を含む感染対策の実態調査」

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 高山赤十字病院 内科
- 3) (医) 大誠会
- 4) 岐阜県透析医会 感染対策委員会  
木村 行宏<sup>1)4)</sup> 高桑章太郎<sup>2)4)</sup> 松岡 哲平<sup>3)4)</sup>

第39回岐阜県透析研究会 (Web)  
2021.11.14

## 消化器内科・血液内科

## シンポジウム1

切除可能膵癌に対する術前治療  
膵癌に対する術前内視鏡的胆道ステント  
治療の有用性

岐阜大学医学部附属病院第一内科<sup>1)</sup>  
岐阜市民病院消化器内科<sup>2)</sup>  
岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>3)</sup>  
市川 広直<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>1)</sup> 千住 明彦<sup>1)</sup>  
岩佐 悠平<sup>1)</sup> 三田 直樹<sup>1)</sup> 上村 真也<sup>1)</sup>  
清水 雅仁<sup>1)</sup> 手塚 隆一<sup>2)</sup> 奥野 充<sup>2)</sup>  
向井 強<sup>2)</sup> 吉田 健作<sup>3)</sup> 丸田 明範<sup>3)</sup>  
安藤 暢洋<sup>3)</sup> 岩田 圭介<sup>3)</sup>

第51回日本膵臓学会大会  
2021年1月8日 神戸

## ワークショップ2 良性膵管狭窄に対す

## る治療選択 外科vs内科 慢性膵炎に対する長期膵管ステント留置 の有用性についての検討

岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>1</sup>

岐阜市民病院消化器内科<sup>2</sup>

岐阜大学医学部附属病院第一内科<sup>3</sup>

吉田 健作<sup>1</sup> 丸田 明範<sup>1</sup> 岩田 圭介<sup>1</sup>

手塚 隆一<sup>2</sup> 奥野 充<sup>2</sup> 向井 強<sup>2</sup>

市川 広直<sup>3</sup> 岩佐 悠平<sup>3</sup> 三田 直樹<sup>3</sup>

上村 真也<sup>3</sup> 岩下 拓司<sup>3</sup> 清水 雅仁<sup>3</sup>

第51回日本膵臓学会大会

2021年1月8日 神戸

## 一般演題(ポスター) 急性膵炎・慢性膵 炎1

### 膵石症に対するESWLとSpyGlass治療成績 の比較検討

岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>1</sup>

岐阜大学医学部附属病院第一内科<sup>2</sup>

岐阜市民病院消化器内科<sup>3</sup>

丸田 明範<sup>1</sup> 吉田 健作<sup>1</sup> 安藤 暢洋<sup>1</sup>

岩下 拓司<sup>2</sup> 岩田 圭介<sup>1</sup> 向井 強<sup>3</sup>

清水 雅仁<sup>2</sup>

第51回日本膵臓学会大会

2021年1月8日～9日 神戸

## 一般演題(ポスター) 膵癌2 膵腫瘍に対するFranseen形状針の口径別 にみた診断能および偶発症の比較

岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>

手塚 隆一<sup>1</sup> 奥野 充<sup>1</sup> 向井 強<sup>1</sup>

富田 栄一<sup>1</sup>

第51回日本膵臓学会大会

2021年1月8日～9日 神戸

## 一般演題(ポスター) 膵癌3 P-4-6膵液検体病理診断能の改善を目的 とした膵液セルブロック法の検討

岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>

奥野 充<sup>1</sup> 手塚 隆一<sup>1</sup> 向井 強<sup>1</sup>

富田 栄一<sup>1</sup>

第51回日本膵臓学会大会

2021年1月8日～9日 神戸

## パネルディスカッション7

## 急性膵炎に対する局所合併症治療 急性膵炎後の仮性嚢胞・被包化壊死に対 する内視鏡治療

岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>1</sup>

岐阜大学第一内科<sup>2</sup>

岐阜市民病院消化器内科<sup>3</sup>

岩田 圭介<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>2</sup> 向井 強<sup>3</sup>

吉田 健作<sup>1</sup> 奥野 充<sup>3</sup> 丸田 明範<sup>1</sup>

上村 真也<sup>2</sup>

第51回日本膵臓学会大会

2021年1月9日 神戸

## 胆道癌治療 化学療法・内視鏡

岐阜市民病院 消化器内科

奥野 充

MR向けWeb講演会

2021年1月18日 Web

## C型肝炎治療啓発コーナー

岐阜市民病院 事業管理者

富田 栄一

THK東海テレビ「ターゲっちゅ」

2021年1月24日14:55～15:00放送(2021/1/8撮影)

## 高齢者多発性骨髄腫治療におけるElotuzu mabの役割

岐阜市民病院 血液内科 副部長

輸血部 部長

北川 順一

BMS Hematological Web Seminar

2021年1月27日 Web

## 当院におけるMDS診療について

岐阜市民病院 血液内科

柴田 悠平

ビダーザWebカンファレンスin 東海

2021年1月29日 Web

## 研究報告

### C型慢性肝疾患治療の長期予後成績

岐阜市民病院 中央検査部長

内木 隆文

ウイルス肝炎講習会

2021年1月30日 岐阜

**特別講演****『ERCPの基本形』cannulation～EST**

岐阜市民病院 消化器内科 胆膵内科部長

向井 強

第2回GADELIUS REGIONAL WORKSHOP 胆膵  
内視鏡フロンティアセミナーin長野

2021年2月13日 長野 Web

**内分泌・代謝1****緩徐進行1型糖尿病に橋本病,自己免疫性  
肝炎,シェーグレン症候群を合併した多腺  
性自己免疫症候群3型の1例**

1) 岐阜市民病院糖尿病・内分泌内科

2) 同 総合診療・リウマチ膠原病センター

3) 同 消化器内科

大西 拓海<sup>1)</sup> 窪田 紗希<sup>1)</sup> 谷 英輝<sup>2)</sup>林 秀樹<sup>3)</sup> 丸山 貴子<sup>1)</sup> 山田 浩司<sup>1)</sup>

第243回日本内科学会 東海地方会

2021年2月14日 Web

**逆流性食道炎の診断と治療と、消化管疾  
患におけるTOPICS**

岐阜市民病院 消化器内科 部長

加藤 則廣

Nexium Web Seminar in Gifu

2021年2月15日 Web

**一般演題②****進行胃癌加療中に重度の口内炎をきたし  
た症例の検討**

岐阜市民病院 消化器内科

伊藤 有紀 小木曾富生 高木 暁広

岩田 翔太 手塚 隆一 奥野 充

河内 隆宏 向井 強 林 秀樹

杉山 昭彦 西垣 洋一 加藤 則廣

富田 栄一

第27回岐阜胃腸疾患研究会

2021年2月26日 Web

**一般演題②****下部消化管内視鏡検査時の昼食摂取が及  
ぼす影響のランダム化比較試験 (パイロッ  
ト試験)**高山赤十字病院 内科<sup>1)</sup>岐阜大学医学部付属病院 第一内科<sup>2)</sup>岐阜市民病院 消化器内科<sup>3)</sup>名古屋第一赤十字病院 消化器内科<sup>4)</sup>荒尾 真道<sup>1)2)</sup> 千住 明彦<sup>1)</sup> 岩田 翔太<sup>1)3)</sup>松本 悠平<sup>1)4)</sup> 今井 奨<sup>1)</sup> 白子 順子<sup>1)</sup>清水 雅仁<sup>2)</sup>

第27回岐阜胃腸疾患研究会

2021年2月26日 Web

**講和「岐阜市民病院における白血病治療  
の現状」ウェブセミナー**

岐阜市民病院 血液内科

笠原 千嗣

骨髓バンクボランティア東海北陸地区ブロックセ  
ミナー

2021年2月27日 岐阜

**ポスター発表6 [移植免疫 (慢性  
GVHD)] Transplant Immunity/Chronic  
GVHD****当施設における臍帯血移植後の生着前免  
疫反応に関する後方視的検討**Analysis of preengraftment immune  
reactions after cord blood transplantation  
in our institute

1) 岐阜市民病院 血液内科

2) 岐阜市民病院 小児科

生駒 良和<sup>1)</sup> 早瀬 直輝<sup>1)</sup> 平手 友章<sup>2)</sup>大城 一航<sup>2)</sup> 柴田 悠平<sup>1)</sup> 北川 順一<sup>1)</sup>後藤 尚絵<sup>1)</sup> 笠原 千嗣<sup>1)</sup>

第43回日本造血細胞移植学会総会

2021年3月5日～7日 東京 (ハイブリッド開催)

**ポスター発表9 [移植成績 (白血病)]**Transplant Outcomes/Acute Leukemia  
再燃時の脾破裂を保存的に対応しながら  
非寛解期ハプロ移植を施行した T-ALL  
A case of relapse/refractory T-ALL with  
spleen rupture

1) 岐阜市民病院 血液内科

2) 岐阜市民病院 小児科

平手 友章<sup>1)2)</sup> 北川 順一<sup>1)</sup> 早瀬 直輝<sup>1)</sup>生駒 良和<sup>1)</sup> 大城 一航<sup>1)2)</sup> 柴田 悠平<sup>1)</sup>後藤 尚絵<sup>1)</sup> 笠原 千嗣<sup>1)</sup>

第43回日本造血細胞移植学会総会

2021年3月5日～7日 東京 (ハイブリッド開催)

## ポスター発表17 [移植晚期合併症]

Late Complications

移植後ドナータイプ血球に DDX41 変異が認められたと考えられる骨髓異形成症候群の 1 例

A case of MDS with a relative donor type cell-derived DDX41 mutation after rPBSCT

1)岐阜市民病院 血液内科

2)京都大学 腫瘍生物学講座

柴田 悠平<sup>1)</sup> 早瀬 直輝<sup>1)</sup> 生駒 良和<sup>1)</sup>北川 順一<sup>1)</sup> 南谷 泰仁<sup>2)</sup> 小川 誠司<sup>2)</sup>笠原 千嗣<sup>1)</sup>

第43回日本造血細胞移植学会総会

2021年3月5日～7日 東京 (ハイブリッド開催)

## 講演『膵管ドレナージ/内瘻』

岐阜県総合医療センター 消化器内科

岩田 圭介

GADELIUS Regional Workshop 胆膵内視鏡フロンティアセミナーin 中部

2021年3月6日 Web

## 講演 I 『多発性骨髄腫における自家移植後地固め・維持療法を再考する』

岐阜市民病院 血液内科副部長

北川 順一

Meet the MM Expert in 岐阜-Online Meeting-

2021年3月9日 岐阜

## 自己免疫性胃炎-A型胃炎

岐阜市民病院消化器内科

加藤 則廣

岐阜新聞 教えてホームドクター

2021年3月10日

## Session1 『血液内科診療に必要な症状マネジメント』

岐阜市民病院 血液内科

生駒 良和

GIFU JOINT WEB SEMINAR

2021年3月11日 岐阜

## Session2 『低用量アスピリンと消化管出

血』

岐阜市民病院 第二内科部長/消化器内科部長

加藤 則廣

GIFU JOINT WEB SEMINAR

2021年3月11日 岐阜

## 特別講演「急性骨髄性白血病の診断と治療」

岐阜市民病院 血液内科

笠原 千嗣

第127回岐阜血液標本検討会

2021年3月18日 岐阜

## 当院におけるMDSに対する同種移植

岐阜市民病院

柴田 悠平

NBMTG例会

2021年3月26日 Web

## 多種多様化する膵癌化学療法

岐阜市民病院 消化器内科

奥野 充

第352回岐阜県病院薬剤師会研修会

2021年4月3日 岐阜

## ワークショップ23：胆道疾患における新規診断法と治療法

肝門部領域胆管癌に対する MRI仮想胆道鏡 (MRCS) を用いた胆管癌進展度評価

岐阜市民病院消化器内科

奥野 充 手塚 隆一 向井 強

第107回日本消化器病学会総会

2021年4月15日～17日 東京

## パネルディスカッション8：胆膵のドレナージ術：現状と課題

非切除悪性遠位胆管閉塞に対するステント径の異なる CSEMSの有用性に関する前向き無作為化多施設共同研究-Niti-S™ SUPREMO-12 stent vs. Niti-S™ SUPREMO-10

stent-

岐阜市民病院消化器内科

向井 強

岐阜大学第1内科

岩下 拓司

岐阜県総合医療センター消化器内科

岩田 圭介

第107回日本消化器病学会総会

2021年4月15日～17日 東京

## ワークショップ22：胆管結石治療：現状と課題

### 総胆管結石性胆管炎に対する一期的内視鏡治療の有用性と課題

岐阜県総合医療センター消化器内科

丸田 明範

岐阜大学第一内科

岩下 拓司

岐阜県総合医療センター消化器内科

岩田 圭介

第107回日本消化器病学会総会

2021年4月15日～17日 東京

## 一般演題(ミニオーラル) 膝1

### 急性壊死性膵炎に合併したPancreaticFluid Collectionの内視鏡治療における予後不良因子

1)岐阜県総合医療センター消化器内科

2)岐阜大学第一内科

3)岐阜市民病院消化器内科

岩田 圭介<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup> 向井 強<sup>3)</sup>

吉田 健作<sup>1)</sup> 奥野 充<sup>3)</sup> 丸田 明範<sup>1)</sup>

上村 真也<sup>2)</sup> 清水 省吾<sup>1)</sup> 清水 雅仁<sup>2)</sup>

第107回日本消化器病学会総会

2021年4月15日～17日 東京

## 一般演題 口演 膝1

### 慢性陣炎に対する長期障管ステント留置の有用性についての検討

1)岐阜県総合医療センター消化器内科

2)岐阜市民病院

3)岐阜大学医学

吉田 健作<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 向井 強<sup>2)</sup>

丸田 明範<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>3)</sup> 清水 雅仁<sup>3)</sup>

第107回日本消化器病学会総会

2021年4月15日～17日 東京

## 一般演題 口演 膝4

### 造影超音波内視鏡画像における深層学習

## を用いた膳腫蕩自動セグメンテーションの検討

1)岐阜大学医学部附属病院第一内科

2)岐阜大学工学部電気電子・情報工学科

岩佐 悠平<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>1)</sup> 原 武史<sup>2)</sup>

市川 広直<sup>1)</sup> 三田 直樹<sup>1)</sup> 上村 真也<sup>1)</sup>

清水 雅仁<sup>1)</sup> 竹内 祐慈<sup>2)</sup>

第107回日本消化器病学会総会

2021年4月15日～17日 東京

## 講演 I 「血液内科医から診た化学療法の現状と問題点」

岐阜市民病院 診療局長・血液内科部長

笠原 千嗣

第1回岐阜腫瘍循環器の会

オンコカルディオロジー～腫瘍医と循環器専門医との連携～

2021年4月23日 岐阜

## Discussion

### コメンテーター

富田 栄一 湊口 信也 西垣 和彦

笠原 千嗣

第1回岐阜腫瘍循環器の会

オンコカルディオロジー～腫瘍医と循環器専門医との連携～

2021年4月23日 岐阜

## 一般演題セッション

### 全身の筋にFDG集積を認めたPTCL-NOSの1例

1)岐阜市民病院 血液内科

2)藤田医科大学 血液内科

3)岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病理学分野

後藤 貴之<sup>1)</sup> 早瀬 直樹<sup>1)</sup> 生駒 良和<sup>1)</sup>

柴田 悠平<sup>1)</sup> 北川 順一<sup>1)</sup> 後藤 尚絵<sup>1)2)</sup>

笠原 千嗣<sup>1)</sup> 井川 卓朗<sup>3)</sup> 吉野 正<sup>3)</sup>

高橋 健<sup>1)</sup>

第10回日本血液学会東海地方会

2021年4月25日 Web

## Discussionパート；テーマ 血球減少

Room3 「免疫抑制療法で血球回復が得られず、haplo-PBSCTを実施するも救命で

**きなかつた再生不良性貧血の1例」**

岐阜市民病院 血液内科

柴田 悠平

Novartis Hematology Web Seminar

Revolade 発売10周年講演会 in Tokai

2021年5月14日 Web

**Discussionパート；テーマ 血球減少  
Room2「初期治療に難渋し、セカンドラ  
イン治療で奏功したITPの1例」**

岐阜市民病院 血液内科

早瀬 直輝

Novartis Hematology Web Seminar

Revolade 発売10周年講演会 in Tokai

2021年5月14日 Web

**ワークショップ6 膵疾患に対するEUS診  
療の現況と新たな展開  
壊死性膵炎後 Pancreatic Fluid Collection  
のEUS下ドレナージにおけるLumen  
Apposing Metal StentとPlastic Stentの比  
較**

岐阜県総合医療センター 消化器内科

岩田 圭介 吉田 健作 丸田 明範

第101回日本消化器内視鏡学会総会

2021年5月14日～16日 広島

**ワークショップ10 小児に対する内視鏡  
診療****上部消化管出血に対して内視鏡治療を施  
行した小児症例の検討**岐阜県総合医療センター 消化器内科<sup>1)</sup>岐阜市民病院 消化器内科<sup>2)</sup>岐阜大学医学部 消化器病態学<sup>3)</sup>山崎 健路<sup>1)</sup> 小木曾富生<sup>2)</sup> 清水 雅仁<sup>3)</sup>

第101回日本消化器内視鏡学会総会

2021年5月14日～16日 広島

**ワークショップ11 胆膵疾患における緊  
急内視鏡の現状と課題****抗血栓薬服用例における総胆管結石性胆  
管炎に対する一期的内視鏡治療の妥当性**岐阜県総合医療センター 消化器内科<sup>1)</sup>岐阜大学医学部附属病院 第一内科<sup>2)</sup>丸田 明範<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup>

第101回日本消化器内視鏡学会総会

2021年5月14日～16日 広島

**特別企画 1 Special Event 1****Best Video Case Award**Fibrous membrane resection for hepaticojejunostomy  
anastomosis obstruction under enteroscopic and  
cholangioscopic double viewsDepartment of Gastroenterology, Gifu municipal  
hospital, Gifu, Japan

Mitsuru Okuno, Ryuichi Tezuka,

Tsuyoshi Mukai

第101回日本消化器内視鏡学会総会

2021年5月14日～16日 広島

**一般演題 口演17 胆膵 EUS画像診断  
造影超音波内視鏡画像における深層学習  
を用いた膵腫瘍自動セグメンテーション  
の検討**岐阜大学医学部附属病院 第一内科<sup>1)</sup>岐阜大学工学部 電気電子・情報工学科<sup>2)</sup>岩佐 悠平<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>1)</sup> 原 武史<sup>2)</sup>竹内 祐慈<sup>2)</sup> 市川 広直<sup>1)</sup> 三田 直樹<sup>1)</sup>上村 真也<sup>1)</sup> 清水 雅仁<sup>1)</sup>

第101回日本消化器内視鏡学会総会

2021年5月14日～16日 広島

**一般演題 口演22 下部 大腸検査  
下部消化管内視鏡検査時の昼食摂取が及  
ぼす影響の検討 (パイロット試験)**高山赤十字病院 内科<sup>1)</sup>岐阜大学医学部附属病院 第一内科<sup>2)</sup>名古屋第一赤十字病院 消化器内科<sup>3)</sup>岐阜市民病院 消化器内科<sup>4)</sup>荒尾 真道<sup>1)2)</sup> 千住 明彦<sup>1)</sup> 白子 順子<sup>1)</sup>岩田 翔太<sup>1)4)</sup> 松本 悠平<sup>1)3)</sup> 今井 奨<sup>1)</sup>清水 雅仁<sup>2)</sup>

第101回日本消化器内視鏡学会総会

2021年5月14日～16日 広島

**一般演題 口演40 胆膵 良性胆管狭窄  
良性胆管狭窄に対する経乳頭的治療の有  
用性の検討**

岐阜市民病院

岩田 翔太 向井 強 奥野 充

第101回日本消化器内視鏡学会総会

2021年5月14日～16日 広島

**一般演題 口演62 胆膵 病理診断**  
胆道癌における胆汁セルブロック法を用いた病理検体収集および免疫染色評価

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>

岐阜市民病院 病理診断科<sup>2)</sup>

奥野 充<sup>1)</sup> 田中 卓二<sup>2)</sup> 向井 強<sup>1)</sup>

第101回日本消化器内視鏡学会総会

2021年5月14日～16日 広島

**一般演題 口演70 胆膵 膵管ステント**  
慢性膵炎による膵管狭窄に対する膵管ステント留置の有用性に関する検討

岐阜県総合医療センター<sup>1)</sup>

岐阜市民病院<sup>2)</sup>

岐阜大学医学部附属病院<sup>3)</sup>

吉田 健作<sup>1)</sup> 丸田 明範<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup>

向井 強<sup>2)</sup> 岩下 拓司<sup>3)</sup> 清水 雅仁<sup>3)</sup>

第101回日本消化器内視鏡学会総会

2021年5月14日～16日 広島

**一般演題 口演71 胆膵 胆道ステント**  
閉塞性黄疸を伴う切除企図膵癌に対するメタリックステントの有用性

岐阜大学医学部附属病院 第一内科<sup>1)</sup>

岐阜市民病院 消化器内科<sup>2)</sup>

岐阜県総合医療センター 消化器内科<sup>3)</sup>

市川 広直<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>1)</sup> 岩佐 悠平<sup>1)</sup>

上村 真也<sup>1)</sup> 手塚 隆一<sup>2)</sup> 奥野 充<sup>2)</sup>

向井 強<sup>2)</sup> 吉田 健作<sup>3)</sup> 丸田 明範<sup>3)</sup>

岩田 圭介<sup>3)</sup>

第101回日本消化器内視鏡学会総会

2021年5月14日～16日 広島 (16日)

**一般演題 口演77**  
胆膵 十二指腸乳頭腫瘍  
内視鏡的十二指腸乳頭切除術の治療成績の検討

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>

岐阜大学医学部附属病院 第一内科<sup>2)</sup>

手塚 隆一<sup>1)</sup> 奥野 充<sup>1)</sup> 向井 強<sup>1)</sup>

伊藤 有紀<sup>1)</sup> 高木 暁広<sup>1)</sup> 岩田 翔太<sup>1)</sup>

河内 隆宏<sup>1)</sup> 小木曾富生<sup>1)</sup> 林 秀樹<sup>1)</sup>

杉山 昭彦<sup>1)</sup> 西垣 洋一<sup>1)</sup> 加藤 則廣<sup>1)</sup>

富田 栄一<sup>1)</sup> 市川 広直<sup>2)</sup> 岩佐 悠平<sup>2)</sup>

岩下 拓司<sup>2)</sup> 清水 雅仁<sup>2)</sup>

第101回日本消化器内視鏡学会総会

2021年5月14日～16日 広島

**ゲノム解析で進歩するAML治療～FLT3阻害剤投与の実際～**

岐阜市民病院 血液内科 部長

笠原 千嗣

FLT3 Web Seminar in Gifu

2021年5月18日 Web

**講演(3) ウイルス肝炎の最新治療**

岐阜市民病院 中央検査部 部長

内木 隆文

令和3年度医療従事者を対象とした「ウイルス肝炎研修会」

2021年5月29日 岐阜

**『肝硬変診療ガイドライン2020に準じた栄養療法』**

岐阜市民病院 消化器内科 副部長

林 秀樹

岐阜肝栄養療法セミナー2021

2021年6月3日 岐阜

**Part2 血液内科の未来**

**「血液疾患の今後の治療」**

岐阜市民病院 血液内科部長

笠原 千嗣

3大学合同 web Seminar ～血液内科をのぞいてみよう～

2021年6月9日 Web

**一般演題1**

**2種類のFLT3阻害薬による2度のbridgingに成功したFLT3-ITD変異陽性急性骨髄性白血病の症例**

岐阜市民病院 血液内科

早瀬 直輝

第10回造血幹細胞移植研究会

2021年6月11日 岐阜

**シンポジウム1**

**『消化器疾患の診断と最新治療』**

**定位放射線治療が肝予備能に与える影響**

岐阜市民病院 消化器内科

河内 隆宏 西垣 洋一 富田 栄一

日本消化器病学会東海支部第134回例会

2021年6月12日 津

**シンポジウム1関連**『**消化器疾患の診断と治療**』**悪性遠位胆管狭窄例での胆管SEMS閉塞リスクを低下させるステント種類と内服薬の検討**

岐阜市民病院 消化器内科

手塚 隆一 岩田 翔太 奥野 充

日本消化器病学会東海支部第134回例会

2021年6月12日 津

**一般演題 胃・十二指腸3****Nivolumab投与により重度の口腔粘膜炎をきたした進行胃癌の一例**

岐阜市民病院 消化器内科

伊藤 有紀 小木曾富生 高木 暁広

岩田 翔太 手塚 隆一 奥野 充

河内 隆宏 向井 強 林 秀樹

杉山 昭彦 西垣 洋一 加藤 則廣

富田 栄一

日本消化器病学会東海支部第134回例会

2021年6月12日 津

**一般演題 膵3****出血を伴った膵動静脈奇形に対して膵全摘術を施行した1例**岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>岐阜市民病院 消化器外科<sup>2)</sup>高木 暁広<sup>1)</sup> 奥野 充<sup>1)</sup> 松本 圭太<sup>2)</sup>佐々木義之<sup>2)</sup> 岩田 翔太<sup>1)</sup> 手塚 隆一<sup>1)</sup>向井 強<sup>1)</sup> 富田 栄一<sup>1)</sup>

日本消化器病学会東海支部第134回例会

2021年6月12日 津

**特別企画3-1 研修医・専攻医セッション1****肝細胞癌に対する経皮的凝固療法の影響に関する検討**岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>岐阜市民病院中央検査部<sup>2</sup>岐阜市民病院病理診断科部<sup>3</sup>大西 拓海<sup>1</sup> 西垣 洋一<sup>1</sup> 河内 隆宏<sup>1</sup>林 秀樹<sup>1</sup> 高木 暁広<sup>1</sup> 奥野 充<sup>1</sup>小木曾富生<sup>1</sup> 向井 強<sup>1</sup> 杉山 昭彦<sup>1</sup>加藤 則廣<sup>1</sup> 富田 栄一<sup>1</sup> 内木 隆文<sup>2</sup>渡部 直樹<sup>3</sup>

第57回 日本肝臓学会総会

2021年6月17日～18日 札幌

**特別企画3-1 研修医・専攻医セッション1****当院における治療目的別にみたバルーン閉塞下逆行性塞栓術 (BRTO) の検討**岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>岐阜市民病院病理診断部<sup>2</sup>岐阜市民病院中央検査部<sup>3</sup>下城 宏太<sup>1</sup> 河内 隆宏<sup>1</sup> 高木 暁広<sup>1</sup>田尻下聡子<sup>1</sup> 奥野 充<sup>1</sup> 小木曾富生<sup>1</sup>向井 強<sup>1</sup> 杉山 昭彦<sup>1</sup> 西垣 洋一<sup>1</sup>加藤 則廣<sup>1</sup> 富田 栄一<sup>1</sup> 渡部 直樹<sup>2</sup>内木 隆文<sup>3</sup>

第57回 日本肝臓学会総会

2021年6月17日～18日 札幌

**特別企画3-1 研修医・専攻医セッション1****レンバチニブによりconversion therapyが可能となった巨大HCCの1例**岐阜市民病院 初期臨床研修センター<sup>1</sup>岐阜市民病院 消化器内科<sup>2</sup>岐阜市民病院 中央検査部<sup>3</sup>岐阜市民病院 病理診断科部<sup>4</sup>犬飼 将旭<sup>1</sup> 林 秀樹<sup>2</sup> 高木 暁広<sup>2</sup>奥野 充<sup>2</sup> 河内 隆宏<sup>2</sup> 小木曾富生<sup>2</sup>向井 強<sup>2</sup> 杉山 昭彦<sup>2</sup> 西垣 洋一<sup>2</sup>加藤 則廣<sup>2</sup> 富田 栄一<sup>2</sup> 内木 隆文<sup>3</sup>渡部 直樹<sup>4</sup>

第57回 日本肝臓学会総会

2021年6月17日～18日 札幌

**特別企画3-1 研修医・専攻医セッション1****当院における症候性肝嚢胞に対するエタノール硬化療法に関する検討**岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>岐阜市民病院病理診断科<sup>2</sup>岐阜市民病院中央検査部<sup>3</sup>

小林 立樹<sup>1</sup> 河内 隆宏<sup>1</sup> 高木 暁広<sup>1</sup>  
 田尻下聡子<sup>1</sup> 奥野 充<sup>1</sup> 小木曾富生<sup>1</sup>  
 林 秀樹<sup>1</sup> 向井 強<sup>1</sup> 杉山 昭彦<sup>1</sup>  
 西垣 洋一<sup>1</sup> 加藤 則廣<sup>1</sup> 富田 栄一<sup>1</sup>  
 渡部 直樹<sup>2</sup> 内木 隆文<sup>3</sup>

第57回 日本肝臓学会総会  
 2021年6月17日～18日 札幌

### 特別企画3-2 研修医・専攻医セッション2

#### 当院における門脈圧亢進症に伴う難治性腹水に対する腹腔静脈 (P-V) シャントの検討

岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>  
 岐阜市民病院病理診断科部<sup>2</sup>  
 岐阜市民病院中央検査部<sup>3</sup>

川出 真史<sup>1</sup> 河内 隆宏<sup>1</sup> 高木 暁広<sup>1</sup>  
 田尻下聡子<sup>1</sup> 奥野 充<sup>1</sup> 小木曾富生<sup>1</sup>  
 林 秀樹<sup>1</sup> 向井 強<sup>1</sup> 杉山 昭彦<sup>1</sup>  
 西垣 洋一<sup>1</sup> 加藤 則廣<sup>1</sup> 富田 栄一<sup>1</sup>  
 渡部 直樹<sup>2</sup> 内木 隆文<sup>3</sup>

第57回 日本肝臓学会総会  
 2021年6月17日～18日 札幌

### 口演6 C型肝炎 (治療・予後) 2 腎機能低下例におけるDAA製剤の治療成績および長期予後の検討

岐阜市民病院中央検査部<sup>1</sup>  
 岐阜市民病院消化器内科<sup>2</sup>  
 岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>3</sup>  
 松波総合病院消化器内科<sup>4</sup>  
 高山赤十字病院消化器内科<sup>5</sup>  
 朝日大学病院消化器内科<sup>6</sup>  
 岐阜大学医学部附属病院消化器病態学<sup>7</sup>

内木 隆文<sup>1</sup> 西垣 洋一<sup>2</sup> 富田 栄一<sup>2</sup>  
 清水 省吾<sup>3</sup> 杉原 潤一<sup>4</sup> 白子 順子<sup>5</sup>  
 大洞 昭博<sup>6</sup> 末次 淳<sup>7</sup> 清水 雅仁<sup>7</sup>

第57回 日本肝臓学会総会  
 2021年6月17日～18日 札幌

### 口演17 肝癌 臨床7 当院における高齢者に発生した肝細胞癌に対する定位放射線治療の検討

岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>  
 岐阜市民病院病理診断科部<sup>2</sup>  
 岐阜市民病院中央検査部<sup>3</sup>

河内 隆宏<sup>1</sup> 西垣 洋一<sup>1</sup> 高木 暁広<sup>1</sup>

田尻下聡子<sup>1</sup> 奥野 充<sup>1</sup> 小木曾富生<sup>1</sup>  
 林 秀樹<sup>1</sup> 向井 強<sup>1</sup> 杉山 昭彦<sup>1</sup>  
 加藤 則廣<sup>1</sup> 富田 栄一<sup>1</sup> 渡部 直樹<sup>2</sup>  
 内木 隆文<sup>3</sup>

第57回 日本肝臓学会総会  
 2021年6月17日～18日 札幌

### ミニオーラル11 脂肪性肝疾患 NAFLDの線維化診断における超音波エラストグラフィの有用性についての検討

岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>  
 岐阜市民病院中央検査部<sup>2</sup>  
 岐阜市民病院病理診断科部<sup>3</sup>

林 秀樹<sup>1</sup> 西垣 洋一<sup>1</sup> 富田 栄一<sup>1</sup>  
 高木 暁広<sup>1</sup> 奥野 充<sup>1</sup> 河内 隆宏<sup>1</sup>  
 小木曾富生<sup>1</sup> 向井 強<sup>1</sup> 杉山 昭彦<sup>1</sup>  
 加藤 則廣<sup>1</sup> 内木 隆文<sup>2</sup> 渡部 直樹<sup>3</sup>

第57回 日本肝臓学会総会  
 2021年6月17日～18日 札幌

### Discussion Part

#### 症例提示1 「ジャヌビカ投与後に造血幹細胞移植を施行した二次性骨髄線維症の症例」

岐阜市民病院 血液内科  
 生駒 良和

Meet the Expert of NPN  
 2021年6月18日 Web

### 講演2 「Ph+ALLにおけるポナチニブ使用経験からの考案」

岐阜市民病院 血液内科部長  
 笠原 千嗣

Hematology Web Seminar～Ph+ALL治療におけるポナチニブのポジショニングを考える～  
 2021年7月6日 Web

### 一般演題5

#### 「当院における消化器悪性腫瘍に対する免疫チェックポイント阻害薬使用例の検討」

1)岐阜市民病院 消化器内科  
 2)岐阜市民病院 外科

小木曾富生<sup>1)</sup> 下城 宏太<sup>1)</sup> 岩佐 太誠<sup>1)</sup>  
 小居 幹太<sup>1)</sup> 大橋 洋祐<sup>1)</sup> 岩田 翔太<sup>1)</sup>  
 岩佐 悠平<sup>1)</sup> 田尻下聡子<sup>1)</sup> 奥野 充<sup>1)</sup>

河内 隆宏<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 林 秀樹<sup>1)</sup>  
 杉山 昭彦<sup>1)</sup> 西垣 洋一<sup>1)</sup> 山田 誠<sup>2)</sup>  
 富田 栄一<sup>1)</sup>  
 第59回岐阜県消化器内視鏡フォーラム  
 2021年7月8日 岐阜

### 基調講演「移植非適応多発性骨髄腫に対する取り組み」

岐阜市民病院 血液内科 副部長  
 北川 順一  
 NINLARO Web Seminar in GIFU  
 2021年7月8日 Web

### 一般演題 (口演A)

#### 病院運営：モチベーション向上/組織運営

#### Web formを利用したサクスカード活動の報告

岐阜市民病院  
 柴田 悠平 小森 美幸 笠原 千嗣  
 篠田 邦大 笠原 千嗣 山田 誠  
 太田宗一郎 富田 栄一  
 第23回医療マネジメント学会総会  
 2021年7月15日～30日 Web

### 基調講演「再発・難治性DLBCLにおける造血幹細胞移植の位置づけ」

岐阜市民病院 血液内科部長・血液腫瘍センター長  
 笠原 千嗣  
 Chugai Lymphoma Seminar in Gifu ポライビー発売講演会  
 2021年7月16日 Web

### ミニレクチャー 「GVHD腸炎の内視鏡像」

岐阜市民病院 消化器内科  
 小木曾富生  
 第589回東海胃腸疾患研究会  
 2021年7月16日 Web

### 一般演題3)

#### 短期入院での症候性肝のう胞硬化術の試み

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>,  
 同 血液内科<sup>2)</sup>,

岐阜市民病院 中央検査部<sup>3)</sup>  
 同 病理診断科部<sup>4)</sup>

下城 宏太<sup>1)</sup> 岩佐 太誠<sup>1)</sup> 小居 幹太<sup>1)</sup>  
 大橋 洋祐<sup>1)</sup> 岩田 翔太<sup>1)</sup> 岩佐 悠平<sup>1)</sup>  
 田尻下聡子<sup>1)</sup> 奥野 充<sup>1)</sup> 河内 隆宏<sup>1)</sup>  
 小木曾富生<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 林 秀樹<sup>1)</sup>  
 杉山 昭彦<sup>1)</sup> 西垣 洋一<sup>1)</sup> 富田 栄一<sup>1)</sup>  
 後藤 貴之<sup>2)</sup> 早瀬 直輝<sup>2)</sup> 生駒 良和<sup>2)</sup>  
 柴田 悠平<sup>2)</sup> 北川 順一<sup>2)</sup> 笠原 千嗣<sup>2)</sup>  
 内木 隆文<sup>3)</sup> 渡部 直樹<sup>4)</sup>

第38回岐阜大学医学部第一内科学教室同門会夏期例会プログラム  
 2021年7月18日 岐阜

### 一般演題3 化学療法(3)

#### 当科における進行肝細胞癌に対するラムシルマブの有用性と安全性についての検討

#### Usefulness and safety of ramucirumab therapy in patients with advanced hepatocellular carcinoma in our hospital

岐阜市民病院消化器内科

林 秀樹 西垣 洋一 河内 隆宏  
 伊藤 有紀 高木 暁広 岩田 翔太  
 手塚 隆一 奥野 充 小木曾富生  
 向井 強 杉山 昭彦 加藤 則廣  
 富田 栄一

第57回日本肝癌研究会  
 2021年7月22日～23日 鹿児島

### Discussion Part

#### 『高齢者のMM治療について』

岐阜市民病院 血液内科  
 後藤 貴之

Tokai Young Hematologic Conference  
 2021年7月29日 Web

### ディスカッション

岐阜市民病院 血液内科 部長  
 笠原 千嗣

Tokai Young Hematologist Conference  
 2021年7月29日 Web

### Discussion Part

#### 症例提示1 「ネフローゼを契機に診断されたALアミロイドーシスの症例」

岐阜市民病院 血液内科

生駒 良和

DARZQURO® Update Meeting

2021年9月4日 Zoom

### 講演「FLT3変異陽性AMLの治療戦略」

岐阜市民病院 血液内科部長

笠原 千嗣

AML Expert Meeting in Fukushima

2021年9月14日 Web

### パネルディスカッション2「切除可能膵癌に対する周術期治療の現状と問題点」 閉塞性黄疸を伴う膵癌に対する術前胆道 ドレナージの有用性

岐阜大学医学部附属病院第一内科<sup>1</sup>

岐阜市民病院消化器内科<sup>2</sup>

岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>3</sup>

市川 広直<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>1</sup> 岩佐 悠平<sup>1</sup>

上村 真也<sup>1</sup> 岩田 翔太<sup>2</sup> 手塚 隆一<sup>2</sup>

奥野 充<sup>2</sup> 向井 強<sup>2</sup> 吉田 健作<sup>3</sup>

丸田 明範<sup>3</sup> 岩田 圭介<sup>3</sup> 清水 雅仁<sup>1</sup>

第52回日本膵臓学会大会

2021年9月22～23日 東京

### ワークショップ4「膵癌早期発見の工夫 と取り組み」

#### 早期膵癌発見における病理診断能改善を 目的とした膵液セルブロック法

岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>

岐阜市民病院病理診断科<sup>2</sup>

奥野 充<sup>1</sup> 渡部 直樹<sup>2</sup> 向井 強<sup>1</sup>

岩田 翔太<sup>1</sup> 手塚 隆一<sup>1</sup> 富田 栄一<sup>1</sup>

第52回日本膵臓学会大会

2021年9月22～23日 東京

### 一般演題（口演）9 嚢胞性疾患1 IPMNの壁在結節の診断における造影EUS の有用性についての検討

岐阜大学医学部附属病院第一内科<sup>1</sup>

岐阜県総合医療センター<sup>2</sup>

岩佐 悠平<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>1</sup> 清水 雅仁<sup>1</sup>

市川 広直<sup>1</sup> 上村 真也<sup>1</sup> 岩田 圭介<sup>2</sup>

吉田 健作<sup>2</sup> 丸田 明範<sup>2</sup>

第52回日本膵臓学会大会

2021年9月22～23日 東京

### 一般演題（口演）15

#### 慢性膵炎，メディカルスタッフ 膵石症に対するESWLとPOPS治療の比較 検討

岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>1</sup>

岐阜大学医学部附属病院第一内科<sup>2</sup>

岐阜市民病院消化器内科<sup>3</sup>

丸田 明範<sup>1</sup> 吉田 健作<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>2</sup>

岩田 圭介<sup>1</sup> 向井 強<sup>3</sup> 清水 雅仁<sup>2</sup>

第52回日本膵臓学会大会

2021年9月22～23日 東京

### 一般演題（口演）26 症例（膵炎）

#### 膵頭部主膵管内膵石に対してEUS下胃膵 管ステント留置後にESWLにて膵石が消 失した1例

岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>

奥野 充<sup>1</sup> 手塚 隆一<sup>1</sup> 向井 強<sup>1</sup>

第52回日本膵臓学会大会

2021年9月22～23日 東京

### 一般演題（口演）32 自己免疫性膵炎1

#### 自己免疫性膵炎に対するステロイド治療 症例における再燃の予測因子についての 検討

岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>1</sup>

吉田 健作<sup>1</sup> 丸田 明範<sup>1</sup> 岩田 圭介<sup>1</sup>

第52回日本膵臓学会大会

2021年9月22～23日 東京

### Oral Session 1-6C Pathophysiology of MDS 3 [MDS 基礎/臨床：病態解析 3] Post-azacitidine clone size predicts long-term clinical outcome of patients with MDS and AML

#### MDS, AML に対するアザシチジン治療後 のクローンサイズは長期予後を予測する

Yasuhiro Nannya<sup>1</sup>, Tobiasson Magnus<sup>2</sup>,

Shinya Sato<sup>3,4</sup>, Bernard Elsa<sup>5</sup>,

Shigeki Ohtake<sup>6</sup>, June Takeda<sup>1</sup>,

Lanryng Zhao<sup>1</sup>, Manabu Kusakabe<sup>7</sup>,

Yuhei Shibata<sup>8</sup>, Nobuhiko Nakamura<sup>9</sup>,

Mizuki Watanabe<sup>10</sup>, Nobuhiro Hiramoto<sup>11</sup>,

Yusuke Shiozawa<sup>1</sup>, Yuichi Shiraiishi<sup>12</sup>,

Hideki Makishima<sup>1</sup>, Masahiro Nakagawa<sup>1</sup>,

Masataka Taguchi<sup>13</sup>, Toru Kiguchi<sup>14</sup>,  
 Kazuma Ohyashiki<sup>15</sup>, Takayuki Ishikawa<sup>11</sup>,  
 Akifumi Takaori-Kondo<sup>10</sup>, Hisashi Tsurumi<sup>9</sup>,  
 Senji Kasahara<sup>8</sup>, Shigeru Chiba<sup>7</sup>,  
 Tomoki Naoe<sup>4, 16</sup>, Satoru Miyano<sup>17</sup>,  
 Papaemanuil Elli<sup>5</sup>, Yasushi Miyazaki<sup>3, 4</sup>,  
 Lindberg Eva<sup>2</sup>, Seishi Ogawa<sup>1, 18, 19</sup>

Department of Pathology and Tumor Biology,  
 Kyoto University, Kyoto, Japan<sup>1</sup>,

Division of Hematology, Karolinska University  
 Hospital, Stockholm, Sweden.<sup>2</sup>,

Department of Hematology, Nagasaki University,  
 Nagasaki, Japan<sup>3</sup>,

Japan Adult Leukemia Study Group, Japan<sup>4</sup>,  
 Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New  
 York, NY, USA<sup>5</sup>,

Kanazawa University, Kanazawa, Japan<sup>6</sup>,

Department of Hematology, University of  
 Tsukuba, Tsukuba, Japan<sup>7</sup>,

Department of Hematology, Gifu Municipal  
 Hospital, Gifu, Japan<sup>8</sup>,

Department of Hematology, Gifu University,  
 Gifu, Japan<sup>9</sup>,

Department of Hematology, Kyoto University  
 Hospital, Kyoto, Japan<sup>10</sup>,

Department of Hematology, Kobe City Medical  
 Center, Hyogo, Japan<sup>11</sup>,

Division of Cellular Signaling, NCCR, Tokyo,  
 Japan<sup>12</sup>,

Department of Hematology, Sasebo City General  
 Hospital, Nagasaki, Japan<sup>13</sup>,

Department of Hematology, Chugoku Central  
 Hospital, Hiroshima, Japan<sup>14</sup>,

Department of Hematology, Tokyo Medical  
 University, Tokyo, Japan<sup>15</sup>,

Nagoya Medical Center, Aichi, Japan<sup>16</sup>,

M&D Data Science Center, TMDU, Tokyo,  
 Japan<sup>17</sup>,

WPI-ASHBi, Kyoto University, Kyoto, Japan<sup>18</sup>,

Center for Hematology and Regenerative  
 Medicine, Karolinska Institute, Stockholm,  
 Sweden<sup>19</sup>

第83回日本血液学会学術集会

2021年9月23日～25日 Web

Oral Session 1-6C Pathophysiology of  
 MDS 3 [MDS 基礎/臨床：病態解析 3]  
 ETNK1 mutations defines a subclass of  
 der (1;7) (q10;p10) in myelodysplastic

syndromes

ETNK1 変異の有無を特徴とする der  
 (1;7) (q10;p10) を伴う骨髄異形成症候  
 群

Rurika Okuda<sup>1</sup>, Yasuhito Nannya<sup>1</sup>,  
 Yotaro Ochi<sup>1</sup>, Kazuhisa Chonabayashi<sup>12,13</sup>,  
 Hideki Makishima<sup>1</sup>, Tetsuichi Yoshizato<sup>1</sup>,  
 Yasunobu Nagata<sup>1</sup>, June Takeda<sup>1</sup>,  
 Kenichi Yoshida<sup>1</sup>, Masashi Sanada<sup>1, 2</sup>,  
 Ayana Kon<sup>1</sup>, Yuichi Shiraishi<sup>3</sup>,  
 Satoru Miyano<sup>3, 4</sup>, Yoshiko Atsuta<sup>5</sup>,  
 Senji Kasahara<sup>6</sup>, Hiroshi Handa<sup>7</sup>,  
 Shigeru Chiba<sup>8</sup>, Kazuma Ohyashiki<sup>9</sup>,  
 Yoshinori Yoshida<sup>12</sup>, Seishi Ogawa<sup>1, 10, 11</sup>

Department of Pathology and Tumor Biology,  
 Kyoto University, Kyoto, Japan<sup>1</sup>,

National Hospital Organization Nagoya Medical  
 Center, Japan<sup>2</sup>,

Laboratory of Sequence Data Analysis, The  
 University of Tokyo, Japan<sup>3</sup>,

Laboratory of DNA Information Analysis, The  
 University of Tokyo, Japan<sup>4</sup>,

The Japanese Data Center for Hematopoietic  
 Cell Transplantation<sup>5</sup>,

Department of Hematology, Gifu Municipal  
 Hospital, Gifu, Japan<sup>6</sup>,

Department of Hematology, Gunma University  
 Graduate School of Medicine<sup>7</sup>,

Department of Hematology, University of  
 Tsukuba, Ibaraki, Japan<sup>8</sup>,

Tokyo Medical University, Tokyo, Japan<sup>9</sup>,

WPI-ASHBi, Kyoto University, Kyoto, Japan<sup>10</sup>,

Department of Medicine, Karolinska Institute,  
 Stockholm, Sweden<sup>11</sup>,

Center for iPS Research and Application, Kyoto  
 University, Kyoto<sup>12</sup>,

Department of Hematology and Oncology, Kyoto  
 University, Kyoto<sup>13</sup>

第83回日本血液学会学術集会

2021年9月23日～25日 Web

Oral Session 1-6D Pathophysiology of  
 MDS 4 [MDS 基礎/臨床：病態解析 4]  
 Myeloid neoplasms with germline and so-  
 matic DDX41 mutations  
 骨髄腫瘍における DDX41 胚細胞性およ  
 び体細胞性変異陽性

Hideki Makishima<sup>1</sup>, Yasuhito Nannya<sup>1</sup>,

June Takeda<sup>1</sup>, Yukihide Momozawa<sup>2</sup>,  
 Tetsuichi Yoshizato<sup>1 16</sup>, Carmelo Gurunari<sup>3</sup>,  
 Yoshiko Atsuta<sup>4</sup>, Ryunosuke Saiki<sup>1</sup>,  
 Kenichi Yoshida<sup>1</sup>, Makoto Onizuka<sup>5</sup>,  
 Masahiro Nakagawa<sup>1</sup>, Yoshinobu Kanda<sup>6</sup>,  
 Yasushi Miyazaki<sup>7</sup>, Masashi Sanada<sup>8</sup>,  
 Hisashi Tsurumi<sup>9</sup>, Senji Kasahara<sup>10</sup>,  
 Akifumi Takaori-Kondo<sup>11</sup>, Kazuma Ohyashiki<sup>12</sup>,  
 Toru Kiguchi<sup>13</sup>, Fumihiko Matsuda<sup>14</sup>,  
 Joop Jansen<sup>15</sup>, Eva Lindberg<sup>16</sup>,  
 Chantana Polprasert<sup>17</sup>, Luca Malcovati<sup>18</sup>,  
 Mario Cazzola<sup>18</sup>, Torsten Haferlach<sup>19</sup>,  
 Jaroslaw Maciejewski<sup>3</sup>, Yoichiro Kamatani<sup>2</sup>,  
 Satoru Miyano<sup>20</sup>, Seishi Ogawa<sup>1 16</sup>

Pathology and Tumor Biology, Kyoto University,  
 Japan<sup>1</sup>,

Center for Integrative Medical Sciences (IMS),  
 RIKEN, Yokohama, Japan<sup>2</sup>,

Cleveland Clinic, Cleveland, USA<sup>3</sup>,

Nagoya University, Nagoya, Japan<sup>4</sup>,

Tokai University, Isehara, Japan<sup>5</sup>,

Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan<sup>6</sup>,

Nagasaki University, Nagasaki, Japan<sup>7</sup>,

Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan<sup>8</sup>,

Gifu University, Gifu, Japan<sup>9</sup>,

Gifu Municipal Hospital, Gifu, Japan<sup>10</sup>,

Department of Hematology, Kyoto University,  
 Kyoto, Japan<sup>11</sup>,

Tokyo Medical University, Tokyo, Japan<sup>12</sup>,

Chugoku Central Hospital, Fukuyama, Japan<sup>13</sup>,

Center for Genomic Medicine, Kyoto University,  
 Kyoto, Japan<sup>14</sup>,

Radboud University, Nijmegen, Netherland<sup>15</sup>,

Karolinska University, Stockholm, Sweden<sup>16</sup>,

Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand<sup>17</sup>,

University of Pavia, Pavia, Italy<sup>18</sup>,

Munich Leukemia Laboratory, Munich, Germany<sup>19</sup>,

Tokyo Medical and Dental University, Tokyo,  
 Japan<sup>20</sup>

第83回日本血液学会学術集会

2021年9月23日～25日 Web

**Oral Session 3-7D Pathophysiology of  
 MDS 2 [MDS 基礎/臨床：病態解析 2]  
 Prognostic impact of FIM score in MDS  
 patients treated with AZA**

**AZA で治療された MDS 患者における  
 FIM score の予後に与える影響の検討**

Yuhei Shibata<sup>1</sup>, Tatsuro Nakae<sup>2</sup>,

Makiko Kobayashi<sup>2</sup>, Takayuki Goto<sup>1</sup>,

Naoki Hayase<sup>1</sup>, Yoshikazu Ikoma<sup>1</sup>,

Junichi Kitagawa<sup>1</sup>, Yusuke Sasaki<sup>2</sup>,

Senji Kasahara<sup>1</sup>, Hisashi Tsurumi<sup>3</sup>

Dept. Hematol., Gifu Muni. Hosp., Gifu, Japan<sup>1</sup>,

Dept. Rehab., Gifu Muni. Hosp., Gifu, Japan<sup>2</sup>,

Dept. Hematol., Matsunami Gene. Hosp., Gifu,  
 Japan<sup>3</sup>

第83回日本血液学会学術集会

2021年9月23日～25日 Web

**Oral Session 3-11B Fungal Infection  
 [真菌感染症]**

**Efficacy and safety of posaconazole in  
 allogenic hematopoietic stem cell transplantation  
 同種造血幹細胞移植におけるポサコナゾール  
 の有効性と安全性の検討**

Junichi Kitagawa<sup>1</sup>, Takayuki Goto<sup>1</sup>,

Naoki Hayase<sup>1</sup>, Tomoaki Hirate<sup>1 2</sup>,

Ikko Oshiro<sup>1 2</sup>, Yoshikazu Ikoma<sup>1</sup>,

Yuhei Shibata<sup>1</sup>, Naoe Goto<sup>1</sup>,

Senji Kasahara<sup>1</sup>, Hisashi Tsurumi<sup>3</sup>

Hematol., Gifu Muni. Hosp., Gifu, Japan<sup>1</sup>,

Pediatrics, Gifu Muni. Hosp., Gifu, Japan<sup>2</sup>,

Hematol., Matsunami General Hosp., Gifu, Japan<sup>3</sup>

第83回日本血液学会学術集会

2021年9月23日～25日 Web

**Poster Session 5 FLT3-Mutated AML  
 [AML : FLT3 遺伝子変異]**

**A case of AML with FLT3-ITD mutation  
 successfully bridged twice by FLT3 inhibitors  
 FLT3 阻害薬により2度のBridgingに成  
 功した FLT3-ITD 遺伝子変異を有する急  
 性骨髄性白血病の一例**

Naoki Hayase, Takayuki Goto,

Yoshikazu Ikoma, Yuhei Shibata,

Junichi Kitagawa, Naoe Goto,

Senji Kasahara

Department of Hematology. Gifu Municipal  
 Hospital, Gifu, Japan

第83回日本血液学会学術集会

2021年9月23日～25日 Web

**Poster Session 52 COVID-19/Others  
 [COVID-19/その他]**

**Clinical course of COVID-19 in hematological**

**malignancy patients in our institution  
当施設における血液腫瘍患者の COVID-19 臨床経過**

Yoshikazu Ikoma<sup>1</sup>, Takayuki Goto<sup>1</sup>,  
Naoki Hayase<sup>1</sup>, Yuhei Shibata<sup>1</sup>,  
Junichi Kitagawa<sup>1</sup>, Senji Kasahara<sup>1</sup>,  
Hisashi Tsurumi<sup>2</sup>

Department of Hematology, Gifu Municipal hospital, Japan<sup>1</sup>,

Department of Hematology, Matsunami General Hospital<sup>2</sup>

第83回日本血液学会学術集会

2021年9月23日～25日 Web

**Interventional EUS～最新治療とトラブルシューティング～**

岐阜市民病院 消化器内科

奥野 充

第4回東海胆膵内視鏡研究会

2021年10月1日 Web

**シンポジウム1**

**胆道内視鏡・胆道ドレナージの最前線  
術後再建腸管症例の悪性遠位胆管閉塞に  
対するEUS下順行性治療と経皮的治療の  
比較検討**

岐阜大学 第一内科<sup>1</sup>

岐阜市民病院 消化器内科<sup>2</sup>

岩下 拓司<sup>1</sup> 岩田 圭介<sup>2</sup> 清水 雅仁<sup>1</sup>

第57回日本胆道学会学術集会

2021年10月7日～8日 東京

**ワークショップ1 難治性総胆管結石症  
とMirizzi症候群に対する治療戦略  
術後再建腸管症例の総胆管結石治療にお  
けるEUSガイド下順行性治療 vs balloon  
endoscopy-assisted ERCPの比較検討**

岐阜大学 第1内科<sup>1</sup>

岩佐 悠平<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>1</sup> 清水 雅仁<sup>1</sup>

第57回日本胆道学会学術集会

2021年10月7日～8日 東京

**一般演題 口演1 乳頭部切除1  
内視鏡的乳頭切除術の予後に関する検討**

岐阜大学 第1内科<sup>1</sup>

岐阜市民病院 消化器内科<sup>2</sup>

岐阜県総合医療センター 消化器内科<sup>3</sup>

市川 広直<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>1</sup> 岩佐 悠平<sup>1</sup>

上村 真也<sup>1</sup> 岩田 翔太<sup>2</sup> 手塚 隆一<sup>2</sup>

奥野 充<sup>2</sup> 向井 強<sup>2</sup> 吉田 健作<sup>3</sup>

丸田 明範<sup>3</sup> 岩田 圭介<sup>3</sup> 清水 雅仁<sup>3</sup>

第57回日本胆道学会学術集会

2021年10月7日～8日 東京

**一般演題 口演24 肝門部胆管癌1  
肝門部領域胆管癌の表層進展度診断にお  
ける経乳頭的mapping biopsyは有用か**

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1</sup>

奥野 充<sup>1</sup> 手塚 隆一<sup>1</sup> 向井 強<sup>1</sup>

第57回日本胆道学会学術集会

2021年10月7日～8日 東京

**ディスカッション**

岐阜市民病院 消化器内科医員

岩田 翔太

岐阜県総合医療センター 外科医長

岩田 至紀

Colorectal Cancer Web Conference in Gifu

2021年10月12日 Web

**講演1 「ixazomibの使い方～いままでと  
これから」**

岐阜市民病院 血液内科 部長

笠原 千嗣

骨髄腫の維持療法を考える In 浜松

2021年10月14日 浜松

**「抗凝固・抗血小板療法における消化管  
傷害のマネジメント」**

岐阜市民病院 消化器内科 部長

杉山 昭彦

CVIT第45回東海北陸地方会ランチョンセミナー

2021年10月17日 Web

**パネルディスカッション 「Unfit AMLに  
おけるベネトクラクスの位置付け」**

岐阜市民病院 血液内科部長

笠原 千嗣

BCL-2 Inhibitor Web Seminar in Gifu

2021年10月29日 Web

### 招待講演 「日本における骨髓異形成症候群に対する臍帯血移植の現状」

岐阜市民病院 血液内科部長  
笠原 千嗣  
中国杭州血液学会学術集会  
2021年10月30日 Web

### 消化器1

#### 経カテーテル動脈塞栓術(TAE)にて救命しえた右胃動脈瘤破裂の1例

岐阜市民病院消化器内科  
大橋 洋祐 林 秀樹 岩佐 太誠  
奥野 充 河内 隆宏 小木曾富生  
岩田 圭介 杉山 昭彦 西垣 洋一  
富田 栄一  
第245回日本内科学会東海地方会  
2021年10月31日 Web

### 消化器3

#### アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法中に出現した肝障害の鑑別診断に苦慮した進行肝細胞癌の1例

岐阜市民病院消化器内科  
小居 幹太 林 秀樹 下城 宏太  
岩田 翔太 岩佐 悠平 田尻下聡子  
杉山 昭彦 西垣 洋一 富田 栄一  
同 病理診断科  
渡部 直樹  
第245回日本内科学会東海地方会  
2021年10月31日 Web

### 血液3

#### 臍帯血移植後に発症したネフローゼ症候群に対し、LDLアフェレーシスを施行した1例

岐阜市民病院血液内科  
福富 惇 北川 順一 後藤 貴之  
早瀬 直輝 生駒 良和 柴田 悠平  
笠原 千嗣  
同 腎臓内科  
木村 行宏  
第245回日本内科学会東海地方会  
2021年10月31日 Web

### テーマ：結石治療に関して 「総胆管結石治療におけるデバイス選択」

岐阜市民病院  
岩田 圭介  
メディコスヒラタ Web Conference  
2021年11月2日 Web

### シンポジウム4

#### (消化器内視鏡学会・消化器病学会)

#### IgG4関連疾患の消化器内視鏡による診断と治療

#### 自己免疫性膵炎診断におけるEUS-FNAの有用性

1)岐阜市民病院・消化器内科  
2)岐阜大附属病院・消化器内科  
岩田 翔太<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>2</sup> 向井 強<sup>1</sup>  
JDDW2021  
2021年11月4日～7日 神戸

### パネルディスカッション13

#### (消化器病学会・肝臓学会)

#### 抗ウイルス治療は肝硬変の予後をどこまで改善したか？

#### 肝硬変症例におけるDAA製剤の長期予後の検討

1)岐阜市民病院・中央検査部  
2)岐阜県総合医療センター・消化器内科  
3)岐阜大大学院・消化器内科学  
内木 隆文<sup>1</sup> 清水 省吾<sup>2</sup> 末次 淳<sup>3</sup>  
JDDW2021  
2021年11月4日～7日 神戸

### デジタルポスターセッション内20

#### (消化器内視鏡学会)

#### 胆道・胆管 (胆道鏡・その他)

#### 内視鏡的乳頭切除術の安全性についての検討

1)岐阜大附属病院・消化器内科  
2)岐阜市民病院・消化器内科  
3)岐阜県総合医療センター・消化器内科  
市川 広直<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>1</sup> 岩佐 悠平<sup>1</sup>  
上村 真也<sup>1</sup> 岩田 翔太<sup>2</sup> 手塚 隆一<sup>2</sup>  
奥野 充<sup>2</sup> 向井 強<sup>2</sup> 吉田 健作<sup>3</sup>  
丸田 明範<sup>3</sup> 岩田 圭介<sup>3</sup> 清水 雅仁<sup>1</sup>  
JDDW2021  
2021年11月4日～7日 神戸

## デジタルポスターセッション内23

(消化器内視鏡学会)

膵臓 (診断・その他1)

深層学習を用いた造影超音波内視鏡画像  
に対する膵腫瘍自動抽出の検討

- 1)岐阜大附属病院・1内科
- 2)岐阜大・工学部電気電子・情報工学科  
岩佐 悠平<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>1</sup> 原 武史<sup>2</sup>  
清水 雅仁<sup>1</sup> 上村 真也<sup>1</sup> 市川 広直<sup>1</sup>  
竹内 祐慈<sup>2</sup>

JDDW2021

2021年11月4日～7日 神戸

デジタルポスターセッション肝12 (肝臓  
学会)

肝癌・薬物療法1

当科における進行肝細胞癌に対するアテ  
ゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の有  
用性と安全性についての検討

- 1)岐阜市民病院・消化器内科
- 2)岐阜市民病院・中央検査部
- 3)岐阜市民病院・病理検査  
林 秀樹<sup>1</sup> 西垣 洋一<sup>1</sup> 富田 栄一<sup>1</sup>  
河内 隆宏<sup>1</sup> 高木 暁広<sup>1</sup> 奥野 充<sup>1</sup>  
小木曾富生<sup>1</sup> 向井 強<sup>1</sup> 杉山 昭彦<sup>1</sup>  
加藤 則廣<sup>1</sup> 内木 隆文<sup>2</sup> 渡部 直樹<sup>3</sup>

JDDW2021

2021年11月4日～7日 神戸

## デジタルポスターセッション消34

(消化器病学会)

胃・十二指腸 (H.pylori) 1

当院における鳥肌胃炎症例の検討

- 1)岐阜市民病院 消化器内科  
小木曾富生<sup>1</sup> 伊藤 有紀<sup>1</sup> 高木 暁広<sup>1</sup>  
岩田 翔太<sup>1</sup> 手塚 隆一<sup>1</sup> 奥野 充<sup>1</sup>  
河内 隆弘<sup>1</sup> 向井 強<sup>1</sup> 林 秀樹<sup>1</sup>  
杉山 昭彦<sup>1</sup> 西垣 洋一<sup>1</sup> 加藤 則廣<sup>1</sup>  
富田 栄一<sup>1</sup>

JDDW2021

2021年11月4日～7日 神戸

## デジタルポスターセッション消35

(消化器病学会)

膵臓 (癌) 2

高齢者に対するmodified FOLFIRINOX療  
法の有効性及び安全性の検討

- 1)岐阜市民病院・消化器内科
- 2)岐阜大附属病院・1内科  
手塚 隆一<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>2</sup> 奥野 充<sup>1</sup>  
向井 強<sup>1</sup>

JDDW2021

2021年11月4日～7日 神戸

## デジタルポスターセッション消60

(消化器病学会)

胆道 (悪性腫瘍)

胆管癌進展度診断におけるmapping biops  
yの検討

- 1)岐阜市民病院・消化器内科  
奥野 充<sup>1</sup> 手塚 隆一<sup>1</sup> 向井 強<sup>1</sup>

JDDW2021

2021年11月4日～7日 神戸

## デジタルポスターセッション内56

(消化器内視鏡学会)

胆道・胆管 (胆嚢炎)

手術ハイリスク症例の急性胆嚢炎に対す  
る内視鏡的経乳頭的胆嚢ステント永久留  
置術の検討

- 1)岐阜県総合医療センター・消化器内科
- 2)岐阜大・1内科
- 3)岐阜市民病院・消化器内科  
丸田 明範<sup>1</sup> 吉田 健作<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>2</sup>  
岩田 圭介<sup>1</sup> 向井 強<sup>3</sup> 清水 雅仁<sup>2</sup>

JDDW2021

2021年11月4日～7日 神戸

Session2 「実臨床におけるFLT3変異陽性  
AML治療～FLT3阻害剤の使いどころ～」岐阜市民病院 血液内科部長  
笠原 千嗣

AML Web Seminar in Aichi

2021年11月5日 Web

## 教育演題

「若手医師を対象とした大腸内視鏡挿入  
方法」岐阜市民病院 消化器内視鏡部長  
小木曾富生

第5回Gastroenterology&Hepatology Seminar

2021年11月9日 岐阜

### 講演 I

『当院で経験したPoPH(門脈肺高血圧症)』

岐阜市民病院 肝臓内科 部長

林 秀樹

心肝連携を考えるWebセミナー

2021年11月12日 Web

### 基調講演

「医師から観た人間福祉とは？～つながりという視点から～」

岐阜市民病院 事業管理者

富田 栄一

第21回人間福祉学会

2021年11月27日 Web

### シンポジウム

テーマ 人間福祉の基底ー「つながり」

という視座からー

コメンテーター

岐阜市民病院 事業管理者

富田 栄一

第21回人間福祉学会

2021年11月27日 Web

### パネルディスカッション「再発/難治ALL治療Update Blinatumomabの活用法」

岐阜市民病院 血液内科部 副部長

北川 順一

BLINCYTO WEB Seminar in Gifu

2021年12月3日 岐阜

### シンポジウム2 胆膵疾患に対する内視鏡診断と治療

良性胆管空腸吻合部狭窄に対する治療の検討

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>

岐阜大学医学部付属病院 第一内科<sup>2)</sup>

岩佐 悠平<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup>

第64回日本消化器内視鏡学会東海支部例会

2021年12月4日 Web

### 一般演題

若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション 膵②

主膵管断裂を伴う外傷性膵損傷に対し内視鏡的膵管ドレナージにて外科的治療が回避可能であった一例

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>

岐阜市民病院 消化器外科<sup>2)</sup>

下城 宏太<sup>1)</sup> 奥野 充<sup>1)</sup> 岩佐 太誠<sup>1)</sup>

小居 幹太<sup>1)</sup> 大橋 洋祐<sup>1)</sup> 岩田 翔太<sup>1)</sup>

岩佐 悠平<sup>1)</sup> 田尻下聡子<sup>1)</sup> 河内 隆宏<sup>1)</sup>

小木曾富生<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 林 秀樹<sup>1)</sup>

杉山 昭彦<sup>1)</sup> 西垣 洋一<sup>1)</sup> 富田 栄一<sup>1)</sup>

佐々木義之<sup>2)</sup>

第64回日本消化器内視鏡学会東海支部例会

2021年12月4日 Web

### 一般演題 胆膵

術後膵管空腸吻合部狭窄に対しSpyGlassを用いドレナージに成功した1例

岐阜市民病院 消化器内科

岩田 翔太 岩田 圭介 奥野 充

岩佐 悠平 下城 宏太 岩佐 太誠

小居 幹太 大橋 洋祐 田尻下聡子

河内 隆宏 小木曾富生 林 秀樹

杉山 昭彦 西垣 洋一 富田 栄一

第64回日本消化器内視鏡学会東海支部例会

2021年12月4日 Web

### 講演1「再発を繰り返すCLL症例」

岐阜市民病院 血液内科

生駒 良和

IMBRUVICA Web講演会 in Gifu

2021年12月8日 Web

### シンポジウム4 NAFLDからMAFLDへー脂肪性肝疾患の新たなコンセプト形成に向けて

脂肪肝専門外来におけるMAFLD概念の実用性と課題

愛知医科大学内科学講座肝胆膵内科学<sup>1)</sup>

岐阜市民病院消化器内科<sup>2)</sup>

角田 圭雄<sup>1)</sup> 林 秀樹<sup>2)</sup> 米田 政志<sup>1)</sup>

第44回日本肝臓学会西部会

2021年12月9日～10日 岡山

### 一般演題14 肝硬変/門脈圧亢進症(2) 低栄養や筋量低下を伴う肝硬変患者に対する肝不全用経腸栄養剤の有用性についての検討

岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>

岐阜市民病院中央検査部<sup>2</sup>

岐阜市民病院病理診断部<sup>3</sup>

林 秀樹<sup>1</sup> 西垣 洋一<sup>1</sup> 富田 栄一<sup>1</sup>

小居 幹太<sup>1</sup> 大橋 洋祐<sup>1</sup> 田尻下聡子<sup>1</sup>

奥野 充<sup>1</sup> 河内 隆宏<sup>1</sup> 小木曾富生<sup>1</sup>

杉山 昭彦<sup>1</sup> 内木 隆文<sup>2</sup> 渡部 直樹<sup>3</sup>

第44回日本肝臓学会西部会

2021年12月9日～10日 岡山

### シンポジウム2

#### 『肝胆膵疾患診断・治療の最前線』 悪性胆道狭窄例における病理診断能と検体採取量の改善を目指した胆汁セルブロック法の検討

<sup>1</sup>岐阜市民病院 消化器内科

<sup>2</sup>岐阜市民病院病理診断科

奥野 充<sup>1</sup> 田中 卓司<sup>2</sup> 岩田 圭介<sup>1</sup>

日本消化器病学会東海支部第135回例会

2021年12月11日 名古屋

### 一般演題 膵臓1

#### 原発性肺癌との鑑別を要した腎細胞癌膵転移の1例

<sup>1</sup>岐阜市民病院消化器内科

<sup>2</sup>岐阜市民病院 泌尿器科

<sup>3</sup>岐阜市民病院病理診断科

大橋 洋祐<sup>1</sup> 岩田 圭介<sup>1</sup> 下城 宏太<sup>1</sup>

岩佐 太誠<sup>1</sup> 小居 幹太<sup>1</sup> 岩田 翔太<sup>1</sup>

岩佐 悠平<sup>1</sup> 奥野 充<sup>1</sup> 河内 隆宏<sup>1</sup>

小木曾富生<sup>1</sup> 林 秀樹<sup>1</sup> 杉山 昭彦<sup>1</sup>

西垣 洋一<sup>1</sup> 富田 栄一<sup>1</sup> 玉木 正義<sup>2</sup>

渡部 直樹<sup>3</sup> 田中 卓二<sup>3</sup>

日本消化器病学会東海支部第135回例会

2021年12月11日 名古屋

### ディスカッション 肝性脳症の治療方針と、肝疾患のトータルマネジメントについて

#### パネリスト

大垣市民病院 消化器内科部長

豊田 秀徳

岐阜県立総合医療センター 消化器内科部長

清水 省吾

岐阜市民病院 肝臓内科部長

林 秀樹

中濃厚生病院 消化器内科部長兼肝臓部長

白木 亮

県立多治見病院 消化器内科部長

奥村 文浩

あすか肝疾患WEB講演会in岐阜

2021年12月23日 Web

## 呼吸器内科

### 講演

#### テーマ：「呼吸器疾患 新型コロナウイルス感染症含む」「肺がん：診断から最新治療まで」

岐阜市民病院がん診療局長・肺腫瘍センター長

澤 祥幸

第42回岐阜県医師会メディカルセミナー

2021年1月17日 岐阜

#### ALK陽性肺がんの治療戦略

岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科

二村 洋平

Pfizer Lung Cancer Symposium

2021年2月16日 岐阜

#### テーマ：よりよいがん治療のために

岐阜市民病院がん診療局長

澤 祥幸

西日本がん研究機構市民公開講座「がん治療最善性—コロナ禍を乗り越えて—」

2021年2月28日 読売新聞社オンライン

#### がん患者アドボカシーとACP（人生会議）～がんのACPを理解し治療をうまくいかにさせるコツ

岐阜市民病院がん診療局長

澤 祥幸

岡山肺癌研究会2021

岡山市ANAクラウンプラザホテル

2021年3月5日

## 呼吸器内科からみた間質性肺疾患の実臨床

岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科

吉田 勉

OFEV Web Conference

2021年7月14日 岐阜市

## ALK融合遺伝子陽性肺がんに対する2nd-line以降の治療戦略

岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科

二村 洋平

ALUNBRIG発売記念web講演会

2021年7月16日 岐阜市

## 「ちょっぴり知っ得 肺がん治療とお金の話」

岐阜市民病院がん診療局長

澤 祥幸

日本肺癌学会市民公開講座「肺がんの最新のトピックス～みんなで学ぼう～2021 in 新潟」

2021年7月17日 新潟市 朱鷺メッセ

## 『エナジアの安全性と有効性 –エビデンスを中心に–』

岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科

吉田 勉

エナジア®発売1周年記念講演会 ショートレクチャー

2021年9月2日 岐阜市

## 病院勤務医が実践する在宅緩和ケア連携の工夫 –明日からでも出来ること–

岐阜市民病院 緩和医療センター、呼吸器・腫瘍内科

石黒 崇

がん・在宅緩和ケアWebセミナー

2021年9月7日 岐阜

## プログラム 『肺がん治療と仕事の両立支援 –働く患者さんのためにできること–』

病院ぐるみの両立支援の実際～病院から地域ぐるみへ～

岐阜市民病院がん診療局長

澤 祥幸

日本肺癌学会就労支援セミナー

2021年10月9日 東京都 AP日本橋

## 『実践・喘息治療 “コントロール不良時に考えること”』

岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科

吉田 勉

GSK asthma seminar テリルジーWeb講演会

2021年10月20日 岐阜市

## 総会

## 肺がん治療新時代における就労支援 ～あたりまえに働ける社会を目指して～

岐阜市民病院がん診療局長

澤 祥幸

第62回日本肺癌学会学術集会

教育研修委員会企画就労支援セッション

2021年11月27日 横浜市 パシフィコ横浜ノース

## 地方会

## シンポジウム1：COVID-19 と緩和ケア コロナ禍における緩和ケアチームリモート回診の経験

岐阜市民病院 緩和医療センター、呼吸器・腫瘍内科

石黒 崇

日本緩和医療学会 第3回東海・北陸支部学術大会

2021年10月9日

## 左胸痛で発見された縦隔リンパ腫と考えられる1例

岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科

井上 紀子 塚本 旭宏 二村 洋平

堀場あかね 石黒 崇 吉田 勉

澤 祥幸

第120回日本呼吸器学会東海地方会

2021年11月14日 WEB開催

## 講演

## ALK陽性肺がんの治療戦略

岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科

二村 洋平

Pfizer Lung Cancer Symposium

2021年2月16日 岐阜

### 呼吸器内科からみた間質性肺疾患の実臨床

岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科

吉田 勉

OFEV Web Conference

2021年7月14日 岐阜市

### ALK融合遺伝子陽性肺がんに対する2nd-line以降の治療戦略

岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科

二村 洋平

ALUNBRIG発売記念web講演会

2021年7月16日 岐阜

### 『エナジアの安全性と有効性 —エビデンスを中心に—』

岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科

吉田 勉

エナジア®発売1周年記念講演会 ショートレクチャー

2021年9月2日 岐阜市

### 病院勤務医が実践する在宅緩和ケア連携の工夫 —明日からでも出来ること—

岐阜市民病院 緩和医療センター、呼吸器・腫瘍内科

石黒 崇

がん・在宅緩和ケアWebセミナー

2021年9月7日 岐阜

### 『実践・喘息治療 “コントロール不良時に考えること”』

岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科

吉田 勉

GSK asthma seminar テリルジーWeb講演会

2021年10月20日 岐阜市

## 地方会

### シンポジウム 1：COVID-19 と緩和ケア コロナ禍における緩和ケアチームリモート回診の経験

岐阜市民病院 緩和医療センター、呼吸器・腫

瘍内科

石黒 崇

日本緩和医療学会 第3回東海・北陸支部学術大会

2021年10月9日

### 左胸痛で発見された縦隔リンパ腫と考えられる1例

岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科

井上 紀子 塚本 旭宏 二村 洋平

堀場あかね 石黒 崇 吉田 勉

澤 祥洋

第120回日本呼吸器学会東海地方会

2021年11月14日 WEB開催

## 整形外科

### 当科で行っている橈骨遠位端骨折の低侵襲手術（方形回内筋部分切離掌側ロッキングプレート固定術）

1岐阜市民病院 形成外科

2岐阜市民病院 整形外科

3世沢整形外科

大野 義幸<sup>1</sup> 杉山 貴彬<sup>2</sup> 平松 正弥<sup>2</sup>

世沢 さ胤<sup>3</sup>

第31回中部日本手外科研究会

2021年1月30日 名古屋

### 関節鏡視下尺骨鉤状突起骨折靱帯整復術をおこなった2症例

1岐阜市民病院 形成外科

2岐阜市民病院 整形外科

大野 義幸<sup>1</sup> 白井 之尋<sup>2</sup>

第33回日本肘関節学会学術集会

2021年2月12～13日 大阪

### 橈骨遠位端骨折の低侵襲手術（方形回内筋部分切離掌側ロッキングプレート固定術）

岐阜市民病院 形成外科

大野 義幸

第64回日本手外科学会学術集会

2021年4月22～23日 長崎

### X-core 2を使用した低侵襲前方椎体置

**換術**

1岐阜市民病院 整形外科

2岐阜大学 整形外科

加藤 皓己<sup>1</sup> 宮本 敬<sup>1</sup> 清水 克時<sup>1</sup>日置 暁<sup>2</sup>

第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会

2021年9月3～4日 京都

**先天性頸椎余剰椎による脊髄症に対し余剰椎切除を施行した1例**

岐阜市民病院 整形外科

加藤 皓己 宮本 敬 清水 克時

第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会

2021年9月3～4日 京都

**アキレス腱の深部感染に対する治療経験**

岐阜市民病院 整形外科

梅村 浩輔 大野 義幸 山本 孝敏

白井 之尋 佐々木裕介 加藤 皓己

奥村 孝臣 宮本 敬 清水 克時

第24回東海足と靴の研究会

2021年10月9日 名古屋

**寛骨臼高度骨欠損例 (AAOS IV) に対するcup設置の一工夫**

岐阜市民病院 整形外科

山本 孝敏

第48回日本股関節学会学術集会

2021年10月22～23日 奈良

**肩甲骨高位、翼状肩甲を呈した1例**

岐阜市民病院 形成外科

大野 義幸

第176回東海手外科研究会

2021年10月23日 名古屋

**ステロイド性距骨壊死に続発した外反型距踵関節症に対して変形矯正した距踵関節固定術にて距腿関節を温存した1例.**

1岐阜市民病院 形成外科

2岐阜市民病院 整形外科

3世沢整形外科

大野 義幸<sup>1</sup> 梅村 浩輔<sup>2</sup> 世沢 さ胤<sup>3</sup>

第46回日本足の外科学会学術集会

2021年11月11～12日 東京

**アキレス腱の深部感染に対する治療経験**

1岐阜市民病院 整形外科

2世沢整形外科

梅村 浩輔<sup>1</sup> 大野 義幸<sup>1</sup> 世沢 さ胤<sup>2</sup>

第46回日本足の外科学会学術集会

2021年11月11～12日 東京

**Perforator flap reconstructions for the chronic infection of Achilles tendon unit.**

Department of Plastic and Reconstructive

Surgery, Gifu Municipal Hospital, Japan,

Yoshiyuki Ohno.

APFSRM2020(第5回アジア太平洋マイクロサージャリー学会)

2021年12月1～4日 つくば

**マイクロサージャリーを用いたアキレス腱の深部感染に対する治療経験**

岐阜市民病院 形成外科

大野 義幸

第48回日本マイクロサージャリー学会学術集会

2021年12月3～4日 つくば

**シンポジウム3 一筋縄でいかないばね指治療**

第31回中部日本手外科研究会

2021年1月30日 名古屋

**チタンロッドのオフセットベンディングによる胸腰椎移行部脱臼骨折整復手技**

岐阜市民病院 整形外科

杉山 貴彬 宮本 敬 世沢 さ胤

平松 正弥 白井 之尋 山本 孝敏

大野 義幸 佐々木祐介 大塚 博巳

清水 克時

第107回岐阜県整形外科集談会

2021年1月30日 岐阜

**矢状面アライメント不良と腰部脊柱管狭窄症が併存する症例に対する腰椎後方除圧術の治療成績**

岐阜市民病院 整形外科

杉山 貴彬 宮本 敬 世沢 さ胤

平松 正弥 白井 之尋 山本 孝敏  
大野 義幸 佐々木祐介 大塚 博巳  
清水 克時

第107回岐阜県整形外科集談会  
2021年1月30日 岐阜

### ハローベスト講義2021

岐阜市民病院 整形外科  
清水 克時

院内講義

2021年3月3日 岐阜市民病院

### 手術適応と前方法 脊椎外科医としてバーンアウトしないために

End of the course

岐阜市民病院 整形外科  
宮本 敬

AO Spine Principles Webinar

2021年6月11-12日 Web開催

### 隣接椎間障害のサルベージ

岐阜市民病院 整形外科  
宮本 敬

岐阜隣接椎間 KISCO web seminar

2021年8月20日

### コロナ渦での大会運営の対策と課題

岐阜市民病院 整形外科  
白井 之尋

第7回 岐阜スポーツ整形外科研究会

2021年9月4日

### AIS遺残側弯 (Lenke type 5) に対する手術治療を行った2例

岐阜市民病院 整形外科  
宮本 敬

第53回 脊椎外科同好会

2021年9月11日

### ケースプレゼンテーション 発表

岐阜市民病院 整形外科  
宮本 敬

頸椎前方を語る会

2021年9月25日 Web開催

### 主題6 「インストゥルメンテーション後メカニカルフェイラーへの対応」座長

岐阜市民病院 整形外科  
宮本 敬

第30回日本脊椎インストゥルメンテーション学会

2021年10月1日～2日 名古屋

### アキレス腱の深部感染に対する治療経験

1岐阜市民病院 整形外科  
2岐阜市民病院 形成外科

○梅村 浩輔<sup>1</sup> 宮本 敬<sup>1</sup> 山本 孝敏<sup>1</sup>  
白井 之尋<sup>1</sup> 加藤 皓己<sup>1</sup> 奥村 孝臣<sup>1</sup>  
大野 義幸<sup>2</sup>

第24回東海足と靴の研究会

2021年10月9日 Web開催

### 腰椎破裂骨折に対する最小椎間での固定術の功罪

岐阜市民病院 整形外科  
加藤 皓己

第6回運動器骨折外傷治療懇話会

2021年10月16日 岐阜

### MIS時代における脊椎手術後感染に対する治療

岐阜市民病院 整形外科  
宮本 敬 加藤 皓己 清水 克時

第11回最小侵襲脊椎治療学会MIST学会

2021年10月29-30日 東京

### 特発性側弯症の遺残変形に対して手術治療を施行した症例の検討

岐阜市民病院 整形外科  
梅村 浩輔

第6回 ぎふ脊椎フォーラム

2021.12.4 岐阜

### 脊椎をトータルにみる

岐阜市民病院 整形外科  
清水 克時

令和3年度 第4回岐阜市民病院公開講座

2021年12月18日 岐阜市民病院

## リハビリテーション科

### 活動記録（講演、司会等）

#### 化学療法・放射線療法の合併症とリスク管理

岐阜市民病院 リハビリテーション科

佐々木裕介

令和2年度がんのリハビリテーション研修会in和歌山

2021年1月30日～1月31日 和歌山

#### チームで共有しよう！嚥下の基本

岐阜市民病院 リハビリテーション科

佐々木裕介

第1回誤嚥窒息zero研修

2021年2月13日 羽島

#### 福祉用具・環境調整・社会的支援

岐阜市民病院 リハビリテーション科

佐々木裕介

総合力のつくりハビリテーション専門職研修会

2021年3月 オンデマンド配信

#### 消化器がん周術期の運動療法と嚥下障害

岐阜市民病院 リハビリテーション科

佐々木裕介

第58回リハビリテーション医学会学術集会

2021年6月11日 京都

#### 当院における頸椎前方固定術後の嚥下障害・誤嚥・窒息予防

岐阜市民病院 リハビリテーション科

佐々木裕介

第58回リハビリテーション医学会学術集会

2021年6月11日 京都

#### 急性期総合病院リハビリテーション科初診時における未把握・未診断疾患

岐阜市民病院 リハビリテーション科

佐々木裕介

第58回リハビリテーション医学会学術集会

2021年6月12日 京都

### 代議員

岐阜市民病院 リハビリテーション科

佐々木裕介

日本リハビリテーション医学会

### 世話人

岐阜市民病院 リハビリテーション科

佐々木裕介

岐阜県多“食”種連携研究会

### コアメンバー

岐阜市民病院 リハビリテーション科

佐々木裕介

岐阜地域の地域包括ケアシステム構築専門部会

(4)「食べる」を支えるネットワーク

## 麻酔科

### 国内学会発表

#### 1：『術前診察により筋萎縮性側索硬化症を診断し手術を回避しえた一例』

岐阜市民病院 麻酔科

福田 光希

日本麻酔科学会 東海・北陸支部第19回学術集会 (Web)

2021年9月4日～10月4日

#### 2：『臍動静脈奇形に対する麻酔管理の一症例』

岐阜市民病院 麻酔科

小泉加奈恵 松井 しほ 山田麻由子

大島 博人

日本臨床麻酔学会第41回大会

2021年11月6日 札幌市

## 中央検査部

#### 肝疾患に関する血液検査/肝がん診断と治療

肝炎コーディネーター養成講習会

2021年2月6日 岐阜

**C型慢性肝疾患治療の長期予後成績**

ウイルス肝炎講習会

2021年1月30日 岐阜

**ウイルス性肝疾患治療の最新治療**

ウイルス肝炎講習会

2021年5月29日 岐阜

**C型非代償性肝硬変におけるDAA製剤の使用成績**

岐阜県肝疾患セミナー

2021年10月22日 岐阜

**岐阜大学・関連施設におけるC型肝炎のDAA有用性**

HCVフォーラム in 岐阜

2021年12月2日 岐阜

**病理診断科****50歳代女性の頸椎に発症したEwing 肉腫の1例。**

青木 亮吾 渡部 直樹 大橋 明香  
 丹羽理代子 松山 昌史 餌取 文昌  
 河口 尚未 宮前 里奈 榊間 利政  
 田中 卓二

第62回日本臨床細胞学会総会（春期大会）

2021年6月4日～6月6日 幕張メッセ

2021年6月18日～7月11日 Web開催

**Aggressive pancreatic cancer in mice by deletion of the Protein phosphatase 6 in cooperation with active Kras expression and p53 loss (Ppp6cは、マウス膵臓発がんの抑制遺伝子として働く).**

Katsuya Fukui Miyuki Nomura  
 Koh Miura Keiichi Tamai  
 Jun Yasuda Toshio Watanabe  
 Toru Furukawa Takuji Tanaka  
 Kennichi Satoh Nobuhiro Tanuma  
 Hiroshi Shima

第80回日本癌学会学術総会

2021年9月30日～10月2日 横浜

Fucoanthin suppresses an onset of colorectal adenocarcinoma in AOM/DSS mice through alteration of fecal microbiota (フコキサンチンは腸内細菌叢変質を介してAOM/DSSマウスにおける大腸腺がん発症を抑制する).

Masaru Terasaki Takuji Tanaka

Michihiro Mutoh

第80回日本癌学会学術総会

2021年9月30日～10月2日 横浜

**医療クラーク室****当院リハビリテーション科における医師事務作業補助者の有用性**

Usefulness of physician assistant in the rehabilitation department of our hospital

岐阜市民病院 医療クラーク室

垣内 憲子

第58回 リハビリテーション医学会学術集会

2021年6月12日 京都

**薬剤部****学会発表『骨髄異形成症候群患者に対するAzacitidine投与時の血小板減少のリスク因子の解析』**

1 岐阜市民病院 薬剤部

2 岐阜薬科大学 病院薬学研究室

3 岐阜市民病院 血液内科

安田 昌宏<sup>1,2</sup> 舘 知也<sup>1,2</sup> 大澤 友裕<sup>1</sup>渡邊 久高<sup>1</sup> 井上 誠二<sup>1</sup> 牧野 哲平<sup>1</sup>長屋 雄大<sup>1</sup> 森田 美穂<sup>1</sup> 田中 和秀<sup>1</sup>田中 佑佳<sup>1</sup> 青山 智<sup>1</sup> 笠原 千嗣<sup>3</sup>寺町ひとみ<sup>2</sup> 水井 貴詞<sup>1</sup>

第31回日本医療薬学会年会

2021年10月9日 Web開催

活動記録 (誌上)

糖尿病・内分泌内科

「経口GLP-1受容体作動薬の登場～新しいdrug deliverと薬剤効果」

窪田 紗希 丸山 貴子 山田 浩司  
矢部 大介

糖尿病プラクティス Vol38 No.6 2021

腎臓内科

「難病の常染色体優性多発性嚢胞腎より適切な診断治療が可能に」

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏

岐阜新聞8面 ギふくらしのヒント 2021,2.3

「難病の常染色体優性多発性嚢胞腎について」

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏

NPO法人岐阜県腎臓病協議会 機関誌「清流」74号  
2021,6.20

論文

「透析導入期に椎骨脳底動脈循環不全による意識消失発作を繰り返した1例」

今井理紗子 木村 行宏 玉川 紀之  
小牧 久晃 加納 宏行 河村 涼花  
久納美蓉子 高橋 浩毅 伊藤 恭彦

透析会誌54(6);295-301,2021

「ルセオグリフロジン投与後にErectile Dysfunctionが改善した1例」

木村 行宏 小堀ことの 河村 涼花  
久納美蓉子 高橋 浩毅 石塚 達夫

日病総診誌17(4);407-411,2021

「MALDI-TOF MS (Matrix Assisted Laser Desorption/Ionization - Time of Flight Mass Spectrometry ; マトリックス支援レーザー脱離イオン化飛行時間型質量分

析計) によりStreptococcus vestibularisが起炎菌と判明したCAPD腹膜炎の1例」

鵜飼 絢子 木村 行宏 富田 智美  
小堀ことの 河村 涼花 久納美蓉子  
高橋 浩毅 米田 尚生 伊藤 恭彦

透析会誌54(10);523-528,2021

消化器内科・血液内科

肝門部SEMS閉塞に対するReinterventionの検討

岐阜市民病院 消化器内科

手塚 隆一 奥野 充 向井 強  
山下 晃司 田尻下聡子 杉山 智彦  
鈴木 祐介 小木曾富生 林 秀樹  
杉山 昭彦 西垣 洋一 加藤 則廣  
富田 栄一

岐阜県消化器内視鏡フォーラム 記録集  
第22号 2019年度 令和3年1月28日発行p16

特集 胆膵内視鏡の診断・治療の基本手技

10. ERCPによる肝門部領域胆管閉塞に対する胆管ドレナージ

岐阜市民病院 消化器内科

向井 強 奥野 充 手塚 隆一  
岩田 翔太

消化器内科2021; 3(2): 83-94. 2021年2月号  
医学出版

特集 胆道ドレナージを極める  
各論 経乳頭的アプローチ

内視鏡的経乳頭的胆嚢ドレナージ (EGBS, ENGBD)

岐阜市民病院 消化器内科

向井 強 奥野 充 手塚 隆一  
岩田 翔太

岐阜県総合医療センター 消化器内科

岩田 圭介 丸田 明範

岐阜大学 第一内科

岩下 拓司 上村 真也

帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科

土井 晋平

富山大学 第三内科

安田 一朗

消化器内視鏡 2021; 33(3): 524-529.2021年3月号  
東京医学社

**Polaprezinc for prevention of oral mucositis in patients receiving chemotherapy followed by hematopoietic stem cell transplantation: A multi-institutional randomized controlled trial.**

Kitagawa J, Kobayashi R,  
Nagata Y, Kasahara S,  
Ono T, Sawada M,  
Ohata K, Kato-Hayashi H,  
Hayashi H, Shimizu M, Itoh Y,  
Tsurumi H, Suzuki A.

Int J Cancer. 2021 Mar 15;148(6):1462-1469.

**Comparison of Transplantation Outcomes after Foscarnet and Ganciclovir Administration as First-Line Anti-Cytomegalovirus Preemptive Therapy.**

Miyao K, Terakura S,  
Ozawa Y, Sawa M,  
Kohno A, Kasahara S,  
Iida H, Ino K,  
Kusumoto S, Kasai M,  
Takami A, Kurahashi S,  
Kajiguchi T, Morishita T,  
Nishida T, Murata M;  
Nagoya Blood and Marrow Transplantation  
Group.

Transplant Cell Ther. 2021 Apr;27(4):342.e1-342.e10.

**Electrohydraulic lithotripsy under the mother-baby cholangioscope system using a colonoscope for large common bile duct stones in a patient with Roux-en-Y reconstruction**

Ryuichi Tezuka<sup>1</sup>, Mitsuru Okuno<sup>1</sup>,  
Tsuyoshi Mukai<sup>1</sup>, Shota Iwata<sup>1</sup>,  
Eiichi Tomita<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Department of Gastroenterology, Gifu Municipal Hospital, Gifu, Japan.

VideoGIE. 2021 May 26;6(8):358-361.

**胆道系疾患を含めて-肝外胆道編】その他の肝外胆道疾患 胆道ガス**

奥野 充 手塚 隆一 向井 強

日本臨床 2021 Vol. 別冊 Issue 肝・胆道系症候群III Pages 434-439

**Low-dose anti-thymocyte globulin for GVHD prophylaxis in HLA-matched allogeneic peripheral blood stem cell transplantation**

Souichi Shiratori<sup>1</sup>, Junichi Sugita<sup>1</sup>,  
Shuichi Ota<sup>2</sup>, Senji Kasahara<sup>3</sup>,  
Jun Ishikawa<sup>4</sup>, Takayoshi Tachibana<sup>5</sup>,  
Yoshiki Hayashi<sup>6</sup>, Goichi Yoshimoto<sup>7</sup>,  
Tetsuya Eto<sup>8</sup>, Hiromi Iwasaki<sup>9</sup>,  
Mine Harada<sup>10</sup>, Keitaro Matsuo<sup>11, 12</sup>,  
Takanori Teshima<sup>13, 14</sup>,

Japan Study Group for Cell Therapy and Transplantation (JSCT)

Bone Marrow Transplant  
2021 Jan;56(1):129-136.

**Preoperative perihilar cholangiocarcinoma assessment using virtual endoscopic imaging magnetic resonance cholangioscopy**

M. Okuno, T. Mukai,  
S. Iwata, R. Tezuka,  
N. Mita, S. Uemura, et al.

Endosc Int Open 2021 Vol. 9 Issue 7 Pages E1158-e1163

**Risk factors for thrombocytopenia and analysis of time to platelet transfusion after azacitidine treatment.**

Yasuda M, Tachi T,  
Osawa T, Watanabe H,  
Inoue S, Makino T,  
Nagaya K, Morita M,  
Tanaka K, Aoyama S,  
Kasahara S, Teramachi H,  
Mizui T.

Pharmazie. 2021 Sep 1;76(9):444-449.

**Albumin-bilirubin score for predicting neuropsychiatric symptoms in patients**

【肝・胆道系症候群(第3版)-その他の肝・

## receiving ifosfamide-based chemotherapy

Shinya Shimizu<sup>1</sup>, Yuichi Hayashi<sup>2</sup>,  
 Shohei Nishida<sup>1</sup>, Hironori Fujii<sup>1</sup>,  
 Mitsuhiro Nakamura<sup>3</sup>, Nobuaki Yoshikura<sup>2</sup>,  
 Akihito Nagano<sup>4</sup>, Junichi Kitagawa<sup>5</sup>,  
 Nobuhiro Kanemura<sup>5</sup>, Kosuke Mizutani<sup>6</sup>,  
 Ryo Kobayashi<sup>1</sup>, Takuma Ishihara<sup>7</sup>,  
 Hideki Hayashi<sup>8</sup>, Takayoshi Shimohata<sup>2</sup>,  
 Tadashi Sugiyama<sup>8</sup>, Akio Suzuki<sup>1</sup>

Affiliations expand

J Clin Pharm Ther. 2021 Jun;46(3):794-799.

## 症例報告

超音波内視鏡下経胃的膵管ステント留置  
とESWLが有用であった膵石症の1例

奥野 充 向井 強 岩田 翔太  
 手塚 隆一 富田 栄一

膵臓 2021年 36巻 4号 p. 274-280

最新ガイドラインに基づく 消化器疾患  
診療指針 2021-'22

岐阜市民病院 消化器内科

林 秀樹

総合医学社 2021/4/30発行

2 肝疾患 肝良性腫瘍 p260-267

「第3世代TKIアイクルシグのポジシヨニ  
ングについて考える」

岐阜市民病院 血液内科

笠原 千嗣

アイクルシグ座談会記録集2021年4月発行

これだけは読んでおきたい！消化器内視  
鏡医のための重要論文200篇<胆・膵  
編>

岩田 圭介

胆管20-Q117. 内視鏡的乳頭括約筋切開術  
(EST) はいかにして始まったか？(P121)胆嚢・乳頭05-Q181. 胆嚢病変に対するEUS-FN  
Aは、安全かつ有用か？(P186)胆嚢・乳頭09-Q185. 手術困難な急性胆嚢炎症  
例において、EUS下胆嚢ドレナージは選択肢とな  
るか？(P190)

東京：シービーアール；第1版；2021年7月30日

特集 胆膵内視鏡の診断・治療の基本手  
技

## 8. ERCPによる膵石除去術

岩田 圭介

消化器内科 #15 Vol.3 No.2 2021 69-76

医学出版

## 学位論文

Automatic Segmentation of Pancreatic  
Tumors Using Deep Learning on a Video  
Image of Contrast-Enhanced Endoscopic  
Ultrasound

Yuhei Iwasa<sup>1</sup>, Takuji Iwashita<sup>1,\*</sup>,  
 Yuji Takeuchi<sup>2</sup>, Hironao Ichikawa<sup>1</sup>,  
 Naoki Mita<sup>1</sup>, Shinya Uemura<sup>1</sup>,  
 Masahito Shimizu<sup>1</sup>, Yu-Ting Kuo<sup>3</sup>,  
 Hsiu-Po Wang<sup>4</sup> and Takeshi Hara<sup>2,5</sup>

1First Department of Internal Medicine, Gifu  
University Hospital2Department of Electrical, Electronic and  
Computer Engineering, Faculty of Engineering,  
Gifu University3Department of Integrated Diagnostics &  
Therapeutics, National Taiwan University  
Hospital, National Taiwan University College of  
Medicine4Department of Internal Medicine, National  
Taiwan University Hospital, National Taiwan  
University College of Medicine5Center for Healthcare Information Technology  
(C-HIT), Tokai National Higher Education and  
Research System

J Clin Med. 2021 Aug 15;10(16):3589.

Serum GP88 as a predictive biomarker for  
hepatocellular carcinoma in patients with  
viral hepatitis C after direct-acting  
antiviral agents

Hidekazu Ishida<sup>1,2</sup>, Masao Takemura<sup>3</sup>,  
 Atsushi Suetsugu<sup>4</sup>, Takafumi Naiki<sup>5</sup>,  
 Takuji Tanaka<sup>6</sup>, Tomita Eiichi<sup>7</sup>,  
 Ginette Serrero<sup>8</sup>, Hidetoshi Matsunami<sup>9</sup>,  
 Yasuko Yamamoto<sup>1,3</sup>, Kuniaki Saito<sup>1,3</sup>

1Department of Disease Control and Prevention,  
Fujita Health University Graduate School of  
Health Sciences

2Department of Clinical Laboratory, Fujita Health University Hospital

3Advanced Diagnostic System Research Laboratory, Fujita Health University

4Department of Gastroenterology/Internal Medicine, Gifu University Graduate School of Medicine

5Department of Clinical Laboratory, Gifu Municipal Hospital

6Department of Pathological Diagnosis, Gifu Municipal Hospital

7Gifu Municipal Hospital

8R&D and Precision Antibody Divisions, A&G Pharmaceutical Inc.

9Matsunami Research Park

Ann Clin Biochem. 2021 Nov;58(6):605-613.

### 「UC治療における実践的なステップアップ戦略とGMAに期待される役割」

岐阜市民病院 消化器内視鏡部長

小木曾富生

アダカラムインタビュー記事シリーズ GMA 20年の臨床知見からの提言 Vol.22

[https://www.jimro.co.jp/gma-](https://www.jimro.co.jp/gma-20th/interview/ucgma-7.php)

20th/interview/ucgma-7.php

### 「働き方改革の一環としてICTツールを積極活用。スタッフの負担を軽減するとともに、患者さんの利便性をより高めた」

岐阜県 岐阜市民病院

副院長兼医療推進局長

山田 誠

血液内科医長

柴田 悠平

ユビーAI問診 導入事例 Web掲載

## 呼吸器内科

### チームコデイン：コデインリン酸塩

岐阜市民病院 緩和医療センター、呼吸器・腫瘍内科

石黒 崇

がん疼痛治療のおくすり選手名鑑P80-83 メディカ出版

## 整形外科

読賣新聞掲載 2022.1.13

### ■岐阜・病院の実力（腰の病気）

岐阜市民病院 整形外科部長

宮本 敬

日本嚙下医学会 学会誌 嚙下医学2021.Vol.10.No2

宮本 敬の術式 岐阜市民病院整形外科

### 「Loco Cure」vol.7. No.1 2021 掲載 腰にやさしい椅子の開発と応用

1岐阜市民病院 整形外科

2飛騨産業株式会社

3岐阜県生活技術研究所

4岐阜大学医学部整形外科

宮本 敬<sup>1</sup> 坂井 雄大<sup>2</sup> 中川 輝彦<sup>2</sup>

藤巻 吾朗<sup>3</sup> 宮川 成門<sup>3</sup> 秋山 治彦<sup>4</sup>

### 当院における母指CM関節固定術の治療成績

-tension band wiring&intraosseous wiring法-

岐阜市民病院 整形外科

大野 義幸 平松 正弥 杉山 貴彬

世沢 さ胤 宮本 敬 清水 克時

中部整災誌 2021；64：237-8.

### 内側足根中足関節での内側楔状骨剥離骨折偽関節に対して骨接合術を行った1例

岐阜市民病院 整形外科

大野 義幸 世沢 さ胤

日足外会誌 2021；42（1）：313-316.

### Clinic 働くあなたのクリニック 身近に関節リウマチによる手・足の変形でお困りの人はいませんか？

岐阜市民病院 形成外科

大野 義幸

岐阜商工会議所月報 2022；1：14-15.

### リトアニア・ブルガリアの旅

岐阜市民病院 整形外科

清水 克時

岐阜県医師会報 2020.1.1

**踵骨隆起アキレス腱付着部裂離骨折の治療経験**

1岐阜市民病院 整形外科・形成外科

2あおと整形外科クリニック

大野 義幸<sup>1</sup> 後藤 篤史<sup>1</sup> 青戸 寿之<sup>2</sup>

日足外会誌 2020 ; 41 (1) : 275-278

**深部関節を伴った両肘関節重度熱圧損傷に対し、両側の有茎広背筋皮弁にて肘関節機能を温存した1症例**

岐阜市民病院 整形外科・形成外科

大野 義幸 白井 之尋

日本肘関節外科会雑誌 2020 ; 27 (2) : 350-355

**悪性転化を来した頸椎骨芽細胞腫の1例**

1岐阜市民病院 整形外科

2岐阜県総合医療センター 整形外科

3岐阜大学医学部附属病院 整形外科

杉山 貴彬<sup>1</sup> 伏見 一成<sup>2</sup> 永野 昭仁<sup>3</sup>次田 雅典<sup>3</sup> 野澤 聡<sup>3</sup> 秋山 治彦<sup>3</sup>

中部日本整形外科災害外科学会雑誌

63巻2号 Page257-258,202

**The malignant transformation of osteoblastoma in the cervical spine to high-grade osteosarcoma: a case report and review of literature.**

Sugiyama T, Fushimi K,

Nagano A, Tsugita M,

Nozawa S, Akiyama H.

British Journal of Neurosurgery 2020 Nov 3;1-5

**The malignant transformation of osteoid osteoma in the cervical spine to high-grade osteosarcoma: a case report and review of literature.**

Sugiyama T, Fushimi K,

Nagano A, Tsugita M,

Nozawa S, Iwai C,

Akiyama H.

Br J Neurosurg.2020;1-5.

doi: 10.1080/02688697.2020.1842326.

**リハビリテーション科****福祉用具・環境調整・社会支援**

岐阜市民病院 リハビリテーション科

佐々木裕介

総合力がつくりハビリテーション医学・医療テキスト 2021年 P256~276

**眼 科****Intraocular penetration of liposomal amphotericin B after intravenous injection in inflamed human eyes.**

Ando T, Kawakami H,

Mochizuki K, Murata K,

Manabe Y, Takagi D,

Yagasaki A, Niwa Y,

Yamada N, Ogura S,

Matsumoto K, Morita K,

Todokoro D, Kamei K.

J Infect Chemother. 2021 Sep;27(9):1319-1322.

doi: 10.1016/j.jiac.2021.04.020. Epub 2021 May 11.

PMID: 33994091

**小児リンパ系腫瘍におけるステロイド緑内障についての検討**

宮崎 太地(岐阜市民病院 小児科)

横山 能文 大島 有美 大城 一航

森 真理 山下 達也 神田 香織

篠田 邦大 管野 宏昭 川上 秀昭

日本小児血液・がん学会雑誌(2187-011X)58巻4号

Page307(2021.10)

**真菌性眼感染症におけるアムホテリシンBリポソーム製剤の眼内移行性**

安藤 智子(岐阜大学 眼科)

川上 秀昭 望月 清文 村田 一弘

高木 大介 末森 晋典 丹羽 義明

山田 法顕 小倉 真治 松元 加奈

森田 邦彦 戸所 大輔

日本眼科学会雑誌(0029-0203)125巻臨増

Page231(2021.03)

病理診断科
-------

**Virus-driven carcinogenesis.**

Yuichiro Hatano Takayasu Ideta  
 Akihiro Hirata Kayoko Hatano  
 Hiroyuki Tomita Hideshi Okada  
 Masahito Shimizu Takuji Tanaka  
 Akira Hara

Cancers, 13: 2625, 2021. PMID: 34071792

**Fucoxanthin and colorectal cancer prevention.**

Masaru Terasaki Atsuhito Kubota  
 Hiroyuki Kojima Hayato Maeda  
 Kazuo Miyashita Chikara Kawagoe  
 Michihito Mutoh Takuji Tanaka

Cancers, 13: 2379, 2021. PMID: 34069132

**Clinical utility of tumor markers.**

Taro Mizuno Takayuki Goto  
 Kota Shimojo Naoki Watanabe  
 Takuji Tanaka

Open J. Pathol., 11: 38-57, 2021.

**Novel FXR agonist nelumal A suppresses colitis and inflammation-related colorectal carcinogenesis.**

Tsuneyuki Miyazaki Yohei Shirakami  
 Taku Mizutani Akinori Maruta  
 Takayasu Ideta Masaya Kubota  
 Hiroyasu Sakai Takashi Ibuka  
 Salvatore Genovese Serena Fiorito  
 Vito Alessandro Taddeo

Francesco Epifano  
 Takuji Tanaka Masahito Shimizu

Sci. Rep., 11: 492, 2021. PMID: 33436792

**Alteration of fecal microbiota by fucoxanthin results in prevention of colorectal cancer in AOM/DSS mice.**

Masaru Terasaki Osamu Uehara  
 Shinya Ogasa Taishi Sano  
 Atsuhito Kubota Hiroyuki Kojima  
 Takuji Tanaka Hayato Maeda

Kazuo Miyashita Michihiro Mutoh  
 Carcinogenesis, 42: 210-219, 2021. PMID:  
 32940665

**Inhibition of FGF10-ERK signal activation suppresses intraductal papillary neoplasm of the bile duct and its associated carcinomas.**

Hiroyuki Tomita Kaori Tanaka  
 Akihiro Hirata Hideshi Okada  
 Hisashi Imai Yohei Shirakami  
 Kotaro Ohnishi Shigeyuki Sugie  
 Hitomi Aoki Yuichiro Hatano  
 Kei Noguchi Tomohiro Kanayama  
 Ayumi Niwa Natsuko Suzui  
 Tatsuhiko Miyazaki Takuji Tanaka  
 Haruhiko Akiyama Masahito Shimizu  
 Kazuhiro Yoshida Akira Hara

Cell Rep., 34(8): 108772, 2021. PMID: 33626352

**Ppp6c haploinsufficiency accelerates UV-induced BRAF(V600E)-initiated melanomagenesis.**

Kosuke Kanazawa Kazuhiro Kishimoto  
 Miyuki Nomura Koreyuki Kurosawa  
 Hiroyuki Kato Yui Inoue  
 Koh Miura Katsuya Fukui  
 Yoji Yamashita Ikuro Sato  
 Hiroyuki Tsuji Toshio Watanabe  
 Takuji Tanaka Jun Yasuda  
 Nobuhiro Tanuma Hiroshi Shima

Cancer Sci., 112: 2233-2244, 2021. PMID:  
 33743547

**Ppp6c deficiency accelerates K-rasG12D-induced tongue carcinogenesis.**

Kazuhiro Kishimoto Kosuke Kanazawa  
 Miyuki Nomura Takuji Tanaka  
 Taeko Kuroda Katsuya Fukui  
 Koh Miura Koreyuki Kurosawa  
 Masaaki Kawai Hiroyuki Kato  
 Keiko Terasaki Yoshimi Sakamoto  
 Yoji Yamashita Ikuro Sato  
 Nobuhiro Tanuma Keiichi Tamai  
 Issay Kitabayashi Kazuto Matsuura  
 Toshio Watanabe Jun Yasuda

Hiroyuki Tsuji Hiroshi Shima  
Cancer Med., 10: 4451-4464, 2021. PMID:  
34145991

**Inhibitory effects of a selective prosta-  
glandin E2 receptor antagonist RQ-15986  
on inflammation-related colon  
tumorigenesis in APC-mutant rats.**

Yohei Shirakami Takayuki Nakanishi  
Noritaka Ozawa Takayasu Ideta  
Takahiro Kochi Masaya Kubota  
Hiroyasu Sakai Takashi Ibuka  
Takuji Tanaka Masahito Shimizu

PLoS ONE, 16 (5): e0251942, 2021. PMID:  
34003864

**Fucoxanthin Prevents Colorectal Cancer  
Development in Dextran Sodium Sulfate-  
treated Apc Min/+ Mice.**

Masaru Terasaki Takahiro Hamoya  
Atsuhito Kubota Hiroyuki Kojima  
Takuji Tanaka, Hayato Maeda  
Kazuo Miyashita Michihiro Mutoh

Anticancer Res., 41(3): 1299-1305, 2021. PMID:  
33788721

**Effect of fucoxanthinol on pancreatic  
ductal adenocarcinoma cells from an N-  
nitrosobis(2-oxopropyl)amine-initiated  
Syrian golden hamster pancreatic  
carcinogenesis model.**

Masaru Terasaki Yusaku Nishizawa  
Wataru Murase Atsuhito Kubota  
Hiroyuki Kojima Mareshige Kojima  
Takuji Tanaka Hayato Maeda  
Kazuo Miyashita Michihiro Mutoh  
Mami Takahashi

Cancer Genomics Proteomics 18 (3 Suppl): 407-  
423, 2021. PMID: 33994364

**Detection of cells displaying high expres-  
sion of CLIC4 in tumor tissue of patients  
with colorectal cancer.**

Reo Yokoyama Atsuhito Kubota  
Hiroyuki Kojima Takuji Tanaka

Michihiro Mutoh Masaru Terasaki  
In Vivo, 35: 3165-3173, 2021. PMID: 34697174

**Fucoxanthin Prevents Pancreatic  
Tumorigenesis in C57BL/6J Mice That  
Received Allogenic and Orthotopic  
Transplants of Cancer Cells.**

Wataru Murase Yukino Kamakura  
Serina Kawakami Ayaka Yasuda  
Momoka Wagatsuma Atsuhito Kubota  
Hiroyuki Kojima Tohru Ohta  
Mami Takahashi Michihiro Mutoh  
Takuji Tanaka Hayato Maeda  
Kazuo Miyashita Masaru Terasaki

Int. J. Mol. Sci., 22, 13620, 2021. PMID:  
34948416

**Primary Ovarian Carcinosarcoma:  
Cytological, Pathological,  
Immunocytochemical, and  
Immunohistochemical Features.**

Kenji Niwa Sakae Mori  
Keigo Kuwabara Kentaro Nagata  
Motoki Takenaka Tomomi Shiga  
Yoshio Yamaguchi Kentaro Niwa  
Takuji Tanaka

Open J. Pathol., 11, 22-31, 2021.

**Congenital dysfibrinogenemia presented  
with massive hematomas formed after  
hysterectomy.**

Kenji Niwa Kentaro Nagata  
Takefumi Nakagami Ryuichiro Shimaoka  
Kentaro Niwa Motoki Takenaka  
Takuji Tanaka Nobuo Okumura

Case Rep. Clin Med., 10: 108-116, 2021.

**EXPRESS: Serum GP88 as a predictive  
biomarker for hepatocellular carcinoma in  
patients with viral hepatitis C after di-  
rect-acting antiviral agents.**

Hidekazu Ishida Masao Takemura  
Atsushi Suetsugu Takafumi Naiki  
Takuji Tanaka Eiichi Tomita  
Ginette Serrero Hidetoshi Matsunami

Yasuko Yamamoto Kuniaki Saito  
Ann. Clin. Biochem., 58(6): 605-613, 2021, 2021.  
PMID: 34284614.

S. Inoue<sup>1</sup>, T. Makino<sup>1</sup>,  
K. Nagaya<sup>1</sup>, M. Morita<sup>1</sup>,  
K. Tanaka<sup>1</sup>, S. Aoyama<sup>1</sup>,  
S. Kasahara<sup>3</sup>, H. Teramachi<sup>2</sup>,  
T. Mizui<sup>1</sup>

Pharmazie. 2021 Sep;76(9):444-449.

#### Clinical utility of tumor markers.

Taro Mizuno Takayuki Goto  
Kota Shimojo Naoki Watanabe  
Takuji Tanaka

Open J. Pathol., 11: 38-57, 2021.

#### A case of Ewing's sarcoma arising in the cervical spine with an elevation of serum ProGRP.

Ryogo Aoki Yoshikazu Ikoma  
Asuka Ohashi Riyoko Niwa  
Fumumasa Etori Masashi Matsuyama  
Akane Onogi Naoki Watanabe  
Takuji Tanaka

Open J. Pathol., 11: 100-109, 2021.

#### 内膜細胞診で胞状奇胎を推定しえた1例

河嶋 友美 武田 遼 橋本 哲夫  
佐藤 勝明 上田 善道 田中 卓二

日本臨床細胞学会誌 60 (1): 28-32, 2021.

#### 症例から学ぶ細胞診-組織像と対比して

著書：餌取文昌（著者）、田中卓二（監修）

pp.186, 三恵社、名古屋、2021 (ISBN978-4-86693-344-3).

### 薬剤部

＝原著 英＝

#### Risk factors for thrombocytopenia and analysis of time to platelet transfusion after azacitidine treatment

1 Department of Pharmacy, Gifu Municipal Hospital, Gifu, Japan

2 Laboratory of Clinical Pharmacy, Gifu Pharmaceutical University, Gifu, Japan

3 Department of Hematology, Gifu Municipal Hospital, Gifu, Japan

M. Yasuda<sup>1,2</sup>, T. Tachi<sup>1,2</sup>,  
T. Osawa<sup>1</sup>, H. Watanabe<sup>1</sup>,

病院統計

消化器病センター統計

2023年 検査件数統計

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	月平均(件)	今年合計	前年合計	前年比(%)
EGD	件(6) 392	件(9) 392	件(13) 475	件(8) 433	件(8) 439	件(4) 423	件(8) 466	件(5) 427	件(5) 459	件(3) 491	件(10) 501	件(5) 522	452	5420	4771	114%
ESD	件 5	件 8	件 9	件 7	件 9	件 10	件 2	件 9	件 6	件 10	件 7	件 7	7	89	70	127%
カプセル内視鏡	件 3	件 3	件 1	件 5	件 5	件 2	件 2	件 3	件 3	件 3	件 3	件 4	3	37	33	112%
小腸内視鏡	件 2	件 0	件 1	件 0	件 2	件 3	件 0	件 1	件 2	件 1	件 2	件 3	1	17	16	106%
CS	件(3) 200	件(1) 186	件(3) 239	件(4) 240	件(4) 198	件(3) 228	件(4) 222	件(3) 236	件(5) 231	件(1) 244	件(3) 252	件(3) 247	227	2723	2412	113%
EUS・胆膵	件 33	件 43	件 42	件 48	件 46	件 39	件 55	件 71	件 63	件 66	件 56	件 71	53	633	466	136%
EUS・消化管	件 8	件 3	件 13	件 2	件 6	件 5	件 11	件 2	件 6	件 3	件 5	件 2	6	66	47	140%
EUS計	件 41	件 46	件 55	件 50	件 52	件 44	件 66	件 73	件 69	件 69	件 61	件 73	58	699	513	136%
IDUS	件 0	件 1	件 1	件 1	件 1	件 0	件 0	件 4	件 0	件 3	件 0	件 0	1	11	1	1100%
ERCP	件 42	件 47	件 50	件 50	件 32	件 30	件 52	件 42	件 59	件 47	件 31	件 39	43	521	422	123%
EIS・EVL	件 3	件 2	件 6	件 0	件 1	件 3	件 1	件 4	件 3	件 4	件 0	件 6	3	33	39	85%
PTCS	件 0	件 0	件 0	件 1	件 0	件 1	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	0	2	1	200%
小計	件 688	件 685	件 837	件 787	件 739	件 744	件 811	件 799	件 832	件 872	件 857	件 901	796	9552	8278	115%
PTCD	件 17	件 5	件 15	件 6	件 10	件 8	件 14	件 13	件 13	件 6	件 8	件 14	11	129	154	84%
US・肝、胆、膵	件 62	件 75	件 75	件 63	件 46	件 68	件 65	件 42	件 39	件 38	件 48	件 41	55	662	865	77%
造影エコー	件 38	件 37	件 37	件 29	件 41	件 29	件 28	件 38	件 38	件 26	件 40	件 23	34	404	463	87%
肝生検	件 7	件 9	件 10	件 14	件 7	件 8	件 6	件 7	件 10	件 13	件 5	件 6	9	102	82	124%
PEIT	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 2	件 0	件 4	件 0	件 3	1	9	13	69%
RFA	件 12	件 5	件 6	件 7	件 4	件 6	件 4	件 6	件 9	件 2	件 9	件 3	6	73	100	73%
マイクログ波	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	0	0	2	0%
その他(*1)	件 8	件 6	件 3	件 8	件 2	件 0	件 4	件 2	件 5	件 2	件 0	件 0	3	40	33	121%
小計	件 144	件 137	件 146	件 127	件 110	件 119	件 121	件 110	件 114	件 91	件 110	件 90	118	1419	1712	83%
ペグ交換	件 3	件 4	件 8	件 4	件 5	件 3	件 5	件 3	件 8	件 6	件 4	件 3	5	56	63	89%
その他(*2)	件 3	件 7	件 1	件 2	件 1	件 3	件 3	件 1	件 1	件 1	件 1	件 3	2	27	37	73%
合計	件 838	件 833	件 992	件 920	件 855	件 869	件 940	件 913	件 955	件 970	件 972	件 997	921	11054	10090	110%

\*1 腹水胸水穿刺・IVH挿入  
 \*2 イレウス管挿入・リザーバー・ESWL・CVIリザーバー留置・IVH挿入  
 注)胆膵造影超音波検査 < EUS→EUS・胆膵  
 体外式→造影エコー  
 ( )は救急での施行件数

## 認知症疾患医療センター統計

### ① 認知症疾患の専門医療、医療相談、関係機関との連携

#### ①身体合併症急性期で入院した認知症の方に対する専門的な医療支援

##### ・認知症病名のある新規患者入院数 (R3年)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
総人数	26	19	41	23	29	39	21	30	24	23	15	27	317
その内 紹介患者	13	8	13	4	10	11	7	11	10	9	7	17	120

認知症病名のある新規入院患者の 約 38 %が紹介患者である。

##### ・認知症ケアチームの活動 (対象 当院入院患者)

多職種の見点から、スタッフに対して適切な助言を行い、必要に応じ患者の看護を行う。

→身体疾病の治療や看護業務を円滑に実施し、せん妄や認知症の発症や悪化を防ぐ

メンバー 脳神経内科医師 1名 認知症看護認定看護師(専従) 1名

精神保健福祉士 1名 公認心理師 2名 薬剤師 1名 計6名

##### 介入実績 (R3年)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
人数	28	15	26	24	24	27	21	16	22	13	25	23	264

##### 活動内容

- 1) 見当識を高めるようなコミュニケーション(会話の工夫、カレンダーや時計の設置など)
- 2) 日常生活リズムを整える(歯磨き、洗顔、髭剃りや口腔ケア、離床、日光浴など)
- 3) 身体抑制の軽減、中止に向けた提言
- 4) 上記1, 2, 3が各病棟で自発的にできるように啓発

認知症ケア加算 算定件数 3537件(2021年1月~12月)

##### <せん妄対策>

- 1) せん妄ハイリスク患者ケア加算設定に伴うせん妄チェックリストの運用
  - 2) 認知症看護認定看護師によるせん妄対策の実践・指導
  - 3) 薬剤師による介入症例の薬剤チェック
  - 4) 医師による介入症例の「不眠時・不穏時」指示簿の確認およびせん妄リスクの確認を行い主治医宛コメントを記入
  - 5) 家族向けせん妄啓発資料が完成し運用
  - 6) 電子カルテ上に「経過表のテンプレート欄の当チーム記録(ワンクリック表示)」を実装
  - 7) 講演やセミナーによる啓発
  - 8) 院内デイの実施計画の作成
- (7, 8はコロナ事情で充分実施できず)

せん妄ハイリスク患者ケア加算(2020.8から算定開始) 算定件数 8498件(2021.1~2021.12)

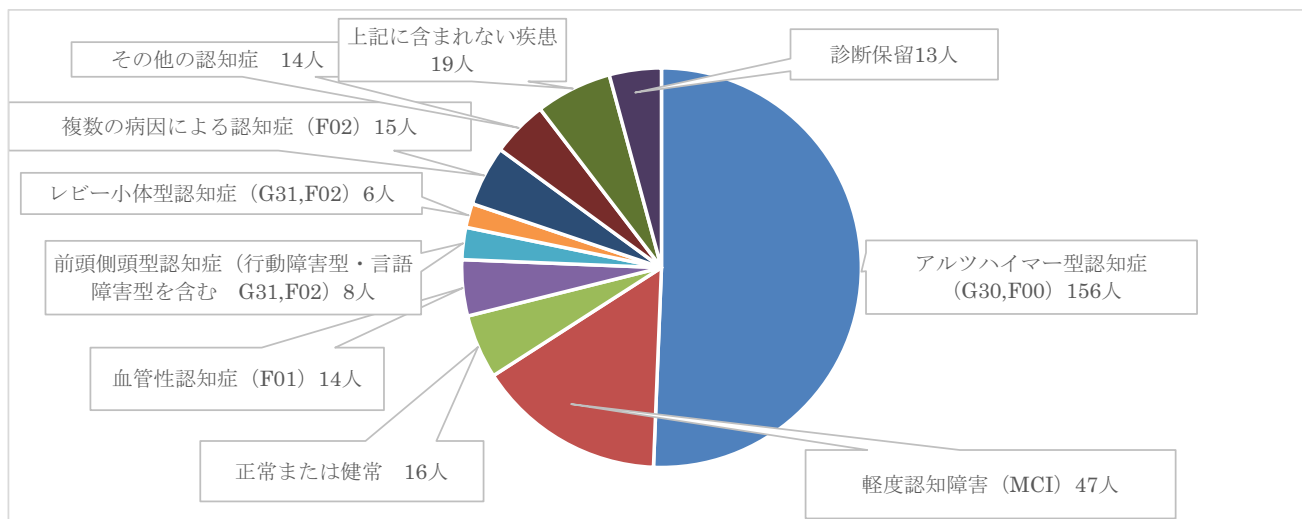
⑧認知症の診断（もの忘れ外来）

・認知症診断件数（脳神経内科外来でのもの忘れ精査例を含む）（R3年）

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
人数	25	24	32	23	26	23	21	20	29	35	25	26	309

・脳神経内科 鑑別診断結果（病名）

病名	人数	割合
アルツハイマー型認知症(G30,F00)	156	51%
軽度認知障害(MCI)	47	15%
正常または健常	16	5%
血管性認知症(F01)	14	5%
前頭側頭型認知症(行動障害型・言語障害型を含む G31,F02)	8	3%
レビー小体型認知症(G31,F02)	6	2%
複数の病因による認知症(F02)	15	5%
その他の認知症	14	5%
上記に含まれない疾患	19	6%
診断保留	13	4%
計	308	100%



全国的なデータと同様、アルツハイマー型認知症が最多であった。MCIが多かったのは昨年と変わらず、総合病院という性格によるものと思われる。

- ・臨時適性検査（75歳以上の高齢者の運転免許更新時等における専門医の受診）年間 24件
- ・認知症診断管理料1（700点）  
認知症の鑑別診断の結果に基づき認知症療養計画書を作成（本人、紹介元）へ送付 年間 35件
- ・令和3年4月から標榜科名を変更  
「神経内科」から「脳神経内科」へ
- ・令和3年11月 外来診察室を移転  
1階Bブロック（内科ブロック）から1階Aブロック（整形、脳神経外科ブロック）に移転。

### ◎認知症の医療相談

専門の相談員が認知症の方や家族から不安や悩みの相談に応じる。専用電話（251-5871）が設置されている。

もの忘れ外来の受診予約は地域連携部で行っている。

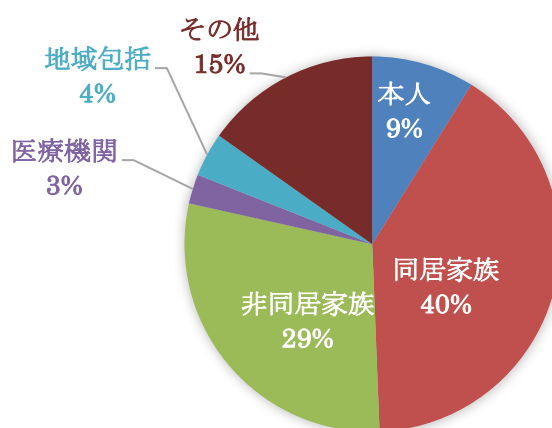
#### ・相談件数推移（R3年）

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	5	8	5	3	7	1	1	11	11	7	9	7	76

毎月ばらつきはあるものの、月に平均5,6件の相談あり。

#### ・相談者内訳（相談者複数の場合あり）

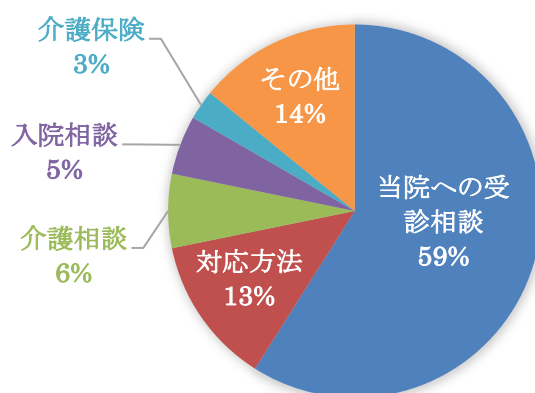
相談者	人数
本人	7
同居家族	32
非同居家族	23
医療機関	2
地域包括	3
介護保険事業所	0
行政機関	0
その他	12
計	79



今年は行政機関からの具体的なケースの相談はなし。

#### ・相談内容（複数選択あり）

内容	件数
当院への受診相談	46
対応方法	10
介護相談	5
入院相談	4
介護保険	2
その他	11
不明	0
計	78



引き続き、当院への受診方法の問い合わせに相談内容が集中している。

④医療・福祉関係機関との連絡調整（協議会、検討会、研究会等への参加）

<方針>

- ・ 県内特に岐阜・西濃の認知症疾患医療センターとの連携の構築
- ・ 市・県行政、地域包括支援センター、医師会等の当センターへの理解を深めると共に関係構築に務める
- ・ 全国の認知症疾患医療センター研修会、認知症関係学会等での研修を通して、県内唯一の総合病院に設置された認知症疾患医療センターとしての見識と役割を学ぶ

<参加会議と期日>

第 8 回認知症疾患医療センター全国研修会三重大会	1 月 15 日
岐阜県認知症疾患医療センターの運営に係る事務者協議	
3 月 8 日、5 月 17 日、8 月 2 日、12 月 9 日（すべて ZOOM によるオンライン会議）	
第 21 回日本早期認知症学会学術大会	5 月 29 日、30 日
岐阜市認知症地域支援体制構築推進会議（事例検討会）	7 月 8 日、11 月 10 日
岐阜市認知症地域支援体制構築推進会議（全体会）	8 月 30 日
岐阜地域認知症疾患医療連携協議会	11 月 17 日
岐阜県若年性認知症就労支援ネットワーク会議	12 月 23 日
岐阜県認知症施策推進会議	12 月 24 日

（その他）

○若年性認知症当事者ミーティング「わらっとこぐみ」への参加、支援

川北地区の岐阜市地域包括支援センターが協力して、若年性認知症の当事者が参加し、自主的な活動を行うミーティングを運営。令和 2 年 3 月まで活動を行っていたが、それ以降コロナ事情で場所確保ができず活動を中止。その後、若年性認知症のつどいとして令和 3 年 3 月から岐阜市内で当事者グループが活動を始めた。新型コロナウイルス感染症流行状況が落ち着いた状況で岐阜医療圏域の 3 つの認知症疾患医療センターでも支援を検討。

## ② 認知症に関する医療・福祉関係者の研修

<研修会の開催>

・当院および一般病院等を対象に当センターが実施した認知症に関する講演

○認知症フレンドリー講座 令和3年9月17日～24日

朝日新聞社が行っているオンライン講座を利用し、県内の病院、地域包括支援センター等の医療・福祉専門職対象に開催。

参加者 名 岐阜医療圏域対象

○認知症映画上映会 令和3年10月30日～11月4日

朝日新聞社が行っているオンライン配信の映画視聴のシステムを利用し、県内の病院、地域包括支援センター等の医療・福祉専門職対象に開催。

上映作品 「ケアニン～あなたでよかった～」

参加者 80名 岐阜県内対象

<講師派遣協力（医療者向け認知症関連講演）>

1) 岐阜市民病院 西8病棟勉強会

「ながやさんは何をしているの」～認定看護師の行動から考える～ 長屋千鶴子 2月17日

2) 岐阜市民病院 専門看護研修

「認知症看護のきほん～事例で考える認知症～」 長屋 千鶴子 6月15日

3) 岐阜市民病院 新人職員向け研修「認知症看護のきほん」長屋 千鶴子 6月18日

4) 岐阜市民病院 中9病棟勉強会「身体拘束とせん妄時の看護」長屋千鶴子9月28日

5) 「認知症」（岐阜大学医学部3年生対象） 犬塚 貴 10月7日

6) かかりつけ医認知症対応力向上研修会「診断と治療」 犬塚 貴 12月26日

7) 「認知症患者さんの病態別食支援」 長屋 千鶴子 12月1日～12月31日

中7、西7を除く病棟看護師対象 電子カルテ内「CoMedix」を利用し職員各自で受講  
○リンクナースへの情報提供（配本）<コロナ事情でセミナー開催できず>

1) 「認知症患者さんの病態別食支援」野原幹司（メディカ出版）

2) 「身体拘束ゼロの認知症医療・ケア」山口晴保・田中志子編（照林社）

3) 「せん妄のスタンダードケア Q & A 100」酒井郁子・渡邊博幸編（南江堂）

4) 「急性期病院で実現した身体抑制のない看護」金沢大学附属病院で続く挑戦

小藤幹恵 編 （日本看護協会出版会）

<実習協力>

大学・保健所・保健センター職員向け実習

現場実習（岐阜薬科大学） 令和3年1月25日、7月16日、26日、9月24日、10月18日、25日、12月13日（各日1名、10月25日のみ2名） 延べ 8名

### ③ 市民への認知症理解への啓発活動

#### ・認知症ミニ講座

ホームページ上で認知症に関する基礎知識を学べるミニ講座を病院ホームページの認知症疾患医療センターのページに掲載。令和3年度作成実績 12件

#### ●認知症に関する基礎知識等

【タイトル】（動画時間）	【演者】
「認知症疾患医療センターについて」（11:09）	認知症疾患医療センター センター長 犬塚 貴
「認知症の基礎知識」（18:05）	認知症疾患医療センター センター長 犬塚 貴
「暮らしの中での認知症の気づき」（12:36）	認知症疾患医療センター センター長 犬塚 貴
「家庭でできる認知症予防」（19:58）	認知症疾患医療センター センター長 犬塚 貴
「高齢者の睡眠」（7:23）	認知症疾患医療センター 公認心理師 神戸 誠
「認知症ポジティブと予防」（7:52）	認知症疾患医療センター 認知症看護認定看護師 長屋 千鶴子
「認知症介護を少しでも軽くするために」（6:08）	認知症疾患医療センター 認知症看護認定看護師 長屋 千鶴子

#### ●もの忘れ外来について

【タイトル】	【演者】
「もの忘れ外来の神経心理検査」（6:20）	認知症疾患医療センター 公認心理師 神戸 誠
「岐阜市民病院「もの忘れ外来」について」（6:58）	認知症疾患医療センター 相談員 村瀬 智明

#### ●制度・相談関連

【タイトル】	【演者】
「岐阜市民病院認知症疾患医療センター相談室に寄せられる相談について」（10:31）	認知症疾患医療センター 相談員 村瀬 智明

「介護保険制度について」(6:07)	認知症疾患医療センター 相談員 村瀬 智明
「認知症サポーターになろう」(6:25)	認知症疾患医療センター 相談員 村瀬 智明

- ・ 難病医療テレフォン・メールサービス (県福社会館) 犬塚 貴 5月15日
- ・ ラジオ放送での当院認知症専門相談窓口の案内  
 岐阜市で確保しているラジオでの放送枠を利用し、認知症に対する相談窓口や受診方法、若年性認知症に関する情報提供を行った。  
 シティFMぎふ緊急割り込み放送 8月6日(岐阜市庁舎 庁内放送)  
 FMわっち 9月30日 放送 岐阜チャン 9月21日 放送
- ・ 岐阜病院主催市民講座 12月8日(水)オンラインによるビデオ録画したものを放送  
 「家庭でできる認知症対策と感染予防」 犬塚 貴

## ④ 認知症に関する調査・研究

該当なし

### その他

委嘱 犬塚 貴

岐阜県認知症施策推進会議 委員

岐阜市認知症地域支援体制構築推進会議 委員

岐阜市医師会認知症サポート委員会 委員

岐阜県医師会 医療・介護・福祉連携委員会委員

岐阜認知症多職種ネットワーク研究会 代表世話人

岐阜大学非常勤講師

委嘱 神戸 誠

中部学院大学非常勤講師

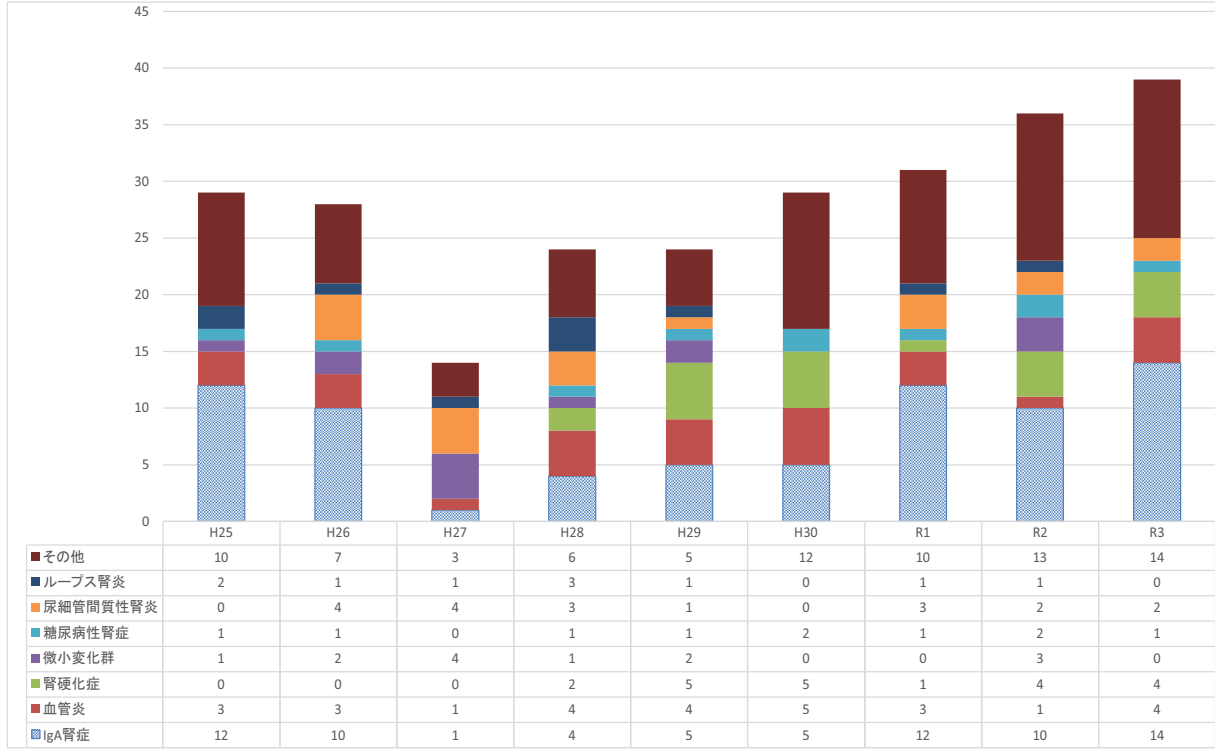
委嘱 村瀬 智明

岐阜県認知症施策推進会議 委員

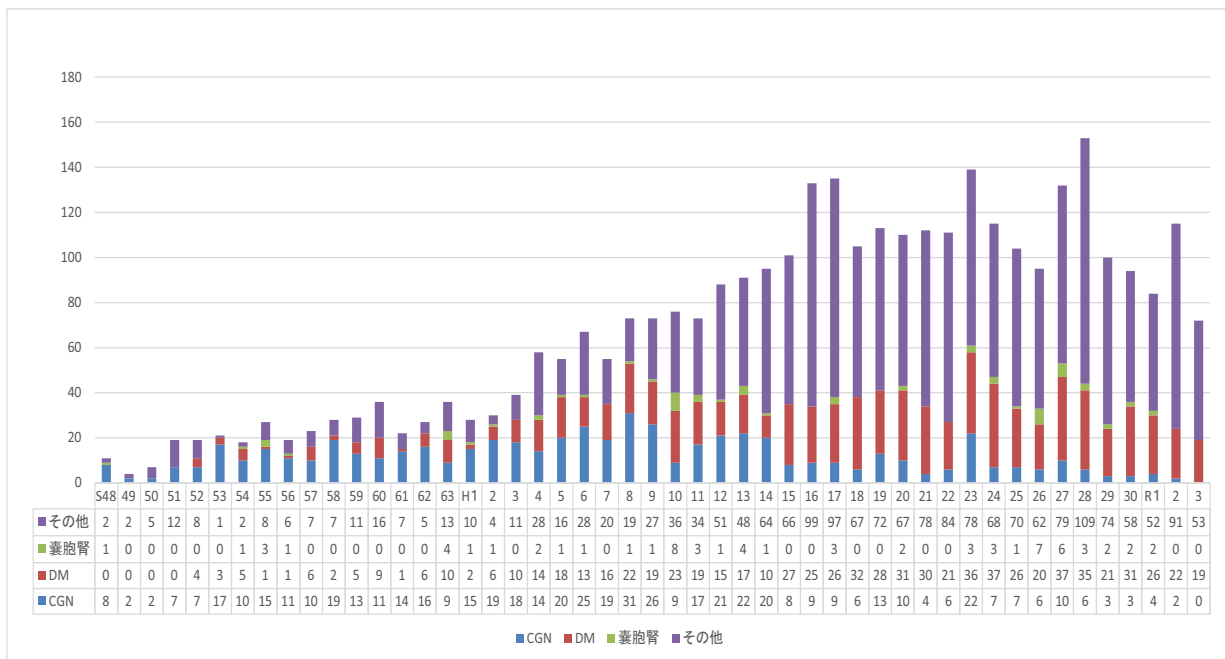
岐阜市認知症地域支援体制構築推進会議 委員

## 腎臓病・血液浄化センター統計

### 腎生検診療実績



### 血液浄化新規導入患者とその原疾患



各種血液浄化療法（維持透析を除く）

	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
CHDF	2 (4)	8 (15)	9 (42)	8 (28)	12 (8)	8 (58)	18 (91)	14 (59)	10 (54)	11 (76)	15 (62)	21 (116)	21 (141)	23 (180)	25 (132)	26 (130)	21 (110)	19 (111)	25 (141)	20 (147)	30 (237)	29 (270)	36 (292)	19 (159)	25 (107)	35 (240)	25 (114)
G(L)CAP							3 (30)	6 (50)	3 (30)	4 (40)	6 (66)	12 (98)	8 (76)	16 (125)	17 (130)	16 (119)	20 (167)	15 (141)	8 (73)	6 (51)	11 (81)	10 (59)	9 (74)	4 (37)	10 (95)	4 (40)	5 (33)
PMX	4 (8)	3 (6)	12 (24)	14 (28)	10 (20)	10 (18)	11 (20)	6 (10)	3 (5)	6 (10)	12 (22)	12 (20)	20 (30)	17 (29)	11 (19)	15 (21)	12 (19)	6 (11)	9 (16)	10 (19)	14 (27)	20 (38)	10 (18)	7 (9)	13 (22)	8 (17)	
ビリルビン吸着				1 (10)	2 (6)						1 (2)	1 (1)	3 (12)	4 (11)	4 (4)	1 (4)	2 (7)			1 (1)		1 (1)					
DHP	1 (1)	2 (4)			2 (2)				1 (1)		1 (1)			1 (2)	2 (3)			1 (5)		1 (1)						1 (1)	
PE	1 (1)	1 (7)		2 (11)	5 (19)	3 (38)	1 (2)					1 (19)	2 (14)	1 (1)	1 (1)	4 (31)	4 (13)	7 (19)	1 (1)	6 (42)	6 (19)	3 (4)	10 (50)	5 (21)	3 (15)	11 (35)	12 (59)
DFPP		2 (16)	2 (10)		5 (25)					1 (3)	6 (20)	3 (7)	1 (3)	4 (20)	1 (2)	4 (17)		1 (12)									
IAPP						4 (24)	2 (5)	1 (7)		1 (5)	2 (13)		2 (7)	1 (7)						3 (11)	3 (12)	1 (5)				1 (3)	
LDL-A							1 (16)		1 (12)		1 (13)	1 (16)	1 (5)	1 (5)						2 (4)	1 (8)				1 (8)	1 (7)	
CART																						4 (4)	14 (25)	10 (16)	14 (27)	22 (22)	

症例数(実施件数)

持続的血液ろ過透析(持続的血液透析、持続的血液ろ過を含む)

CHDF  
G(L)CAP  
PMX

DHP  
PE

DFPP  
IAPP

LDL-A

CART

持続的血液ろ過透析(持続的血液透析、持続的血液ろ過を含む)

白血球系細胞除去療法

エンドトキシン吸着法

直接血液灌流

単純血漿交換療法

二重濾過血漿交換療法

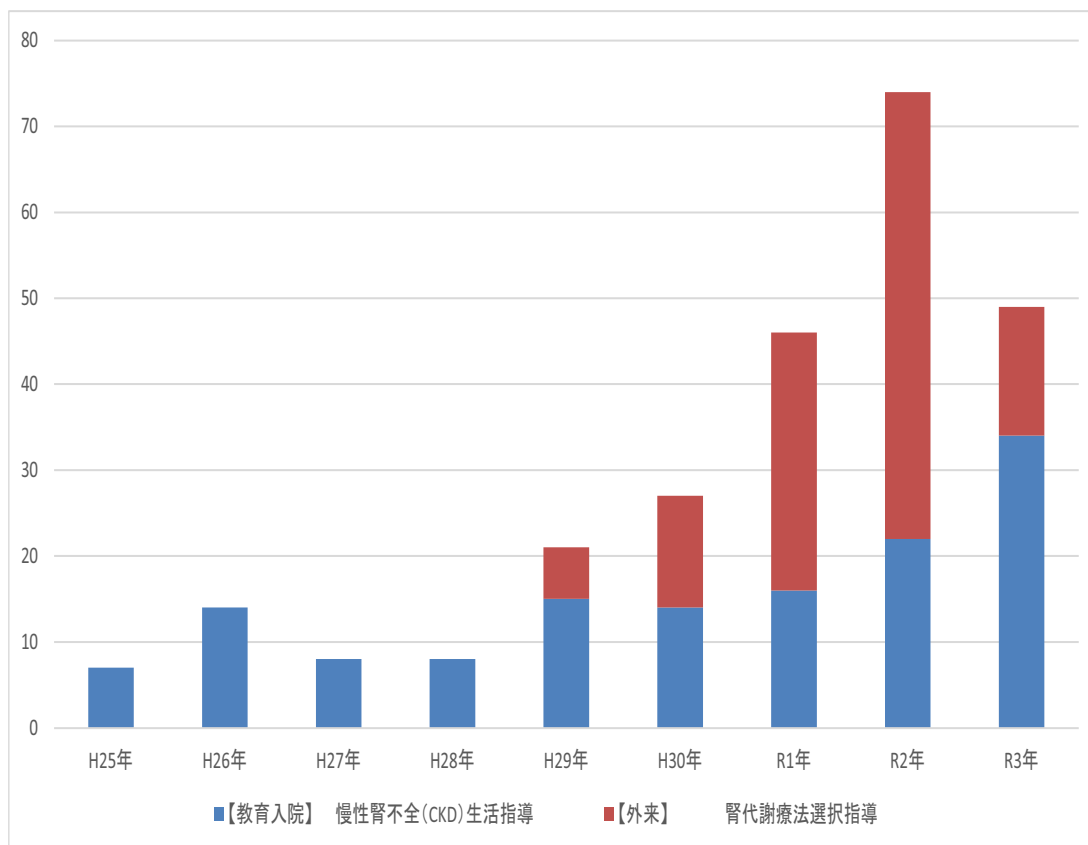
免疫吸着療法

(V)LDL-コレステロール吸着法

腹水濾過濃縮再静注法

## C K D 教育入院

	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
【教育入院】 慢性腎不全(CKD)生活指導	7	14	8	8	15	14	16	22	34
【外来】 腎代謝療法選択指導	0	0	0	0	6	13	30	52	15



中央検査部統計(部門別・月別)

丸め項目は単項目として点数計算

	令和3年												令和2年 計	前年比較 (△印減)	前年比 (%) (△印減)	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
生化学	件数	212,647	201,160	235,044	230,452	223,670	237,672	242,453	245,746	243,247	240,658	239,364	242,725	2,794,838	316,396	12.8%
	点数	3,290,036	3,095,800	3,603,635	3,525,113	3,434,320	3,638,091	3,689,176	3,860,861	3,866,155	3,810,166	3,776,138	3,850,075	43,439,566	9,043,172	26.3%
血清	件数	15,572	10,132	12,007	11,821	10,842	14,308	11,584	12,535	11,823	12,288	12,164	12,542	147,618	△ 14,723	△ 9.1%
	点数	1,761,114	1,249,609	1,482,402	1,478,990	1,354,421	1,675,139	1,465,706	1,561,583	1,456,446	1,491,337	1,476,693	1,524,455	17,977,895	△ 983,247	△ 5.2%
一般	件数	7,999	7,535	8,917	8,208	7,819	8,810	8,971	9,143	8,848	8,816	9,125	9,147	103,338	9,500	10.1%
	点数	209,040	197,511	230,572	211,919	205,284	233,320	235,903	239,741	233,255	233,353	239,127	239,014	2,708,039	288,002	11.9%
血液	件数	35,523	35,052	39,971	36,574	36,015	37,652	38,201	39,722	39,587	38,955	38,664	38,752	454,668	64,646	16.6%
	内訳件数	62	50	87	69	81	77	70	81	65	60	68	74	844	178	26.7%
細菌	件数	1,129,612	1,244,726	1,243,916	1,027,699	1,040,383	1,038,352	1,057,498	1,125,967	1,127,450	1,111,543	1,088,681	1,068,676	13,304,503	2,796,298	26.6%
	点数	4,871	4,292	4,826	4,326	4,858	5,541	5,349	6,232	4,215	4,988	5,344	5,057	59,899	9,534	18.9%
生理	件数	1,157,010	1,114,716	1,180,680	1,254,234	1,698,260	1,620,483	1,721,311	2,222,614	2,001,008	1,506,604	1,410,647	1,386,502	18,274,069	9,472,825	107.6%
	点数	3,490	3,236	3,837	3,388	3,165	3,782	3,849	3,858	3,766	4,203	3,962	3,921	44,457	5,968	15.5%
計	件数	907,180	858,585	1,115,975	929,155	847,405	960,030	991,755	1,041,700	958,685	1,123,105	1,026,855	1,012,410	11,772,840	1,286,110	12.3%
	点数	280,102	261,407	304,602	294,769	286,369	307,765	310,407	317,236	311,486	309,908	308,623	312,144	3,604,818	391,321	12.2%
計	件数	8,453,992	7,760,947	8,857,180	8,427,110	8,580,073	9,165,415	9,161,349	10,052,466	9,642,999	9,276,108	9,018,141	9,081,132	107,476,912	21,903,160	25.6%
	点数	297	304	292	234	310	280	314	293	326	301	316	319	294/日	294/日	

中央採血室 月別採血件数

	令和2年												令和2年 合計	前年比		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
月 合計	5,643	5,476	6,716	5,642	5,577	6,169	6,276	6,347	6,510	6,013	6,313	6,373	6,088	73,055	71,092	2.8%
日 平均	297	304	292	234	310	280	314	293	326	301	316	319	294/日	294/日	294/日	

細菌検査部門において保険点数の高いPCR検査件数が増加し、保険点数が前年比倍増となった。  
依然として新型コロナウイルスの影響が残っているが、検査部全体として件数、点数ともに増加傾向を示した。

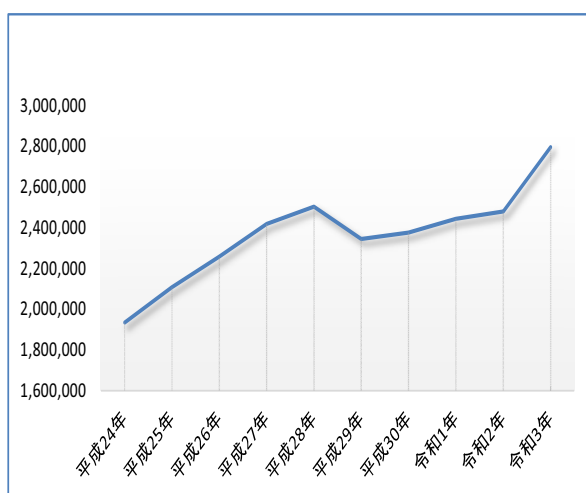
## 部門別依頼件数 年推移

(件)

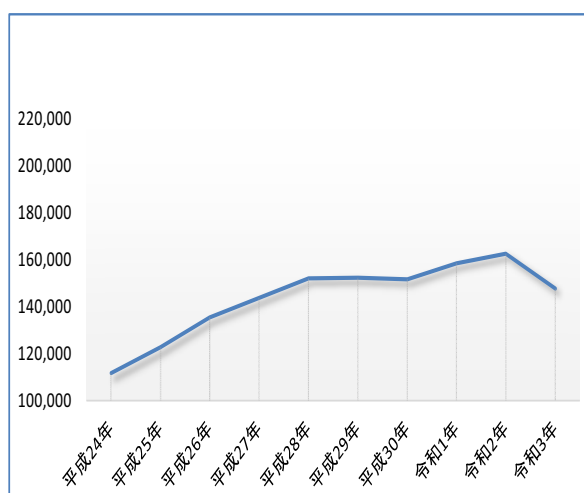
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
生化	1,933,336	2,106,242	2,256,481	2,416,645	2,502,118	2,342,858	2,374,774	2,442,525	2,478,442	2,794,838
血清	111,627	122,608	135,272	143,557	151,872	152,198	151,513	158,293	162,341	147,618
一般	556,766	682,931	723,643	756,214	814,865	95,687	89,925	92,486	93,838	103,338
血液	717,419	753,945	804,324	861,476	889,365	363,924	370,627	377,811	390,022	454,668
細菌	39,068	41,981	45,043	50,641	53,284	53,001	48,263	50,571	50,365	54,842
生理	34,968	36,761	38,297	39,999	43,194	40,381	40,632	41,496	38,489	44,457

依然として新型コロナの影響が残っているが、検査部全体としては増加傾向を示した。

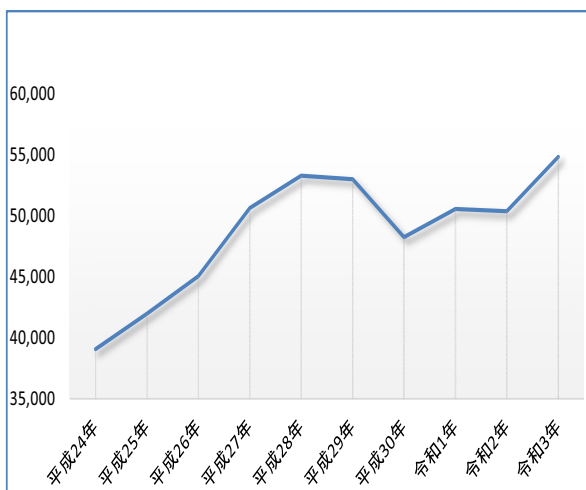
生化部門 件数推移



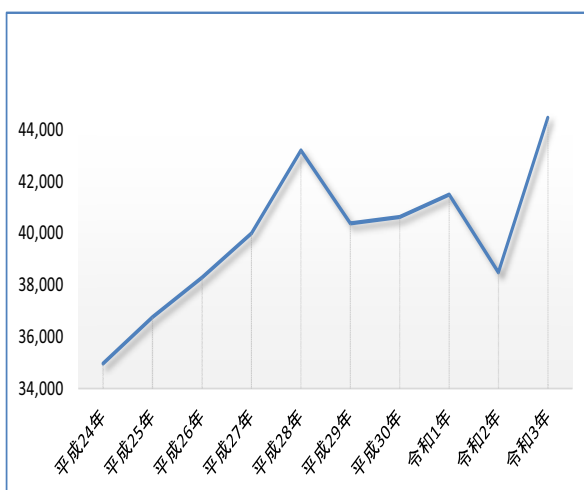
血清部門 件数推移



細菌部門 件数推移



生理部門 件数推移



時間外 緊急検査統計

(令和3年)

	生化・血清検査関連						前年比較(△減)		
	令和2年			令和3年			外来	入院	計
	外来	入院	計	外来	入院	計			
AST(GOT)	7,202	12,469	6,873	14,546	△ 329	2,077	1,748		
ALT(GPT)	7,197	12,645	6,873	14,543	△ 324	1,898	1,574		
ALP	5,944	10,658	5,904	12,324	△ 40	1,666	1,626		
CHE	703	3,475	702	4,126	△ 1	651	650		
γ-GTP	6,609	10,362	6,420	11,385	△ 189	1,023	834		
LDH	7,077	12,113	6,806	13,997	△ 271	1,884	1,613		
T-BIL	7,144	12,035	6,835	14,052	△ 309	2,017	1,708		
D-BIL	6,089	4,475	6,180	5,764	111	1,289	1,400		
タンパク	7,023	10,510	6,782	12,527	△ 241	2,017	1,776		
アルブミン	7,027	11,050	6,818	12,865	△ 209	1,815	1,606		
BUN	7,188	12,858	6,883	14,818	△ 305	1,960	1,655		
CRE	7,189	12,916	6,890	14,864	△ 299	1,948	1,649		
尿酸	5,771	3,491	5,933	4,253	162	762	924		
CPK	6,433	7,551	6,362	8,587	△ 71	1,036	965		
LAP	132	45	129	61	△ 3	16	13		
血清AMY	3,436	4,843	3,350	4,842	△ 86	△ 1	△ 87		
T-CHO	354	652	487	706	133	54	187		
中性脂肪	380	591	490	720	110	129	239		
HDL-C	174	397	246	484	72	87	159		
LDL-C	128	380	206	471	78	91	169		
血清Na	7,191	12,918	6,885	14,764	△ 306	1,846	1,540		
血清Cl	7,162	12,110	6,848	14,175	△ 314	2,065	1,751		
血清K	7,190	12,910	6,892	14,766	△ 298	1,856	1,558		
血清Ca	5,943	5,997	5,784	7,288	△ 159	1,291	1,132		
血清P	670	3,186	786	3,848	116	662	778		
血清Mg	362	2,395	580	2,969	218	574	792		
血清鉄	173	419	236	605	63	186	249		
UIBC	86	139	102	290	16	151	167		
フェリチン	158	493	214	792	56	299	355		
血中NH3	450	373	472	477	22	104	126		
CRP	7,179	11,996	6,835	13,826	△ 344	1,830	1,486		
血中ケトン	916	173	820	189	△ 96	16	△ 80		
血糖	6,857	6,762	6,608	8,080	△ 249	1,318	1,089		
BNP	58	240	770	734	712	494	1,206		
一部尿AMY	1	2	2	6	1	4	5		
血液ガス	220	1,793	226	2,168	6	375	381		
マトレキサート	0	24	0	36	0	12	12		
プロカルシトニン	516	844	92	192	509	906	1,415		
ミオグロビン	106	180	3	31	78	164	242		
トロポニンT	1,014	94	975	124	975	122	1,097		
HBs抗原	635	54	144	37	957	358	1,315		
HCV抗体	633	54	144	37	944	336	1,280		
HIV抗原・抗体	556	33	129	15	767	160	927		

	血液検査関連						前年比較(△減)		
	令和2年			令和3年			外来	入院	計
	外来	入院	計	外来	入院	計			
検血(CBC)	7,170	12,995	6,805	15,537	△ 365	2,542	2,177		
網状赤血球	232	2,710	283	3,641	51	931	982		
血液像	997	4,457	3,190	8,024	2,193	3,567	5,760		
PT時間	4,345	4,975	4,707	5,824	362	849	1,211		
APTT	4,317	4,472	4,689	5,292	372	820	1,192		
フィブリノーゲン	3,986	3,504	4,471	3,798	485	294	779		
ATⅢ	70	1,052	64	1,108	△ 6	56	50		
血中FDP	4,054	3,337	4463	3974	409	637	1,046		
Dダイマー	4,215	3,195	4597	3705	382	510	892		
可溶性フィブリン	18	242	24	405	6	163	169		

	一般検査関連						前年比較(△減)		
	令和2年			令和3年			外来	入院	計
	外来	入院	計	外来	入院	計			
検尿	1,817	1,927	1,759	2,345	△ 58	418	360		
リコール	19	18	20	22	1	4	5		

	その他						前年比較(△減)		
	令和2年			令和3年			外来	入院	計
	外来	入院	計	外来	入院	計			
ABO式血液型	1,026	355	1,129	430	103	75	178		
Rh(D)式	1,026	355	1,129	430	103	75	178		
交差試験(本数)	188	1,129	242	1,129	54	0	54		
不規則抗体	697	205	790	277	93	72	165		
HCG-25	10	13	196	1	186	△ 12	174		
インフルエンザ	1,001	199	309	7	△ 692	△ 192	△ 884		
RSウイルス	80	13	113	9	33	△ 4	29		
A群溶連菌迅速	113	5	119	1	6	△ 4	2		
心電図	44	110	105	93	61	△ 17	44		
血液培養	1,747	1,879	1,718	2,097	△ 29	218	189		

新型コロナウイルスによる外来患者減少により、生化学検査件数が減少した。また、継続的な新型コロナウイルス対策の実施でインフルエンザ患者が減少し、インフルエ

## 病理診断科部統計

令和3年(2021年) 病理組織検査 診療科別・月別 統計表

診療科名	1月件数	2月件数	3月件数	4月件数	5月件数	6月件数	7月件数	8月件数	9月件数	10月件数	11月件数	12月件数	合計件数
外科	51	54	68	53	48	51	50	55	62	61	61	71	685
整形外科	9	7	13	8	7	9	9	5	9	14	10	9	109
小児科	2	4	7	7	3	6	4	7	1	2	4	4	51
産婦人科	96	103	126	95	112	111	95	124	96	103	98	109	1,268
眼科	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
耳鼻いんこう科	25	19	23	23	27	27	38	25	29	31	24	35	326
皮膚科	34	20	37	40	42	61	45	45	41	54	46	53	518
泌尿器科	36	28	34	35	29	28	32	38	37	39	38	36	410
呼吸器内科	11	14	16	14	11	13	17	19	18	15	17	19	184
脳神経外科	5	5	2	6	4	4	4	7	7	8	2	6	60
呼吸器外科	12	10	11	7	13	10	16	12	19	19	21	17	167
歯科口腔外科	4	4	3	8	6	4	8	6	7	13	11	8	82
循環器内科	1	0	1	3	2	0	1	0	0	5	0	0	13
消化器内科	9	12	12	16	8	9	6	9	14	15	6	8	124
腎臓内科	3	1	2	2	3	6	4	4	1	3	5	5	39
血液内科	31	24	52	43	61	43	38	42	43	33	39	46	495
乳腺外科	13	21	26	22	21	25	22	30	29	25	19	32	285
心臓血管外科	0	3	2	1	1	1	1	2	1	4	2	2	20
脳神経内科	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
総合診療・膠原病内科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
消化器病センター	143	157	204	219	198	232	224	195	226	255	243	249	2,545
月合計	485	487	641	602	597	641	614	625	641	699	646	710	7,388

令和3年(2021年) 細胞診 診療科別・月別 統計表

診療科名	1月件数	2月件数	3月件数	4月件数	5月件数	6月件数	7月件数	8月件数	9月件数	10月件数	11月件数	12月件数	合計件数
外科	8	13	10	10	5	7	9	8	6	11	17	6	110
整形外科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3
小児科	13	11	17	13	10	15	10	12	11	9	6	11	138
産婦人科	123	138	202	141	161	191	145	175	174	150	148	187	1,935
耳鼻いんこう科	20	22	15	19	24	25	17	15	13	13	14	18	215
泌尿器科	47	42	66	74	50	67	68	53	60	81	90	81	779
呼吸器内科	41	40	50	45	40	36	42	42	43	52	55	53	539
脳神経外科	3	2	0	3	3	0	1	0	0	1	0	0	13
呼吸器外科	6	3	7	3	5	4	8	6	10	9	13	10	84
人間ドック	37	35	25	19	22	57	48	49	63	50	48	48	501
歯科口腔外科	5	5	6	6	6	4	13	5	5	10	7	7	79
循環器内科	0	0	0	0	1	0	1	3	0	0	1	0	6
消化器内科	22	15	13	31	24	9	17	20	20	27	28	33	259
腎臓内科	0	2	4	2	1	4	2	2	2	1	4	5	29
血液内科	7	4	7	10	9	12	10	7	11	15	7	5	104
乳腺外科	20	11	15	15	15	22	18	23	35	19	30	16	239
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
糖尿病・内分泌内科	0	0	0	1	2	0	0	1	0	2	0	0	6
脳神経内科	1	1	0	0	1	2	2	2	0	1	3	2	15
総合診療・膠原病内科	1	1	0	1	2	1	2	2	2	2	0	1	15
月合計	355	345	437	393	381	456	414	425	455	454	472	483	5,070

令和3年(2021年) 病理組織検査 検査項目別・月別・件数 統計表

検査項目	令和3年												令和2年 合計件数	前年比較 (△印減)	前年比 増減(%)	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数				
普通標本1臓器	388	384	511	500	486	505	493	490	515	566	502	552	5892	5316	576	10.84%
普通標本2臓器	50	55	85	58	70	96	64	76	74	76	79	106	889	786	103	13.10%
普通標本3臓器以上	30	36	30	32	29	29	35	45	36	40	46	39	427	414	13	3.14%
迅速診断	15	9	14	8	10	7	20	13	15	15	19	9	154	149	5	3.36%
診断のみ(借用標本)	2	3	4	4	2	4	2	1	1	3	1	4	28	36	△8	△22.22%
neuropsy	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
免疫抗体法1(免疫染色1)	60	59	70	74	67	75	56	75	89	74	79	101	879	784	95	12.12%
免疫抗体法2(免疫染色2)	27	29	33	29	29	35	27	20	32	29	34	42	362	291	71	24.40%
ER/PgR検査	7	10	9	10	9	9	9	13	14	10	7	18	125	129	△4	△3.10%
HER2/neu蛋白検査	8	9	9	10	7	9	9	13	12	10	7	15	118	124	△6	△4.84%
EGFR遺伝子変異解析	0	0	3	0	4	1	1	2	2	0	2	0	19	17	2	11.76%
HER2遺伝子(FISH)	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	8	15	△7	△46.66%
HER2タンパク(HC)	5	5	4	3	2	4	4	3	7	11	6	5	59	65	△6	△9.23%
ALK遺伝子(FISH)	1	1	1	1	1	3	2	2	0	2	0	0	14	10	4	40%
EGFRタンパク(免疫染色)	8	7	11	12	9	7	12	5	3	12	8	15	109	122	△13	△10.68%
ALKタンパク(HC)	0	2	1	0	2	2	2	3	2	2	0	0	16	22	△6	△27.27%
OCR4タンパク(HC)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	100%
肺癌ALKタンパク(AEP法)	2	1	1	3	3	1	3	2	2	1	1	2	22	24	△2	△8.33%
EGFR遺伝子変異解析(v2.0)	2	2	1	2	4	3	2	2	4	3	0	2	27	31	△4	△12.90%
RAS遺伝子変異解析(POR-rSSO法)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	△1	△50.00%
c-kit遺伝子変異解析(GIST)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	△1	△100%
肺癌PD-L1タンパク(HC)抗体22C3	4	2	3	5	5	4	3	4	5	6	6	3	50	47	3	△6.38%
肺癌PD-L1タンパク(HC)抗体28-8	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4	3	1	33.33%
肺癌PD-L1タンパク(HC):SP142	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	100%
頭頸部腫瘍PD-L1タンパク(HC):抗体28-8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	△4	△100%
頭頸部腫瘍PD-L1タンパク(HC)抗体28-8	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	3	2	1	50.00%
乳腺腫瘍PD-L1タンパク(HC):SP142	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	2	1	50.00%
乳腺腫瘍PD-L1タンパク(HC):22C3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	100%
メラノーマ腫瘍PD-L1タンパク(HC):抗体28-8	0	0	0	0	1	2	0	0	2	0	1	0	6	0	6	100%
食道腫瘍PD-L1タンパク(HC):22C3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	100%
胃癌腫瘍PD-L1タンパク(HC):28-8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	100%
BRAF V600変異解析(PCR)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	100%
ROS1融合遺伝子定性(RT-PCR)	1	3	2	3	3	3	4	5	4	3	1	2	34	40	△6	△15.00%
RAS・BRAF遺伝子変異解析	9	10	12	12	11	10	12	6	8	11	9	17	127	135	△8	△5.93%
BRAF遺伝子検査(PCR+rSP法)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0%
オンコマイン Dx Target Test CDx システム	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	5	△2	△40%
オンコマイン Dx Target Test マルチ CDx システム	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	3	2	1	50.00%
オンコマイン Dx Target Test マルチ研究用46遺伝子解析	1	0	0	1	2	1	1	0	2	2	6	3	19	0	19	100%
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査	4	10	3	3	4	4	6	3	13	14	11	16	91	21	70	333.33%
ArcherMx14スキャン検査	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	100%
EZH2遺伝子変異解析	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	100%
myChoice診断システム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0%
FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル	1	2	4	0	2	0	2	0	2	2	2	2	17	6	11	183.33%
悪性腫瘍病理組織標本加算	42	47	50	38	49	43	39	36	43	54	50	53	544	551	△7	△1.27%
月合計	688	684	862	812	818	860	811	824	889	950	880	1011	10069	9160	909	9.90%

令和3年(2021年) 病理組織検査 検査項目別・月別・点数 統計表

検査項目	令和3年												前年比較 (△印減)		
	1月点数	2月点数	3月点数	4月点数	5月点数	6月点数	7月点数	8月点数	9月点数	10月点数	11月点数	12月点数		合計点数	
検査項目	1月点数	2月点数	3月点数	4月点数	5月点数	6月点数	7月点数	8月点数	9月点数	10月点数	11月点数	12月点数	合計点数	令和2年 合計点数	前年比較 (△印減)
普通標本 1臓器	333680	330240	439460	430000	417960	434300	423980	421400	442900	486760	431720	474720	5067120	4571760	495360
普通標本 2臓器	8600	94600	146200	99760	120400	165120	110080	130720	127280	130720	135880	182320	1529080	1351920	177160
普通標本 3臓器以上	74400	92880	77400	82560	74820	74820	90300	116100	92880	103200	118680	100620	1101660	1088120	33840
迅速診断	29850	17910	27860	15920	19900	13930	39800	25870	29850	29850	37810	17910	306460	296510	9950
診断のみ(借用標本)	1000	1500	500	2000	1000	2000	1000	500	500	1500	500	2000	14000	18000	△4000
neuropsy	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
免疫抗体法1(免疫染色1)	24000	23600	28000	29600	26800	30000	22400	30000	35600	29600	31600	40400	351600	313600	38000
免疫抗体法2(免疫染色2)	43200	40000	52800	46400	46400	56000	43200	32000	51200	46400	54400	67200	579200	465600	113600
ER/Pgr検査	6300	9000	8100	9000	8100	8100	8100	11700	12800	9000	6300	16200	112500	116100	△3600
HER2/neu蛋白検査	5520	6210	6210	6900	4830	6210	6210	8970	8280	6900	4830	10350	81420	85560	△4140
EGR遺伝子変異解析	0	0	6300	0	8400	2100	4200	10500	4200	0	4200	0	39900	35700	4200
HER2遺伝子(FISH)	0	2700	2700	5400	0	2700	0	2700	0	2700	0	2700	0	40500	△18900
HER2タンパク(IHC)	3450	3450	2760	2070	1380	2760	2760	2070	4830	7590	4140	3450	40710	44850	△4140
ALK遺伝子(FISH)	6520	6520	6520	6520	19560	13040	13040	13040	0	13040	0	0	91280	65200	26080
EGRタンパク(免疫染色)	5520	4830	7590	8280	6210	4830	8280	3450	2070	8280	5520	10350	75210	84180	△8970
ALKタンパク(IHC)	0	800	400	0	800	800	800	1200	800	800	0	0	6400	8800	2400
CCR4タンパク(IHC)	0	0	10000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10000	0	10000
肺癌ALKタンパク(JAEP法)	5400	2700	2700	8100	8100	2700	8100	5400	5400	2700	2700	5400	59400	64800	△5400
EGR遺伝子変異解析(v2.0)	5000	5000	2500	5000	10000	7500	5000	5000	10000	7500	0	5000	67500	77500	△10000
RAS遺伝子変異解析(PCR+SSO法)	0	0	0	0	2500	0	0	0	0	0	0	0	2500	5000	△2500
c-kit遺伝子変異解析(GIST)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2100	△2100
肺癌PD-L1タンパク(IHC)抗体22C3	10800	5400	8100	13500	13500	10800	8100	10800	13500	16200	16200	8100	135000	126900	8100
肺癌PD-L1タンパク(IHC)抗体28-8	2700	0	0	0	0	2700	2700	2700	0	0	0	2700	10800	8100	2700
肺癌PD-L1タンパク(IHC)抗体SP142	0	0	0	0	0	0	0	2700	2700	0	0	0	5400	5400	0
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)抗体28-8	0	0	0	0	0	2700	2700	0	2700	0	0	0	8100	5400	2700
乳癌PD-L1タンパク(IHC)抗体22C3	0	0	5400	0	0	0	0	2700	0	0	0	0	8100	5400	2700
乳癌PD-L1タンパク(IHC)抗体SP142	0	0	0	2700	0	0	0	0	0	0	0	0	2700	2700	0
メラノーマPD-L1タンパク(IHC)抗体28-8	0	0	0	0	2700	0	0	0	0	0	0	2700	5400	2700	2700
食道癌PD-L1タンパク(IHC)抗体22C3	0	0	0	0	2700	5400	0	0	5400	0	2700	0	16200	16200	0
胃癌PD-L1タンパク(IHC)抗体28-8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5400	5400	0
BRAF V600E変異解析(PCR)	0	0	0	0	5000	0	0	0	0	0	0	0	10000	10000	0
ROS1融合遺伝子定性(RT-PCR)	2500	7500	5000	7500	7500	7500	10000	12500	10000	7500	2500	5000	85000	100000	15000
RAS+BRAF遺伝子変異解析	36000	40000	48000	48000	44000	40000	48000	24000	32000	44000	36000	68000	508000	540000	△32000
BRAF遺伝子検査(PCR+SSP法)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2100	0	0	2100	2100	0
オンコマイン Dx Target Test CDx システム	0	5000	0	5000	0	0	0	0	0	0	0	5000	15000	25000	△10000
オンコマイン Dx Target Test マルチ ODxシステム	0	0	0	0	14000	14000	0	0	0	14000	0	0	42000	23400	18600
オンコマイン Dx Target Test マルチ研究用46遺伝子解析	14000	0	0	14000	28000	14000	14000	0	28000	28000	84000	42000	266000	266000	0
マイクロアライメント不安定性(MSI)検査	10000	25000	7500	7500	10000	10000	15000	7500	32500	35000	27500	40000	227500	44500	183000
ArcherME Tex14スキャニング検査	0	0	0	0	5000	0	0	0	0	0	5000	0	10000	10000	0
EZH2遺伝子変異解析	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2500	0	0	2500	2500	0
myChoice診断システム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64400	64400	64400	0
FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル	56000	112000	224000	0	112000	0	112000	0	112000	112000	112000	0	952000	336000	616000
悪性腫瘍病理組織標本加算	6300	7050	7500	5700	7350	6450	5850	5400	6450	8100	7500	7950	81600	82650	△1050
月合計	771140	843890	1133500	861410	1021270	944280	1005600	883520	1073640	1155940	1137080	1189470	12020740	10038750	1981990

令和3年(2021年) 細胞診 検査項目別・月別 件数 統計

検査項目	令和3年												令和2年 合計件数	前年比較 (△印減)	前年比 (%) (△印減)	
	1月件数	2月件数	3月件数	4月件数	5月件数	6月件数	7月件数	8月件数	9月件数	10月件数	11月件数	12月件数				合計件数
一般材料1材料	203	182	217	245	205	220	229	217	227	261	281	253	2,740	2,699	41	1.52%
婦人科材料1材料	151	162	220	148	174	236	185	208	226	192	186	227	2,315	2,161	154	7.13%
術中迅速	1	1	1	0	2	0	0	0	2	1	5	3	16	10	6	60%
EGFR遺伝子変異解析(v2.0)	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	5	7	△2	△28.57%
月合計	356	345	439	394	381	456	415	425	455	454	473	483	5,076	4,877	199	4.08%

令和3年(2021年) 細胞診 検査項目別・月別 点数 統計

検査項目	令和3年												令和2年 合計件数	前年比較 (△印減)	前年比 (%) (△印減)	
	1月件数	2月件数	3月件数	4月件数	5月件数	6月件数	7月件数	8月件数	9月件数	10月件数	11月件数	12月件数				合計件数
一般材料1材料	38,570	34,580	41,230	46,550	38,950	41,800	43,510	41,230	43,130	49,590	53,390	48,070	520,600	512,810	7,790	1.52%
婦人科材料1材料	22,650	24,300	33,000	22,200	26,100	35,400	27,750	31,200	33,900	28,800	27,900	34,050	347,250	324,150	23,100	7.13%
術中迅速	450	450	450	0	900	0	0	0	900	450	2,250	1,350	7200	4,500	2,700	60%
EGFR遺伝子変異解析(v2.0)	2,500	0	2,500	2,500	0	0	2,500	0	0	0	2,500	0	12,500	17,500	△5,000	△28.57%
月合計	64,170	59,330	77,180	71,250	65,950	77,200	73,760	72,430	77,930	78,840	86,040	83,470	887,550	858,960	28,590	4.08%

令和3年(2021年) OSNA検査(乳腺外科) 月別・件数・点数 統計表

項目名	令和3年												令和2年 合計	前年比較 (△印減)	前年比 (%) (△印減)	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				合計
OSNA 検査 件数	6	5	8	6	5	8	5	9	2	3	4	3	64	70	△6	1.52%
OSNA 検査 点数	14,400	12,000	19,200	14,400	12,000	19,200	12,000	21,600	4,800	7,200	9,600	7,200	153,600	168,000	△14,400	7.13%

## 令和3年（2021年） 細胞診 検査項目別・月別 点数 統計

診療科	令和3年													令和2年	前年比較
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計合	年計合	(△印減)
腎臓内科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
消化器内科	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	1	1
血液内科	1	1	0	3	1	0	0	0	0	2	1	0	9	8	1
呼吸器内科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	△1
脳神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	△1
整形外科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	△1
月合計	1	2	1	3	1	2	0	0	2	2	1	0	15	10	5

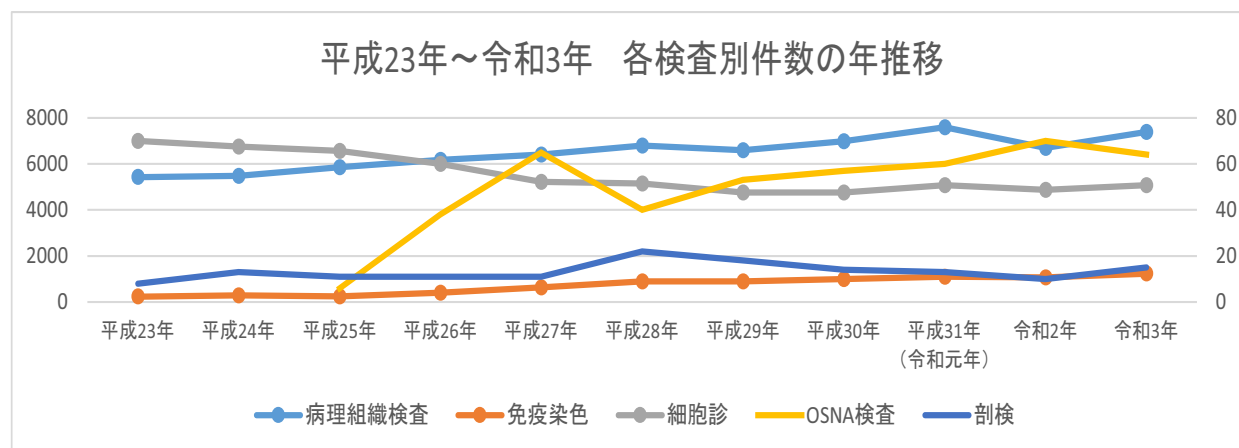
## 平成23年～令和3年 各検査別件数の年推移

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 (令和元年)	令和2年	令和3年
病理組織検査	5436	5485	5862	6168	6409	6802	6598	6978	7593	6701	7388
免疫染色	238	285	244	404	630	890	897	1001	1092	1075	1241
細胞診	7000	6758	6563	6006	5217	5151	4759	4757	5070	4870	5070
OSNA検査			6	38	65	40	53	57	60	70	64
剖検	8	13	11	11	11	22	18	14	13	10	15

病理組織検査件数は生検や手術の増加に伴い年々増加していたが、令和2年は新型コロナ感染拡大のため減少した。しかし、令和3年は新型コロナ感染の影響が少なくなって、病理組織検査件数が増加してきた。

免疫染色は平成25年3月に自動免疫染色装置を導入し、平成26年より運用を開始した。それ以前は外部委託であった。免疫染色の院内化により、件数が年々増加している。特に、肺癌や血液疾患の診断確定に利用されている。

OSNA検査（遺伝子検査）は平成25年9月に導入され、同年11月より運用を開始した。OSNA検査の導入により、乳癌におけるセンチネルリンパ節への転移の診断が正確で容易となり臨床に貢献できている。導入以前は、迅速凍結切片を作製して鏡検にて診断していた。



## 剖検記録

剖検番号 1460

72歳 男性 出所：血液内科 (主治医：柴田悠平 研修医：木村圭太、河村涼花)

臨床診断：濾胞性リンパ腫 グレード2

主病診断：濾胞性リンパ腫 (grade 2)

同浸潤・転移：心室中隔、肝、胆嚢、膵、脾、胃、十二指腸、腸間膜、回腸、

虫垂、結腸、副腎、腎、膀胱、後腹膜、骨髓

リンパ節：傍大動脈周囲～両側外腸骨リンパ節

副病変：

# 肝胆汁うっ滞 (1510g)

# 虚血性直腸炎

# 甲状腺濾胞腺腫

# 前立腺肥大症

# 大動脈粥状硬化症

# 副脾

# [右腎結石] (160;140g)

直接死因：濾胞性リンパ腫

剖検番号 1461

71歳 男性 出所：血液内科 (主治医：生駒良和 研修医：後藤貴之)

臨床診断：急性骨髄性白血病

主病診断：重複がん

①急性骨髄性白血病

同浸潤・転移：大脳、脳幹(中脳、橋、延髄)、小脳、髄膜、胸腔、肺胸膜、肺、食道中部、小腸、結腸

リンパ節：転移なし

②左上葉肺癌術後 (詳細不明)

同浸潤・転移：なし

副病変：

1.左胸腔左後面血腫 (腫瘍浸潤あり)

2.右肺気管支性嚢胞 (350g)

3.前立腺アミロイドーシス

4.右腰部皮膚脂肪腫

5.逆流性食道炎+胃びらん

6.右腎嚢胞+腎結石 (150;160g)

7.腺腫様甲状腺腫 (35g)

直接死因：急性骨髄性白血病

剖検番号 1462

43歳 女性 出所：血液内科 (主治医：生駒良和 研修医：槇原貫)

臨床診断：急性未分化白血病

主病診断：急性未分化白血病

同浸潤・転移：無し

副病変：

1.敗血症

2.全身浮腫 (中心性肥満)

- 3.びまん性肺胞障害+肺鬱血水腫 (670;760g)
  - 4.腎微小膿瘍+腎盂腎炎+水腎症+左尿管結石 (105;115g)
  - 5.血栓性微小血管症 (TMA)
  - 6.肝胆汁うっ滞 (1300g)
  - 7.出血性膀胱炎+膀胱血腫
  - 8.子宮筋腫+右卵巣子宮内膜症性嚢胞 (チョコレート嚢胞)
- 直接死因：微小血栓 (腎・肺・心) を伴う敗血症

剖検番号 1463

66歳 男性 出所：消化器内科 (主治医：伊藤有紀 研修医：犬飼将旭、太田惇耶)

臨床診断：敗血症性ショック

主病診断：

# 遠位胆管癌(膵頭十二指腸切除術+胆嚢摘出術後)

同浸潤・転移：なし

リンパ節：転移なし

副病変：

# 敗血症

# 血球貪食像 (脾・骨髓)

# [血液培養陽性 (Aeromonas エロモナス属)]

# 右腎盂出血斑、両側腎多発貯留嚢胞 (170;180g)

# 脂肪組織炎 (心、大動脈、気管周囲リンパ節、食道腺周囲、消化管周囲漿膜下層、腸間膜(上腸間膜動脈周囲)、膵、副腎、骨盤腹膜(ダグラス窩))

# 前立腺炎

# 冠動脈・胸腹部大動脈壁粥状硬化症

# 陳旧性虚血性心筋障害 (290 g)

# 肺うっ血 + 肺水腫 (730;1400 g)

# うっ血肝 + 肝虚血性変化・急性肝障害 + 脂肪肝

# 門脈圧亢進症

# 腔水症 (胸水、腹水、心嚢水) + 陰嚢水腫

# デンバーシャント造設状態 (右頸部血腫)

# 脾腫 (220g)

# 副腎過形成 (11.2;9.5g)

# 全身のうっ血傾向 (肺、肝臓、腎臓)

# 全身の出血傾向 (体表びらん)

# びらん性胃炎 + 消化管びらん・出血

# 甲状腺腺腫様結節

直接死因：敗血症性ショック

剖検番号 1464

83歳 男性 出所：腎臓内科 (主治医：河村涼花 研修医：加藤尚能、幅 智教)

臨床診断：腹膜炎、心原性ショック

主病変：

1.甲状腺乳頭癌 (ラテント癌、12.8g)

同浸潤・転移：なし

副病変：

1.糖尿病性腎症+貯留嚢胞 (85;80 g)

2.左室腔拡張+左室線維化 (糖尿病性心筋症疑) (330g)

3.肺うっ血・水腫+誤嚥性肺炎 (290;410g)

- 4.閉塞性動脈硬化症
  - 5.膵IPMN (55 g)
  6. CAPD腹膜炎後+腹膜・腸間膜肥厚+腹水 (透析液1850 ml、淡黄色透明)
  7. CAPDカテーテル留置術後+皮膚潰瘍
  - 8.大動脈粥状硬化 (軽度)
- 直接死因：循環不全 (心原性ショック)

剖検番号 1465

84歳 男性 出所：血液内科 (主治医：生駒良和 研修医：住吉孝允、大西拓海)

臨床診断：急性骨髄性白血病

主病変：三重がん

①急性骨髄性白血病

浸潤：心外膜、肺、気管、脾、肝、食道、胃、腸管、腎、膵、腸腰筋、膀胱、前立腺、副腎、腹部大動脈 リンパ節：傍気管

②前立腺癌 (右葉Gleason score 4+4=8、左葉Gleason score 4+3=7)

浸潤・転移：なし

③膀胱癌 (noninvasive papillary urothelial carcinoma, low grade, TUR-BT後)

浸潤・転移：なし

副病変：

- 1.気管支肺炎+肺膿瘍 (400; 680 g) +右胸水 (185 ml)
- 2.脾腫 (460 g)
- 3.陳旧性心筋梗塞 (左室前壁) +乳頭筋石灰化 (320 g)
- 4.胃過形成ポリープ
- 5.左腎貯留嚢胞 (105 g)
- 6.動脈粥状硬化症

直接死因：急性骨髄性白血病+膿瘍形成を伴う気管支肺炎

剖検番号 1466

60歳 男性 出所：血液内科 (主治医：生駒良和 研修医：江崎菜生、小林立樹)

臨床診断：急性骨髄性白血病

主病診断：急性骨髄性白血病(化学療法・臍帯血移植後再発)

同浸潤・転移：左鎖骨上、大動脈周囲、胃周囲リンパ節

副病変：

- 1.深在性真菌(ムコール)症(肺、脾臓)+肺梗塞 (380; 1380 g)
- 2.肝ヘモクロマトーシス(1680 g)
- 3.上嘴唇びらん・潰瘍+口腔真菌症
- 4.心外膜炎 (295 g) +心嚢水 (40 ml)
- 5.消化管(胃～大腸)多発びらん
- 6.左副腎皮質腺腫 (6.3 g)
- 7.全身の出血傾向
- 8.粥状動脈硬化症(中等度)

直接死因：呼吸不全

剖検番号 1467

55歳 男性

出所：血液内科 (主治医：早瀬直輝、笠原千嗣 研修医：大野泰輝、川出 真央)

臨床診断：グラム陽性桿菌感染症 (骨髄異形成症候群)

## 主病変：

1. 骨髓異形成症候群 臍帯血移植後
2. 侵襲性アスペルギルス症（+ムコール）：肺(530; 740 g)、心(550 g)、腎(170; 170 g)、甲状腺(30.4 g)、左上腕三頭筋

## 副病変：

1. びまん性肺胞障害+肺うつ血水腫+出血性肺梗塞（右上葉・中葉）  
+ 両側胸水貯留（450; 450 ml）
2. 求心性左心肥大+心嚢水貯留（132 ml）
3. 慢性膵炎（100 g）

直接死因：侵襲性アスペルギルス症による敗血症

## 剖検番号 1468

88歳 女性 出所：血液内科（主治医：柴田悠平 研修医：西脇哲平、高井一輝）

臨床診断：悪性リンパ腫

## 主病変：

1. diffuse large B-cell lymphoma（T-cell/histiocyte-rich large B cell lymphoma）  
同浸潤・転移：心外膜、肺(340;490 g)、肝(930g)、脾(100 g)、膵(80 g)、胃、腸管、腎（120;100 g）、左尿管、副腎(4;4 g)、子宮、両側附属器、大動脈外膜  
リンパ節：肺門部・大動脈周囲・骨盤内

## 副病変：

1. 胸水(340;100 ml)+腹水(1400 ml)
2. 気管支肺炎+肺うつ血水腫
3. 左水腎症+左腎貯留嚢胞+良性腎硬化症
4. 血球貪食症候群（骨髓、脾）
5. 肝左葉被膜下出血
6. 左室腔拡張+左室線維化
7. 大動脈粥状硬化
8. 子宮体部筋腫+子宮内避妊リング留置後

直接死因：腫瘍死

## 剖検番号 1469

57歳 女性 出所：血液内科（主治医：北川順一 研修医：花木建貴、前田晃子）

臨床診断：急性骨髄性白血病（+GVHD）

## 主病変：

1. 急性骨髄性白血病（臍帯血移植後再発・寛解後） 同浸潤・転移なし
2. 化膿性・混合性（アスペルギルス+グラム陰性桿菌）肺炎+器質化肺炎+肺うつ血  
+胸膜炎（650; 620 g）+胸水（200; 50 ml）

## 副病変：

1. 薬剤性肝障害（胆汁うつ滞型）疑（1,100 g）
2. 左室乳頭筋硝子化+虚血性変化（335 g）
3. 血球貪食症候群
4. [敗血症]
5. 黄疸腎+急性尿細管壊死+腎貯留嚢胞（150;150 g）
6. 腸管粘膜びらん・点状出血
7. 脾臓萎縮（17.4 g）
8. 膵仮性嚢胞（60 g）
9. 褥瘡

直接死因：化膿性・混合性肺炎による呼吸不全

## 輸血部統計

### 1.月別輸血関連検査数

外来/入院	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	ABO・Rh血液型	503	464	550	522	567	604	595	652	687	618	405	604	6,771
	ABO・Rh血液型(オモテのみ)	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	4
	Rh因子	1	0	2	1	1	0	1	2	0	3	1	0	12
	不規則抗体スクリーニング	363	309	347	352	355	393	406	420	431	416	274	382	4,448
	間接抗グロブリン試験	12	16	19	19	14	15	18	20	17	16	18	18	202
	直接抗グロブリン試験	9	8	12	14	9	14	13	15	11	9	10	14	138
	交差適合試験本数(T&S出庫含む)	82	78	91	109	99	135	114	98	130	105	93	123	1,257
	輸血後・保存用	1	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	5
	輸血前・保存用	41	41	46	53	67	74	55	55	67	59	32	58	648
入院	ABO・Rh血液型	160	132	136	150	153	149	161	162	151	142	106	143	1,745
	ABO・Rh血液型(オモテのみ)	2	0	1	0	3	3	0	5	3	3	0	3	23
	Rh因子	1	2	0	2	4		0	3	1	2	0	3	18
	不規則抗体スクリーニング	166	147	167	171	190	179	187	186	156	161	118	180	2,008
	間接抗グロブリン試験	8	3	3	3	4	6	4	5	3	6	4	2	51
	直接抗グロブリン試験	9	4	3	3	6	8	4	6	6	8	4	5	66
	交差適合試験本数(T&S出庫含む)	403	334	309	327	348	312	318	378	339	384	249	418	4,119
	輸血後・保存用	0	3	1	2	2	2	0	1	2	0	0	0	13
	輸血前・保存用	102	121	101	99	113	104	95	128	118	102	75	120	1,278

※院内血(いわゆる生血)採血: 0件

### 2.輸血関連検査数年変移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度
交差適合試験本数(T&S出庫含む)	5,471	5,413	4,905	5,178	4,719	5,130	5,376
ABO・Rh血液型	6,982	7,689	7,767	8,000	8,000	7,708	8,543
不規則抗体スクリーニング	4,356	4,896	4,838	5,239	5,653	5,972	6,456
間接抗グロブリン試験	268	257	224	197	213	230	253
直接抗グロブリン試験	140	151	118	99	124	164	204

### 3.不規則抗体検出状況

血液型	抗体名	件数	血液型	抗体名	件数
Rh	抗E	14	Lewis	抗Le <sup>a</sup>	23
	抗D	3		抗Le <sup>b</sup>	8
	抗C	1		抗Le <sup>a</sup> +抗Le <sup>b</sup>	1
	抗E+抗c	1	抗Chido	1	
Rh+その他	抗c+抗Le <sup>a</sup>	1	稀な血液型	抗Jr <sup>a</sup>	1
	抗E+抗Fy <sup>b</sup>	1		抗JMH	1
MNS	抗M	4	自己抗体		7
	抗S	1	自己抗体+抗Le <sup>a</sup>		1
Kidd	抗Jk <sup>a</sup>	2	その他未確定抗体		21
Duffy	抗Fy <sup>b</sup>	2	未確定抗体+抗Le <sup>a</sup>		1
P	抗P1	7	合計抗体検出件数		102
			抗体検出率(%)		1.58%

※抗体検出率の母数は「の不規則抗体スクリーニング件数」のため患者は重複している

4.赤血球製剤 型別購入・廃棄数

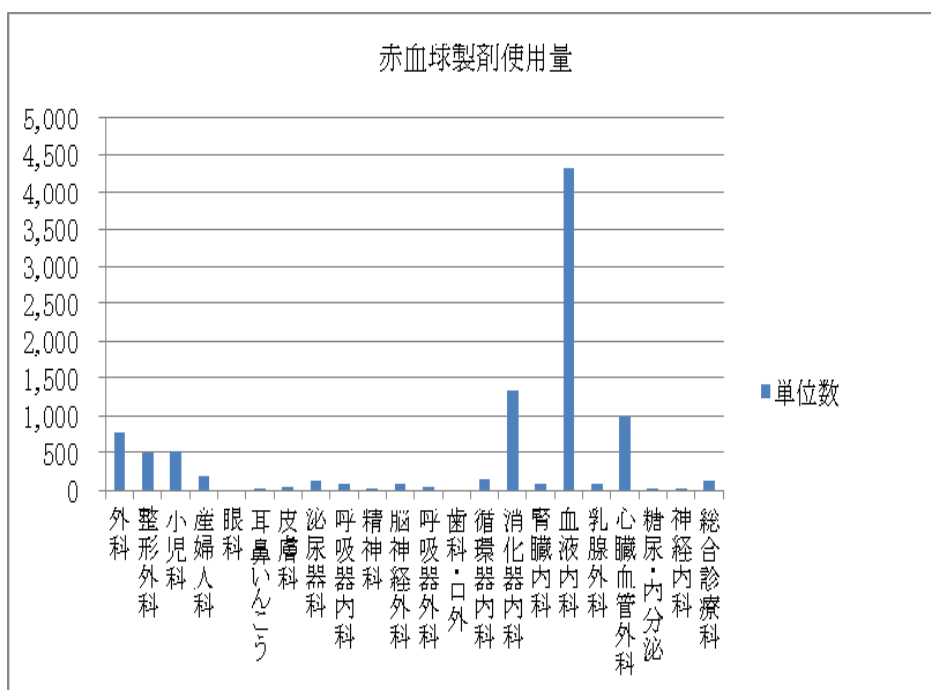
	A			O			B			AB			合計				
	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	購入額	廃棄	廃棄額	廃棄率
	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	(円)	単位数	(円)	(%)
4月	204	0	0.00	299	0	0.00	220	0	0.00	106	0	0.00	829	7,483,392	0	0	0.00
5月	279	0	0.00	180	0	0.00	229	0	0.00	82	0	0.00	770	6,950,794	0	0	0.00
6月	211	0	0.00	203	0	0.00	200	0	0.00	88	0	0.00	702	6,336,966	0	0	0.00
7月	268	0	0.00	286	2	0.70	105	0	0.00	112	0	0.00	771	6,959,824	2	18,054	0.26
8月	264	0	0.00	326	0	0.00	95	0	0.00	126	0	0.00	811	7,320,902	0	0	0.00
9月	239	2	0.84	266	0	0.00	151	0	0.00	126	0	0.00	782	7,059,122	2	18,054	0.26
10月	211	0	0.00	236	2	0.85	148	0	0.00	138	0	0.00	733	6,616,802	2	18,054	0.27
11月	301	0	0.00	244	0	0.00	214	0	0.00	94	0	0.00	853	7,700,042	0	0	0.00
12月	374	0	0.00	231	2	0.87	146	0	0.00	100	0	0.00	851	7,682,004	2	18,054	0.24
1月	378	0	0.00	271	0	0.00	136	0	0.00	90	0	0.00	875	7,898,644	0	0	0.00
2月	168	0	0.00	261	0	0.00	75	0	0.00	48	0	0.00	552	4,982,964	0	0	0.00
3月	311	0	0.00	303	0	0.00	201	0	0.00	120	0	0.00	935	8,440,300	0	0	0.00
合計	3,208	2	0.06	3,106	6	0.19	1,920	0	0.00	1,230	0	0.00	9,464	85,431,756	8	72,216	0.08

5.赤血球製剤 納品廃棄の年変移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度
納品単位数	9,360	9,270	8,632	9,123	8,320	9,243	9,464
廃棄単位数	4	6	22	12	6	18	8
廃棄率(%)	0.04	0.06	0.25	0.13	0.07	0.19	0.08
購入額(円)	82,964,852	82,160,082	76,505,446	80,857,208	74,133,199	83,436,608	85,431,756
廃棄額(円)	35,452	53,178	194,986	106,356	53,506	162,486	72,216

6.診療科別 赤血球製剤使用量

診療科	外科	整形外科	小児科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう	皮膚科	泌尿器科	呼吸器内科	精神科	脳神経外科	
単位数	778	488	515	188	0	10	52	124	76	10	84	
	呼吸器外科	歯科・口外	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	血液内科	乳腺外科	心臓血管外科	糖尿・内分泌	神経内科	総合診療科	合計
	36	0	142	1,324	82	4,318	88	984	6	6	136	9,447



7.血小板製剤 型別購入・廃棄数

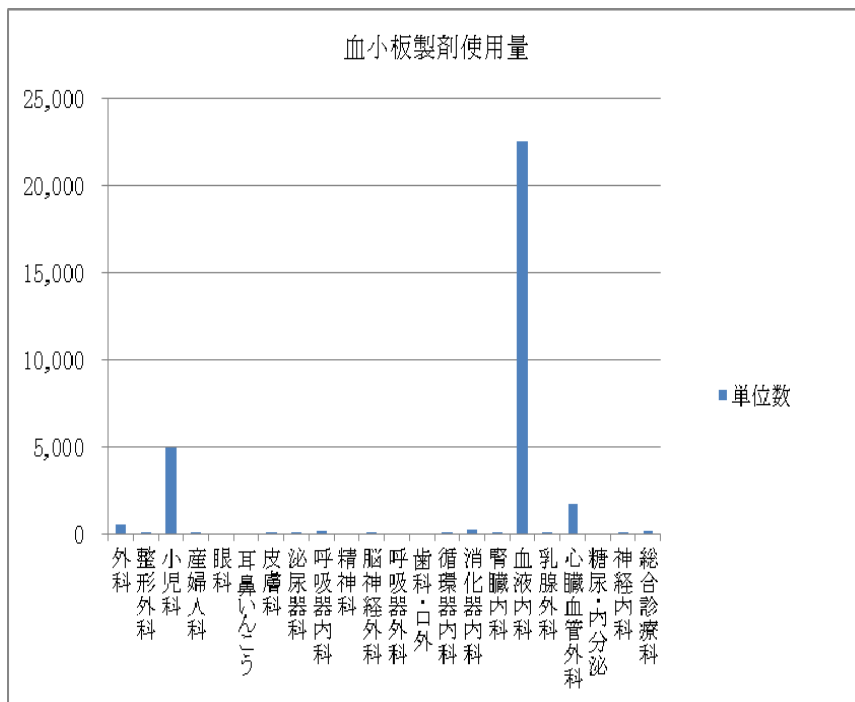
	A			O			B			AB			合計				
	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	購入額	廃棄	廃棄額	廃棄率
	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	(円)	単位数	(円)	(%)
4月	860	0	0.00	710	0	0.00	1,005	0	0.00	425	0	0.00	3,000	24,719,727	0	0	0.00
5月	980	0	0.00	390	0	0.00	845	0	0.00	570	0	0.00	2,785	22,888,537	0	0	0.00
6月	620	0	0.00	690	0	0.00	645	0	0.00	650	0	0.00	2,605	21,440,282	0	0	0.00
7月	490	0	0.00	690	0	0.00	835	0	0.00	900	0	0.00	2,915	24,028,052	0	0	0.00
8月	580	0	0.00	470	0	0.00	410	0	0.00	1,110	0	0.00	2,570	21,171,826	0	0	0.00
9月	460	0	0.00	570	0	0.00	580	0	0.00	510	0	0.00	2,120	17,510,564	0	0	0.00
10月	510	0	0.00	470	0	0.00	770	0	0.00	500	0	0.00	2,250	18,436,574	0	0	0.00
11月	940	0	0.00	505	0	0.00	710	0	0.00	620	0	0.00	2,775	22,840,081	0	0	0.00
12月	975	0	0.00	340	0	0.00	660	0	0.00	580	0	0.00	2,555	21,018,059	0	0	0.00
1月	850	0	0.00	550	0	0.00	620	0	0.00	640	0	0.00	2,660	21,854,997	0	0	0.00
2月	690	0	0.00	410	0	0.00	380	0	0.00	670	0	0.00	2,150	17,589,804	0	0	0.00
3月	990	0	0.00	410	0	0.00	440	0	0.00	560	0	0.00	2,400	19,788,144	0	0	0.00
合計	8,945	0	0.00	6,205	0	0.00	7,900	0	0.00	7,735	0	0.00	30,785	253,286,647	0	0	0.00

8.血小板製剤 納品廃棄の年変移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度
納品単位数	22,480	27,210	28,360	23,850	22,125	31,885	30,785
廃棄単位数	15	0	10	50	0	10	0
廃棄率(%)	0.07	0.00	0.04	0.21	0.00	0.03	0.00
購入額(円)	179,367,132	218,401,561	227,320,431	191,668,583	178,586,788	260,189,579	253,286,647
廃棄額(円)	119,378	0	79,875	399,375	0	81,354	0

9.診療科別 血小板製剤使用量

診療科	外科	整形外科	小児科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう	皮膚科	泌尿器科	呼吸器内科	精神科	脳神経外科	
単位数	520	70	4,930	60	0	0	80	130	140	0	70	
	呼吸器外科	歯科・口外	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	血液内科	乳腺外科	心臓血管外科	糖尿・内分泌	神経内科	総合診療科	合計
	0	0	30	250	10	22,465	80	1,740	0	30	170	30,775



10.新鮮凍結血漿 型別購入・廃棄数 (120mlを1単位とする)

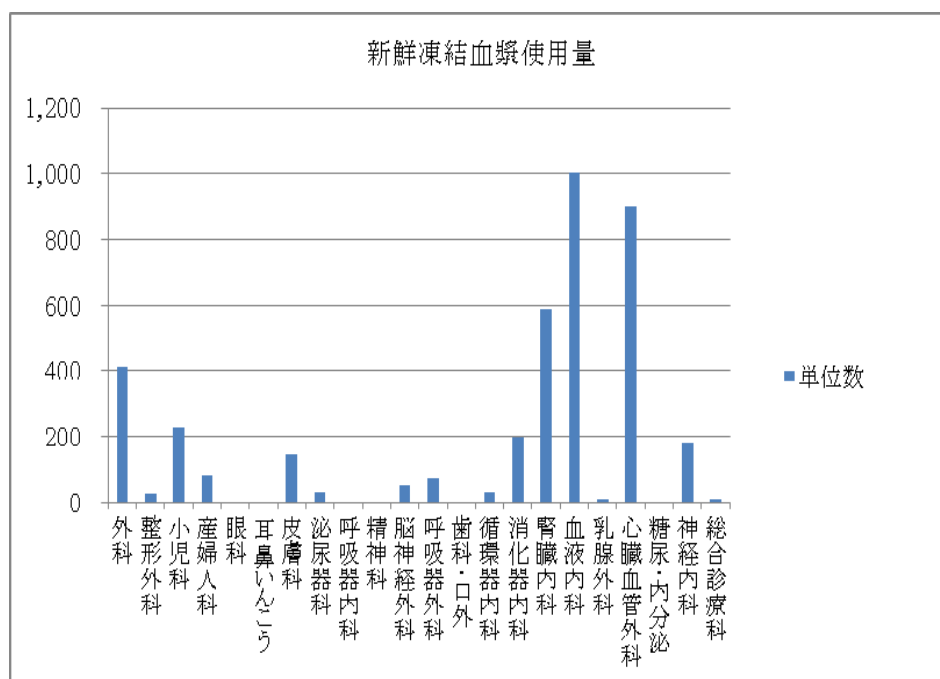
	A			O			B			AB			合計				
	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	購入額	廃棄	廃棄額	廃棄率
	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	(円)	単位数	(円)	(%)
4月	94	0	0.00	80	0	0.00	154	0	0.00	30	0	0.00	358	3,203,506	0	0	0.00
5月	210	0	0.00	128	0	0.00	88	4	4.55	28	0	0.00	454	3,221,272	4	24,054	0.88
6月	116	0	0.00	0	0	***	72	0	0.00	20	0	0.00	208	1,474,620	0	0	0.00
7月	100	0	0.00	38	0	0.00	20	0	0.00	2	0	0.00	160	1,335,180	0	0	0.00
8月	84	0	0.00	74	0	0.00	36	0	0.00	54	0	0.00	248	2,050,878	0	0	0.00
9月	100	0	0.00	408	0	0.00	36	0	0.00	10	0	0.00	554	3,723,150	0	0	0.00
10月	38	0	0.00	444	0	0.00	48	0	0.00	44	0	0.00	574	4,067,232	0	0	0.00
11月	116	0	0.00	20	0	0.00	82	0	0.00	8	0	0.00	226	1,800,458	0	0	0.00
12月	180	0	0.00	14	0	0.00	24	0	0.00	6	0	0.00	224	1,608,138	0	0	0.00
1月	416	0	0.00	16	0	0.00	38	0	0.00	2	0	0.00	472	3,609,280	0	0	0.00
2月	50	0	0.00	104	0	0.00	0	0	***	4	0	0.00	158	1,180,162	0	0	0.00
3月	166	0	0.00	104	0	0.00	50	0	0.00	48	0	0.00	368	3,046,046	0	0	0.00
合計	1,670	0	0.00	1,430	0	0.00	648	4	0.62	256	0	0.00	4,004	30,319,922	4	24,054	0.10

11.新鮮凍結血漿 納品廃棄の年変移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度
納品単位数	3,083	3,428	3,819	3,129	2,675	3,236	4,004
廃棄単位数	28	16	10	14	12	8	4
廃棄率(%)	0.91	0.47	0.26	0.45	0.45	0.25	0.10
購入額(円)	24,010,282	27,600,590	28,477,868	25,008,194	21,500,517	25,403,128	30,319,922
廃棄額(円)	226,354	131,089	65,146	113,177	83,058	72,976	24,054

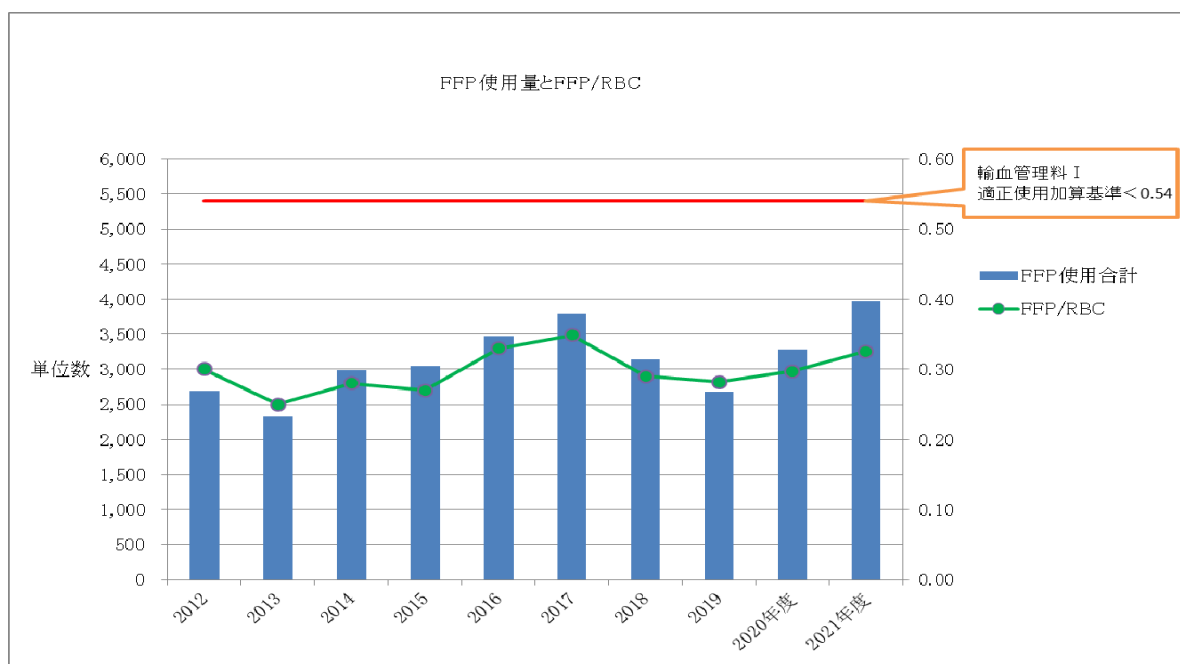
12.診療科別 新鮮凍結血漿使用量

診療科	外科	整形外科	小児科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう	皮膚科	泌尿器科	呼吸器内科	精神科	脳神経外科	
単位数	410	26	226	84	0	0	144	32	0	0	52	
	呼吸器外科	歯科・口外	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	血液内科	乳腺外科	心臓血管外科	糖尿・内分泌	神経内科	総合診療科	合計
	70	0	30	200	590	1,004	8	900	0	184	10	3,970



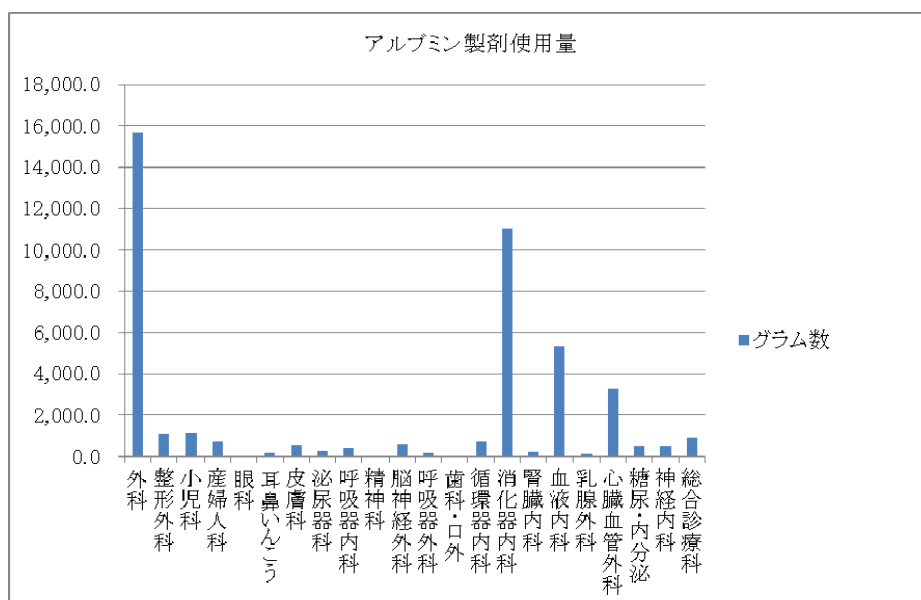
13.新鮮凍結血漿使用単位数とFFP/RBC比 (適正使用加算基準<0.54)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度
FFP使用合計	2,694	2,319	2,987	3,043	3,478	3,791	3,135	2,677	3,280	3,970
血漿交換使用量	259	30	1,042	870	672	1,448	818	538	942	1,650
RBC使用量	8,605	9,140	8,812	9,617	9,495	8,789	9,393	8,552	9,453	9,664
FFP/RBC	0.30	0.25	0.28	0.27	0.33	0.35	0.29	0.28	0.30	0.33



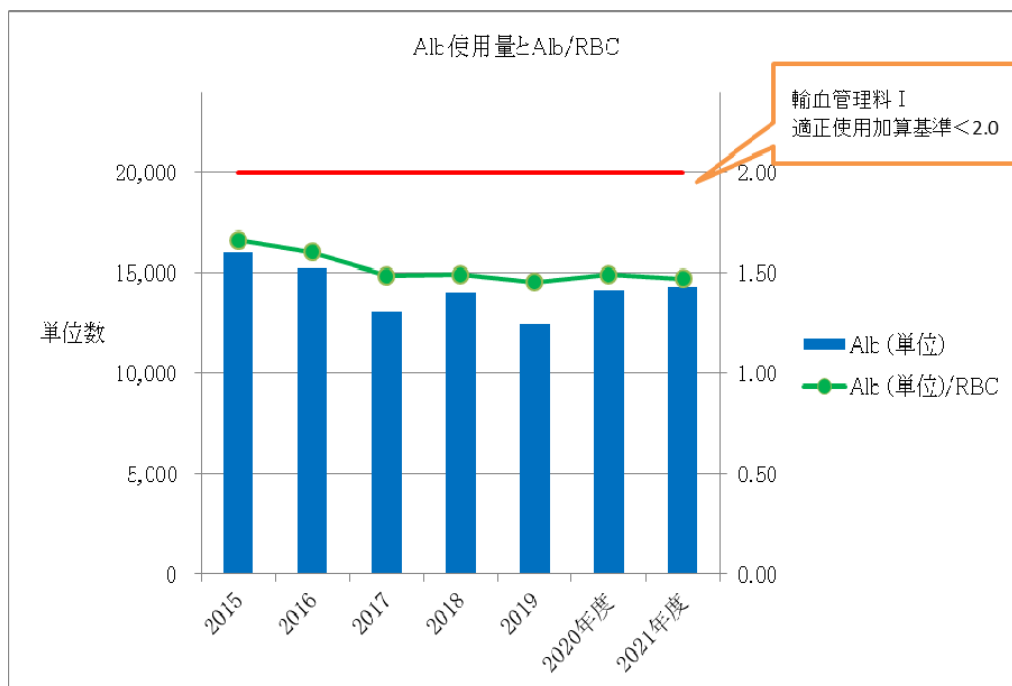
14.診療科別 アルブミン製剤使用量

診療科	外科	整形外科	小児科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう	皮膚科	泌尿器科	呼吸器内科	精神科	脳神経外科	
グラム数	15,675.0	1,087.5	1,137.5	712.5	0.0	150.0	562.5	287.5	400.0	0.0	600.0	
	呼吸器外科	歯科・口外	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	血液内科	乳腺外科	心臓血管外科	糖尿・内分泌	神経内科	総合診療科	合計
	162.5	0.0	700.0	10,987.5	212.5	5,325.0	137.5	3,275.0	500.0	525.0	900.0	43,337.5



## 15. アルブミン使用量とAlb/RBC比（適正使用加算基準＜2.0）

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度
RBC(単位)	9,617	9,495	8,789	9,393	8,552	9,453	9,664
Alb(単位)	15,983	15,208	13,054	14,000	12,408	14,079	14,254
Alb(単位)/RBC	1.66	1.60	1.49	1.49	1.45	1.49	1.47



## 16. 血液内科および小児科における造血幹細胞移植件数とその年変移

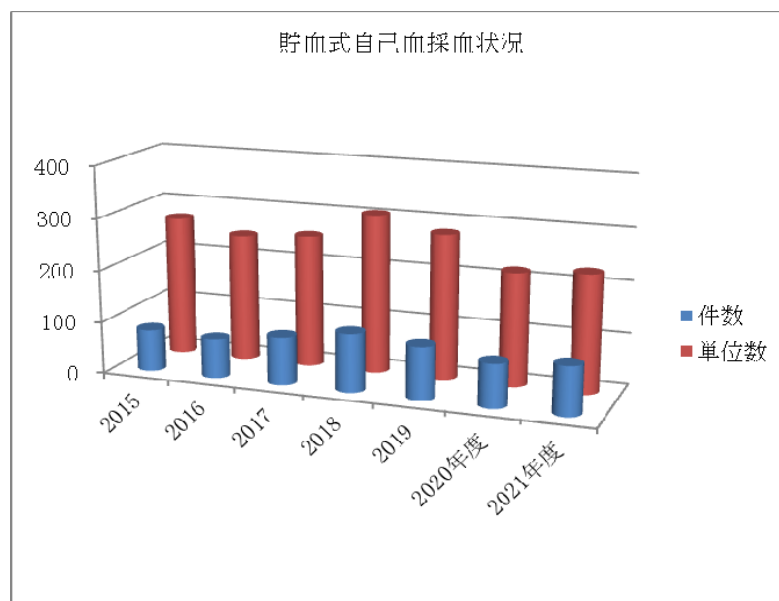
		2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度
血液内科	末梢血幹細胞 自家	5	3	9	14	8	7	9
	末梢血幹細胞 血縁	4	4	8	5	7	7	10
	末梢血幹細胞 バンク	0	0	0	1	0	0	0
	骨髄 バンク	5	6	6	1	1	2	2
	骨髄 血縁	0	0	1	0	1	0	0
	臍帯血	4	11	6	15	11	14	15
	ドナーリンパ球	0	0	0	0	4	13	4
	顆粒球輸注	0	0	0	0	2	0	0
小児科	末梢血幹細胞 自家	1	1	0	0	1	0	0
	末梢血幹細胞 血縁	0	0	0	1	0	1	2
	末梢血幹細胞 バンク	0	0	1	0	1	0	0
	骨髄 バンク	1	0	2	1	2	1	1
	骨髄 血縁	0	0	1	0	1	1	0
	臍帯血	1	3	3	1	0	0	3
	ドナーリンパ球	0	0	0	1	1	0	1
	顆粒球輸注	0	0	0	0	0	0	2
合計		21	28	36	40	40	46	49

## 17.診療科別 自己血採血状況

診療科	整形外科	産婦人科	小児科	泌尿器科	心臓血管外科	血液内科	脳神経外科	合計
件数	32	36	6	16	2	0	2	94
単位数	73	96	18	32	4	0	4	227
廃棄単位数	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	***	0.00	0.00

## 18.自己血採血状況の年変移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度
件数	81	75	93	113	101	84	94
単位数	271	247	256	306	280	218	227
廃棄単位数	23	20	16	18	24	12	0
廃棄率(%)	8.49	8.10	6.25	5.88	8.57	5.50	0.00



## 《まとめ》

- ・輸血管理料 I の施設基準および輸血適正使用加算の基準を満たしている。  
FFP/RBC<0.54、A1b/RBC<2.0を維持している。
- ・2021年度における輸血用血液製剤の廃棄率は「0.5%以下」を維持し、適正な運用ができていると思われる。
- ・学会認定臨床輸血看護師6名、学会認定自己血輸血看護師1名、アフエーシスナース1名の活動により、安全な輸血細胞治療および造血幹細胞移植の体制が整備されている。
- ・岐阜県合同輸血療法委員会専門部会活動に積極的に参加し、看護師ネットワーク・検査技師ネットワークの構築等により、輸血細胞治療の向上に取り組んでいる。

## 健康管理センター統計

(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

健診成績表(男性) 年代別・機能別分類

年代別	39歳以下								40～59歳								60歳以上								合計							
	受診者数								695								800								1526							
	A	B	C	D1	D2	E	未	A	B	C	D1	D2	E	未	A	B	C	D1	D2	E	未	A	B	C	D1	D2	E	未				
1 身体測定	8	9	13	0	1	0	0	200	150	322	1	15	7	0	183	159	425	0	16	17	0	391	318	760	1	32	24	0				
2 肺機能	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	695	0	0	0	0	0	0	800	0	0	0	0	0	0	1526				
3 循環器	19	8	3	0	1	0	0	275	190	109	0	44	77	0	131	138	119	0	77	335	0	425	336	231	0	122	412	0				
4 大腸	29	0	0	0	2	0	0	626	0	0	0	45	0	24	716	0	0	0	70	1	13	1371	0	0	0	117	1	37				
5 肝臓・胆のう・膵臓	10	7	3	0	11	0	0	300	202	85	0	106	2	0	363	256	100	0	68	13	0	673	465	188	0	185	15	0				
6 糖代謝	17	11	0	0	1	2	0	284	292	74	0	18	27	0	200	282	162	0	49	107	0	501	585	236	0	68	136	0				
7 脂質代謝	2	14	13	0	1	1	0	31	241	241	1	127	54	0	26	278	214	0	73	209	0	59	533	468	1	201	264	0				
8 腎臓・泌尿器	21	8	2	0	0	0	0	482	123	69	0	17	4	0	455	120	179	0	38	8	0	958	251	250	0	55	12	0				
9 尿酸	20	4	5	0	1	1	0	480	123	52	0	13	27	0	544	117	47	0	2	90	0	1044	244	104	0	16	118	0				
10 血液	17	10	0	0	4	0	0	436	194	24	0	41	0	0	515	155	65	0	55	10	0	968	359	89	0	100	10	0				
11 炎症反応	24	1	0	0	1	0	5	339	18	0	0	3	0	335	424	21	0	0	7	0	348	787	40	0	0	11	0	688				
12 眼科	6	0	12	0	13	0	0	244	1	211	0	223	16	0	181	1	247	0	310	60	1	431	2	470	0	546	76	1				
13 耳鼻科	30	0	0	0	1	0	0	593	0	23	0	78	1	0	376	0	74	0	343	5	2	999	0	97	0	422	6	2				
14 胸部	28	1	0	0	1	0	1	570	78	24	0	10	3	10	493	166	71	1	32	12	25	1091	245	95	1	43	15	36				
15 上部消化管	18	5	2	0	5	0	1	282	200	54	6	92	4	57	186	272	99	6	130	5	102	486	477	155	12	227	9	160				
16 腹部超音波	11	1	14	0	1	0	4	88	157	191	0	18	3	238	45	211	231	0	36	15	262	144	369	436	0	55	18	504				

A:異常なし B:軽度異常 C:生活習慣改善,または経過観察を要す D1:要治療 D2:要精密検査 E:現在治療中 未:未実施

※「2肺機能」「11炎症反応」「16腹部超音波」は、行わないコースがあります。

健診成績表(女性) 年代別・機能別分類

年代別	39歳以下								40～59歳								60歳以上								合計							
	受診者数								644								612								1281							
	A	B	C	D1	D2	E	未	A	B	C	D1	D2	E	未	A	B	C	D1	D2	E	未	A	B	C	D1	D2	E	未				
1 身体測定	1	13	10	0	1	0	0	27	356	228	0	24	9	0	19	356	197	1	17	22	0	47	725	435	1	42	31	0				
2 肺機能	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	644	0	0	0	0	0	0	612	0	0	0	0	0	0	1281				
3 循環器	11	8	4	0	1	1	0	350	145	71	0	43	35	0	178	141	109	0	54	130	0	539	294	184	0	98	166	0				
4 大腸	24	0	0	0	1	0	0	565	0	0	0	50	0	29	536	0	0	0	62	1	13	1125	0	0	0	113	1	42				
5 肝臓・胆のう・膵臓	14	8	2	0	1	0	0	419	144	51	0	27	3	0	364	170	40	0	35	3	0	797	322	93	0	63	6	0				
6 糖代謝	18	6	0	0	0	1	0	419	184	31	0	2	8	0	226	218	112	0	13	43	0	663	408	143	0	15	52	0				
7 脂質代謝	6	9	9	0	1	0	0	84	305	160	0	65	30	0	30	194	183	0	67	138	0	120	508	352	0	133	168	0				
8 腎臓・泌尿器	7	15	3	0	0	0	0	302	244	66	0	29	3	0	271	168	147	0	23	3	0	580	427	216	0	52	6	0				
9 尿酸	24	1	0	0	0	0	0	621	12	9	0	1	1	0	597	6	5	0	2	2	0	1242	19	14	0	3	3	0				
10 血液	12	7	1	0	4	1	0	341	131	73	0	87	12	0	395	120	41	0	52	4	0	748	258	115	0	143	17	0				
11 炎症反応	16	0	0	0	0	0	9	268	11	0	0	4	0	361	273	8	0	0	3	0	328	557	19	0	0	7	0	698				
12 眼科	8	0	8	0	9	0	0	218	0	199	0	205	22	0	127	0	205	0	240	38	2	353	0	412	0	454	60	2				
13 耳鼻科	25	0	0	0	0	0	0	614	0	10	0	18	1	1	456	0	44	0	109	1	2	1095	0	54	0	127	2	3				
14 胸部	23	1	0	0	1	0	0	505	85	25	0	17	3	9	365	141	57	0	28	14	7	893	227	82	0	46	17	16				
15 上部消化管	13	2	1	0	6	0	3	227	199	34	4	56	1	123	134	229	53	5	76	2	113	374	430	88	9	138	3	239				
16 腹部超音波	11	3	2	0	0	0	9	102	121	104	0	13	3	301	42	141	109	1	25	13	281	155	265	215	1	38	16	591				

A:異常なし B:軽度異常 C:生活習慣改善,または経過観察を要す D1:要治療 D2:要精密検査 E:現在治療中 未:未実施

※「2肺機能」「11炎症反応」「16腹部超音波」は、行わないコースがあります。

脳ドック成績表

受診者数	160						
	A	B	C	D1	D2	E	未
1 血圧	74	10	15	0	3	58	0
2 動脈硬化検査	119	28	13	0	0	0	0
3 頸動脈超音波	51	70	32	0	7	0	0
4 神経学的検査	0	0	0	0	0	0	160
5 頭部MRI	47	106	6	0	1	0	0
6 頭部MRA	98	56	3	0	0	0	3
7 認知機能	156	2	0	0	0	0	2

A:異常なし B:軽度異常 C:生活習慣改善,または経過観察を要す D1:要治療 D2:要精密検査 E:現在治療中 未:未実施

受診者数は男性前年1512人→1526人、女性前年1226人→1281人と、男女ともに増加した。男女比としては男性が多い。前年は新型コロナウイルス感染症流行のためセンターを一時的に閉鎖していたことなどで受診者数が減少したが、本年は回復傾向となっている。しかし呼吸機能検査は未実施状態が続いており、再開に向けての感染対策について検討していきたい。年代別では40歳以上が主な受診者で、40歳～59歳が最も多く、男女の受診者数はほぼ同数である。しかし60歳以上では女性受診者数が男性の67%と少なく、前年と比し増えてはいるものの例年と同様の傾向である。60歳以上の年齢層において、健診を年1回の健康指標としている受診者が存在する一方で、女性受診者が少ないのは憂慮すべき問題と考える。健診受診に際しての金銭的補助が(特に女性で)減ることが影響していると思われる。健康成績表では年齢が高いほどA(異常なし)が減り、C、D、Eなど課題を持つ者が増える傾向にあることから、高年齢層こそ、積極的な健診受診が望まれる。当院での健診を受けなくなる60歳以上は、特保など別の健診に移行した可能性があり、また、何らかの疾病で医療機関に通院する者の割合が増える年齢層でもあるので、いずれかの方法で健康評価を受けておられると推定はできる。当院は、特保などに比べて多項目の健診を実施している。検査項目の広汎性や内容が実際に有用であるかの評価は必要であるが、健康寿命を保ち、活気のある高齢社会を目指す視点からは、60歳以上、特に女性など健診に際して補助のない者が、受診しやすしい仕組みの構築が必要かもしれない。

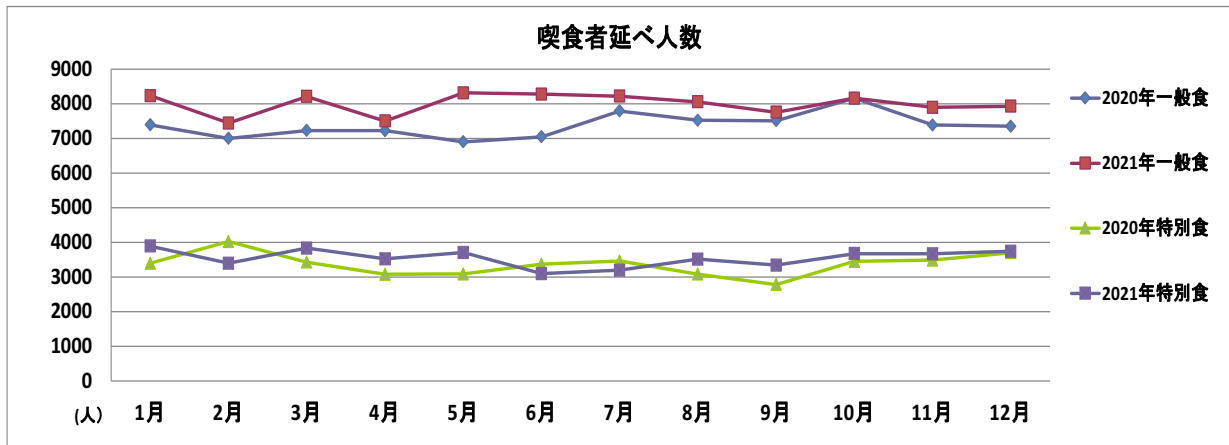
## 栄養管理室統計

### 1. 喫食者延べ人数

一般食は、常食、妊娠婦食、学童食、幼児食、易消化食、流動食、アシスト食。

特別食は、エネルギーコントロール食、たんぱくコントロール食、脂質コントロール食。病状に応じて適切な栄養管理をしている食事です。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
一般食	2020年	7,390	6,999	7,225	7,223	6,899	7,045	7,793	7,523	7,510	8,164	7,386	7,349	88,506
	2021年	8,231	7,439	8,207	7,500	8,311	8,279	8,221	8,055	7,753	8,159	7,896	7,927	95,978
特別食	2020年	3,398	4,024	3,427	3,079	3,088	3,368	3,460	3,085	2,784	3,452	3,487	3,701	40,353
	2021年	3,893	3,395	3,832	3,522	3,706	3,097	3,195	3,513	3,342	3,674	3,670	3,741	42,580
全数	2020年	10,788	11,023	10,652	10,302	9,987	10,413	11,253	10,608	10,294	11,616	10,873	11,050	128,859
	2021年	12,124	10,834	12,039	11,022	12,017	11,376	11,416	11,568	11,095	11,833	11,566	11,668	138,558

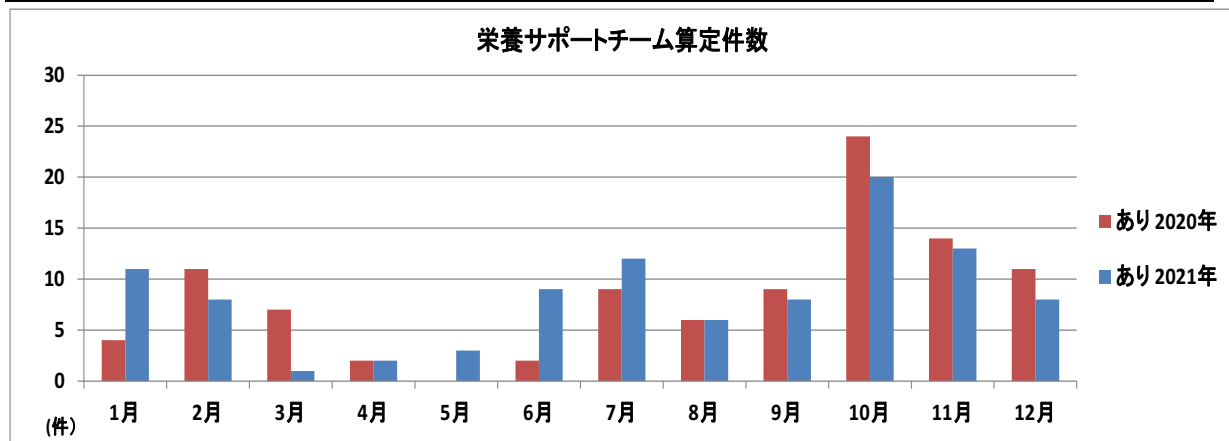


### 2. 「栄養サポートチーム加算」算定件数

◇栄養サポートチーム加算(週1回に限り算定) ※ICU、HCU、精神科は除く

所定の研修を修了した医師、薬剤師、看護師、管理栄養士によって構成するチームによる栄養状態の改善に係るカンファレンス及び回診を週1回程度実施した時に算定できる。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
あり	2020年	4	11	7	2	0	2	9	6	9	24	14	11	99
	2021年	11	8	1	2	3	9	12	6	8	20	13	8	101
なし	2020年	15	11	12	13	22	14	2	11	11	8	4	5	128
	2021年	6	8	6	10	9	8	8	8	9	5	3	3	83
合計	2020年	19	22	19	15	22	16	11	17	20	32	18	16	227
	2021年	17	16	7	12	12	17	20	14	17	25	16	11	184

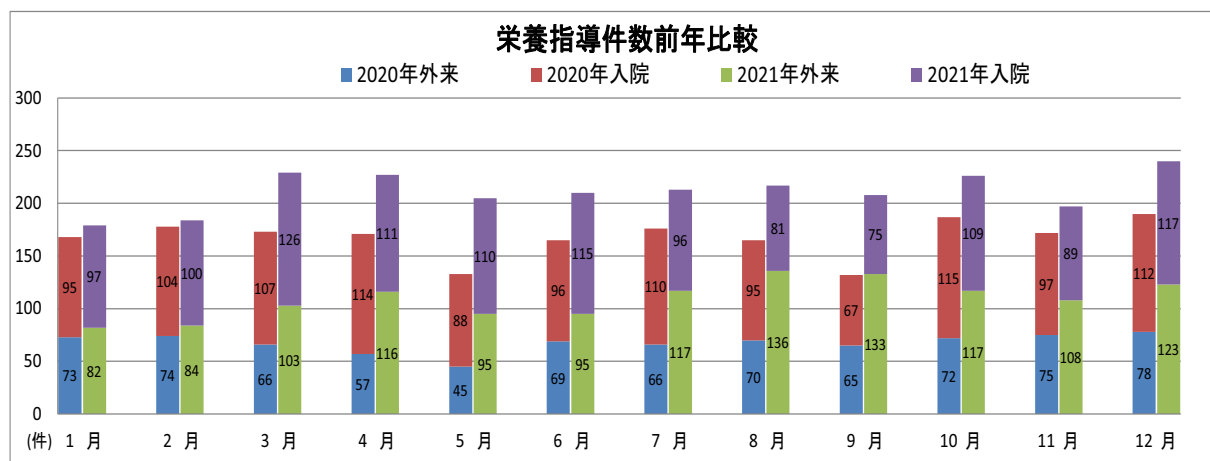


### 3. 個別栄養食事指導件数と診療報酬点数

- ・初回 ……下記対象者に対し、概ね30分以上、療養のため必要な栄養の指導を行った場合に算定
  - ・2回目以降……下記対象者に対し、概ね20分以上、療養のため必要な栄養の指導を行った場合に算定
- 対象者(特別食を必要とする患者、がん患者、摂食機能もしくは嚥下機能が低下した患者、低栄養状態にある患者)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
入院	2020年	95	104	107	114	88	96	110	95	67	115	97	112	1200
	2021年	97	100	126	111	110	115	117	81	75	109	89	117	1,247
外来	2020年	73	74	66	57	45	69	66	70	65	72	75	78	810
	2021年	82	84	103	116	95	95	96	136	133	117	108	123	1,288
合計	2020年	168	178	173	171	133	165	176	165	132	187	172	190	2,010
	2021年	179	184	229	227	205	210	213	217	208	226	197	240	2,535

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
加算初回	2020年	100	98	92	85	44	98	113	61	85	110	108	102	1096
	2021年	100	102	128	122	105	105	105	100	97	99	89	109	1,261
加算2回目以降	2020年	60	73	71	75	85	62	56	95	45	64	56	76	818
	2021年	68	66	95	80	85	86	88	99	82	104	87	104	1044
加算対象外	2020年	8	7	10	11	4	5	7	9	2	13	8	12	96
	2021年	11	16	6	25	15	19	20	18	29	23	21	27	230

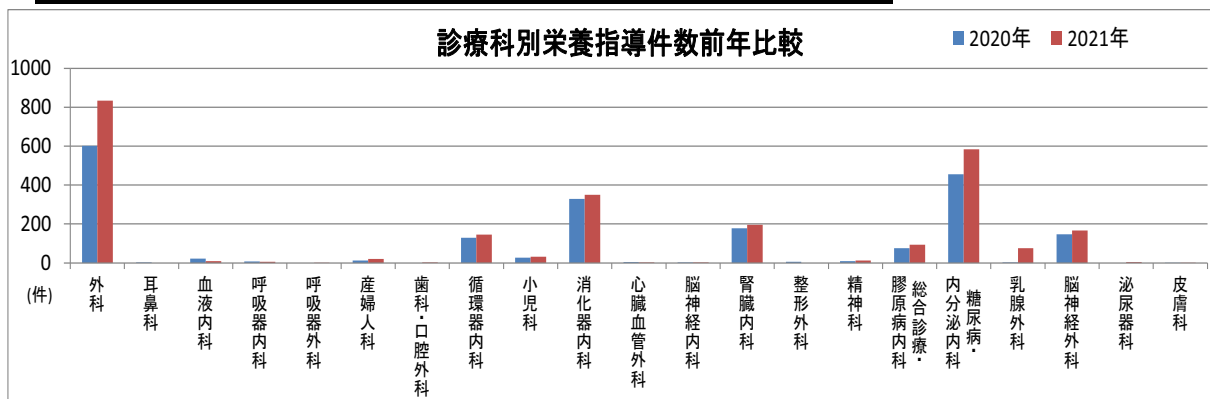


### 4. 診療科別栄養指導件数

	外科	耳鼻科	血液内科	呼吸器内科	呼吸器外科	産婦人科	歯科口腔外科	循環器内科	小児科	消化器内科	心臓血管外科	脳神経内科	腎臓内科
2020年	601	3	22	8	0	12	0	129	26	328	4	2	178
2021年	834	0	9	6	1	21	2	145	32	349	2	2	196

	整形外科	精神科	総合診療・膠原病内科	糖尿病・内分泌内科	乳腺外科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科	合計
2020年	6	9	76	456	2	147	0	1	2,010
2021年	0	12	93	584	76	166	4	1	2,535



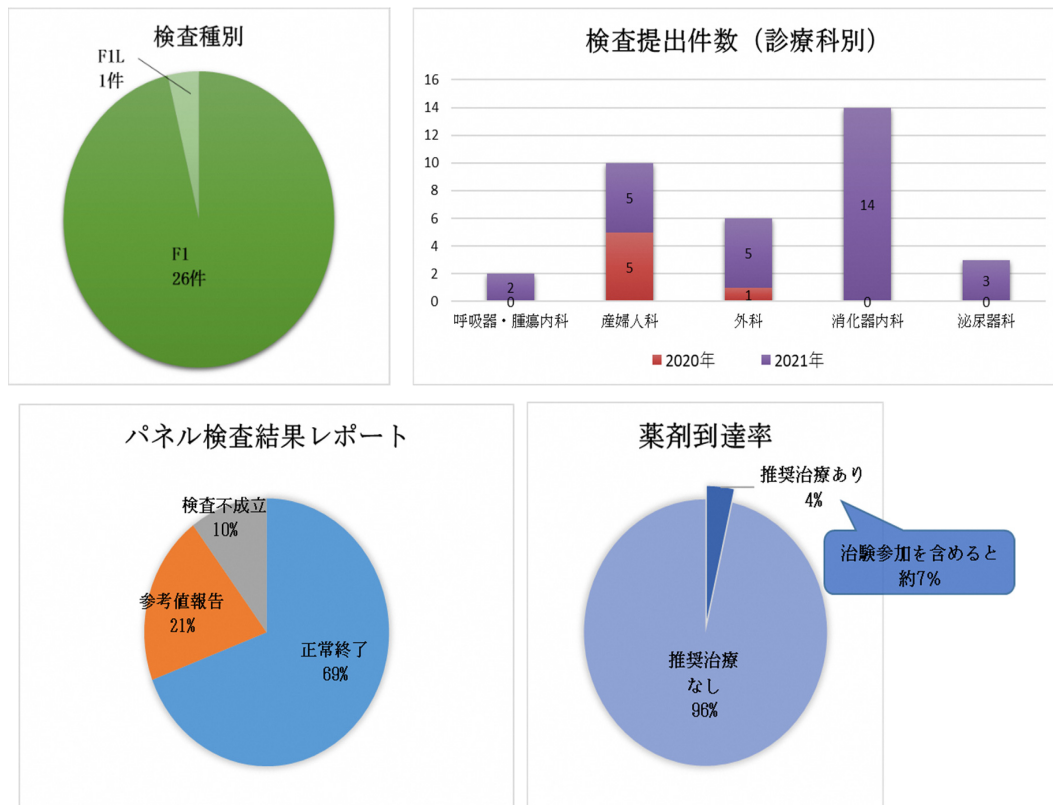
## ゲノム医療センター統計

### がん遺伝子パネル検査

2021年8月より血液検体によるがん遺伝子パネル検査 (FoundationOne Liquid CDx) が保険承認され、当院で実施できるがん遺伝子パネル検査は、FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル検査、FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイル検査、OncoGuide NCC オンコパネルの3種類となった。

2021年のパネル検査相談件数は36件で、そのうち、院内のゲノムボードで承認され、検査が実施された件数は27件。検査の結果、推奨治療が提示されたのは2症例、治験参加は1症例。当院で検査を開始した昨年と比べ、がん遺伝子パネル検査の相談件数は約3倍、検査実施件数は4.5倍となった。

### 検査内訳



### コンパニオン診断実施件数

	2021年													2020年	2019年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計	合計
BRCA1/2遺伝子検査 (乳癌)	3	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	8	3	8
BRCA1/2遺伝子検査 (卵巣癌)	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3	6	10
BRCA1/2遺伝子検査 (膵癌)	0	0	0	0	1	1	1	3	2	2	4	2	16		
BRCA1/2遺伝子検査 (前立腺癌)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
myChoice診断システム	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4		
オンコマインDx	1	0	0	2	1	2	4	0	0	3	4	4	21	7	0
ArcherMETex14スキッピング	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	

BRCA1/2 遺伝子検査は2018年から検査が開始され、2021年1月から膵癌、前立腺癌も検査適応となった。

myChoice 診断システムは2021年1月から検査が開始された。

## 薬 剤 部 統 計

## 2021年調剤統計

月	外 来 (院 内)			入 院		
	処方箋枚数	件数	剤数	処方箋枚数	件数	剤数
1月	1,085	2,608	21,241	7,029	17,708	102,883
2月	855	2,094	18,862	6,564	16,178	96,386
3月	1,021	2,528	23,621	7,446	17,843	107,195
4月	1,048	2,413	20,847	7,015	17,745	103,811
5月	1,465	3,213	23,508	7,102	17,917	110,949
6月	1,151	2,797	23,962	6,987	17,329	103,670
7月	1,449	3,206	23,486	6,790	17,560	104,491
8月	1,439	3,191	26,039	7,050	17,178	105,825
9月	1,150	2,713	24,785	7,189	17,566	104,503
10月	1,001	2,527	21,911	7,083	17,841	108,294
11月	1,087	2,705	22,008	6,984	17,457	105,317
12月	1,161	2,856	26,489	7,261	18,089	111,057
合計	13,912	32,851	276,759	84,500	210,411	1,264,381
月平均	1,159.3	2,737.6	23,063.3	7,041.7	17,534.3	105,365.1

	外来(院内)	入院	年合計
処方箋枚数	13,912	84,500	98,412
注射箋枚数	49,810	383,928	433,738
調剤件数	32,851	210,411	243,262
調剤剤数	276,759	1,264,381	1,541,140
一日平均			一日合計(診察日)
処方箋枚数	57.3	231.5	288.8
注射箋枚数	205.0	1051.9	1256.8
調剤件数	135.2	576.5	711.7
調剤剤数	1138.9	3464.1	4603.0

## 2021年麻薬処方統計

## 処方箋枚数

月	入 院	外 来	合 計
1月	78	10	88
2月	122	3	125
3月	179	2	181
4月	147	6	153
5月	86	7	93
6月	61	7	68
7月	70	8	78
8月	93	13	106
9月	90	18	108
10月	144	3	147
11月	120	18	138
12月	105	13	118
合計	1,295	108	1403
月平均	107.9	9.0	116.9
日平均	3.5	0.4	3.9

## 注射箋枚数

月	入 院	外 来	合 計
1月	576	3	579
2月	545	1	546
3月	697	2	699
4月	704	2	706
5月	566	1	567
6月	538	1	539
7月	521	2	523
8月	698	1	699
9月	710	1	711
10月	627	15	642
11月	621	18	639
12月	598	14	612
合計	7,401	61	7462
月平均	616.8	5.1	621.9
日平均	20.3	0.3	20.6

外来注射は予約注射及び当日注射にて、病棟が確定していないものを外来として集計

2021年院外処方箋枚数統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
循内科	829	754	883	864	780	811	858	826	793	796	825	829
腎臓内	192	173	245	195	202	195	210	182	185	170	169	189
消化器	1167	1150	1474	1209	1108	1216	1,222	1178	1288	1143	1158	1250
血内科	345	351	462	394	372	382	412	417	464	440	418	463
糖内科	599	588	627	697	593	683	649	666	627	659	638	712
総合診	650	603	754	700	665	695	701	737	733	712	730	752
神内科	396	396	475	497	410	498	503	527	501	479	474	538
呼吸内	624	602	725	733	606	630	704	674	682	667	682	681
小児科	360	353	506	383	341	445	466	424	376	398	456	423
小児二	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	372	370	456	414	358	390	359	408	401	358	390	398
乳腺外科	177	167	197	205	173	179	174	174	183	196	201	220
整形外科	150	154	207	229	195	223	221	220	209	210	221	207
リハ科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	4
産婦人科	304	313	388	336	316	363	325	341	345	312	291	364
眼科	117	127	156	128	123	110	137	137	123	126	99	104
耳鼻科	264	255	327	302	280	304	297	338	306	276	356	301
皮膚科	712	663	811	778	703	771	757	737	736	697	680	677
泌尿器科	355	342	433	436	354	406	404	439	419	451	450	445
心臓外	74	54	86	79	72	67	74	84	68	69	69	62
呼吸外	0	5	9	5	7	8	11	11	10	17	10	19
脳外科	210	208	257	250	205	223	240	217	228	240	232	250
放射診	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
放射治	48	47	41	49	46	32	31	35	35	41	38	37
歯口外	78	97	112	122	107	116	132	121	113	114	119	128
精神科	1,419	1,350	1,681	1,636	1,411	1,513	1,402	1,441	1,321	1,394	1,369	1,391
小児夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休成人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休小児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9,442	9,123	11,312	10,641	9,427	10,260	10,290	10,335	10,147	9,968	10,076	10,444

院内	休小児夜間	24	9	25	34	53	50	78	41	27	32	33	40
	休小児	26	19	14	29	50	30	94	59	22	13	35	35
	休成人	109	34	43	46	111	40	64	67	52	27	52	55
	休日歯科	32	7	12	7	29	9	13	7	15	3	6	25

2021年注射処方箋枚数統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
入院合計	31,975	29,351	31,911	32,582	33,915	33,392	32,928	32,904	31,862	31,694	31,089	30,325	383,928
患者数	54,292	49,527	53,457	55,062	57,437	56,204	54,929	55,163	54,460	54,004	52,272	51,427	648,234
入院	1,031.5	1,048.3	1,029.4	1,086.1	1,094.0	1,113.1	1,062.2	1,061.4	1,062.1	1,022.4	1,036.3	978.2	1,051.9
一日平均	1,751.4	1,768.8	1,724.4	1,835.4	1,852.8	1,873.5	1,771.9	1,779.5	1,815.3	1,742.1	1,742.4	1,658.9	1,776.0
外来合計	4,042	3,771	4,437	4,173	3,794	4,135	4,287	4,306	4,304	4,213	4,186	4,162	49,810
患者数	6,558	6,131	7,336	6,677	5,973	6,557	6,666	6,836	6,956	6,788	6,880	6,632	79,990
入院	212.7	209.5	192.9	198.7	210.8	188.0	214.4	205.0	215.2	200.6	209.3	208.1	205.0
一日平均	345.2	340.6	319.0	318.0	331.8	298.0	333.3	325.5	347.8	323.2	344.0	331.6	329.2
合計	36,017	33,122	36,348	36,755	37,709	37,527	37,215	37,210	36,166	35,907	35,275	34,487	433,738
患者数	60,850	55,658	60,793	61,739	63,410	62,761	61,595	61,999	61,416	60,792	59,152	58,059	728,224

2021年抗がん剤調製件数統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
入院合計	433	444	490	525	435	471	412	466	493	551	495	511	5,726
患者数	583	607	695	718	602	668	578	693	681	774	720	754	8,073
入院	14.0	15.9	15.8	17.5	14.0	15.7	13.3	15.0	16.4	17.8	16.5	16.5	15.7
一日平均	18.8	21.7	22.4	23.9	19.4	22.3	18.6	22.4	22.7	25.0	24.0	24.3	22.1
外来合計	514	499	574	511	448	500	479	542	585	544	579	534	6,309
患者数	915	867	993	888	794	852	844	959	998	938	1,017	911	10,976
入院	27.1	27.7	25.0	24.3	24.9	22.7	24.0	25.8	29.3	25.9	29.0	26.7	26.0
一日平均	48.2	48.2	43.2	42.3	44.1	38.7	42.2	45.7	49.9	44.7	48.4	45.6	45.2
合計	947	943	1,064	1,036	883	971	891	1,008	1,078	1,095	1,074	1,045	12,035
患者数	1,498	1,474	1,688	1,606	1,396	1,520	1,422	1,652	1,679	1,712	1,737	1,665	19,049

2021年TPN調製件数統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
入院合計	152	139	84	105	111	116	107	91	133	136	83	68	1,325
患者数	180	150	90	112	116	116	113	95	141	142	89	84	1,428
入院	4.9	5.0	2.7	3.5	3.6	3.9	3.5	2.9	4.4	4.4	2.8	2.2	3.6
一日平均	5.8	5.4	2.9	3.7	3.7	3.9	3.6	3.1	4.7	4.6	3.0	2.7	3.9

2021年製剤統計

製剤名	製剤単位	製剤総量
内服散剤		
10% 塩酸モルヒネ散	50g	100 g
0.5% BDP散	50g	1100 g
BDPカプセル	10個	2500 個
外用液剤		
2%塩化第二鉄グリセリン液	100mL	4000 mL
10%硝酸銀液	100mL	985 mL
染色用ルゴール液	100mL	1300 mL
2%チオ硫酸ナトリウム液	100mL	1300 mL
3%酢酸水溶液	100mL	5100 mL
20%塩化アルミニウムエタノール	100mL	600 mL
ポラブレジンク含嗽薬	500mL	67.5 L
1%ピオクタンブルー液	3mL	210 mL
SADBE液	50mL	650 mL
0.5%アトロピン点眼液	5mL	5 mL

製剤名	製剤単位	製剤総量
軟膏剤		
モーズ軟膏	100g	200 g
内服液剤		
内服用ルゴール液	50mL	100 mL
注射剤		
5%塩化ナトリウム液	100mL	0 mL
坐剤		
ウリナスタチン膾坐剤	1個	280 個
その他		
骨セメント用パニマイシン500mg	10V	440 V

2021年 薬剤管理指導統計 病棟別内訳

月	ICU	中3HCU	中5HCU	中4	中5	中6	中7	中8	中9	中10	西7	西8	西9	西10	合計
1月	14	28	0	62	52	47	29	40	44	50	31	32	66	0	495
2月	13	25	13	51	53	43	33	40	35	37	28	17	69	0	457
3月	20	32	16	47	60	45	36	51	51	64	36	35	65	12	570
4月	8	23	0	46	54	52	38	34	40	55	30	63	72	13	528
5月	9	20	0	43	39	32	25	35	30	44	22	56	54	1	410
6月	10	22	0	36	48	55	40	35	34	61	23	52	77	3	496
7月	14	21	0	41	41	43	27	36	29	47	25	43	52	17	436
8月	15	23	1	49	55	45	37	44	38	53	23	14	56	3	456
9月	10	21	0	32	54	53	42	36	30	42	29	63	62	0	474
10月	9	22	1	35	40	43	29	35	23	48	16	67	58	12	438
11月	13	20	1	35	52	37	35	37	33	51	26	61	61	20	482
12月	11	17	2	47	40	42	31	35	36	47	25	58	44	19	454

2021年治験審査委員会審議件数

区分	申請・報告名	院長	第一内科	循環器内科	脳神経内科	腎臓内科	第二内科	消化器内科	肝臓内科	消化器内視鏡部	血液内科	総合内科	外科	消化器外科	内視鏡外科	乳腺外科	整形外科	リハビリ科	小児科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	呼吸器内科	胸部・心臓血管外科	精神科	脳神経外科	麻酔科	合計	
治験	新規申請										5														1					6	
	中間報告(継続審査)		1				1	3		4			1												1					11	
	計画変更申請		3				7	21		30			2												7					70	
	重篤な有害事象発生の報告									22			2																	24	
	有害事象発生の報告(軽微)																													0	
	新たな安全性の報告		6				37	29		90			1												7					170	
	重篤な副作用に関する連絡書(通知書なし)																													0	
	逸脱報告書																														0
	その他																														0
	その他(通知書なし)											5																			5
	直接閲覧実施申請書		10				4	10		31				16											1					72	
	直接閲覧実施報告書		11				4	10		33				16											1					75	
	直接閲覧結果報告書																														0
	原資料閲覧申請書兼報告書																														0
	フィルム等原資料複写依頼書																														0
	受領確認書																														0
	終了(中止)報告											3																			3
	実施件数報告書																														0
	製造(輸入)承認																														0
	開発中止																														0
	その他(製造承認・開発中止)																														0
	直接閲覧実施状況報告書																														0
	直接閲覧実施結果報告書																														0
	合計		0	31	0	0	0	53	0	73	0	223	0	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	436
	製造販売後臨床試験	新規申請																													0
中間報告(継続審査)																										1				1	
計画変更申請																									3					3	
重篤な有害事象発生の報告																														0	
有害事象発生の報告(軽微)																														0	
新たな安全性の報告																														0	
重篤な副作用に関する連絡書(通知書なし)																														0	
逸脱報告書																															0
その他																															0
その他(通知書なし)																															0
直接閲覧実施申請書																									1						1
直接閲覧実施報告書																									1						1
直接閲覧結果報告書																															0
原資料閲覧申請書兼報告書																															0
フィルム等原資料複写依頼書																															0
受領確認書																															0
終了(中止)報告																															0
実施件数報告書																															0
製造(輸入)承認																															0
開発中止																															0
その他(製造承認・開発中止)																										1					1
直接閲覧実施状況報告書																															0
直接閲覧実施結果報告書																															0
合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	7
委託研究		新規申請							1																	4					5
	中間報告(継続審査)							1				1													10					12	
	計画変更申請							4		2	4													17						27	
	重篤な有害事象発生の報告																													0	
	有害事象発生の報告(軽微)																													0	
	新たな安全性の報告										3														25					28	
	重篤な副作用に関する連絡書(通知書なし)																													0	
	逸脱報告書																														0
	その他																														0
	その他(通知書なし)																														0
	直接閲覧実施申請書																														0
	直接閲覧実施報告書																														0
	直接閲覧結果報告書																														0
	原資料閲覧申請書兼報告書																														0
	フィルム等原資料複写依頼書																														0
	受領確認書																														0
	終了(中止)報告													1												3					4
	実施件数報告書																														0
	製造(輸入)承認																														0
	開発中止																														0
	その他(製造承認・開発中止)																														0
	直接閲覧実施状況報告書																														0
	直接閲覧実施結果報告書																														0
	合計		0	0	0	0	0	0	6	0	5	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0	76
	総合計		0	31	0	0	0	53	0	79	0	228	0	6	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84	0	0	0	0	519

区分	申請・報告名	診療科																			合計									
		院長	第一内科	循環器内科	脳神経内科	腎臓内科	第二内科	消化器内科	肝臓内科	消化器内視鏡部	血液内科	総合内科	外科	消化器外科	内視鏡外科	乳腺外科	整形外科	リハビリ科	小児科	産婦人科		眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	呼吸器内科	胸部・心臓血管外科	精神科	脳神経外科	麻酔科
使用成績調査	新規申請				1					4						1		1												7
	中間報告(継続審査)									2								1	1											4
	計画変更申請			4		2				6	1					4		1					2	1					1	22
	その他																													0
	その他(通知書なし)																													0
	直接閲覧申込書																													0
	直接閲覧報告書																													0
	原資料複写依頼書																													0
	原資料複写受領書																													0
	終了(中止)報告			1			1		1		2								1	1						2				9
	実施件数報告書			1			1		1		4								2	2					2					13
合計		0	0	2	5	0	4	0	2	0	18	1	0	0	0	0	5	0	6	4	0	0	0	2	5	0	0	0	1	55
特定使用成績調査	新規申請				3			1		4	2	2												1					13	
	中間報告(継続審査)							1		1	3							1						1					7	
	計画変更申請				7		1	2		5	3							1					4	1					24	
	その他																													0
	その他(通知書なし)																													0
	直接閲覧申込書																													0
	直接閲覧報告書																													0
	原資料複写依頼書																													0
	原資料複写受領書																													0
	終了(中止)報告				2						1								1						1					5
	実施件数報告書			1	1			1		1	8								2					1		1				15
合計		0	0	1	13	0	1	5	0	0	11	17	2	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	4	0	0	0	0	64	
副作用・感染症報告										1					1		1							2					6	
総合計		0	0	3	18	0	5	5	2	0	30	18	2	0	1	0	6	0	11	5	0	0	7	11	0	0	0	1	125	

## 2021年 夜間・休日・業務統計

## 日 勤

月	処方箋枚数			調剤数		注射処方箋		麻薬枚数	その他件数	小児件数
	外来	入院	合計	件数	剤数	枚数	処方数			
1月	276	741	1,017	1,629	7,064	173	322	50	6	34
2月	136	469	605	881	3,911	110	246	35	0	21
3月	124	394	518	775	3,750	110	205	46	3	18
4月	157	440	597	933	4,857	199	397	50	2	26
5月	324	789	1,113	1,942	9,023	503	1,480	73	3	69
6月	147	357	504	745	3,388	97	263	29	1	50
7月	279	601	880	1,378	6,441	217	563	17	2	96
8月	257	521	778	1,097	5,172	308	1,060	78	7	65
9月	188	515	703	960	4,421	141	287	56	8	27
10月	145	446	591	857	4,227	111	237	39	5	20
11月	178	521	699	1,032	5,163	121	243	36	1	34
12月	224	685	909	1,446	7,302	67	134	33	27	37
年合計	2,435	6,479	8,914	13,675	64,719	2,157	5,437	542	65	497
1日平均	20.0	53.1	73.1	112.1	530.5	17.7	44.6	4.4	0.5	4.1

## 夜 勤

月	処方箋枚数			調剤数		注射処方箋		麻薬枚数	その他件数	小児件数
	外来	入院	合計	件数	剤数	枚数	処方数			
1月	416	982	1,398	2,845	10,546	760	1,757	41	1	90
2月	349	940	1,289	2,163	10,582	674	1,397	48	4	73
3月	400	1,096	1,496	2,214	10,258	673	1,411	46	10	95
4月	457	966	1,423	2,471	12,199	942	1,782	72	7	140
5月	688	1,093	1,781	3,047	16,085	923	2,053	28	12	175
6月	544	847	1,391	2,407	10,611	756	1,639	39	7	163
7月	718	1,127	1,845	3,156	16,321	686	1,602	26	6	279
8月	649	993	1,642	2,689	13,926	1,053	2,419	52	4	161
9月	487	967	1,454	2,361	11,913	837	2,053	50	65	109
10月	436	878	1,314	2,233	10,963	695	1,467	35	3	116
11月	451	857	1,308	2,109	9,592	752	1,584	35	28	142
12月	483	830	1,313	2,201	11,254	821	1,842	29	4	151
年合計	6,078	11,576	17,654	29,896	144,250	9,572	21,006	501	151	1,694
1日平均	16.7	31.7	48.4	81.9	395.2	26.2	57.6	1.4	0.4	4.6

「1日平均」は、年合計をそれぞれ日勤日122、夜勤日数365で除した値である。

## 注射当番

月	注射処方箋		合計
	夜勤*1	日勤*2	
1月	1740	10918	12658
2月	1436	9427	10863
3月	1780	6787	8567
4月	2069	8787	10856
5月	1923	12873	14796
6月	1895	7876	9771
7月	1703	9886	11589
8月	1786	9067	10853
9月	1702	9407	11109
10月	1615	8617	10232
11月	1782	8508	10290
12月	1719	8925	10644
合計	21150	111078	132228
1日平均	71.9	910.5	

夜勤*1	
平日	17:00~18:00
土曜日	17:30
日勤*2	
土曜日	8:30~11:30
日・祝日	8:30~11:30 17:00

日直＝日直業務  
夜直＝夜直業務

「1日平均」は、年合計をそれぞれ日勤日数122、夜勤日数294で除した値である。

### 看護部統計

**看護職員配置職員数**

令和3年4月1日時点

	正職			非常勤		配置数
	常勤	育短	部分休	パートA	パートB	
中4階	24	1	2	3		30
中5階	26	2	2		3	33
中6階	28	1	1	3		33
中7階	26	1	3	1		31
中8階	29	1	2	3		35
中9階	29			3	1	33
中10階	31		1	3	1	36
西7階	23			1		24
西8階	28	1		2		31
西9階	26	3	1	3	1	34
西10階	18	1				19
ICU	26	3				29
中3HCU	32					32
中5HCU	17		1			18
手術室	31	3		3		37
救急外来	24	1				25
腎センター	4		1	2		7
消化器病センター	6		1	2		9
外来化学療法センター	4	1	2	1	1	9
外来診療部	29	4	4	45	3	85
入退院支援センター	3		2	2		7
地域連携部	5		1			6
医療安全推進室	2					2
感染対策室	1					1
認知症ケア	1					1
緩和ケア	1					1
医事・診療録・がん登録	3					3
看護部長室・専従など	8			1	1	10
合計	485	23	24	78	11	621

産前産後休暇	8
育児休暇	48
休職	3

**看護補助者数**

令和3年4月1日時点

職種	採用区分	人数
看護助手	正職員	3
	フルタイム	
	パートAA	14
	パートB	65
	合計	82

**令和3年度 退職者数 (正職員)**

他の職場への興味	8
精神的理由	6
結婚	4
子育て	4
転居	4
身体的理由	2
看護職以外の職場への興味	2
疲弊	2
適正能力の不安	2
夜勤が負担	1
人間関係	1
介護	1
進学	1
不満	1
やり甲斐がない	1
孫の世話	1
定年・再任用満了	9
合計	50

**令和3年度 専門看護師・認定看護師・特定看護師数**

専門看護師		
がん看護	精神看護	慢性疾患看護
1	1	1

特定看護師
3

認定看護師					
がん性疼痛看護	摂食・嚥下障害看護	小児救急看護	がん化学療法看護	集中ケア	がん放射線療法看護
1	1	2	3	1	1
皮膚・排泄ケア	糖尿病看護	手術看護	救急看護	慢性心不全看護	透析看護
2	1	1	2	1	2
認知症看護	慢性呼吸器疾患看護	脳卒中リハビリテーション看護	緩和ケア	感染管理	
2	1	1	1	2	

## 令和3年度 院外研修実績

学会・研修名	場所	日時	人数
第26回日本緩和医療学会学術大会	WEB参加	2021年6月18日～19日	1
第69回日本輸血・細胞治療学会学術総会、学会認定・自己血輸血医師看護師制度協議会指定セミナー	WEB参加	2021年6月4日～6日	1
21「重症度、医療・看護必要度」評価者及び院内指導者研修	オンラインセミナー	2021年8月1日～8月31日	3
専門職としての第一歩	県民ふれあい会館	6月3日・14日・15日・21日・30日	26
令和3年度肝炎医療コーディネーター研修会	オンラインセミナー	2021年6月28日	2
日本心臓リハビリテーション学会学術集会	オンラインセミナー	2021年6月19日～20日	1
令和3年岐阜県新人看護職員教育事業プログラム	オンラインセミナー	2021年6月19、24日、7月5日、8月16日、9月18日	1
公益財団法人岐阜県市町村振興協会「面接試験技法研修」	県民ふれあい会館	2021年7月19日	2
第25回愛知クリニカルパス研究会	WEB参加	2021年7月31日	1
公益財団法人岐阜県市町村振興協会「仕事の効率アップ研修」	県民ふれあい会館	2021年9月8日	1
ELNEC-J看護師教育プログラム(岐阜大学)	岐阜大学医学部付属病院	2021年9月25日～26日	2
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	オンラインセミナー	2021年10月26日～27日	6
褒め方・叱り方研修 ～モチベーションを高めるコミュニケーションとは～	ふれあい会館	2021年9月3日	3
AO Spine OPR Webinar	WEB参加	2021年6月12日	1
IMSAFER研究会	WEB参加	2021年9月11日～12日	2
同種造血細胞移植フォローアップ研修	オンラインセミナー	2021年9月19日	
人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業「本人の意向を尊重した意思決定研修」	オンラインセミナー	2021年10月31日	3
ELNEC-J看護師教育プログラム(県総合)	岐阜県総合医療センター	2021年10月16日、11月6日	2
看護実践研究会 第3回 学術集会	WEB参加	2021年9月4日	1
第10回岐阜ストーリーリハビリテーションWEB講習会	WEB参加	2021年11月25日～12月15日	2
レジリエンス研修	県民ふれあい会館	2021年3年10月12日・10月13日	2
第23回日本救急看護学会学術集会	オンライン	2021年10月22日～23日	1
第41回医療情報学連合大会	名古屋国際会議場	2021年11月18日～21日	1
日本心血管インターベンション治療学会(第45回東海北陸地方会)	WEB参加	2021年10月16日～17日	4
第10回岐阜ストーリーリハビリテーションWEB講習会	WEB参加	2021年11月25日～12月15日 2021年12月19日(ミーティング)	2
アサーティブコミュニケーション講座	県民ふれあい会館	2021年11月4日	2
日本放射線腫瘍学会第34回学術大会	WEB参加	2021年11月12日～14日	1
日本小児がん看護学会学術集会	WEB参加	2021年11月25日～12月17日	2
第10回岐阜看護学会	県民ふれあい会館	2021年12月11日	2
メンタルタフネス講座	県民ふれあい会館	2021年11月24日	3
ハードクレーム対応研修	県民ふれあい会館	2021年11月25日	2

学会・研修名	場所	日時	人数
メンタルヘルス・ハラスメント防止講座	県民ふれあい会館	2021年11月30日～12月1日	2
看護政策委員会研修会	県民ふれあい会館	2021年12月8日	2
心不全療養士資格試験	WEB参加	2021年12月19日	10
第13回下部尿路感染症状の排泄ケア講習会	WEB参加	2022年2月5日～6日	1
令和3年度災害支援ナースフォローアップ研修会	県民ふれあい会館	2022年2月24日	2
令和3年度肝炎医療コーディネーター養成講習会	WEB参加	2022年2月12日	2
令和3年度DPAT研修	WEB参加	2022年2月20日	1
日本看護サミット2021	WEB参加	2022年2月4日	2
集中治療医学会	WEB参加	2022年3月18日～20日	3
第49回日本集中治療医学会学術集会	WEB参加	2022年3月18日～20日	5
第11回新型コロナウイルス対策から学ぶ感染症対策講習会	WEB参加	2021年10月17日	1
集中治療学会ICUセミナー(初級)	WEB参加	2022年2月1日～3月31日	7
ICUセミナー(初級)	WEB参加	2022年2月1日～28日	4
看護協会コロナ社会を生きぬく看護でつなぐ地域医療	ふれあい会館	2021年12月11日	2
専任教員実習指導者編看護人材現任研修	岐阜	2021年9月14日	1
訪問看護研修	看護協会	2021年11月5日・11月22日・12月23日	1
訪問看護実践研修	訪問看護ステーション和光	2021年12月27日・2022年1月12日・13日	1
その人らしい生き方を支える医療ケアプランニング	訪問看護ステーション和光	2021年9月24日	1
意思決定支援人生の最終段階にある人のコミュニケーション	訪問看護ステーション和光	2021年10月5日	1
NCPR(新生児蘇生)	岐阜	2021年10月9日	1
感染対策担当者(ICS)養成のためのセミナー	WEB参加	2021年7月・11月・2022年1月	1

## 令和3年度 看護部院外研究発表一覧

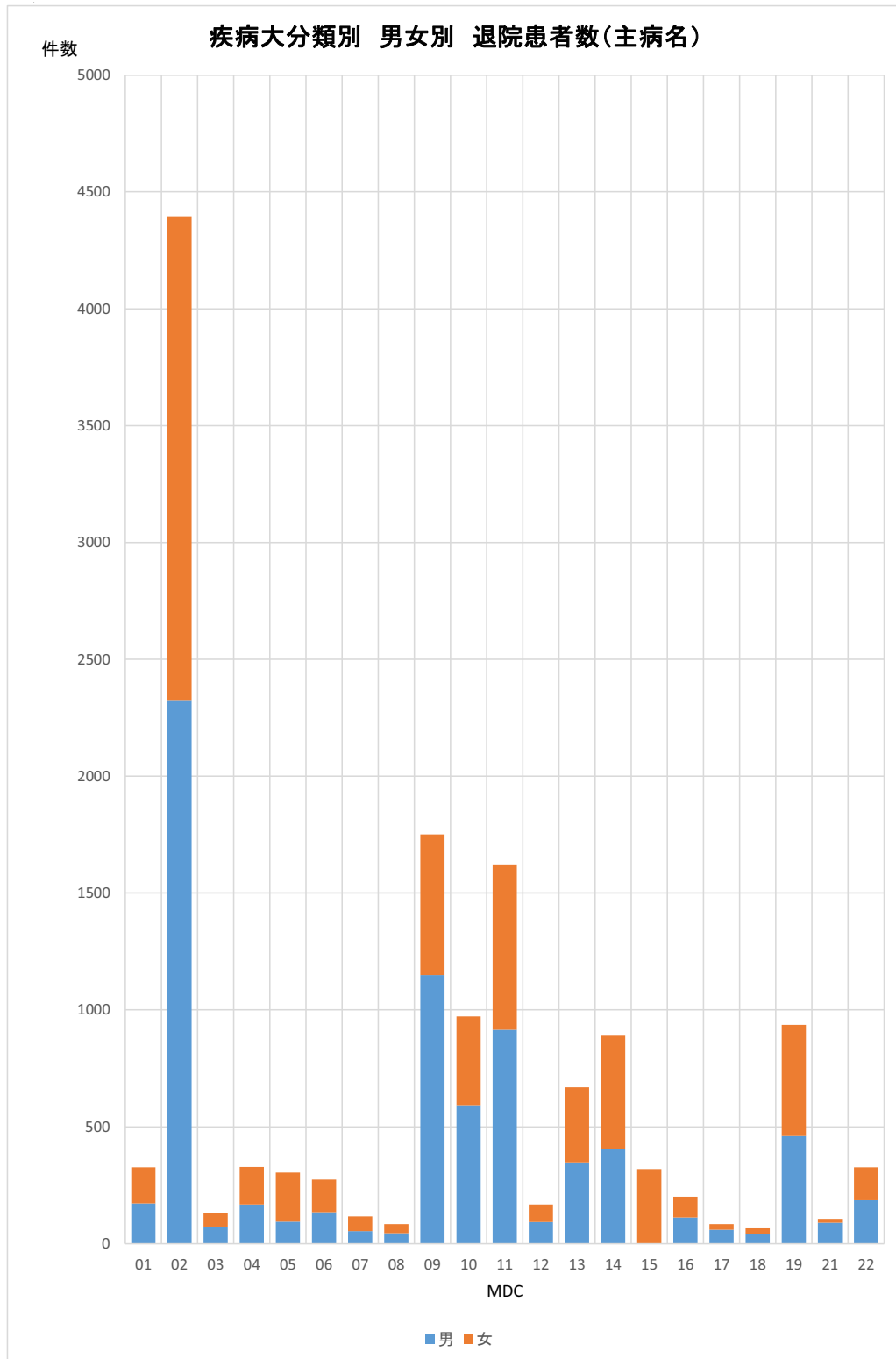
テーマ	学会名	氏名
心臓カテーテル業務に就く看護師の技術習得にむけての試み	日本心血管インターベンション治療学会 (第45回東海北陸地方会)	遠藤 花保里
COVID-19患者の心臓カテーテル検査対応マニュアルの作成に取り組んで	日本心血管インターベンション治療学会 (第45回東海北陸地方会)	樋口 佳代子
心臓カテーテル検査・治療中の患者の保温対策の有効性と抽出課題	日本心血管インターベンション治療学会 (第45回東海北陸地方会)	河崎 理恵
院内トリアージ教育における段階的教育を導入した結果と課題について	第23回日本救急看護学会学術集会	田代 梨恵子
A病院ハイケアユニット看護師のNPPVマスクフィッティングにおける実態調査	第10回岐阜看護学会	河島 沙織
A病院ハイケアユニットにおけるアクションカードの見直しによる効果と課題	第10回岐阜看護学会	青山 昌平
A病院外科系病棟看護師のプレウォーミングに関する意識調査	第71回日本病院学会	青木 未侑

## 診療情報管理室統計

疾病大分類別・退院患者数(主病名) 期間 2021年1月1日～2021年12月31日

大分類	ICD	男	女	総数	構成比
01:感染症及び寄生虫症	A00-B99	172	155	327	2.32%
02:新生物<腫瘍>	C00-D48	2326	2069	4395	31.25%
03:血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	D50-D89	73	59	132	0.94%
04:内分泌、栄養及び代謝疾患	E00-E90	168	160	328	2.33%
05:精神及び行動の障害	F00-F99	94	210	304	2.16%
06:神経系の疾患	G00-G99	135	139	274	1.95%
07:眼及び付属器の疾患	H00-H59	53	63	116	0.82%
08:耳及び乳様突起の疾患	H60-H95	44	40	84	0.60%
09:循環器系の疾患	I00-I99	1149	602	1751	12.45%
10:呼吸器系の疾患	J00-J99	592	380	972	6.91%
11:消化器系の疾患	K00-K93	915	704	1619	11.51%
12:皮膚及び皮下組織の疾患	L00-L99	93	74	167	1.19%
13:筋骨格系及び結合組織の疾患	M00-M99	347	322	669	4.76%
14:腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99	405	484	889	6.32%
15:妊娠、分娩及び産じょく<褥>	O00-O99	0	319	319	2.27%
16:周産期に発生した病態	P00-P96	112	89	201	1.43%
17:先天奇形、変形及び染色体異常	Q00-Q99	59	24	83	0.59%
18:症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99	41	25	66	0.47%
19:損傷、中毒及びその他の外因の影響	S00-T98	460	476	936	6.65%
21:健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	Z00-Z99	90	16	106	0.75%
22:特殊目的用コード	U	185	142	327	2.32%
合計		7513	6552	14065	100.00%

例年同様に、第1位は新生物、第2位は循環器系の疾患、第3位は消化器系の疾患が占めている。



## ICD別・退院患者数 上位10疾患(主病名)

期間 2021年1月1日～2021年12月31日

	主病名 コード	大分類	主な分類名	男	女	総数	構成比
1	U071	22:特殊目的用コード	COVID-19	185	142	327	2.32%
2	C341	02:新生物<腫瘍>	上葉・気管支または肺の悪性新生物	237	79	316	2.25%
3	I500	09:循環器系の疾患	うっ血性心不全	128	110	238	1.69%
4	C343	02:新生物<腫瘍>	下葉・気管支または肺の悪性新生物	121	97	218	1.55%
5	I251	09:循環器系の疾患	アテローム粥状硬化性心疾患	171	44	215	1.53%
6	J690	10:呼吸器系の疾患	食物及び吐物による肺臓炎	137	71	208	1.48%
7	I252	09:循環器系の疾患	陳旧性心筋梗塞	182	18	200	1.42%
8	D462	02:新生物<腫瘍>	芽球過剰性不応性貧血	127	58	185	1.32%
9	C220	02:新生物<腫瘍>	肝細胞癌	145	39	184	1.31%
10	M4806	13:筋骨格系及び結合組織の疾患	腰部脊柱管狭窄症	100	76	176	1.25%
合計				1533	734	2267	

## 上位10疾患 ICD別・男

	主病名 ICDコード	大分類	主な分類名	計	構成比
1	C341	02:新生物<腫瘍>	上葉・気管支または肺の悪性新生物	237	3.15%
2	U071	22:特殊目的用コード	COVID-19	185	2.46%
3	I252	09:循環器系の疾患	陳旧性心筋梗塞	182	2.42%
4	I251	09:循環器系の疾患	アテローム粥状硬化性心疾患	171	2.28%
5	C61	02:新生物<腫瘍>	前立腺の悪性新生物	162	2.16%
6	C220	02:新生物<腫瘍>	肝細胞癌	145	1.93%
7	J690	10:呼吸器系の疾患	食物及び吐物による肺臓炎	137	1.82%
8	I500	09:循環器系の疾患	うっ血性心不全	128	1.70%
9	D462	02:新生物<腫瘍>	芽球過剰性不応性貧血	127	1.69%
10	C343	02:新生物<腫瘍>	下葉・気管支または肺の悪性新生物	121	1.61%
合計				1595	

## 上位10疾患 ICD別・女

	主病名 ICDコード	大分類	主な分類名	計	構成比
1	C531	02:新生物<腫瘍>	子宮頸外部悪性新生物	148	2.26%
2	U071	22:特殊目的用コード	COVID-19	142	2.17%
3	D251	02:新生物<腫瘍>	壁内子宮平滑筋腫	114	1.74%
4	I500	09:循環器系の疾患	うっ血性心不全	110	1.68%
5	C343	02:新生物<腫瘍>	下葉・気管支または肺の悪性新生物	97	1.48%
6	D27	02:新生物<腫瘍>	卵巣の良性新生物	94	1.43%
7	S7200	19:損傷、中毒及びその他の外因の影響	大腿骨頸部骨折(閉鎖性)	89	1.36%
8	C541	02:新生物<腫瘍>	子宮内膜の悪性新生物	83	1.27%
9	C341	02:新生物<腫瘍>	上葉・気管支または肺の悪性新生物	79	1.21%
10	M4806	13:筋骨格系及び結合組織の疾患	腰部脊柱管狭窄症	76	1.16%
合計				1032	

・総数上位5疾患については、例年、「C341：上葉・気管支または肺の悪性新生物」が最多であったが、「U071：COVID-19」が上位を占めている。

・男女別による疾患上位数については、男性は「上葉・気管支または肺 新生物」が最多である女性については、例年「D251：壁内子宮平滑筋腫」が最多であったが、「C531：子宮頸外部悪性新生物」が増加している。

2019年～2021年 入院紙カルテ貸し出し業務統計

入院紙カルテについて

保存方法：1患者1入院ごとに1冊作成

貸し出しについて『岐阜市民病院診療録等管理規定』に基づく

貸し出し可能者：岐阜市民病院に勤務する医療従事者及び事務職員

貸し出し依頼：「診療録(紙媒体)閲覧・借用申込書」を診療情報管理室に提出

貸し出し期間：1ヶ月

外来診療：外来診療を行うため

研究：臨床研究、学会発表のため

治験：治験の際に使用

書類：書類(各種診断書、学会への報告書、保健所への報告書等)作成のため

病棟：入院診療を行うため

面談：患者面談のため

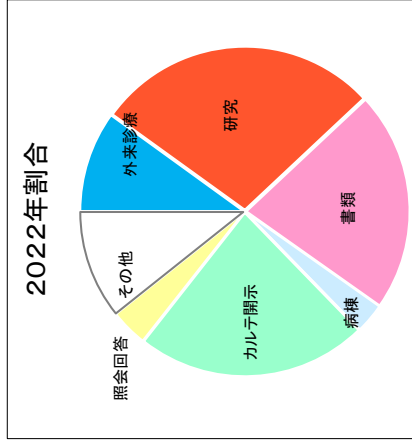
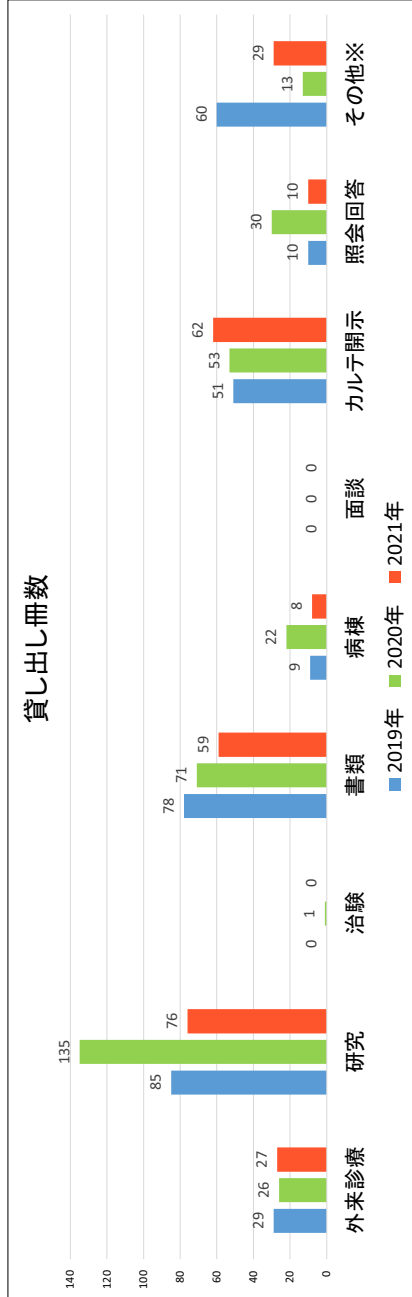
カルテ開示：患者本人もしくは保険会社からの開示依頼のため

照会回答：警察、弁護士事務所等からの法律に基づいた開示依頼のため

その他：入院歴・形態の確認、検査内容の確認、二重カルテ(1患者に2以上の患者番号を付与)の確認、がん登録時の確認、他院紹介、事務的確認等

利用目的別貸し出し冊数及び割合

	外来診療	研究	治験	書類	病棟	面談	カルテ開示	照会回答	その他	合計
2021年	冊数 27冊	76冊	0冊	59冊	8冊	0冊	62冊	10冊	29冊	271冊
	割合 10.0%	28.0%	0.0%	21.8%	3.0%	0.0%	22.9%	3.7%	10.7%	
2020年	冊数 26冊	135冊	1冊	71冊	22冊	0冊	53冊	30冊	13冊	351冊
	割合 7.4%	38.5%	0.3%	20.2%	6.3%	0.0%	15.1%	8.5%	3.7%	
2019年	冊数 29冊	85冊	0冊	78冊	9冊	0冊	51冊	10冊	60冊	322冊
	割合 9.0%	26.4%	0.0%	24.2%	2.8%	0.0%	15.8%	3.1%	18.6%	



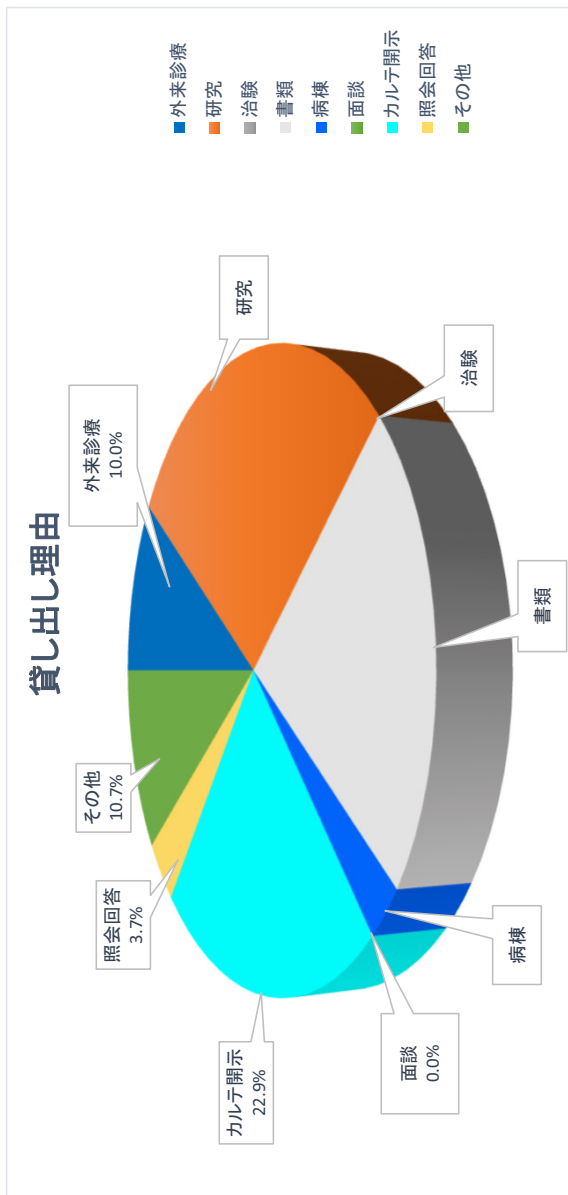
2021年度は研究目的の貸し出し割合が最も高かった。カルテ開示のための貸し出しが増加傾向にある。

2021年1/1~2021年12/31 カルテ貸し出し依頼・統計(入院カルテ)  
 カルテ貸出件数: 271 件 (延長の 97 件除く)

貸し出し理由	冊数	%
外来診療	27	10
研究	76	28
治験	0	0
書類	59	22
病棟	8	3
面談	0	0
カルテ開示	62	23
照会回答	10	3
その他	29	11
合計	271	100

【その他の貸出目的 29件 内訳】

- 入院形態問合せ 10件
- 障害者年金受給書類に必要な傷病の初診日の確認のため 1件
- 診療情報提供書作成 1件
- 入院期間の確認 1件
- データ集計の為 3件
- 他院入院のため情報提供 2件
- 医療照会 1件
- 受診状況問い合わせ 4件
- 院内がん登録調査 4件
- 院内がん登録調査遅り調査のため 2件

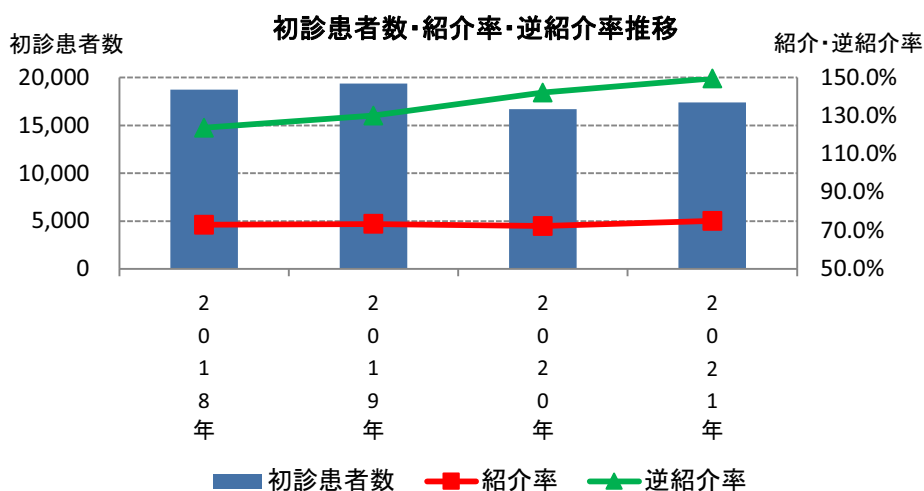


## 地域連携部統計

### 1.紹介患者数、紹介率、逆紹介率

(休日・夜間を除く)

年	患者数	初診患者数	初診紹介患者数	逆紹介患者数	紹介率	逆紹介率
2018年		18,763	13,725	23,229	73.1%	123.8%
2019年		19,388	14,243	25,218	73.5%	130.1%
2020年		16,710	12,100	23,758	72.4%	142.2%
2021年		17,402	13,061	26,030	75.1%	149.6%

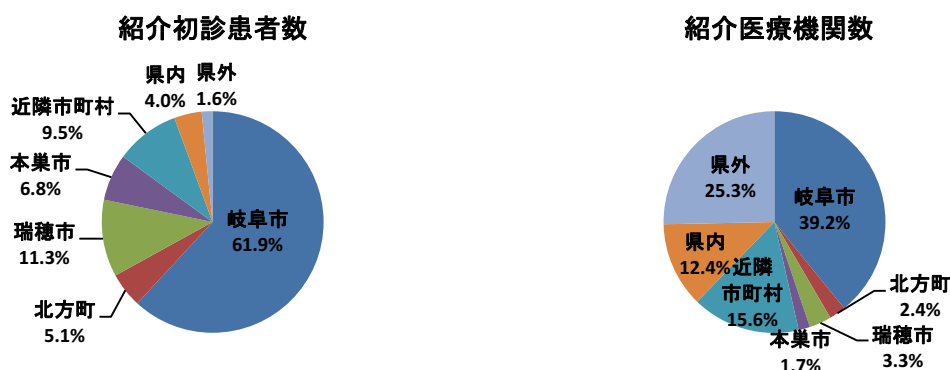


新型コロナウイルスの流行は継続しているが、制限も緩和され対応方法も確立してきており、初診患者数・初診紹介患者数は回復傾向にある。受診患者数増加しているが、発熱患者の比率も多く、各診療科において外来の負担を減少させ、待合での過密を防ぐためにも、かかりつけ医を紹介するように働きかけたことにより、逆紹介率も増加する結果となった。

### 2.2021年紹介初診患者分布状況

	岐阜市	北方町	瑞穂市	本巣市	羽島郡	各務原市	山口市	関市	羽島市	揖斐郡	県内	県外	合計
紹介初診患者数	11,254	919	2,045	1,237	259	351	175	138	292	491	730	285	18,176
分布率	61.9%	5.1%	11.3%	6.8%	1.4%	1.9%	1.0%	0.8%	1.6%	2.7%	4.0%	1.6%	100.0%
紹介医療機関数	470	29	39	20	35	64	12	15	33	30	149	304	1,200
分布率	39.2%	2.4%	3.3%	1.7%	2.9%	5.3%	1.0%	1.3%	2.8%	2.5%	12.4%	25.3%	100.0%

※塗り潰し部分は、下記グラフの近隣市町村に含まれる。

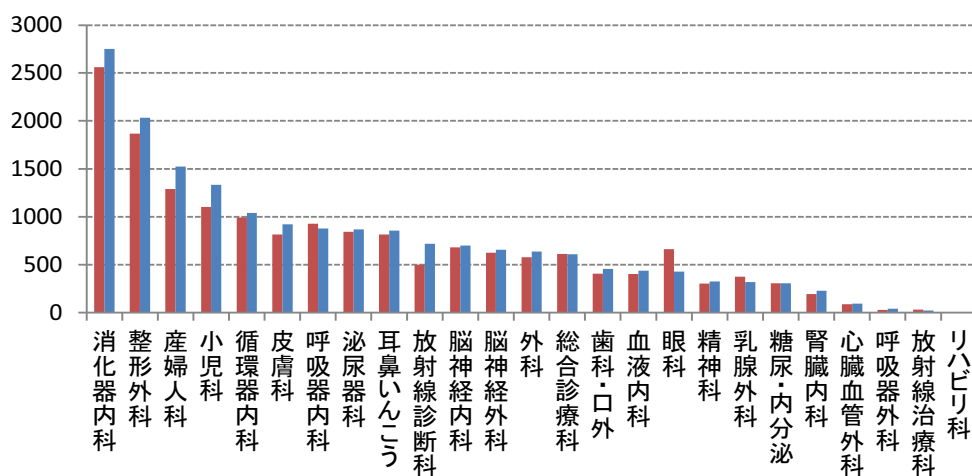


分布状況は昨年と比較しても大差なく、紹介患者に関しては、昨年同様、6医師会と近隣市町村で9割以上を占める。紹介医療機関に関しては、勤務先や転居等に伴う紹介も多く、6医師会と近隣市町村からの紹介は6割ほどとなっている。

## 3.2021年診療科別紹介初診患者数

診療科	2020	2021
消化器内科	2,561	2,751
整形外科	1,868	2,032
産婦人科	1,290	1,523
小児科	1,101	1,334
循環器内科	994	1,041
皮膚科	816	921
呼吸器内科	927	879
泌尿器科	843	868
耳鼻いんこう	814	857
放射線診断科	500	718
脳神経内科	681	699
脳神経外科	623	657
外科	579	636
総合診療科	611	610
歯科・口外	406	457
血液内科	403	436
眼科	661	428
精神科	304	324
乳腺外科	374	318
糖尿・内分泌	307	305
腎臓内科	194	227
心臓血管外科	86	93
呼吸器外科	27	41
放射線治療科	31	21
リハビリ科	2	0
総計	17,003	18,176

診療科別紹介患者数

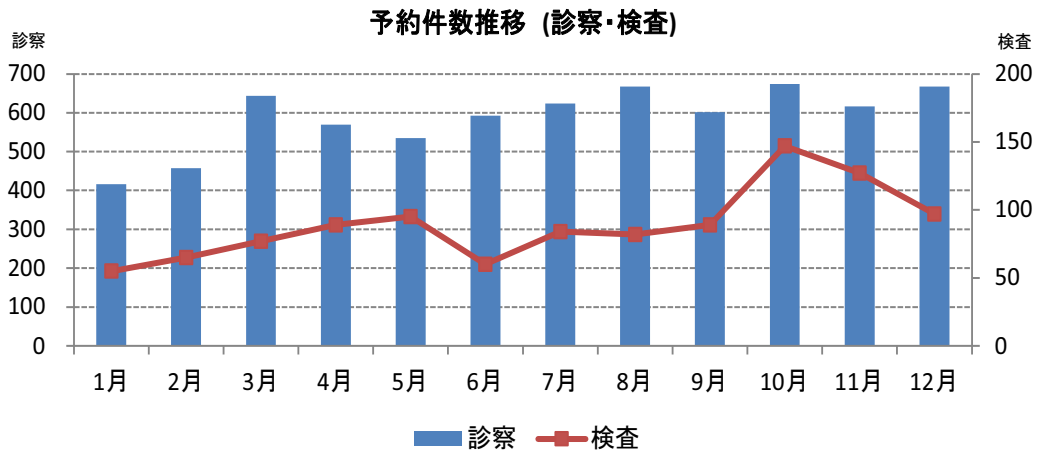


新型コロナウイルスは依然として流行中であり、発熱患者の対応が増える一方、対策が進み診察を控える患者が減ったことにより、ほとんどの診療科で患者数が増加を示した。

4.2021年FAX紹介件数（診察・検査予約）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
診察	416	457	643	569	535	592	624	667	601	674	616	667	7,061
検査合計	55	65	77	89	95	60	84	82	89	147	127	97	1,067
C T	16	18	25	23	27	22	35	32	33	36	27	31	325
M R I	9	11	12	19	17	16	20	19	21	26	31	26	227
PET-CT	10	13	14	15	18	11	9	7	12	34	26	14	183
内視鏡	16	16	18	24	21	9	14	13	20	38	36	18	243
超音波	4	7	4	5	9	1	6	11	0	8	6	7	68
シンチ	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
その他	0	0	3	2	3	1	0	0	3	4	1	1	18
合計	471	522	720	658	630	652	708	749	690	821	743	764	8,128

※その他に含まれる項目：胃ろう交換・脳波



新型コロナウイルスの流行時期に合わせ、予約件数も増減はあった。しかし昨年と比べ、診察・検査の予約件数共に増加に転じる結果となった。

### 5.2021年開放型病床共同利用状況

医科	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
循環器内科									2	2			4
消化器内科						1	1						2
神経内科				1	1								2
呼吸器内科										1		1	2
整形外科				1	1								2
脳神経外科				1	1								2
外科												1	1
合計	0	0	0	3	3	1	1	0	2	3	0	2	15
利用率	0.00%	0.00%	0.00%	6.90%	10.14%	3.10%	5.99%	0.00%	0.95%	4.15%	0.00%	2.53%	2.81%

※ 開放病床 14床

利用率の合計は平均値

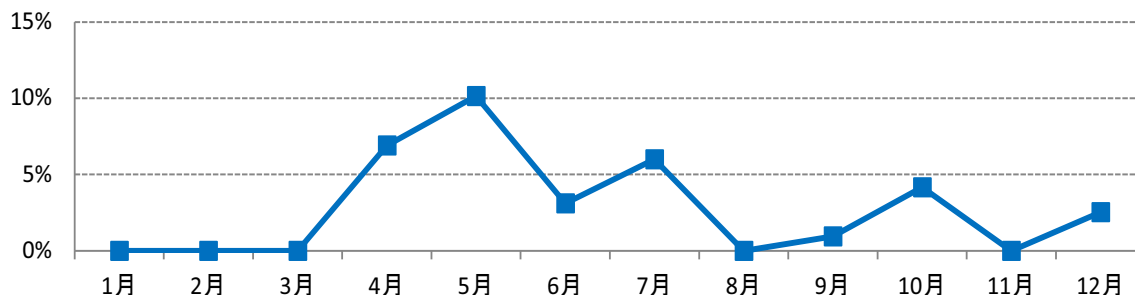
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

※ 開放病床 2床

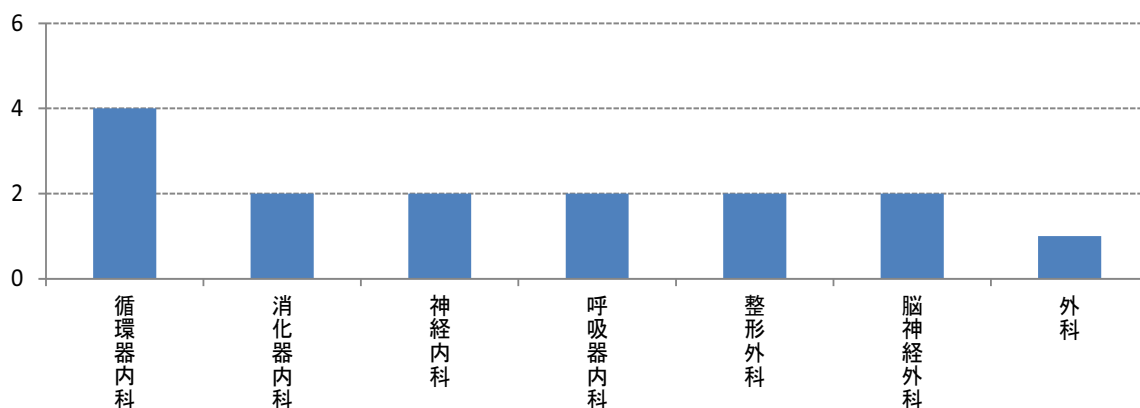
利用率の合計は平均値

新型コロナウイルス流行の為、5/8～面会制限

開放型病床共同利用状況 (利用率推移)



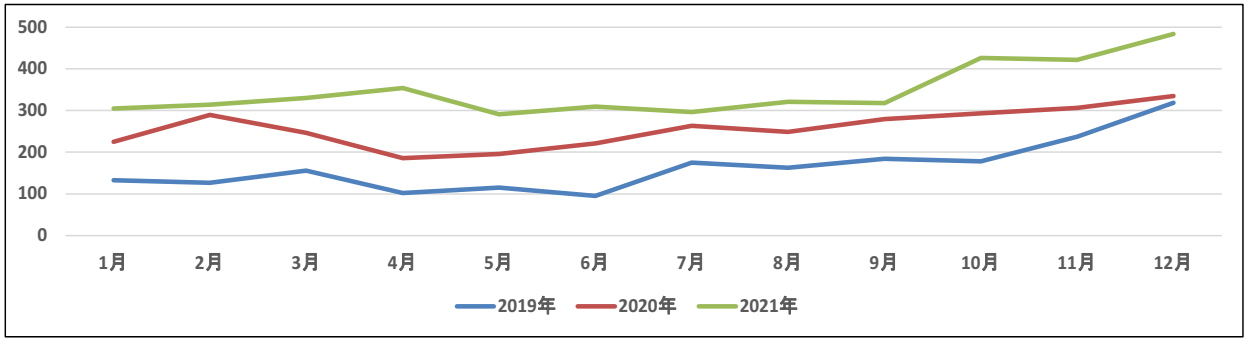
開放型病床共同利用状況 (診療科別件数)



新型コロナウイルスの流行に伴い、開放型病床の利用率は減少することとなった。

入退院支援加算1・小児加算1、退院時共同指導料2  
地域連携診療計画加算、介護支援連携指導料 算定実績

入退院支援加算1	600点		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		2019年	133	127	156	102	115	95	175	163	184	178	237	319	1,984
		2020年	225	289	246	186	196	221	263	249	279	293	306	335	3,088
		2021年	305	314	330	354	291	309	296	321	318	426	421	484	4,169



入退院支援加算1 小児加算	200点		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		2019年		1					7	13	6	3	5	1	36
		2020年	3	5	3	3	3	3	5	7	5	4	10	4	55
		2021年	1	4	5	4	4	8	3	11	3	16	23	25	107

地域連携診療 計画加算(バス)	300点		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		2019年	13	15	17	21	16	14	9	6	8	9	12	15	155
		2020年	18	16	16	10	14	14	19	14	16	16	15	17	185
		2021年	20	19	25	25	14	27	18	21	28	18	26	33	274

退院時共同指導料2	400点	2019年		1	2								4	1	8
		2020年	1		2						2		1	1	7
		2021年		2		2	1	1	1	2			3		12
	700点	2019年	3				1	1				1			6
		2020年						1							1
		2021年			1										1
	2400点	2019年	5	4	6	4	9	5	6	8	2	5	9	10	73
		2020年	2	6	5	5	2	7	5	4	9	7	8	7	67
		2021年	9	5	4	15	8	6	11	10	6	10	10	5	99

介護支援等連携 指導料	400点		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		2019年	23	21	25	20	27	21	15	12	8	21	19	15	227
		2020年	8	16	14	5	4	8	8	10	3	14	10	3	103
		2021年	6	4	4	10	6	7	10	18	5	7	13	15	105

令和3年（1～12月）岐阜市民病院研修実績（全体）								
月日	研修種別		主催	研修会名称	開催回数	院内医療者数	院外医療者数	一般
1月7日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	戦う！研修医のためのプライマリ・ケア道場～Season6～ 第9回[腹痛] 医療法人社団藤和会 あんどう内科クリニック 院長 安藤 大樹 先生 (岐阜市民病院 総合診療・リウマチ膠原病センター派遣医師)	1	15	1	0
1月15日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	2020年度研修医レクチャー「イレウスについて」 岐阜市民病院 外科部医員 松本 圭太 先生	1	13	1	0
1月22日	医療技術	医療者	NST委員会	2020年の薬剤の動向 薬剤部 渡邊 久高	1	25	0	0
2月4日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	戦う！研修医のためのプライマリ・ケア道場～Season6～ 第10回[抗菌薬] 医療法人社団藤和会 あんどう内科クリニック 院長 安藤 大樹 先生 (岐阜市民病院 総合診療・リウマチ膠原病センター派遣医師)	1	11	2	0
3月4日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	戦う！研修医のためのプライマリ・ケア道場～Season6～ 第11回[+α] 医療法人社団藤和会 あんどう内科クリニック 院長 安藤 大樹 先生 (岐阜市民病院 総合診療・リウマチ膠原病センター派遣医師)	1	11	0	0
3月22日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	『クリニカルパス実践講座』クリニカルパス推進委員会委員長 玉木 正義 先生	1	14	0	0
3月26日	医療技術	医療者	NST委員会	栄養評価のために知っておきたい臨床検査値 病理診断科部 大橋 明香	1	20	0	0
5月6日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	戦う！研修医のためのプライマリ・ケア道場～Season7～ 第1回[発熱]	1	26	1	0
5月25日	医療技術	医療者	看護部	小児救急看護－小児救急蘇生法について知る－ 講師：新津 美智代 今枝 保江	1	19	0	0
6月3日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	戦う！研修医のためのプライマリ・ケア道場～Season7～ 第2回[夜] 医療法人社団藤和会 あんどう内科クリニック 院長 安藤 大樹 先生 (岐阜市民病院 総合診療・リウマチ膠原病センター派遣医師)	1	18	1	0
6月9日 6月30日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	研修医向けエコー実践講座 岐阜市民病院 中央放射線部 河口 大介 技師	1	18	0	0
6月15日	医療技術	医療者	看護部	認知症看護の基本－事例で考える認知症－ 講師：長屋 千鶴子	1	1	0	0
6月17日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	患者のミカタ ～患者さんの正しい“ミカタ”考えたことありますか？～ 医療法人社団藤和会 あんどう内科クリニック 院長 安藤 大樹 先生 (岐阜市民病院 総合診療・リウマチ膠原病センター派遣医師)	1	23	1	0
6月22日	医療技術	医療者	看護部	摂食嚥下障害看護 講師：宮田 智子	1	8	0	0
6月25日	医療技術	医療者	看護部	第1回院内糖尿病看護認定教育コース 講師：安田 幸司	1	3	0	0
6月30日	医療技術	医療者	看護部	がん化学療法看護 I 講師：近藤 仁美	1	11	0	0
6月30日～ 7月29日	全医療職	医療者	医療安全	医療安全講習会（法令研修） チームSTEPS ～ツールを活用してみよう～	1	1244	0	0
6月25日	医療技術	医療者	看護部	皮膚・排泄ケア ストーマケア 基礎編（1） 講師：武田 広美 竹田 宏美	1	19	0	0
6月29日	医療技術	医療者	看護部	手術看護 講師：石原 奈々	1	17	0	0
7月1日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	戦う！研修医のためのプライマリ・ケア道場～Season7～ 第3回[めまい] 医療法人社団藤和会 あんどう内科クリニック 院長 安藤 大樹 先生 (岐阜市民病院 総合診療・リウマチ膠原病センター派遣医師)	1	20	2	0
7月2日	医療技術	医療者	看護部	脳卒中リハビリテーション看護－脳卒中患者の看護－ 講師：坂井 久恵	1	18	0	0
7月9日 7月19日 7月20日 7月27日 7月28日 8月4日 8月5日 8月13日	全職員	全職員	感染対策チーム	医療関連感染対策講演会（法令研修） －事例から学ぶCOVID-19の対策－ (DVD14回上映、DVDレンタル)	14	1212	0	0
7月15日	医療技術	医療者	看護部	救急・急変患者のアセスメントを実践で活かす 講師：北村 結美	1	42	0	0
7月29日	医療技術	医療者	看護部	透析看護を学ぶ 講師：長野 清美	1	12	0	0
7月29日	医療技術	医療者	看護部	第2回院内糖尿病看護認定教育コース 講師：安田 幸司	1	6	0	0
8月5日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	戦う！研修医のためのプライマリ・ケア道場～Season7～ 第4回[夏] 医療法人社団藤和会 あんどう内科クリニック 院長 安藤 大樹 先生 (岐阜市民病院 総合診療・リウマチ膠原病センター派遣医師)	1	10	4	0
8月5日	医療技術	医療者	看護部	急性期におけるベッド上のポジショニングとリハビリ 講師：長谷川 直美 坂井 久恵	1	21	0	0
8月31日	医療技術	医療者	看護部	がん性疼痛看護「がん性疼痛の看護のペインマネジメント」 講師：葛谷 命	1	7	0	0
8月26日	医療技術	医療者	看護部	第3回院内糖尿病看護認定教育コース 講師：安田 幸司	1	7	0	0
9月2日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	戦う！研修医のためのプライマリ・ケア道場～Season7～ 第5回[失神] 医療法人社団藤和会 あんどう内科クリニック 院長 安藤 大樹 先生 (岐阜市民病院 総合診療・リウマチ膠原病センター派遣医師)	1	14	0	0
9月10日	医療技術	医療者	看護部	慢性呼吸器疾患看護（2） 講師：梶本 聡	1	20	0	0

月日	研修種別		主催	研修会名称	開催回数	院内医療者数	院外医療者数	一般
9月16日	医療技術	医療者	看護部	精神看護 講師：篠原 朋子	1	9	0	0
9月24日	医療技術	医療者	NST委員会	抗癌剤治療と栄養 NST委員長・外科部長 佐々木 義之	1	28	0	0
9月25日	地域研修	一般市民	岐阜市民病院	第1回岐阜市民病院公開講座 「新型コロナウイルス感染症に対する当院の対応」 講師：病院長 太田 宗一郎	1	0	0	65
9月30日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	2021年度研修医レクチャー「中心静脈ライン留置について」 岐阜市民病院 麻酔科部長 大島 博人 先生	1	23	0	0
10月1日	医療技術	医療者	看護部	モニター管理研修	1	448	0	0
10月7日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	戦う！研修医のためのプライマリ・ケア道場～Season7～ 第6回[頭痛] 医療法人社団藤和会 あんどう内科クリニック 院長 安藤 大樹 先生 (岐阜市民病院 総合診療・リウマチ膠原病センター派遣医師)	1	24	0	0
10月12日	医療技術	医療者	看護部	緩和ケア 講師：野浦 綾乃	1	8	0	0
10月20日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	2021年度研修医レクチャー「救急外来における整形外科のコツと落とし穴」 岐阜市民病院 整形外科部長 山本 孝敏 先生 岐阜市民病院整形外科主任部長 宮本 敬 先生	1	24	0	0
10月21日	医療技術	医療者	看護部	慢性疾患看護について学ぼう ～患者を生活者として考える～ 講師：三浦 加衣	1	1	0	0
10月27日	医療技術	医療者	看護部	皮膚・排泄ケア ストーマケア 基礎編 (2) 講師：武田 広美 竹田 宏美	1	3	0	0
10月28日	医療技術	医療者	看護部	第4回院内糖尿病看護認定教育コース 講師：安田 幸司	1	7	0	0
10月29日～ 11月29日	全医療職	医療者	感染対策チーム・ 医療安全	皆で考える病院の安全と感染 (配信型研修)	1	1244	0	0
10月30日	地域研修	一般市民	岐阜市民病院	第2回岐阜市民病院公開講座 「新型コロナウイルス感染症～よくある疑問に答えます～」 講師：感染対策部 副部長 篠田 邦大	1	0	0	69
11月4日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	戦う！研修医のためのプライマリ・ケア道場～Season7～ 第7回[風邪①] 医療法人社団藤和会 あんどう内科クリニック 院長 安藤 大樹 先生 (岐阜市民病院 総合診療・リウマチ膠原病センター派遣医師)	1	20	0	0
11月8日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	2021年度研修医レクチャー「誤嚥予防の戦略と嚥下食の選び方」 岐阜市民病院 リハビリテーション科部長 佐々木 裕介 先生 岐阜市民病院 リハビリテーション科部 理学療法士 富崎 崇 先生 岐阜市民病院 リハビリテーション科部 言語聴覚 池戸 智彦 先生	1	24	0	0
11月11日	医療技術	医療者	看護部	「誤嚥予防の戦略と嚥下食の選び方」	1	27	0	0
11月20日	地域研修	一般市民	岐阜市民病院	第3回岐阜市民病院公開講座 「心不全とその治療について」 講師：心不全センター長 特別診療顧問 湊口 信也	1	0	0	78
11月22日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	2021年度研修医レクチャー「循環器疾患 勉強会 ～心電図波形を中心に～」 岐阜市民病院 循環器内科部長 村瀬 浩孝 先生	1	23	1	0
11月25日	医療技術	医療者	看護部	心不全患者の病態生理と教育指導 講師：鈴木 敦子	1	19	0	0
11月25日	医療技術	医療者	看護部	第5回院内糖尿病看護認定教育コース 講師：安田 幸司	1	4	0	0
11月26日	医療技術	医療者	NST委員会	食べづらいときの食事の工夫～化学療法・放射線治療中の食事～ 栄養管理室 下村 美香	1	27	0	0
12月2日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	戦う！研修医のためのプライマリ・ケア道場～Season7～ 第8回[風邪②] 医療法人社団藤和会 あんどう内科クリニック 院長 安藤 大樹 先生 (岐阜市民病院 総合診療・リウマチ膠原病センター派遣医師)	1	16	1	0
12月3日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	研修セミナー「感染症診療の考え方」 岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座 特任教授 手塚 直行 先生	1	53	9	0
12月7日 12月13日	全研修医 各科臨床医	医療者	研修センター	研修医向けエコー実践講座 岐阜市民病院 中央放射線部 河口 大介 技師	1	18	0	0
12月9日	医療技術	医療者	看護部	皮膚・排泄ケア 創傷被覆剤と創傷使用する外用薬 講師：武田広美 竹田宏美	1	10	0	0
12月18日	地域研修	一般市民	岐阜市民病院	第4回岐阜市民病院公開講座 「脊椎をトータルにみる」 講師：脊椎センター 診療顧問 清水 克時	1	0	0	76
12月23日	医療技術	医療者	看護部	皮膚・排泄ケア 継続看護・在宅支援 講師：武田 広美 竹田 宏美	1	10	0	0
				合 計	71	4975	24	288

## 入退院支援センター統計

### 入院時支援加算

対象患者は、自宅等から入院する予定入院患者であり、入退院支援加算を算定する患者であること。

令和2年4月より、支援の内容に応じて入院時支援加算1と入院時支援加算2が定められた。

以下のア～クのすべての要件を実施した場合は、入院時支援加算1(230点)

ア、イおよびクを実施した場合は、入院時支援加算2(200点)

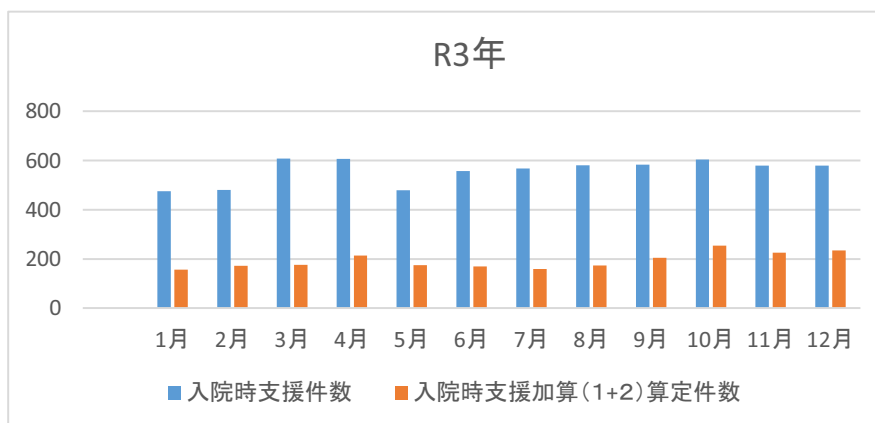
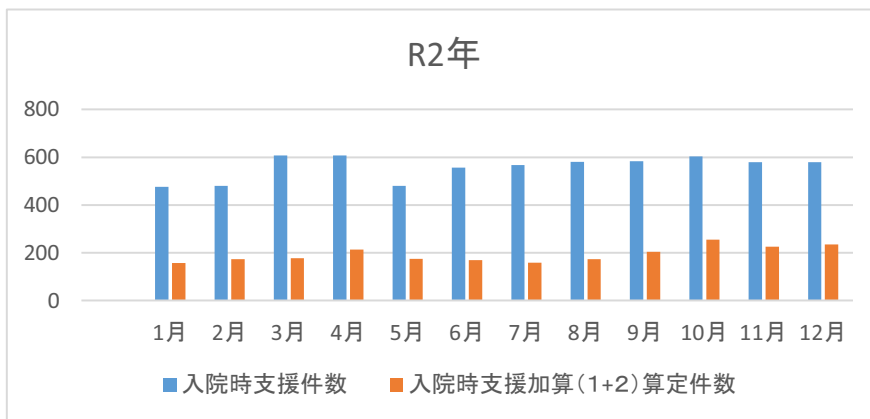
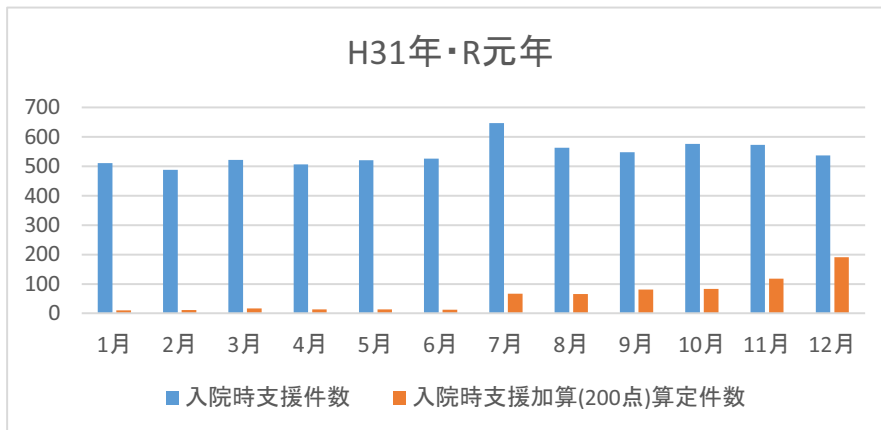
- ア 身体的・社会的・精神的背景を含めた患者情報の把握
- イ 入院前に利用していた介護サービス又は福祉サービスの把握
- ウ 褥瘡に関する危険因子の評価
- エ 栄養状態の評価
- オ 服薬中の薬剤の確認
- カ 退院困難な要因の有無の評価
- キ 入院中に行われる治療・検査の説明
- ク 入院生活の説明

### 支援件数・算定件数

H31年・R元年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
入院時支援件数	511	488	522	507	521	526	647	563	548	576	573	537	6519
入院時支援加算(200点)算定件数	10	11	17	14	14	12	67	66	81	83	118	191	684
割合													10%
R2年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
入院時支援件数	581	548	531	387	403	581	571	499	478	575	533	556	6243
入院時支援加算(1+2)算定件数	129	170	124	112	89	112	141	129	148	152	150	173	1629
入院時支援加算1(230点)算定件数				28	35	52	79	73	81	72	72	88	580
入院時支援加算2(200点)算定件数				84	54	60	62	56	67	80	78	85	626
割合													26%
R3年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
入院時支援件数	476	481	608	607	480	557	568	581	584	604	580	580	6706
入院時支援加算(1+2)算定件数	157	173	177	214	175	170	159	174	205	255	226	235	2320
入院時支援加算1(230点)算定件数	86	93	96	126	94	106	91	111	133	146	140	144	1,366
入院時支援加算2(200点)算定件数	71	80	81	88	81	64	68	63	72	109	86	91	954
割合													35%

令和2年と比較し、令和3年では入院時支援件数は463件、入院時支援加算算定件数は691件の増加が見られた。加算の算定割合も26%から35%に増加した。

令和2年は入院時支援加算2での算定件数が多かったが、令和3年では入院時支援加算1での算定件数が増加した(入院時支援加算1 580→1366 入院時支援加算2 626→954)。





## 看護専門学校統計

### 岐阜市立看護専門学校 受験者合格者入学者の状況

入学年度(期生)	定員	応募者数		受験者数	合格者数	入学者数		競争率(倍)	充足率
		推薦	一般			推薦	一般		
平成24年度 (41)	35	推薦	19	19	11	推薦	11	1.7	102.9%
		一般	142			一般	25		
平成25年度 (42)	35	推薦	22	22	13	推薦	13	1.7	105.7%
		一般	142			一般	24		
平成26年度 (43)	35	推薦	24	24	12	推薦	12	2.0	105.7%
		一般	128			一般	25		
平成27年度 (44)	35	推薦	32	32	13	推薦	13	2.5	100.0%
		一般	124			一般	22		
平成28年度 (45)	35	推薦	36	36	13	推薦	13	2.8	94.2%
		一般	120			一般	20		
平成29年度 (46)	35	推薦	27	27	8	推薦	8	3.4	97.1%
		一般	107			一般	26		
平成30年度 (47)	35	推薦	22	22	13	推薦	13	1.7	100.0%
		一般	86			一般	22		
平成31年度 (48)	35	推薦	30	30	11	推薦	11	2.7	100.0%
		一般	60			一般	24		
令和2年度 (49)	35	推薦	28	28	10	推薦	10	2.8	100.0%
		一般	83			一般	25		
令和3年度 (50)	35	推薦	26	26	14	推薦	14	1.9	100.0%
		一般	51			一般	21		
令和4年度 (51)	35	推薦	22	22	16	推薦	16	1.4	105.7%
		一般	54			一般	21		

1) 競争率：受験者数÷合格者数

2) 充足率：入学者数÷定員×100

3) 推 薦：推薦入学試験。岐阜県内の高等学校を対象とする。

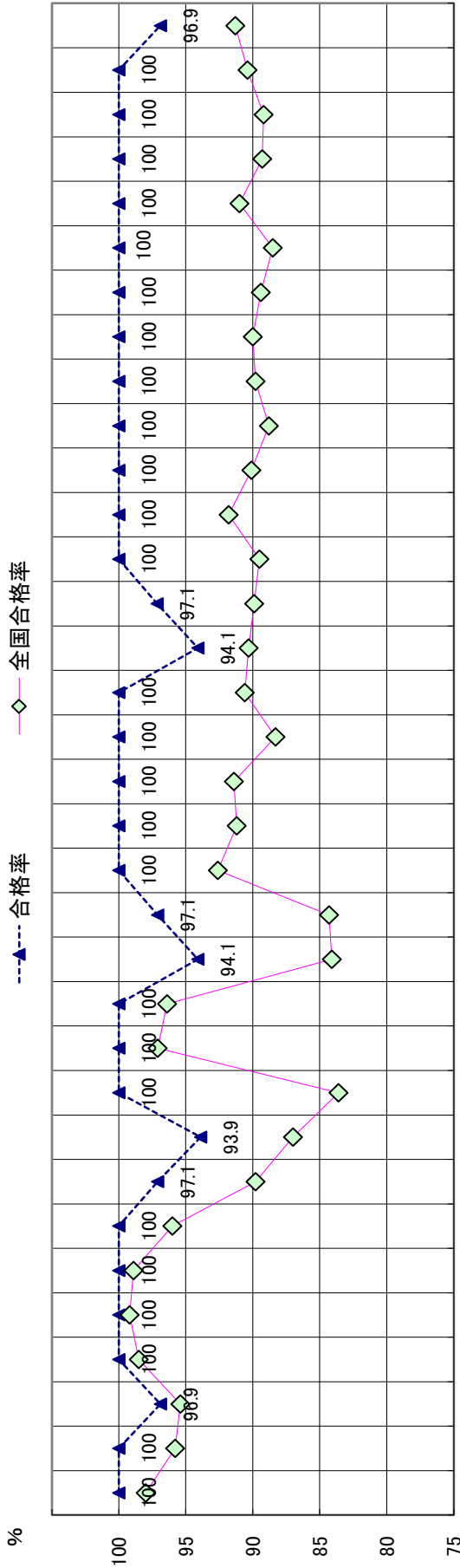
令和4年度一般入学者選考試験の受験者数は、前年度に比し大きな変動はない。大学進学を希望する学生が増えている現状で、本校の受験者が大幅に減少しなかったのは、オンラインでの広報活動等ができたことが一因と考える。今後も広報活動を継続し、少人数制できめ細かい指導体制や実践力の強化など専門学校の魅力を伝えられるよう努めていく。

### 国家試験合格率の推移

国家試験回数	第100回	第101回	第102回	第103回	第104回	第105回	第106回	第107回	第108回	第109回	第110回	第111回
本校合格率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	96.9%
全国合格率	91.8%	90.1%	88.8%	89.9%	90.0%	89.4%	88.5%	91.0%	89.3%	89.2%	90.4%	91.3%

13年振りに合格率100%を維持することができなかった。第112回看護師国家試験からの出題基準改定を鑑み、より一層個々に合わせた丁寧な支援を行い、全員合格を目指す。

国家試験合格率の推移



卒業年	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111
国家試験回数	31	24	32	32	35	32	39	34	33	30	34	47	34	34	34	33	33	35	32	34	35	37	39	35	35	35	32	32	30	36	27	29	34	33
受験者数	31	24	31	32	35	32	39	33	31	30	34	47	32	33	34	33	33	35	32	32	34	37	39	35	35	32	32	30	36	27	29	34	32	
合格者数	100	100	96.9	100	100	100	100	97.1	93.9	100	100	100	94.1	97.1	100	100	100	100	100	94.1	97.1	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	96.9
全国合格率	98.0	95.8	95.4	98.5	99.2	98.9	96.0	89.8	87.0	83.6	97.1	96.4	84.1	84.3	92.6	91.2	91.4	88	90.6	90.3	89.9	89.5	91.8	90.1	88.8	89.8	90.0	89.4	88.5	91.0	89.3	89.2	90.4	91.3

13年ぶりに合格率100%を維持することができなかった。第112回看護師国家試験からの出題基準改定を鑑み、より一層個々に合わせた丁寧な支援を行い、全員合格を目指す。

## 卒業生の進学先

	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
信州大学医学部保健学科			1			
三重大学医学部看護学科						
富山大学医学部看護学科			1		1	
滋賀県立大学人間看護学部				1		
岐阜県立衛生専門学校助産学科		2		2	1	2
浜松医科大学医学部看護学科	2		2			
大阪大学医学部保健学科看護学専攻						
筑波大学医学群看護学類	1					
名古屋医専 保健学科		1				1
名古屋医専 助産学科		1	1			
進学者合計	3	4	5	3	2	3

毎年大学への3年次編入の希望者があるが、3年次編入を募集する大学が減少傾向にあり、難関である。進学希望者には1年次からの学習支援が必要である。

## 卒業生の就業状況

卒業年度	卒業生数	就 業				進 学	そ の 他
		岐阜県内			県外の病院		
		岐阜市民病院	他の病院	その他			
平成27年度	33	13	6		7	6	1
平成28年度	29	17	5		4	3	
平成29年度	36	17	6		9	4	
平成30年度	27	20	1		1	5	
令和元年度	30	15	8		3	3	1
令和2年度	34	10	13	1	8	2	
令和3年度	33	13	11		5	3	1

例年と同様、県内特に市内就職者が多く、本校の望まれる役割に貢献できる結果となった。

## 岐阜市立看護専門学校図書室蔵書数（通年）

	基礎科目 (一般)	基礎看護 (医学)	専門科目 (看護)	合計	年間増加数	学術雑誌 (種類数)
平成17年度	1,656	1,031	3,929	6,616	108	24
平成18年度	1,659	1,032	4,069	6,760	144	24
平成19年度	1,660	1,032	4,154	6,846	86	24
平成20年度	1,662	1,037	4,268	6,967	121	24
平成21年度	1,662	1,037	4,387	7,086	119	24
平成22年度	1,662	1,039	4,516	7,217	131	24
平成23年度	1,662	1,044	4,669	7,375	158	22
平成24年度	1,662	1,052	4,792	7,506	131	22
平成25年度	1,668	1,056	4,895	7,619	113	22
平成26年度	1,668	1,056	4,980	7,704	85	20
平成27年度	1,668	1,056	5,105	7,829	125	22
平成28年度	1,668	1,056	5,211	7,935	106	22
平成29年度	1,668	1,056	5,361	8,085	150	22
平成30年度	1,756	1,067	4,906	7,729	-356	22
平成31(令和元)年度	1,766	1,086	4,999	7,851	122	22
令和2年度	1,767	1,091	5,080	7,938	87	22
令和3年度	1,770	1,101	5,101	7,972	34	22

\*年間増加数は合計に含まれる。

\*学術雑誌は購入種類数である。合計には含まれない。

\*令和3年度は、例年通り図書の購入は行っている。しかし、15年以上前の辞典や図書の廃棄を行ったため、年間蔵書数の増加が少なかった。

※各年度末3月31日時点での集計値

## 図書利用状況

年度	1年生	2年生	3年生	合計	年度	1年生	2年生	3年生	合計	
平成23年度	一般図書	5	0	0	5	平成29年度	一般図書	0	0	0
	看護専門図書	190	398	763	1,351		看護専門図書	188	721	1,179
	看護専門雑誌	32	100	45	177		看護専門雑誌	12	180	373
	医学専門図書	3	4	4	11		医学専門図書	0	0	0
	計	230	502	812	1,544	計	200	901	1,552	2,653
平成25年度	一般図書	0	0	0	0	平成30年度	一般図書	0	0	0
	看護専門図書	211	388	710	1,309		看護専門図書	47	897	1,386
	看護専門雑誌	37	45	141	223		看護専門雑誌	4	169	239
	医学専門図書	1	3	2	6		医学専門図書	0	0	0
	計	249	436	853	1,538	計	51	1,066	1,625	2,742
平成26年度	一般図書	0	0	0	0	令和元年度	一般図書	0	0	0
	看護専門図書	264	486	684	1,434		看護専門図書	91	167	1,249
	看護専門雑誌	146	87	108	341		看護専門雑誌	18	35	188
	医学専門図書	1	1	0	2		医学専門図書	0	0	0
	計	411	574	792	1,777	計	109	202	1,437	1,748
平成27年度	一般図書	0	0	0	0	令和2年度	一般図書	0	0	0
	看護専門図書	730	865	293	1,888		看護専門図書	70	316	187
	看護専門雑誌	75	154	12	241		看護専門雑誌	34	39	49
	医学専門図書	3	0	0	3		医学専門図書	0	0	0
	計	808	1,019	305	2,132	計	104	355	236	695
平成28年度	一般図書	0	0	0	0	令和3年度	一般図書	0	0	0
	看護専門図書	101	945	1,207	2,253		看護専門図書	48	671	262
	看護専門雑誌	31	196	279	506		看護専門雑誌	37	149	39
	医学専門図書	0	0	0	0		医学専門図書	0	0	0
	計	132	1,141	1,486	2,759	計	85	820	301	1,206

\* 数字の単位は各図書ならびに雑誌の貸出冊数である。

令和3年度は、1年生の利用冊数は例年同様少ないものの、2、3年生では看護専門図書の利用が著しく増加している。今後も講義や実習で活用できるよう、自治会図書委員の活動、教員からの文献の有効な活用の方法の紹介などを行っていく必要がある。

## 岐阜市民病院年報規定（2021年6月9日改訂）

### 業績提出規定

1. 前年（1月～12月）に発表した研究（著書，原著（査読のあるもの,症例報告を含む），総説（専門雑誌からの依頼原稿を含む），学会発表（論文投稿以外の抄録）,院内外研究会（座長，司会は除く）などを各診療科、各部門毎にまとめ、Microsoft Wordで作成したファイルで集める。開催期間のあるものは発表日ではなく開催期間を明記すること。
2. 簡単に記載された各診療科・各部門の近況や，症例数などの各種統計が分かる原稿を各診療科・各部門で作成する。

その他疑問点は，編集委員にお尋ねください。  
投稿原稿は,編集委員庶務に提出ください。

# 岐阜市民病院年報

第43号



2023

岐阜市民病院



Annual of Gifu  
Municipal Hospital  
No.43

2023

Gifu Municipal Hospital  
7-1 Kashimacho, Gifu 500-8513, Japan



# 目 次

活動報告 .....	111
学会発表抄録 .....	114
活動記録（講演・学会発表等） .....	116
活動記録（誌上） .....	151
<b>病院統計</b>	
医療安全推進部統計 .....	159
消化器病センター統計 .....	162
認知症疾患医療センター統計 .....	163
腎臓病・血液浄化センター統計 .....	171
中央放射線部統計 .....	174
中央検査部統計 .....	183
輸血部統計 .....	186
臨床工学室統計 .....	193
薬剤部統計 .....	194
看護部統計 .....	201
診療情報管理室統計 .....	204
地域連携室統計 .....	209
看護専門学校統計 .....	213
投稿規定 .....	216



## 活動報告

### 糖尿病・内分泌内科

2022年4月、岐阜市民病院 糖尿病・内分泌内科は新たなスタートを始めました。自分自身は、何もかもが新しい環境の下、丸山貴子先生を中心に所属の先生方に支えて頂き、右往左往、日々が過ぎて行く不甲斐ない有様でありました。今後は、地に足を付け、腰を据えて諸事に取り組んでいきたいと存じます。

その一方、2022年4月1日より、当院初期研修医から当科専攻医となられた幅智教先生が10月1日に開催されました第4回糖尿病・内分泌代謝疾患・膠原病臨床フォーラムにおいて優秀症例報告賞を受賞され、また日々の努力への賞賛として当院事業管理者・病院長表彰の榮譽を受けられました。2023年3月末日を以って、岐阜大学医学部附属病院糖尿病代謝内科/免疫・内分泌内科へ異動となりました。今後、益々のご活躍を祈念申し上げます。

2022年9月末日を以って、隅田旭先生が中濃厚生病院へ異動されました。的確、熱心に取り組む姿勢をさらに発展させ、未来を切り開いて行って頂きたいと思います。代わって10月1日より安田愛先生が高山赤十字病院から赴任されました。他頁に御紹介がありますように、今年度の内分泌代謝・糖尿病領域専門医試験に合格をされました。縦横無尽に活躍されることを期待します。昨年度より引き続き専攻医5年目の尾関咲耶子先生は、毎週金曜日に開催されています第3内科臨床検討会において低血糖に対する一方策について症例提示して頂きました。また、日常診療においても困難、重症症例に対して積極果敢に取り組まれています。

2022年度の当科診療実績ですが、外来患者数は新型コロナウイルス感染症による影響のためか、若干減少をしておりますが、入院患者数、紹介患者数ともに2021年度と比較してお蔭様で増加をしております。当科を信頼して診療を受けて下さる患者さん、御紹介頂きました各医療機関の諸先生方、平素より御指導を頂いております矢部大介教授を始め大学医局の先生方、同門会の諸先生方、関係各位様に重ねて御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬ御指導を賜りたく存じます。

日常診療においては今後の働き方改革を見据え

てチーム制の試行、休日当番制等を敷いています。カンファランスにおいては山川顕吾先生を中心に毎週火曜日、金曜日にそれぞれ主科、併診科で担当をしている症例を供覧、情報共有と検討、討議を通して担当医個人のみならず、診療科全体としての水準の向上を図っています。昨年度の年報にも記させて頂きましたが、多様な糖尿病・内分泌代謝疾患、症例を若い先生方が的確に診療している姿、互いに切磋琢磨している姿は素晴らしく、目を見張ります。今後はこのような雰囲気、環境を未来に向かって継承、発展させるべく、これまで手薄であった当院に実習へ来られる学生の方々、当院初期研修医、当科専攻医の先生方からより多く、第3内科の一員となって頂けるように環境整備を行っていきたく考えております。

大学医局からは毎週月曜日に富田礼子先生、毎週火曜日に矢部大介教授に外来診療にお越し頂いております。窪田創大先生におかれましては、2020年4月から2022年9月まで毎週金曜日の外来診療を御担当頂きました。これまでに頂いた御高配に感謝申し上げます。また、矢部大介教授におかれましては、今年度も継続して診療後に初期研修医、専攻医の先生方へレクチャーを行って頂きました。初期研修医、専攻医の先生方のみならず自分自身の糧になっております。御高配に深謝申し上げます。

重ねてになりますが、矢部大介教授をはじめ皆様の御尽力、御高配による大変恵まれた環境を損なうことなく、より充実、発展させ、初期研修医、専攻医の先生方を始め、当科に在籍をされた方々が勉学、働き甲斐のある診療科、学生の方々に魅力を感じてもらえる診療科を丸山貴子先生、所属の先生方とともに形作っていく所存です。大学医局、関連病院、同門会の諸先生方におかれましては、今後とも御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

岐阜市民病院 糖尿病・内分泌内科 部長

黒田英嗣

### リハビリテーション科

2022年は働き方改革により、勤務時間内に委員会等の会議や院内業務が組み込まれたため、17時以降の訓練が増えるなどのデメリットがみられ、1日17単位を維持するためには毎日の超過勤務が必須な状況となりました。また、COVID-19感染

対策として療法室での訓練に人数制限をせざるを得ず、訓練実施場所の不足が生じました。中9階病棟の一室を訓練室として使用させていただくことになり、入院患者の訓練が効率よく実施可能となりました。マンパワーとしては、育児休暇を取得する職員が増加し、年間を通して減少したままの人員で治療にあたりました。引き続き段階的な療法士増員の予定となっております。

リハビリテーション治療の質向上のために、引き続き抄読会を行いました。また、新たに週1回脳神経外科チームのカンファレンス、リハ科医師の西8階病棟回診なども開始し早期に問題解決、治療方針ができる体制づくりをすすめています。地域医療への貢献としては、療法士が計2回の講演を行いました。

今後も、リハ治療の質向上のためにさらに体制作りをすすめてきます。

#### 【臨床】

2022年1月～12月入院リハ新患患者数は4633人で、2022年より約200人減少。中9階病棟閉鎖の影響が考えられた。

リハスタッフ数は、理学療法士 24名、作業療法士 9名、言語聴覚士3名。2022年採用はPT1名、OT2名。

#### 【医師・療法士 学会発表・講演・講義】

学会発表抄録、活動記録を参照。

#### 【教育】

研修医：2年目の9名がそれぞれ1～2週間研修  
療法士学生：理学療法学科22名、作業療法学科2名

#### 【医師役職】

日本リハビリテーション医学会代議員、中部東海地方会幹事

第59回日本リハビリテーション医学会学術集会プログラム委員

第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会プログラム委員

#### 【医師地域貢献】

岐阜県多“食”種連携研究会：世話人

多職種が連携することで、「食」におけるプロフェッショナルな人材を育成し、岐阜県下に幅広く高度な摂食嚥下医療を普及させることを目的とする。

On-line Discussion ～リハ栄養について～

2022年2月17日：ディスカッション

文責：佐々木裕介

## 眼 科

2022年は3月に医師1人が退職したため4月より1人勤務体制が始まった。このため、上半期ではこれまでコロナ禍で敷いていた外来および手術の診療制限をさらに強化することになった。そもそも私自身がコロナ感染したら当院の眼科診療はどうなるのかをとっても心配した時期であった。

下半期では、10月に岐阜大学より犬塚医師が着任した。コロナ禍は持続したままであったが、2人診療体制となりいくらか気分的に楽になった。ただ一度流れが変わってしまった診療回復は難しく、白内障手術件数は116件、一昨年の3分の1、昨年の半分程度に減少した。

文責：川上 秀昭

## 麻酔科・集中治療部

当院は日本麻酔科学会より麻酔科標榜のための研修施設である麻酔科認定病院として認められています。2022年度は、9名のスタッフ（うち日本麻酔科学会認定麻酔科専門医が7名）で、中央手術部の効率的な手術室運営と手術室内における『安全な手術』を担うための中心的役割を果たし、重症患者管理部門(集中治療室やハイケアユニット)の運営および患者治療にも携わらせていただいている。また院内で発生する救急症例への対応や救急外来や病棟における様々な手技のサポート役も担うようにしている。

2022年度は中央手術部において約2600件の麻酔科管理手術を安全に施行させていただいた。当院の特徴として、麻酔科管理症例の16%に当たる407例の緊急手術に対応しており、岐阜大学麻酔科関連の病院内で最も高い比率で緊急手術に対応している病院である。このことは何よりも麻酔科スタッフの頑張り、そして各診療科の麻酔科医による安全な麻酔管理への要望が定着してきている証拠だと思われる。

今後とも超音波ガイド下での様々な手技を積極的に取り入れ、自らの安全な手技の遂行を進めるとともに、院内全体への伝道者として活躍の場を広げ、今後ますます中央診療部門の運営に貢献していける診療科として成長していきたいと考えている。

文責：大島 博人

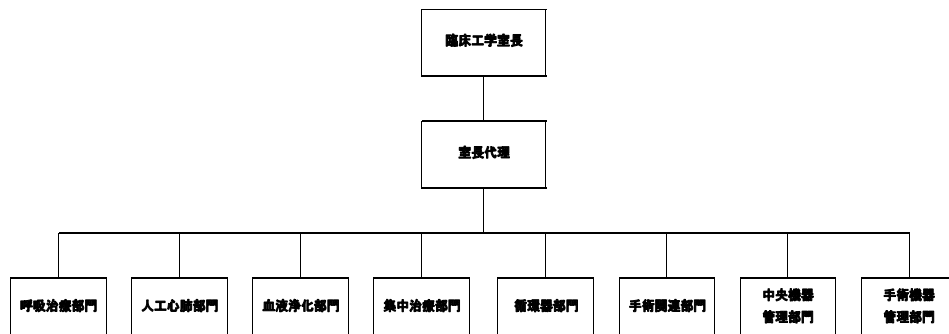
## 臨床工学室

臨床工学技士は、医師の指示の下に生命維持管理装置の操作及び保守管理を行うことを業としており、医療機器の専門医療職として、院内医療機器の安全使用に努めています。

臨床工学室では臨床部門を6部門（呼吸治療、人工心肺、血液浄化、集中治療、循環器、手術関連）、機器管理部門を2部門（中央機器管理部門、手術機器管理部門）に分け、中央手術室や心臓カテーテル検査室、腎臓病・血液浄化センター、自己血細胞療法センター、重症病棟など幅広い分野で臨床業務に従事し、また医療機器を安全に使用できるように、MEセンターでの日常・定期点検や院内医療機器のトラブル対応など、医師・看護師・各種コメディカルの方々が医療機器を安全に使用できるように努めています。

しかし院内の医療機器はかなりの数が存在し、日常・定期点検だけでも年間14,506件と多く業務を圧迫しています。また臨床工学室で把握できていない医療機器も院内には存在しており、今後機器管理を進めていく上での大きな課題として取り組んでいきます。

臨床工学室 組織図



## 学会発表抄録

### 第53回日本膵臓学会大会・ 第26回国際膵臓学会

2022年7月7日～9日 京都(9日)

Oral 29

Interventional Endoscopy for Pancreatic Cancer  
O29-6 Evaluating factors that cause prolonged  
stent patency in pancreatic cancer

Mitsuru Okuno<sup>1)</sup>, Keisuke Iwata<sup>1)</sup>,  
Tsuyoshi Mukai<sup>1) 2)</sup>

Department of Gastroenterology, Gifu Municipal  
Hospital, Japan<sup>1)</sup>

Department of Gastroenterological Endoscopy,  
Kanazawa Medical University, Japan<sup>2)</sup>

**Introduction/Purpose** : Development of various self-expandable metallic stent (SEMS) and placement methods improves stent patency in pancreatic cancer (PC) with malignant distal biliary obstruction. We evaluated factors that contribute to prolonged stent patency as they have not been well researched.

**Materials and Methods** : In PC patients who underwent initial SEMS placement, we evaluated patient characteristics (age, sex, liver metastasis, performance status, length of malignant obstruction, diameter of common bile duct, chemotherapy) and SEMS type (covered, anti-reflux, laser-cut ; length, bore) and placement variables (intraductal placement, temporary drainage before SEMS placement) to identify factors affecting time to recurrent biliary obstruction (TRBO) . We used propensity score matching to reduce selection bias relating to each factor.

**Results** : During 2010-2021, 310 of 670 patients who underwent SEMS placement were eligible. In multivariate analysis, independent factors for TRBO were 8 cm SEMS length (HR : 1.67 ; P=0.01) , 12 mm SEMS bore (HR : 0.57 ; P<0.01) , and laser-cut SEMS (HR : 0.20 ; P=0.03) . Selection of SEMS length depends on the patient's condition ; hence, after propensity score matching, we evaluated 12 mm bore and laser-cut SEMS. Our cohort included 96 patients each with a 12 mm or 10 mm bore SEMS, and 17 patients each with a laser-cut

or braided SEMS. The median TRBO was significantly longer with a 12-mm bore (311 days) than with a 10-mm bore (255 days) , P=0.02 ; however, median TRBO did not differ significantly between laser-cut (not reached) and braided SEMS (220 days) , P=0.08. The stent occlusion rate was non significantly lower in 12 mm (15%) than in 10 mm bore stents (24%) , P=0.14. No migrations were seen with laser-cut SEMS.

**Conclusions** : A 12-mm bore was independently associated with prolonged TRBO with SEMS in PC. Stent occlusion was less with a 12 mm SEMS, and migration reduced with laser-cut SEMS.

### Fucoanthin suppresses development of pancreatic cancer in allogenic and orthotopic murine model

<sup>1</sup> Dept. Health Environ. Sci., Sch. Pharm. Sci., Health Sci. Univ. Hokkaido

<sup>2</sup> Dept. Diag. Pathol., Gifu Municipal Hosp.

<sup>3</sup> Central Animal Div., Natl. Cancer Ctr. Res. Inst.

<sup>4</sup> Dept. Molecular-Targeting Prev., Grad. Sch. Med. Sci., Kyoto Pref. Univ. Med.

Wataru Murase<sup>1)</sup>, Takuji Tanaka<sup>2)</sup>,  
Mami Takahashi<sup>3)</sup> and Michihiro Mutoh<sup>4)</sup>,  
Masaru Terasaki<sup>1)</sup>

Fucoanthin (Fx) is a marine carotenoid exerting cancer chemopreventive effects on various carcinogenic murine models. However, there is little information on the effects of Fx in animal models with pancreatic cancer. We investigated possible chemopreventive effects of Fx on the growth of allogenic and orthotopic transplantations of a cancer cell line (KMPC44) in C57BL/6J mice. KMPC44 was established from a pancreatic cancer murine model (Ptf1aCre/+; LSL-krasG12D/+). Fx administration (0.3% Fx, 3-week-period) significantly suppressed the tumor sizes of adenocarcinoma (ADC) of pancreatic and peritoneal tissues in the mice and the pancreatic ADC numbers per mouse, but not the incidence of ADC. Gene and protein expressions' analyses revealed that chemokine (C-C motif) ligand 21 (CCL21)/ chemokine receptor 7 (CCR7)/RhoA axis, B- and T-lymphocyte attenuator (BTLA), N-cadherin,  $\alpha$  SMA, pFAK(Tyr397), and pPaxillin(Tyr31) were remarkably inhibited. In

addition, Ccr7 knockdown significantly suppressed the cell growth of KMPC44 cells. Our findings suggested that Fx exerts its chemopreventive effect on a pancreatic cancer murine model through attenuations of the CCL21/CCR7 axis, BTLA, tumor microenvironment, epithelial mesenchymal transition, and adhesion.

The 81st Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, Yokohama, 9/29-10/1, 2022.

性, BRCA1/2 変異(-). その後, ifosfamide と cisplatin による化学療法を6コース行った. その後に PARP 阻害薬である Niraparib 単剤療法を開始した. 患者は初診から12ヶ月後再発を認めていない.

【結語】非常に稀な原発性卵巣奇形腫様癌肉腫の原発性卵巣奇形腫様癌肉腫の1例を報告した.

第61回日本臨床細胞学会秋期大会

2022年11月5-6日 仙台市

## P-1-98 原発性卵巣奇形腫様癌肉腫の1例

- 1)郡上市民病院臨床検査部
- 2)岐阜市民病院病理診断科部
- 3)郡上市民病院産婦人科

○後藤なつ美(MT)<sup>1)</sup>, 森 栄(CT)<sup>1)</sup>,  
桑原 啓伍(CT)<sup>1)</sup>, 田中 卓二(MD)<sup>2)</sup>,  
丹羽 憲司(MD)<sup>3)</sup>

【緒言】成熟嚢胞性奇形腫から発生した卵巣奇形腫様癌肉腫は鼻咽頭発生腫瘍と形態的に非常に類似しており, 進行した病期で発見される悪性度の高い腫瘍である. 稀な原発性卵巣奇形腫様癌肉腫の1例を経験したので細胞学的, 病理組織学的, 免疫組織学的所見と併せて報告する.

【症例】40代女性. 過長月経にて当院を受診. エコー, 造影CTでは両側卵巣に成熟嚢胞性奇形腫を認めたが, 右卵巣腫瘍は直腸表面まで浸潤しており悪性転化が疑われた. 腫瘍マーカーはCA19-9の軽度上昇(47.8 U/ml)以外, SCCを含めてすべて陰性であった. 右卵巣癌の術前診断にて手術を開始し, 両側卵巣は肉眼的に類皮嚢腫様であったが, 右卵巣は直腸表面まで浸潤していたが, 直腸損傷することなくoptimal surgeryとなった. 術中捺印, 腹水細胞診では腺癌と肉腫を示唆する2種類の異型細胞を認めた. 病理組織では, 右卵巣内の隆起性部分に腺癌と多形肉腫を示す部位を認め, 免疫組織学的にAE1/AE3(+), vimentin(+), PAX-8(+), Desmin(-), P40(-)の腺癌と多形肉腫を認めた. 他部位では\_平, 気管上皮や神経節細胞腫様部分を認めたが, 未熟部分や\_平上皮癌部分は認め無かった. myChoice systemでgenomic stability scoreは73であり, Homologous recombination deficiency (HRD)は陽性であったが, 腫瘍のBRCA1/2変異は認めなかった. 最終診断は原発性右卵巣奇形腫様癌肉腫pT3CN1M0, HRD陽

## 活動記録 講演・学会発表等

### 糖尿病・内分泌内科

#### 統合失調症と誤認されていたインスリンノーマの1例

○幅 智教 尾関 咲耶子 隅田 旭  
安田 愛 山川 顕吾 黒田 英嗣  
丸山 貴子

第249回日本内科学会東海地方会  
(名古屋市 2023年2月19日)

#### 統合失調症と誤認されていたインスリンノーマの1例

○幅 智教 尾関咲耶子 隅田 旭  
安田 愛 山川 顕吾 黒田 英嗣  
丸山 貴子

第4回糖尿病・内分泌代謝疾患・膠原病臨床フォーラム(岐阜市 2022年10月1日)

### 消化器内科・血液内科

#### 特別講演

#### 『当院における潰瘍性大腸炎の検討～5-ASAを中心に～』

岐阜市民病院 消化器内視鏡部長  
小木曾富生

岐阜IBDネットフォーラム  
2022年1月20日 Web

#### パネルディスカッション『重症度に応じたUC治療における5-ASAの役割』

川出医院 院長  
川出 尚史  
山内ホスピタル 理事長  
山内 貴裕  
岐阜市民病院 消化器内視鏡部長  
小木曾富生

岐阜IBDネットフォーラム  
2022年1月20日 Web 岐大2022

#### 一般講演

#### 『当科におけるデニロイキンジフチトクスの処方経験』

岐阜市民病院 血液内科

生駒 良和

Lymphoma Meet The Expert in 愛知 1st  
Announcement

2022年2月3日 Web

#### 研究報告

#### 『C型肝硬変における抗ウイルス療法の有用性』

岐阜市民病院 中央検査部長

内木 隆文

ウイルス肝炎講習会

2022年2月5日 岐阜

#### HCTCについて

岐阜市民病院 血液内科部長

笠原 千嗣

令和3年度東海北陸ブロック造血幹細胞移植推進  
拠点病院セミナー

2022年2月5日 Web

#### Discussion Part MM治療シーケンスを語りつくす

慶應義塾大学医学部 血液内科 講師

松木 絵里

山梨県立中央病院 内科系第一診療統括部長

飯野 昌樹

東海大学医学部内科学系 血液・腫瘍内科学講師

鈴木利貴央

安城更生病院 血液・腫瘍内科 血液細胞療法部長

宮尾康太郎

岐阜市民病院 血液内科副部長

北川 順一

京都府立医科大学付属病院 輸血・細胞医療部部長

志村 勇司

Round table Discussion for Multiple Myeloma  
Treatment with Dr.Mateos

2022年2月9日 Web

#### Mini-Oral Session 30 血液

Factors critical for the acquisition of anti-body after SARS-CoV-2 vaccination in malignant lymphoma patients

1. 藤田医科大学 血液内科,
2. 藤田医科大学 病態制御解析学,
3. 藤田医科大学 国際再生医療センター,

- 4.藤田医科大学 臨床総合医学,  
 5.藤田医科大学医学部 輸血細胞治療科,  
 6.名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍  
 内科,  
 7.中部大学 生命健康科学部 生命医科学科,  
 8.名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞免  
 疫学,  
 9.岐阜市民病院 血液内科,  
 10.安城更正病院 血液・腫瘍内科

岡本 晃直<sup>1</sup> 藤垣 英嗣<sup>2</sup> 入山智沙子<sup>1</sup>  
 後藤 尚絵<sup>1</sup> 山本 秀行<sup>1</sup> 三原圭一朗<sup>3</sup>  
 稲熊 容子<sup>4</sup> 三浦 康生<sup>5</sup> 古川 勝也<sup>6</sup>  
 山本 幸也<sup>7</sup> 赤塚 美樹<sup>8</sup> 笠原 千嗣<sup>9</sup>  
 宮尾康太郎<sup>10</sup> 岡本 昌隆<sup>1</sup> 齋藤 邦明<sup>2</sup>  
 富田 章裕<sup>1</sup>

第19回日本臨床腫瘍学会学術集会  
 2022年2月17日～19日 京都

### ポスターセッション32 血液2

A retrospective study of the risk classification of AML with or without the genetic analysis in a single institution

単施設における遺伝子情報の有無による急性骨髄性白血病のリスク分類の後方視的検討

岐阜市民病院 血液内科  
 柴田 悠平 後藤 貴之 早瀬 直輝  
 生駒 良和 北川 順一 南谷 泰仁  
 小川 誠司 笠原 千嗣

第19回日本臨床腫瘍学会学術集会  
 2022年2月17日～19日 京都

### 消化器1

経会陰式針生検によって診断し得た骨盤内消化管間質腫瘍 (GIST) の1例

岐阜市民病院消化器内科  
 岩佐 太誠 杉山 昭彦 大橋 洋祐  
 岩佐 悠平 田尻下聡子 河内 隆宏  
 岩田 圭介 富田 栄一

第246回日本内科学会 東海地方会  
 2022年2月20日 Web

### 消化器6

繰り返す消化管出血を契機に診断した全身性アミロイドーシスの1例

岐阜市民病院消化器内科  
 下城 宏太 小木曾富生 岩田 翔太

奥野 充 林 秀樹 西垣 洋一  
 富田 栄一

第246回日本内科学会 東海地方会  
 2022年2月20日 Web

### 症例提示②

岐阜市民病院 消化器内科  
 小木曾富生

第113回岐阜消化器疾患研究会  
 2022年2月26日 WEB

### 症例ディスカッション

「当院におけるベネトクラクスの使用経験」  
 岐阜市民病院 血液内科 副部長  
 柴田 悠平

Gifu-Konan Seminar:Cutting Edge of Molecular Targeted Therapy for AML  
 2022年3月2日 一宮

### 症例ディスカッション

岡山大学大学院 血液・腫瘍・呼吸器内科学  
 准教授  
 松岡 賢市  
 岐阜市民病院 血液内科 部長  
 笠原 千嗣  
 江南厚生病院 血液腫瘍内科 代表部長  
 尾関 和貴

Gifu-Konan Seminar:Cutting Edge of Molecular Targeted Therapy for AML  
 2022年3月2日 一宮

### 基調講演「AML治療における最新の知見」

岐阜市民病院 血液内科 部長  
 笠原 千嗣

Gifu-Konan Seminar:Cutting Edge of Molecular Targeted Therapy for AML  
 2022年3月2日 一宮

### 一般演題

「当科におけるデニロイキンジフチクスの処方経験」

岐阜市民病院 血液内科  
 生駒 良和

Lymphoma Web seminar in GIFU  
 2022年3月11日 WEB

**ディスカッション**

『バイオマーカーを臨床の場でどう活かしていくか?～新規IBD活動性マーカーLRGを含めて～』

岐阜市民病院 消化器内科

小木曾 富生

IBD academic program

2022年3月11日 Web

**一般演題**

「POPSを用いた膵石治療」

岐阜市民病院 消化器内科

岩田 圭介

第9回岐阜胆膵内視鏡クラブ

2022年3月12日 岐阜

**一般演題 (ポスター) 35-5 血縁者間HLA半合致移植における移植関連血栓性微小血管症に対する血漿交換療法**

Plasma exchange for transplantation-associated TMA in HLA haploidentical stem cell transplantation

1) 岐阜市民病院 血液内科,

2) 兵庫医科大学 血液内科,

3) 岐阜市民病院 集中治療部

北川 順一<sup>1)</sup> 福永 景子<sup>2)</sup> 笠原 千嗣<sup>1)</sup>

大畑 博人<sup>3)</sup> 池亀 和博<sup>2)</sup>

第49回日本集中治療医学会学術集会

2022年3月18日～20日 仙台 (Web)

**一般講演**

「当院における血球成分除去療法の現況」

岐阜市民病院 消化器内科

小木曾富生

岐阜IBDフォーラム2022

2022年4月8日 岐阜

**Session II 症例検討**

「当院における再発難治性FLT3変異陽性AMLに対するQuizartinib使用経験」

岐阜市民病院 血液内科 副部長

柴田 悠平

絆試験(JSCT FLT3-AML20)Web研究会

2022年4月14日 Web

**Ph+ALLにおけるポナチニブの使用経験からの考察**

岐阜市民病院 血液腫瘍センター長・血液内科部長

笠原 千嗣

第3回 Otsuka 造血細胞移植関連Webセミナーシリーズ

2022年4月19日 岐阜

**シンポジウム 15：病態に基づくInterventional EUS による診療戦略術後再建腸管症例の遠位悪性胆管閉塞に対する超音波内視鏡下順行性治療と経皮的治療の比較検討**

岐阜大学病院第一内科<sup>1)</sup>,

岐阜市民病院消化器内科<sup>2)</sup>

岩下 拓司<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>2)</sup> 清水 雅仁<sup>1)</sup>

第108回日本消化器病学会総会

2022年4月21日～23日 新宿

**パネルディスカッション 9：悪性胆道狭窄の病態解明と治療戦略悪性遠位胆管狭窄に対する SEMS 留置後 TRBO 関連因子の検討**

岐阜市民病院消化器内科<sup>1)</sup>,

金沢医科大学消化器内視鏡科<sup>2)</sup>

奥野 充<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 向井 強<sup>2)</sup>

第108回日本消化器病学会総会

2022年4月21日～23日 新宿

**パネルディスカッション 10：重症急性膵炎の病態解明と治療戦略急性膵炎後 Walled-off Necrosis に対する内視鏡治療の予後予測因子**

岐阜市民病院消化器内科<sup>1)</sup>,

岐阜大学医学部附属病院第一内科<sup>2)</sup>,

岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>3)</sup>

岩田 圭介<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup> 丸田 明範<sup>3)</sup>

第108回日本消化器病学会総会

2022年4月21日～23日 新宿

**パネルディスカッション 11：胆膵結石の病態・治療の課題と展開膵石に対する経口膵管鏡下破碎術の治療成績**

岐阜市民病院消化器内科<sup>1)</sup>,  
岐阜大学第一内科<sup>2)</sup>,  
岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>3)</sup>  
岩田 圭介<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup> 丸田 明範<sup>3)</sup>  
第108回日本消化器病学会総会  
2022年4月21日～23日 新宿

**ワークショップ 14：切除不能膵癌・胆  
道癌の病態解明と診療戦略  
切除不能進行胆道癌に対する新規化学療  
法の有効性・安全性に関する検討**

岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>1)</sup>,  
岐阜大学医学部附属病院第一内科<sup>2)</sup>,  
岐阜市民病院消化器内科<sup>3)</sup>  
吉田 健作<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup> 岩田 圭介<sup>3)</sup>  
第108回日本消化器病学会総会  
2022年4月21日～23日 新宿

**一般演題(口演) 胆道閉塞  
悪性胆管狭窄例における病理診断能の改  
善を目的とした胆汁セルブロック法**

岐阜市民病院消化器内科<sup>1)</sup>  
岐阜市民病院病理診断科<sup>2)</sup>  
大橋 洋祐<sup>1)</sup> 奥野 充<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup>  
杉山 昭彦<sup>1)</sup> 富田 栄一<sup>1)</sup> 渡部 直樹<sup>2)</sup>  
田中 卓二<sup>2)</sup>  
第108回日本消化器病学会総会  
2022年4月21日～23日 新宿

**一般演題(口演) 総胆管結石  
総胆管結石性胆管炎に対する一期的内視  
鏡治療の有用性と課題**

岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>1)</sup>,  
岐阜大学医学部附属病院第一内科<sup>2)</sup>,  
岐阜市民病院消化器内科<sup>3)</sup>  
丸田 明範<sup>1)</sup> 吉田 健作<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup>  
岩田 圭介<sup>3)</sup> 清水 雅仁<sup>2)</sup>  
第108回日本消化器病学会総会  
2022年4月21日～23日 新宿

**一般演題(口演) 総胆管結石  
超高齢者総胆管結石性胆管炎に対する初  
回内視鏡的治療の安全性に関する検討**

JA岐阜厚生連岐阜北厚生病院消化器内科<sup>1)</sup>,  
岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>2)</sup>,  
岐阜市民病院消化器内科<sup>3)</sup>,

金沢医科大学病院消化器内視鏡科<sup>4)</sup>  
馬淵 正敏<sup>1)</sup> 丸田 明範<sup>2)</sup> 岩田 圭介<sup>3)</sup>  
奥野 充<sup>3)</sup> 足立 政治<sup>1)</sup> 鈴木 祐介<sup>1)</sup>  
向井 強<sup>4)</sup>

第108回日本消化器病学会総会  
2022年4月21日～23日 新宿

**一般演題(口演) 膵 EUS  
自己免疫性膵炎診断における EUS-FNA  
の有用性**

岐阜市民病院消化器内科<sup>1)</sup>  
岐阜大学医学部附属病院<sup>2)</sup>  
岩田 翔太<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup>  
第108回日本消化器病学会総会  
2022年4月21日～23日 新宿

**一般演題 ミニオーラル 膵 chemo  
高齢者の切除不能進行膵癌に対するmodif  
ied FOLFIRINOX療法の有効性および安全  
性**

岐阜大学第一内科<sup>1)</sup>,  
岐阜市民病院<sup>2)</sup>,  
岐阜県総合医療センター<sup>3)</sup>  
手塚 隆一<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>1)</sup> 岩田 翔太<sup>2)</sup>  
奥野 充<sup>2)</sup> 岩田 圭介<sup>2)</sup> 吉田 健作<sup>3)</sup>  
丸田 明範<sup>3)</sup> 市川 広直<sup>1)</sup> 三田 直樹<sup>1)</sup>  
上村 真也<sup>1)</sup> 清水 雅仁<sup>1)</sup>  
第108回日本消化器病学会総会  
2022年4月21日～23日 新宿

**一般演題(口演) 膵 IPMN  
深層学習を用いた造影超音波内視鏡画像  
に対する膵腫瘍自動抽出の検討**

岐阜大学医学部附属病院第一内科<sup>1)</sup>  
岐阜大学工学部電気電子・情報工学科<sup>2)</sup>  
岩佐 悠平<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>1)</sup> 市川 広直<sup>1)</sup>  
三田 直樹<sup>1)</sup> 上村 真也<sup>1)</sup> 清水 雅仁<sup>1)</sup>  
原 武史<sup>2)</sup> 竹内 祐慈<sup>2)</sup>  
第108回日本消化器病学会総会  
2022年4月21日～23日 新宿

**講演I 「PTCLの治療戦略を考える」**

岐阜市民病院 血液内科  
北川 順一  
T-Cell Lymphoma Seminar in GIFU  
2022年4月22日 岐阜

## 一般演題6 化学療法1

当院における進行肝細胞癌に対するレンパチニブ治療の臨床効果と予後決定因子についての検討

岐阜市民病院 消化器内科

林 秀樹 西垣 洋一 河内 隆宏  
 岩佐 太誠 下城 宏太 大橋 洋祐  
 岩田 翔太 岩佐 悠平 奥野 充  
 小木曾富生 岩田 圭介 杉山 昭彦  
 富田 栄一

第58回日本肝臓学会

2022年5月12日～13日 東京

## 一般口演1 急性骨髄性白血病

単施設における TP53 変異骨髄系腫瘍に対する造血幹細胞移植の後方視的検討

A retrospective analysis of HSCT for TP53 mutated myeloid neoplasms at a single institution

- 1) 岐阜市民病院 血液内科,
- 2) 東京大学医科学研究所 血液腫瘍内科,
- 3) 京都大学 腫瘍生物学  
 柴田 悠平<sup>1)</sup> 後藤 貴之<sup>1)</sup> 早瀬 直輝<sup>1)</sup>  
 生駒 良和<sup>1)</sup> 北川 順一<sup>1)</sup> 南谷 泰仁<sup>2)3)</sup>  
 小川 誠司<sup>3)</sup>

第44回日本造血・免疫細胞療法学会総会

2022年5月12日～14日 横浜

## 一般口演2 正着不全

NGS を用いた移植後キメリズムの評価  
 Donor chimerism assessment using NGS data

- 1) 東京大学医科学研究所,
- 2) 岐阜大学,
- 3) 岐阜市民病院,
- 4) 神戸市立医療センター中央市民病院,
- 5) 筑波大学,
- 6) 京都大学  
 南谷 泰仁<sup>1)6)</sup> 磯部 優理<sup>1)</sup> 加藤せい子<sup>1)</sup>  
 小沼 貴晶<sup>1)</sup> 兼村 信宏<sup>2)</sup> 笠原 千嗣<sup>3)</sup>  
 平本 展大<sup>4)</sup> 千葉 滋<sup>5)</sup> 高橋 聡<sup>1)</sup>  
 小川 誠司<sup>6)</sup>

第44回日本造血・免疫細胞療法学会総会

2022年5月12日～14日 横浜

## 一般口演10 前処置

当施設における、骨髄系腫瘍に対し RIC として High dose AraC/FLU/CY±TBI を用いた同種移植の治療成績

Outcome of RIC with High dose AraC/FLU/CY +/- TBI followed by allogeneic HCT in our institute

- 1) 岐阜市民病院 血液内科
- 2) 松波総合病院 血液内科  
 生駒 良和<sup>1)</sup> 後藤 貴之<sup>1)</sup> 早瀬 直輝<sup>1)</sup>  
 柴田 悠平<sup>1)</sup> 北川 順一<sup>1)</sup> 笠原 千嗣<sup>1)</sup>  
 鶴見 寿<sup>2)</sup>

第44回日本造血・免疫細胞療法学会総会

2022年5月12日～14日 横浜

## 一般口演11 ATG

末梢血幹細胞移植における低用量 ATG を用いた GVHD 予防法—マッチドペア解析—

GVHD prophylaxis using low-dose antithymocyte globulin in PBSCT — A matched-pair analysis —

- 1) 北海道大学病院 血液内科,
- 2) 日本造血細胞移植データセンター,
- 3) 札幌北楡病院 血液内科,
- 4) 岐阜市民病院 血液内科,
- 5) 大阪国際がんセンター 血液内科,
- 6) 大阪赤十字病院 血液内科,
- 7) 東北大学病院 血液内科,
- 8) 金沢大学附属病院 血液内科,
- 9) 近畿大学病院 血液・膠原病内科,
- 10) 自治医科大学 血液科,
- 11) 広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野,
- 12) 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科,
- 13) 愛知医科大学医学部 造血細胞移植・細胞治療情報管理学連携講座,
- 14) 北海道大学大学院医学研究院 血液内科学分野

白鳥 聡一<sup>1)</sup> 倉田 美穂<sup>2)</sup> 杉田 純一<sup>1)</sup>  
 太田 秀一<sup>3)</sup> 笠原 千嗣<sup>4)</sup> 石川 淳<sup>5)</sup>  
 今田 和典<sup>6)</sup> 大西 康<sup>7)</sup> 石山 謙<sup>8)</sup>  
 芦田 隆司<sup>9)</sup> 神田 善伸<sup>10)</sup> 一戸 辰夫<sup>11)</sup>  
 福田 隆浩<sup>12)</sup> 熱田 由子<sup>2)13)</sup> 豊嶋 崇徳<sup>1)14)</sup>

第44回日本造血・免疫細胞療法学会総会

2022年5月12日～14日 横浜

### ポスター発表23 免疫療法／細胞療法／ 遺伝子治療 1

治療抵抗性 Double hit Lymphoma に対し自家末梢血幹細胞移植と CAR-T 療法を施行した一例

A case of double hit lymphoma treated with auto-PBSCT followed by CART cell therapy

1) 岐阜市民病院 血液内科

2) 兵庫医科大学 血液内科

後藤 貴之<sup>1)</sup> 北川 順一<sup>1)</sup> 星山 季子<sup>2)</sup>

早瀬 直輝<sup>1)</sup> 生駒 良和<sup>1)</sup> 柴田 悠平<sup>1)</sup>

吉原 享子<sup>2)</sup> 吉原 哲<sup>2)</sup> 笠原 千嗣<sup>1)</sup>

第44回日本造血・免疫細胞療学会総会

2022年5月12日～14日 横浜

### 一般口演28 再生不良性貧血

初発重症再生不良性貧血に対する免疫抑制療法におけるエルトロンボパグ併用の有用性の検討

The efficacy of Eltrombopag in immunosuppression therapy for severe aplastic anemia

1) 安城更生病院 血液・腫瘍内科,

2) 浜松医科大学 第三内科,

3) 名古屋市立大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学,

4) 岐阜大学 第一内科,

5) 江南厚生病院 血液・腫瘍内科,

6) 名古屋掖済会病院 血液内科,

7) 公立陶生病院 血液・腫瘍内科,

8) 浜松医療センター 血液内科,

9) 愛知医科大学医学部内科学講座血液内科,

10) 名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学,

11) 藤田医科大学医学部 血液内科学,

12) 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 血液内科,

13) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 血液内科,

14) 豊橋市民病院 血液・腫瘍内科,

15) 岐阜市民病院 血液内科

横田 裕史<sup>1)</sup> 宮尾康太郎<sup>1)</sup> 小野 孝明<sup>2)</sup>

楠本 茂<sup>3)</sup> 兼村 信宏<sup>4)</sup> 尾関 和貴<sup>5)</sup>

小島 由美<sup>6)</sup> 梶口 智弘<sup>7)</sup> 内藤 健助<sup>8)</sup>

内野かおり<sup>9)</sup> 寺倉精太郎<sup>10)</sup> 岡本 晃直<sup>11)</sup>

富田 章裕<sup>11)</sup> 森下 喬允<sup>12)</sup> 小澤 幸泰<sup>12)</sup>

今橋 伸彦<sup>13)</sup> 飯田 浩充<sup>13)</sup> 井本 直人<sup>14)</sup>

倉橋 信悟<sup>14)</sup> 生駒 良和<sup>15)</sup> 笠原 千嗣<sup>15)</sup>

稲垣裕一郎<sup>1)</sup> 澤 正史<sup>1)</sup> 西田 徹也<sup>12)</sup>

村田 誠<sup>10)</sup>

第44回日本造血・免疫細胞療学会総会

2022年5月12日～14日 横浜

### シンポジウム5 IgG4 関連疾患の診断・治療における胆膵内視鏡の現状と問題点 自己免疫性膵炎診断における EUS-FNA の有用性

岐阜市民病院・消化器内科<sup>1)</sup>,

岐阜大学医学部附属病院<sup>2)</sup>

岩田 翔太<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup>

第103回日本消化器内視鏡学会総会

2022年5月13日～15日 京都

### ワークショップ8 膵疾患における内視鏡診断の役割

膵石に対する膵管鏡下破碎術と ESWL の治療成績の比較

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>,

岐阜大学第一内科<sup>2)</sup>,

岐阜県総合医療センター<sup>3)</sup>

岩田 圭介<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup> 丸田 明範<sup>3)</sup>

第103回日本消化器内視鏡学会総会

2022年5月13日～15日 京都

### 一般演題 口演25 胆膵 ステント1 悪性遠位胆管閉塞に対する胆管 SEMS の TRBO関連因子の検討

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>

金沢医科大学 消化器内視鏡科<sup>2)</sup>

奥野 充<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 向井 強<sup>2)</sup>

第103回日本消化器内視鏡学会総会

2022年5月13日～15日 京都

### 一般演題 口演26 胆膵 EUS-FNA 関連3

膵腫瘍に対する EUS-FNB における 19g と 22g Franseen 針の診断能の比較検討

岐阜大学医学部附属病院 第一内科<sup>1)</sup>

岐阜市民病院 消化器内科<sup>2)</sup>

手塚 隆一<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>2)</sup>

上村 真也<sup>1)</sup> 岩田 翔太<sup>2)</sup> 岩佐 悠平<sup>2)</sup>

清水 雅仁<sup>1)</sup> 奥野 充<sup>2)</sup>

第103回日本消化器内視鏡学会総会  
2022年5月13日～15日 京都

**一般演題 口演53 胆膵 ステント3  
切除不能肝門部胆管癌へのメタリックス  
テントStent-in-stent 型留置におけるス  
テント種類の比較**

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>  
金沢医科大学 消化器内視鏡科<sup>2)</sup>  
奥野 充<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 向井 強<sup>2)</sup>  
岩田 翔太<sup>1)</sup> 岩佐 悠平<sup>1)</sup> 富田 栄一<sup>1)</sup>

第103回日本消化器内視鏡学会総会  
2022年5月13日～15日 京都

**一般演題 口演55 胆膵 診断  
ERCP 後膵炎における重症化と体組成の  
関連**

岐阜大学 医学部附属病院 第一内科<sup>1)</sup>  
岐阜市民病院 消化器内科<sup>2)</sup>  
上村 真也<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>1)</sup> 手塚 隆一<sup>1)</sup>  
市川 広直<sup>1)</sup> 奥野 充<sup>2)</sup> 岩田 圭介<sup>2)</sup>  
清水 雅仁<sup>1)</sup>

第103回日本消化器内視鏡学会総会  
2022年5月13日～15日 京都

**一般演題 口演76 胆膵 EUS  
胆嚢病変に対する造影ハーモニック EUS  
の有用性に関する検討**

岐阜県総合医療センター 消化器内科<sup>1)</sup>  
岐阜大学医学部附属病院 第一内科<sup>2)</sup>  
岐阜市民病院 消化器内科<sup>3)</sup>  
吉田 健作<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup> 岩田 圭介<sup>3)</sup>  
丸田 明範<sup>1)</sup> 上村 真也<sup>2)</sup> 清水 雅仁<sup>2)</sup>

第103回日本消化器内視鏡学会総会  
2022年5月13日～15日 京都

**一般演題 口演77 胆膵 UUS-FNA 関  
連6  
術後再建腸管症例の総胆管結石治療にお  
ける  
EUS ガイド下順行性治療 vs balloon  
endoscopyassisted ERCP の比較検討**

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>  
岐阜大学医学部附属病院 第一内科<sup>2)</sup>  
金沢医科大学 消化器内視鏡学<sup>3)</sup>  
岩佐 悠平<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup>

奥野 充<sup>1)</sup> 岩田 翔太<sup>1)</sup> 大橋 洋祐<sup>1)</sup>  
清水 雅仁<sup>2)</sup> 上村 真也<sup>2)</sup> 市川 広直<sup>2)</sup>  
向井 強<sup>3)</sup>

第103回日本消化器内視鏡学会総会  
2022年5月13日～15日 京都

**一般ポスター 消化器  
肝**

**肝生検後出血のリスク因子についての  
Color Doppler を用いた検討**

岐阜市民病院消化器内科  
河内 隆宏 林 秀樹 西垣 洋一  
富田 栄一

第95回日本超音波医学会学術集会  
2022年5月20日～22日 名古屋

**一般口演 消化器**

**脂肪肝1  
脂肪肝の拾い上げにおける controlled  
attenuation parameter の有用性と問題点**

1 岐阜市民病院消化器内科  
2 岐阜市民病院放射線科  
河内 隆宏<sup>1)</sup> 西垣 洋一<sup>1)</sup> 林 秀樹<sup>1)</sup>  
富田 栄一<sup>1)</sup> 橋本 駿介<sup>2)</sup> 小澤 将直<sup>2)</sup>  
河口 大介<sup>2)</sup> 高橋 秀幸<sup>2)</sup> 林 伸次<sup>2)</sup>  
猿渡 裕<sup>2)</sup>

第95回日本超音波医学会学術集会  
2022年5月20日～22日 名古屋

**ポスターセッション5 再発難治骨髄腫(1)  
移植非適応初発多発性骨髄腫に対してレ  
ナリドミドを段階的に増量し、効果不十  
分例にエロツズマブを追加する治療戦略  
の検討**

Dose-escalating lenalidomide and  
dexamethasone therapy with adapted  
therapy adding elotuzumab in transplant  
ineligible patients with NDMM

1 岐阜市民病院 血液内科,  
2 岐阜大学医学部附属病院 血液内科,  
3 湘南鎌倉総合病院 血液内科,  
4 松波総合病院 血液内科  
北川 順一<sup>1)</sup> 松本 拓郎<sup>2)</sup> 早瀬 直輝<sup>1)</sup>  
生駒 良和<sup>1)</sup> 高田 英里<sup>2)</sup> 佐藤 淑<sup>3)</sup>  
柴田 悠平<sup>1)</sup> 中村 信彦<sup>2)</sup> 玉井洋太郎<sup>3)</sup>  
兼村 信宏<sup>2)</sup> 笠原 千嗣<sup>1)</sup> 鶴見 寿<sup>4)</sup>

第47回日本骨髄腫学会学術集会

2022年5月20日～22日 岐阜

### ポスターセッション6 再発難治骨髄腫(2) 再発・難治性多発性骨髄腫に対する carfilzomib-containing regimen の使用経験

Efficacy and safety of carfilzomib-containing regimens for relapsed and refractory multiple myeloma in single institute analysis

- 1 岐阜大学医学部附属病院 血液感染症内科
- 2 松波総合病院 血液内科
- 3 岐阜市民病院 血液内科  
松本 拓郎<sup>1)</sup> 若山 裕人<sup>1)</sup> 鷺崎 知美<sup>1)</sup>  
山口 公大<sup>1)</sup> 中村 信彦<sup>1)</sup> 中村 博<sup>1)</sup>  
北川 順一<sup>3)</sup> 兼村 信宏<sup>1)</sup> 清水 雅仁<sup>1)</sup>  
鶴見 寿<sup>2)</sup>

第47回日本骨髄腫学会学術集会

2022年5月20日～22日 岐阜

### 「血液のがん・急性白血病」～トータル セラピーをめざす～

岐阜市民病院 副院長 血液内科部長  
笠原 千嗣

令和4年度第2回 岐阜市民病院 公開講座

2022年5月21日 岐阜

### 一般演題(ポスター) 9 地域・調査活動 /教育

当院の学会認定・臨床輸血看護師の活動  
報告(第三報)～インシデントを契機と  
した輸血用テンプレートの改善～

- 岐阜市民病院医療安全推進部<sup>1)</sup>  
岐阜市民病院看護部<sup>2)</sup>  
岐阜市民病院輸血部<sup>3)</sup>  
林 昌代<sup>1)2)</sup> 中永 徳子<sup>2)</sup> 松浦 知子<sup>2)</sup>  
下村 真由<sup>2)</sup> 国枝 桃子<sup>2)</sup> 白田 直美<sup>3)</sup>  
北川 順一<sup>3)</sup>

第70回日本輸血・細胞治療学会学術総会

2022年5月27日～29日 名古屋

### 一般演題(口演) 22 造血幹細胞移植2 血縁者間 HLA 不適合移植における移植 関連血栓性微小血管症に対する血漿交換 療法

岐阜市民病院輸血部<sup>1)</sup>,  
岐阜市民病院血液内科<sup>2)</sup>,

兵庫医科大学血液内科<sup>3)</sup>,  
岐阜市民病院小児科<sup>4)</sup>,  
兵庫医科大学輸血・細胞治療センター<sup>5)</sup>

北川 順一<sup>1)2)</sup> 福永 景子<sup>3)</sup> 大島 有美<sup>1)4)</sup>  
木下聖次郎<sup>1)</sup> 渡邊 宜典<sup>1)</sup> 白田 直美<sup>1)</sup>  
笠原 千嗣<sup>2)</sup> 池本 純子<sup>5)</sup> 池亀 和博<sup>3)</sup>

第70回日本輸血・細胞治療学会学術総会

2022年5月27日～29日 名古屋

### 肝炎ウイルス検査とその臨床的意義

岐阜市民病院 中央検査部部長

内木 隆文

令和4年度 医療従事者を対象とした「ウイルス  
肝炎研修会」

2022年5月28日 岐阜

### 進行肝細胞癌に対する治療の進歩と肝細胞 癌に対する治療法の選択

岐阜市民病院 第二内科部長

西垣 洋一

令和4年度 医療従事者を対象とした「ウイルス  
肝炎研修会」

2022年5月28日 岐阜

### ポスター4 肝癌臨床-2

Atezolizumab+Bevacizumab併用療法にお  
ける背景肝と治療効果について：多施設  
共同研究

岐阜大学医学部附属病院第一内科<sup>1)</sup>  
岐阜市民病院消化器内科<sup>2)</sup>  
岐阜県総合医療センター消化器内科<sup>3)</sup>  
宇野女慎二<sup>1)</sup> 三輪 貴生<sup>1)</sup> 華井 竜徳<sup>1)</sup>  
今井 健二<sup>1)</sup> 高井 光治<sup>1)</sup> 入谷 壮一<sup>3)</sup>  
清水 省吾<sup>3)</sup> 河内 隆宏<sup>2)</sup> 林 秀樹<sup>2)</sup>  
西垣 洋一<sup>2)</sup> 清水 雅仁<sup>1)</sup>

第58回日本肝臓学会総会

2022年6月2日～3日 横浜

### ポスター13 肝癌臨床-4

進行肝細胞癌に対するレンバチニブ治療  
の予後決定因子についての検討

岐阜市民病院消化器内科<sup>1)</sup>  
岐阜市民病院中央検査部<sup>2)</sup>  
岐阜市民病院病理診断科部<sup>3)</sup>

林 秀樹<sup>1)</sup> 西垣 洋一<sup>1)</sup> 富田 栄一<sup>1)</sup>  
下城 宏太<sup>1)</sup> 大橋 洋祐<sup>1)</sup> 奥野 充<sup>1)</sup>

河内 隆宏<sup>1)</sup> 小木曾富生<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup>  
杉山 昭彦<sup>1)</sup> 内木 隆文<sup>2)</sup> 渡部 直樹<sup>3)</sup>

第58回日本肝臓学会総会  
2022年6月2日～3日 横浜

### 一般演題

#### 治療抵抗性Double hit Lymphomaに対し自家末梢血幹細胞移植とCART療法を施工した一例

岐阜市民病院 血液内科

後藤 貴之

第11回岐阜造血幹細胞移植研究会  
2022年6月10日 Web

### 一般演題

#### 岐阜市民病院における骨髓系腫瘍に対しRICとしてHigh dose AraC/FLU/CY±TBIを用いた同種移植の治療成績

岐阜市民病院 血液内科 副部長

柴田 悠平

第11回岐阜造血幹細胞移植研究会  
2022年6月10日 Web

### シンポジウム2 『肝胆膵疾患診療の現状と課題』

#### 胆管癌表層進展度診断における画像診断とマッピングバイオプシーの有用性

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>,

金沢医科大学 消化器内視鏡学科<sup>2)</sup>

奥野 充<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 向井 強<sup>1)2)</sup>

日本消化器病学会東海支部第136回例会  
2022年6月11日 Web

### 一般演題 胃・十二指腸2

#### 4年の経過を追えた胃底腺型胃癌の1例

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>

岐阜市民病院 病理診断科<sup>2)</sup>

中部国際医療センター 病理診断科<sup>3)</sup>

犬飼 将旭<sup>1)</sup> 小木曾富生<sup>1)</sup> 岩佐 太誠<sup>1)</sup>

下城 宏太<sup>1)</sup> 大橋 洋祐<sup>1)</sup> 岩田 翔太<sup>1)</sup>

岩佐 悠平<sup>1)</sup> 奥野 充<sup>1)</sup> 河内 隆宏<sup>1)</sup>

岩田 圭介<sup>1)</sup> 林 秀樹<sup>1)</sup> 杉山 昭彦<sup>1)</sup>

西垣 洋一<sup>1)</sup> 富田 栄一<sup>1)</sup> 渡部 直樹<sup>2)</sup>

田中 卓二<sup>2)</sup> 山田 鉄也<sup>3)</sup>

日本消化器病学会東海支部第136回例会  
2022年6月11日 Web

### 一般演題 胃・十二指腸2

#### 15 吸収性局所止血剤（ピュアスタット）が有効であった2例

岐阜市民病院 消化器内科

大橋 洋祐 小木曾富生 岩田 圭介

下城 宏太 岩佐 太誠 岩田 翔太

岩佐 悠平 奥野 充 河内 隆宏

林 秀樹 杉山 昭彦 西垣 洋一

富田 栄一

日本消化器病学会東海支部第136回例会  
2022年6月11日 Web

### 一般演題 肝3

#### 術前診断が困難であった肝血管筋脂肪腫の1例

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>

岐阜市民病院 病理検査部<sup>2)</sup>

川出 真史<sup>1)</sup> 林 秀樹<sup>1)</sup> 岩佐 太誠<sup>1)</sup>

下城 宏太<sup>1)</sup> 大橋 洋祐<sup>1)</sup> 岩田 翔太<sup>1)</sup>

岩佐 悠平<sup>1)</sup> 奥野 充<sup>1)</sup> 河内 隆宏<sup>1)</sup>

小木曾富生<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 杉山 昭彦<sup>1)</sup>

西垣 洋一<sup>1)</sup> 富田 栄一<sup>1)</sup> 渡部 直樹<sup>2)</sup>

日本消化器病学会東海支部第136回例会  
2022年6月11日 Web

### 一般演題 胆道1

#### Roux-en-Y 再建術後総胆管積み上げ結石に対し大腸内視鏡を介した経口胆道鏡下電気水圧式結石破碎術が有効であった1例

岐阜市民病院 消化器内科

大西 拓海 奥野 充 岩田 圭介

大橋 洋祐 岩田 翔太 手塚 隆一

岩佐 悠平 林 秀樹 杉山 昭彦

西垣 洋一 富田 栄一

日本消化器病学会東海支部第136回例会  
2022年6月11日 Web

### 基調講演

#### 「当院における潰瘍性大腸炎症例の検討～新規薬剤使用例を中心に～」

岐阜市民病院 消化器内科 消化器内視鏡部長

小木曾富生

「ジセラ錠」適応追加記念講演会 in 岐阜  
2022年6月13日 Web

### Discussion 「レナリドミド治療歴のある多発性骨髄腫におけるポマリドミドの役割」

岐阜市民病院 血液内科 輸血部長

北川 順一

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科

臨床講師・助教

松本 拓郎

ポマリドミドWebセミナー ～私が考える実臨床でのポマリドミドの臨床的位置づけ～

2022年6月17日 Web

### 一般演題セッションB-1

#### 硬膜・くも膜生検から血管内大細胞型B細胞リンパ腫の診断を得た1例

岐阜市民病院 血液内科

後藤 貴之 相崎 友宏 早瀬 直輝

鷺崎 知美 生駒 良和 柴田 悠平

北川 順一 笠原 千嗣

第11回日本血液学会東海地方会

2022年6月19日 Web

### 末梢性T細胞リンパ腫におけるIPIとPITの予後予測能の比較検討

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科<sup>1)</sup>,

岐阜市民病院 血液内科<sup>2)</sup>,

岐阜県総合医療センター 血液内科<sup>3)</sup>,

岐阜赤十字病院 血液内科<sup>4)</sup>,

高山赤十字病院 血液内科<sup>5)</sup>,

岐北厚生病院 血液内科<sup>6)</sup>,

中濃厚生病院 血液内科<sup>7)</sup>,

松波総合病院 血液・腫瘍内科<sup>8)</sup>,

京都大学大学院医学系研究科 医療経済学分野<sup>9)</sup>

中村 信彦<sup>1)</sup> 兼村 信宏<sup>1)</sup> 松本 拓郎<sup>1)</sup>

中村 博<sup>1)</sup> 生駒 良和<sup>2)</sup> 柴田 悠平<sup>2)</sup>

北川 順一<sup>2)</sup> 笠原 千嗣<sup>2)</sup> 山田 俊樹<sup>3)</sup>

澤田 道夫<sup>4)</sup> 金田 裕人<sup>5)</sup> 福野 賢二<sup>5)</sup>

高田 英里<sup>6)</sup> 後藤 英子<sup>7)</sup> 李 心<sup>8)</sup>

藤田 慧<sup>8)</sup> 森下 哲司<sup>9)</sup> 原 武志<sup>8)</sup>

鶴見 寿<sup>1)8)</sup> 清水 雅仁<sup>1)</sup>

第62回日本リンパ網内系学会学術集会・総会

2022年6月23日～25日 川越

### ポスターセッション

#### 多発性骨髄腫患者における 新型コロナウイルス

### ワクチン接種後のSARS-CoV-2抗体価の検討

1)岐阜市民病院,

2)藤田医科大学 血液内科,

3)藤田医科大学大学院 保健学研究科,

4)安城厚生病院 血液腫瘍内科,

5)藤田医科大学 国際再生医療センター,

6)藤田医科大学 岡崎医療センター

北川 順一<sup>1)</sup> 岡本 晃直<sup>2)</sup> 藤垣 英嗣<sup>3)</sup>

後藤 尚絵<sup>2)</sup> 入山智沙子<sup>2)</sup> 山本 秀行<sup>2)</sup>

徳田 倍将<sup>2)</sup> 加藤 駿晴<sup>2)</sup> 宮尾康太郎<sup>4)</sup>

笠原 千嗣<sup>1)</sup> 三山 貴彦<sup>5)</sup> 三原圭一郎<sup>5)</sup>

岡本 昌隆<sup>6)</sup> 齋藤 邦明<sup>3)</sup> 富田 章裕<sup>2)</sup>

第62回 日本リンパ網内系学会学術集会・総会

2022年6月23～25日 川越

### Discussion Part2

#### 『当院の慢性GVHD症例の1例』

岐阜市民病院 血液内科

鷺崎 知美

第3回Tokai Young Hematologist Conference

2022年6月24日 Web

### ディスカッション

#### 『再発・難治性DLBCLの治療選択』

松波総合病院 血液・腫瘍内科 部長

原 武志

高山赤十字病院 血液内科 部長

福野 賢二

中濃厚生病院 血液内科 部長

後藤 英子

岐阜市民病院 副院長 血液内科 部長

笠原 千嗣

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科

准教授

兼村 信宏

Chugai Lymphoma Seminar in Gifu ポライビー適

正使用講演会

2022年7月1日 岐阜

### Symposium 8

International symposium on endotherapy for chronic pancreatitis

Comparison of lithotripsy using POPS and ESWL in patients with pancreatic stone due to chronic pancreatitis.

Department of Gastroenterology, Gifu Municipal Hospital, Japan<sup>1)</sup>

First Department of Internal Medicine, Gifu University Hospital<sup>2)</sup>

Department of Gastroenterology, Gifu Prefectural General Medical Center<sup>3)</sup>

Department of Gastroenterological Endoscopy, Kanazawa Medical University<sup>4)</sup>

Keisuke Iwata<sup>1)</sup>, Takuji Iwashita<sup>2)</sup>,  
Eiichi Tomita<sup>1)</sup>, Yousuke Ohashi<sup>1)</sup>,  
Yuuhei Iwasa<sup>1)</sup>, Mitsuru Okuno<sup>1)</sup>,  
Hironao Ichikawa<sup>2)</sup>, Shinya Uemura<sup>2)</sup>,  
Kensaku Yoshida<sup>3)</sup>, Akinori Maruta<sup>3)</sup>,  
Tsuyoshi Mukai<sup>4)</sup>, Masahito Shimizu<sup>2)</sup>

第53回日本膵臓学会大会・第26回国際膵臓学会  
2022年7月7日～9日 京都

### Oral16

#### Pancreas Cancer Endotherapy

#### Efficacy of inside SEMS for biliary obstruction in patients with unresectable advanced pancreatic cancer

Department of Gastroenterology, Chuno Kosei Hospital, Japan<sup>1)</sup>,

First Department of Internal Medicine, Gifu University Hospital, Japan<sup>2)</sup>,

Department of Gastroenterology, Gifu Municipal Hospital, Japan<sup>3)</sup>

Naoki Mita<sup>1)</sup>, Takuji Iwashita<sup>2)</sup>,  
Hironao Ichikawa<sup>2)</sup>, Ryuichi Tezuka<sup>2)</sup>,  
Shinya Uemura<sup>2)</sup>, Yosuke Ohashi<sup>3)</sup>,  
Shota Iwata<sup>3)</sup>, Yuhei Iwasa<sup>3)</sup>,  
Mitsuru Okuno<sup>3)</sup>, Keisuke Iwata<sup>3)</sup>,  
Katsuhisa Toda<sup>1)</sup>, Masahito Shimizu<sup>2)</sup>

第53回日本膵臓学会大会・第26回国際膵臓学会  
2022年7月7日～9日 京都

### Oral16

#### Pancreas Cancer Endotherapy

#### Evaluation of the long-term outcomes of EUS-HGS for obstructive jaundice due to pancreatic cancer

Department of Gastroenterology, Gifu Prefectural General Medical Center, Japan<sup>1)</sup>,

First Department of Internal Medicine, Gifu University Hospital, Japan<sup>2)</sup>,

Department of Gastroenterology, Gifu Municipal Hospital, Japan<sup>3)</sup>

Akinori Maruta<sup>1)</sup>, Kensaku Yoshida<sup>1)</sup>,

Takuji Iwashita<sup>2)</sup>, Keisuke Iwata<sup>3)</sup>,

Masahito Shimizu<sup>2)</sup>

第53回日本膵臓学会大会・第26回国際膵臓学会  
2022年7月7日～9日 京都

### Oral19

#### Autoimmune Pancreatitis①

#### Usefulness of EUS-FNA in the diagnosis of autoimmune pancreatitis

Department of Gastroenterology, Gifu Municipal Hospital, Japan<sup>1)</sup>,

First Department of Internal Medicine, Gifu University Hospital, Japan<sup>2)</sup>

Shota Iwata<sup>2)</sup>, Keisuke Iwata<sup>1)</sup>,

Takuji Iwashita<sup>2)</sup>

第53回日本膵臓学会大会・第26回国際膵臓学会  
2022年7月7日～9日 京都

### Oral20

#### Others

#### 19g versus 22g Franseen needle in EUS-FNB for pancreatic tumors

First Department of Internal Medicine, Gifu University Hospital, Japan<sup>1)</sup>,

Gastroenterology, Gifu Municipal Hospital, Japan<sup>2)</sup>

Ryuichi Tezuka<sup>1)</sup>, Takuji Iwashita<sup>1)</sup>,

Keisuke Iwata<sup>2)</sup>

第53回日本膵臓学会大会・第26回国際膵臓学会  
2022年7月7日～9日 京都

### Oral21

#### Chronic Pancreatitis/Treatment

#### Risk factors for refractory pancreatic stones and pancreatic duct strictures due to chronic pancreatitis.

Gifu Prefectural General Medical Center, Japan<sup>1)</sup>,

Gifu Municipal Hospital, Japan<sup>2)</sup>,

Gifu University Hospital, Japan<sup>3)</sup>

Kensaku Yoshida<sup>1)</sup>, Akinori Maruta<sup>1)</sup>,

Yuhei Iwasa<sup>2)</sup>, Mitsuru Okuno<sup>2)</sup>,

Keisuke Iwata<sup>2)</sup>, Ryuichi Tezuka<sup>3)</sup>,

Shinya Uemura<sup>3)</sup>, Takuji Iwashita<sup>3)</sup>,

Masahito Shimizu<sup>3)</sup>

第53回日本膵臓学会大会・第26回国際膵臓学会  
2022年7月7日～9日 京都

## Oral 29

## Interventional Endoscopy for Pancreatic Cancer

## Evaluating factors that cause prolonged stent patency in pancreatic cancer

Department of Gastroenterology, Gifu Municipal Hospital, Japan<sup>1)</sup>,

Department of Gastroenterological Endoscopy, Kanazawa Medical University, Japan<sup>2)</sup>

Mitsuru Okuno<sup>1)</sup>, Keisuke Iwata<sup>1)</sup>,

Tsuyoshi Mukai<sup>1)2)</sup>

第53回日本膵臓学会大会・第26回国際膵臓学会

2022年7月7日～9日 京都

一般演題 (口演) 4 病院運営 (組織運営) 4  
岐阜市民病院における倫理審査体制の再編

岐阜市民病院

勝野 隼人 山田 誠 笠原 千嗣

水井 貴詞 太田宗一郎 富田 栄一

第24回医療マネジメント学会学術総会

2022年7月8日～9日 神戸

一般演題 (口演) 60 病院運営2  
当院における医師の働き方改革の現状と取り組み

岐阜市民病院

山田 誠 笠原 千嗣 篠田 邦大

太田宗一郎 富田 栄一

第24回医療マネジメント学会学術総会

2022年7月8日～9日 神戸

一般演題 (口演) 76 教育 (人材育成) 7  
コングルーエンス・モデルを視点においた人材育成の試み

岐阜市民病院

笠原 千嗣 篠田 邦大 水井 貴詞

山田 誠 太田宗一郎 富田 栄一

第24回医療マネジメント学会学術総会

2022年7月8日～9日 神戸

## 講演 I

## 『FLT3変異陽性AMLに対する標的治療戦

## 略』

岐阜市民病院 副院長・血液内科部長

笠原 千嗣

造血器腫瘍Management Seminar

2022年7月12日 Web

## ディスカッション

岐阜市民病院 消化器内科

小木曾富生

Gifu Expert Meeting

2022年7月14日 岐阜

## 一般講演「Ph+ALLに対する治療戦略」

岐阜市民病院 副院長 兼 血液内科部長

笠原 千嗣

岐阜Ph白血病セミナー2022

2022年7月14日 岐阜

## 第一部

## 一般演題

## 膵癌NGS用検体採取におけるEUS-FNA穿刺針の選択

1)岐阜市民病院 消化器内科,

2)岐阜市民病院 病理診断科

1)奥野 充 1)岩田 圭介 1)岩佐 悠平

2)渡部 直樹 2)田中 卓二

第5回東海胆膵内視鏡研究会

2022年7月22日 名古屋

## 「当院における鳥肌胃炎症例の検討」

岐阜市民病院 消化器内科

小木曾富生

岐阜大学医学部附属病院第一内科 夏季例会

2022年7月24日 岐阜

## CQディスカッション

岐阜市民病院 第二内科部長

西垣 洋一

LEN-TACE Academy 2022

2022年7月25日 Web

## サブインストラクター

岐阜市民病院 消化器内科

小木曾富生

第4回岐阜ESD倶楽部

2022年8月6日 岐阜

### 一般講演

#### 『当院の再発難治性CLLにおけるベネトクラクスの使用経験』

岐阜市民病院 血液内科

後藤 貴之

AbbVie Oncology セミナー

CLLの最適な治療シーケンスを考える

2022年8月26日 Web

### 講演

#### 『移植適応多発性骨髄腫の治療戦略-維持療法におけるニンラーロの位置づけ』

岐阜市民病院

輸血部長・血液内科副部長・感染対策部副部長

北川 順一

Multiple Myeloma Webinar

2022年8月31日 岐阜

### 一般演題

#### C型非代償性肝硬変の治療成績と予後の検討

岐阜市民病院 消化器内科(中央検査部)<sup>1)</sup>,

岐阜県総合医療センター 消化器内科<sup>2)</sup>,

朝日大学病院 消化器内科<sup>3)</sup>,

松波総合病院 消化器内科<sup>4)</sup>,

岐阜赤十字病院 消化器内科<sup>5)</sup>,

高山赤十字病院 消化器内科<sup>6)</sup>,

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科<sup>7)</sup>

内木 隆文<sup>1)</sup> 富田 栄一<sup>1)</sup> 清水 省吾<sup>2)</sup>

大洞 昭博<sup>3)</sup> 小島 孝雄<sup>3)</sup> 田上 真<sup>4)</sup>

杉原 潤一<sup>4)</sup> 松下 知路<sup>5)</sup> 白子 順子<sup>6)</sup>

清水 雅仁<sup>7)</sup> 末次 淳<sup>7)</sup>

第23回岐阜県肝疾患セミナー

2022年9月6日 岐阜

### 特別講演 I

#### 『FLT3変異陽性AML治療に対する標的治療を考える』

岐阜市民病院 副院長/血液内科部長

笠原 千嗣

Hematological Malignancy Total Care Seminar

2022年9月6日 Web

### 一般演題

#### 岐阜市民病院におけるレンバチニブconversion症例

岐阜市民病院 肝臓内科部長

林 秀樹

Lenvima-HCC Web Conference in 岐阜

~conversionを目指したHCC治療戦略~

2022年9月27日 Web

### Discussion

#### 『多発性骨髄腫再発難治例におけるPomalidomide Triplet Regimenの役割』

岐阜市民病院 血液内科 輸血部長

北川 順一

浜松医科大学 内科学第三講座 病院講師・血液内科長

永田 泰之

伊勢赤十字病院 輸血・細胞療法部 部長

藤枝 敦史

Multiple Myeloma Web Seminar

2022年9月28日 Web

### 一般講演

#### 「当院におけるウステキヌマブの有用性」

岐阜市民病院 消化器内視鏡部長

小木曾富生

Gifu IBD Symposium

2022年10月8日 岐阜

### 腎臓3

#### アルコール性肝障害にIgA血管炎が合併した1例

1) 岐阜市民病院腎臓内科

2) 同 消化器内科

3) 同 皮膚科

4) 愛知医科大学病院腎臓・リウマチ膠原病内科

福富 惇<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup> 河村 涼花<sup>1)</sup>

久納美蓉子<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 橋本 和明<sup>1)</sup>

高橋 浩毅<sup>1)</sup> 河内 隆宏<sup>2)</sup> 野田奈津美<sup>3)</sup>

石本 卓嗣<sup>4)</sup>

第248回日本内科学会東海地方会

2022年10月9日 浜松

### 血液3

#### 診断に苦慮したALK陰性未分化大細胞型

**リンパ腫**

岐阜大学医学部附属病院血液・感染症内科

小林 立樹 中村 信彦 金田 裕人

生駒 良和 松本 拓郎 中村 博

兼村 信宏 清水 雅仁

第248回日本内科学会東海地方会

2022年10月9日 浜松

**一般講演②「IgA血管炎の治療戦略」**

岐阜市民病院 消化器内視鏡部長

小木曾富生

岐阜消化器カンファレンス

2022年10月12日 WEB

**学術講演****「肝細胞癌治療におけるレンビマの役割と薬薬連携」**

岐阜市民病院 第二内科部長

西垣 洋一

岐阜地区薬薬連携合同研修会

2022年10月13日 岐阜

**シンポジウム1 「肝門部胆管癌に対する診断と治療戦略」****肝門部領域胆管癌表層進展度診断におけるマッピングバイオプシーの現状と課題**

1) 岐阜市民病院 消化器内科,

2) 金沢医科大学 消化器内視鏡科

1)奥野 充 1)岩田 圭介 1,2)向井 強

第58回日本胆道学会学術集会

2022年10月13日～14日 横浜

**一般演題****口演2 ドレナージ2****切除不能悪性肝門部領域胆管閉塞に対するStent-in-stent型留置に用いるメタリックステント種類の比較**

1)岐阜市民病院 消化器内科,

2) 金沢医科大学 消化器内視鏡科

1)奥野 充 1)岩田 圭介 1,2)向井 強

1)岩田 翔太 1)岩佐 悠平 1)富田 栄一

第58回日本胆道学会学術集会

2022年10月13日～14日 横浜

**一般演題****口演7 ドレナージ5****良性胆管空腸吻合部狭窄に対する治療の検討**

岐阜市民病院 消化器内科1

岐阜大学医学部附属病院 第一内科2

岩佐 悠平1 岩田 圭介1 岩下 拓司2

第58回日本胆道学会学術集会

2022年10月13日～14日 横浜

**一般演題1-9A/CML：基礎・臨床1****The efficacy of TKI for chronic myeloid leukemia with an in-frame exon4 deletion in ABL1**

高山赤十字病院 血液内科

金田 裕人

岐阜市民病院 血液内科

生駒 良和

岐阜大学 血液内科

山口 公大

岐阜大学 血液内科

中村 博

岐阜大学 血液内科

兼村 信宏

岐阜市民病院 血液内科

笠原 千嗣

高山赤十字病院 血液内科

福野 賢二

岐阜大学 血液内科

清水 雅仁

第84回日本血液学会学術集会

2022年10月14日～16日 福岡

**一般演題1-9D/MDS：病態解析****DDX41 mutations define a unique subtype of myeloid neoplasms**

京都大学 腫瘍生物学

牧島 秀樹

京都大学 腫瘍生物学

佐伯龍之介

京都大学 腫瘍生物学

南谷 泰仁

The Univ. of Chicago, Chicago, USA

Sophia Korotev

Cleveland Clinic, Cleveland, USA

Carmelo Gurnari

京都大学 腫瘍生物学

竹田 淳恵  
理化学研究所  
桃沢 幸秀  
King's College Hospital NHS Foundation Trust,  
London, UK  
Steve Best  
King's College Hospital NHS Foundation Trust,  
London, UK  
Pramila Krishnamurthy  
京都大学 腫瘍生物学  
吉里 哲一  
名古屋大学  
熱田 由子  
長崎大学  
糸永 英弘  
長崎大学  
宮崎 泰司  
岐阜大学  
鶴見 寿  
岐阜市民病院  
笠原 千嗣  
京都大学 血液内科  
高折 晃史  
東京医科大学  
大屋敷一馬  
中国中央病院  
木口 亨  
京都大学 ゲノム医学  
松田 文彦  
Radboud Univ. Med. Center, Nijmegen,  
Netherlands  
Joop Jansen  
Chulalongkorn Univ., Bangkok, Thailand  
Chantana Polprasert  
東京医科歯科大学  
宮野 悟  
Univ. of Pavia, Pavia, Italy  
Luca Malcovati  
Munich Leukemia Lab., Munich, Germany  
Torsten Haferlach  
理化学研究所  
久保 充明  
Univ. of Pavia, Pavia, Italy  
Mario Cazzola  
King's College Hospital NHS Foundation Trust,  
London, UK  
Austin Kulasekararaj  
The Univ. of Chicago, Chicago, USA  
Lucy Godley  
Cleveland Clinic, Cleveland, USA

Jaroslav Maciejewski  
京都大学 腫瘍生物学／カロリンスカ大学  
小川 誠司  
第84回日本血液学会学術集会  
2022年10月14日～16日 福岡

### 一般演題1-9D/MDS：病態解析 der(1;7)(q10;p10) as a distinct subtype in myelodysplastic syndromes

京都大学大学院 腫瘍生物学講座  
奥田瑠璃花  
京都大学大学院 腫瘍生物学講座  
越智陽太郎  
京都大学 iPS細胞研究所／京都大学血液・腫瘍内科  
蝶名林和久  
神戸市民病院 血液内科  
平本 展大  
京都大学大学院 腫瘍生物学講座／名古屋医療センター  
眞田 昌  
群馬大学 血液内科  
半田 寛  
岐阜市民病院 血液内科  
笠原 千嗣  
Japan Adult Leukemia Study Group  
佐藤 信也  
岐阜大学 血液・感染症内科  
兼村 信宏  
北野病院 血液内科  
北野 俊行  
京都大学血液・腫瘍内科  
渡邊 瑞希  
東京大学医科研ヒトゲノム解析センター  
白石 友一  
兵庫県立尼崎総合医療センター 血液内科  
渡邊 光正  
NTT東日本関東病院  
白杵 憲祐  
宇治徳洲会病院 血液内科  
今宿 晋作  
筑波大学 血液内科  
千葉 滋  
中国中央病院 血液内科  
瀬崎 伸夫  
Japan Adult Leukemia Study Group  
宮崎 恭司  
京都大学 iPS細胞研究所  
吉田 善紀

兵庫県立尼崎総合医療センター 血液内科

石川 隆之

東京医科大学

大屋敷一馬

日本造血細胞移植データセンター

熱田 由子

京都大学大学院 腫瘍生物学講座

塩澤 祐介

東京大学医科研ヒトゲノム解析センター／東京

医科歯科大学M&D データ科学センター

宮野 悟

京都大学大学院 腫瘍生物学講座

牧島 秀樹

京都大学大学院 腫瘍生物学講座

南谷 泰人

京都大学大学院 腫瘍生物学講座／京都大学高

等研究院ヒト生物学高等研究拠点／Department

of Medicine, Karolinska Institute, Stockholm,

Sweden

小川 誠司

第84回日本血液学会学術集会

2022年10月14日～16日 福岡

### 一般演題1-10B／ALL/CLL：基礎2

The effect of IDO expression on the antitumor activity of blinatumomab therapy

岐阜大学医学部附属病院 血液感染症内科

山口 公大

二宮医院

二宮 空暢

岐阜大学医学部附属病院 血液感染症内科

松本 拓郎

岐阜大学医学部附属病院 血液感染症内科

中村 信彦

岐阜大学医学部附属病院 血液感染症内科

中村 博

岐阜大学医学部附属病院 血液感染症内科

兼村 信宏

松波総合病院 血液内科

原 武志

松波総合病院 血液内科

鶴見 寿

岐阜大学医学部附属病院 血液感染症内科

清水 雅仁

第84回日本血液学会学術集会

2022年10月14日～16日 福岡

### ポスター1-12／MDS：病態1

Impact of sarcopenia on patients with myelodysplastic syndrome treated with azacitidine

岐阜北厚生病院 血液内科

高田 英里

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科

中村 信彦

高山赤十字病院 血液内科

金田 裕人

松波総合病院 血液内科

李 心

松波総合病院 血液内科

藤田 慧

京都大学大学院 医療経済学分野

森下 哲司

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科

松本 拓郎

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科

中村 博

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科／

岐阜市民病院 血液内科

北川 順一

高山赤十字病院 血液内科

福野 賢二

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科／

松波総合病院 血液内科

原 武志

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科

兼村 信宏

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科／

松波総合病院 血液内科

鶴見 寿

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科

清水 雅仁

第84回日本血液学会学術集会

2022年10月14日～16日 福岡

### ポスター1-19／インドレントB細胞リンパ腫

Uterine cervical DLBCL transformed from MALT associated with Chlamydia trachomatis infection

岐阜大学医学部附属病院血液・感染症内科

鷺崎 知美

岐阜大学医学部附属病院血液・感染症内科

若山 裕人

岐阜大学医学部附属病院血液・感染症内科

山口 公大

岐阜大学医学部附属病院血液・感染症内科

松本 拓郎

岐阜大学医学部附属病院血液・感染症内科

中村 信彦

岐阜大学医学部附属病院血液・感染症内科

中村 博

岐阜大学医学部形態機能病理

鬼頭 勇輔

岐阜大学医学部附属病院血液・感染症内科

兼村 信宏

岐阜大学医学部附属病院血液・感染症内科

清水 雅仁

第84回日本血液学会学術集会

2022年10月14日～16日 福岡

### ポスター1-25/再発・難治性骨髄腫

IsaPd regimen for relapsed and refractory multiple myeloma in single institute analysis

岐阜大学 血液・感染症内科

松本 拓郎 若山 裕人 鷺崎 知美

山口 公大 中村 信彦 中村 博

兼村 信宏 清水 雅仁

第84回日本血液学会学術集会

2022年10月14日～16日 福岡

### ポスター1-36/小児血液/その他

Clinical findings of haematopoietic tumours in the AYA generation

岐阜市民病院 小児血液疾患センター

横山 能文 宮崎 太地 大島 有美

福富 久 平手 友章 森 真理

山下 達也 神田 香織 篠田 邦大

岐阜市民病院 血液内科

笠原 千嗣

第84回日本血液学会学術集会

2022年10月14日～16日 福岡

### 一般演題2-6D/DLBCL:合併症

Perforation risk evaluation by endoscopy and reduced chemotherapy for gastrointestinal NHL

岐阜大学 血液・感染症内科

中村 信彦

岐阜市民病院 血液内科

北川 順一

岐阜大学 消化器内科

久保田全哉

岐阜市民病院 血液内科

柴田 悠平

岐阜市民病院 血液内科

生駒 良和

岐阜大学 血液・感染症内科

松本 拓郎

岐阜北厚生病院 血液内科

高田 英里

岐阜市民病院 血液内科

早瀬 直輝

岐阜大学 血液・感染症内科

中村 博

岐阜大学 血液・感染症内科

山口 公大

岐阜大学 血液・感染症内科

金田 裕人

岐阜大学 血液・感染症内科

兼村 信宏

岐阜市民病院 血液内科

笠原 千嗣

松波総合病院 血液内科

原 武志

岐阜大学 血液・感染症内科/松波総合病院

血液内科

鶴見 寿

岐阜大学 血液・感染症内科/岐阜大学 消化

器内科

清水 雅仁

第84回日本血液学会学術集会

2022年10月14日～16日 福岡

### ポスター2-5/AML:ベネトクラクス併用療法3

Venetoclax and low dose cytarabine for elderly AML patients refractory to venetoclax and azacitidine

岐阜市民病院 血液内科

後藤 貴之

岐阜市民病院 血液内科

北川 順一

岐阜市民病院 血液内科

相崎 友宏

岐阜市民病院 血液内科

早瀬 直輝

岐阜市民病院 血液内科/岐阜大学医学部附属

病院 血液・感染症内科

鷺崎 知美

岐阜市民病院 血液内科

生駒 良和  
 岐阜市民病院 血液内科／岐阜大学医学部附属  
 病院 血液・感染症内科  
 山口 公大  
 岐阜市民病院 血液内科  
 柴田 悠平  
 岐阜市民病院 血液内科  
 笠原 千嗣  
 松波総合病院 血液内科  
 鶴見 寿  
 第84回日本血液学会学術集会  
 2022年10月14日～16日 福岡

### ポスター2-18／MCL/WM

Ibrutinib for bridging to auto-SCT in man-  
 tle cell lymphoma patient with anal fistula

岐阜市民病院 血液内科  
 相崎 友宏  
 岐阜市民病院 血液内科  
 北川 順一  
 岐阜市民病院 血液内科  
 後藤 貴之  
 岐阜市民病院 血液内科  
 早瀬 直輝  
 岐阜市民病院 血液内科／岐阜大学医学部附属病院  
 鷺崎 知美  
 岐阜市民病院 血液内科  
 生駒 良和  
 岐阜市民病院 血液内科／岐阜大学医学部附属病院  
 山口 公大  
 岐阜市民病院 血液内科  
 柴田 悠平  
 岐阜市民病院 血液内科  
 笠原 千嗣  
 松波総合病院  
 鶴見 寿  
 第84回日本血液学会学術集会  
 2022年10月14日～16日 福岡

### ポスター2-19／中枢神経原発リンパ腫： 臨床

ASCT using with high dose thiotepa and  
 busulfan as conditioning regimen for CNS  
 lymphoma

岐阜大学医学部附属病院血液・感染症内科  
 中村 博 鷺崎 知美 若山 裕人  
 山口 公大 松本 拓郎 中村 信彦  
 兼村 信宏 清水 雅仁

第84回日本血液学会学術集会  
 2022年10月14日～16日 福岡

### 一般演題3-5C／AML：臨床1

The low dose cytarabine and etoposide  
 therapy for frail patients with acute mye-  
 loid leukemia

松波総合病院 血液内科  
 原 武志  
 松波総合病院 血液内科  
 藤田 慧  
 松波総合病院 血液内科  
 李 心  
 岐阜市民病院 血液内科  
 柴田 悠平  
 岐阜大学 血液内科  
 松本 拓郎  
 木曾川市民病院 内科  
 馬淵 量子  
 岐阜大学 血液内科  
 中村 信彦  
 岐阜大学 血液内科  
 中村 博  
 岐阜市民病院 血液内科  
 北川 順一  
 岐阜大学 血液内科  
 兼村 信宏  
 岐阜市民病院 血液内科  
 笠原 千嗣  
 岐阜県総合医療センター 血液内科  
 山田 俊樹  
 岐阜赤十字病院 血液内科  
 澤田 道夫  
 岐阜大学 血液内科  
 清水 雅仁  
 松波総合病院 血液内科  
 鶴見 寿

第84回日本血液学会学術集会 2022年10月14日～  
 16日 福岡(16日) 岐大2022

### 一般演題3-10C／SARC-CoV-2ワクチン

Efficacy of the third dose of SARS-CoV-  
 2 vaccination in hematologic diseases  
 patients

藤田医科大学 血液内科学  
 入山智沙子 岡本 晃直 後藤 尚絵  
 山本 秀行 加藤 駿晴 徳田 倍将  
 服部 恵子 伊庭佐知子 楫屋 良子

富田 章裕  
 藤田医科大学 先進診断システム開発分野  
 藤垣 英嗣 齋藤 邦明  
 藤田医科大学 国際再生医療センター  
 三原圭一郎  
 藤田医科大学 臨床総合医学  
 稲熊 容子  
 藤田医科大学病院 輸血部  
 三浦 康生  
 名古屋大学大学院 血液・腫瘍内科学  
 古川 勝也  
 中部大学 生命医科学科  
 山本 幸也  
 名古屋大学大学院 免疫学  
 赤塚 美樹  
 岐阜市民病院 血液内科  
 笠原 千嗣  
 安城更生病院 血液・腫瘍内科  
 宮尾康太郎  
 藤田医科大学病院 臨床検査部  
 佐藤 聖子 水谷 有希 大澤 道子  
 藤田医科大学岡崎医療センター血液腫瘍内科  
 岡本 昌隆  
 第84回日本血液学会学術集会  
 2022年10月14日～16日 福岡

### Interim safety analysis of zanubrutinib in Japanese patients with mature B-cell malignancies

Takayuki Ishikawa (Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan)  
 Kazuyuki Shimada (Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan)  
 Kohmei Kubo (Aomori Prefectural Central Hospital, Aomori, Japan)  
 Takeshi Kondo (Aikku Hospital, Sapporo, Japan)  
 Katsuya Fujimoto (National Hospital Organization Hokkaido Cancer Center, Sapporo, Japan)  
 Tomoaki Fujisaki (Matsuyama Red Cross Hospital, Matsuyama, Japan)  
 Koji Nagafuji (Kurume University Hospital, Kurume, Japan)  
 Rika Sakai (Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan)  
 Shingo Kurahashi (Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi, Japan)  
 Tatsuro Jo (Japanese Red Cross Nagasaki

Genbaku Hospital, Nagasaki, Japan)  
 Kazutaka Sunami (National Hospital Organization Okayama Medical Center, Okayama, Japan)  
 Senji Kasahara (Gifu Municipal Hospital, Gifu, Japan)  
 Tomonori Nakazato (Yokohama Municipal Citizen's Hospital, Yokohama, Japan)  
 Haiyi Guo (BeiGene (Beijing) Co., Ltd., Beijing, China, BeiGene (Shanghai) Co., Ltd., Shanghai, China and BeiGene USA, Inc., San Mateo, CA, USA)  
 William Novotny (BeiGene (Beijing) Co., Ltd., Beijing, China, BeiGene (Shanghai) Co., Ltd., Shanghai, China and BeiGene USA, Inc., San Mateo, CA, USA)  
 Chris Tankersley (BeiGene (Beijing) Co., Ltd., Beijing, China, BeiGene (Shanghai) Co., Ltd., Shanghai, China and BeiGene USA, Inc., San Mateo, CA, USA)  
 Motohisa Takai (BeiGene (Beijing) Co., Ltd., Beijing, China, BeiGene (Shanghai) Co., Ltd., Shanghai, China and BeiGene USA, Inc., San Mateo, CA, USA)  
 Lei Zhou (BeiGene (Beijing) Co., Ltd., Beijing, China, BeiGene (Shanghai) Co., Ltd., Shanghai, China and BeiGene USA, Inc., San Mateo, CA, USA)  
 Jinhua Zhong (BeiGene (Beijing) Co., Ltd., Beijing, China, BeiGene (Shanghai) Co., Ltd., Shanghai, China and BeiGene USA, Inc., San Mateo, CA, USA)  
 Bilal Tariq (BeiGene (Beijing) Co., Ltd., Beijing, China, BeiGene (Shanghai) Co., Ltd., Shanghai, China and BeiGene USA, Inc., San Mateo, CA, USA)  
 Jane Huang (BeiGene (Beijing) Co., Ltd., Beijing, China, BeiGene (Shanghai) Co., Ltd., Shanghai, China and BeiGene USA, Inc., San Mateo, CA, USA)  
 Koji Izutsu (National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan)

第84回日本血液学会学術集会  
 2022年10月14日～16日 福岡

### 特別講演『最近の慢性便秘症診療』

岐阜市民病院 消化器内科 部長  
 杉山 昭彦  
 慢性便秘症WEBセミナー

2022年10月19日 WEB

## 一般演題

## 癌化学療法における腫瘍循環器外来関与の効果

- 1) 岐阜市民病院 第一内科・循環器内科
  - 2) 同 心不全センター
  - 3) 同 乳腺外科・外来化学療法部
  - 4) 同 病院事業管理者
- 西垣 和彦<sup>1)</sup> 湊口 信也<sup>2)</sup> 吉住 瞭<sup>1)</sup>  
 小牧 久晃<sup>1)</sup> 村瀬 浩孝<sup>1)</sup> 馬場 慎也<sup>1)</sup>  
 佐竹 敦史<sup>1)</sup> 安田 真智<sup>1)</sup> 小塩 信介<sup>1)</sup>  
 中田 琢巳<sup>3)</sup> 富田 栄一<sup>4)</sup>

第37回 岐阜県病院協会医学会

2022年10月23日 多治見

## シンポジウム1(消化器内視鏡学会・消化器病学会・肝臓学会・消化器外科学会)

## (JGES Core Session) Interventional EUS: エビデンスと新たな展開

## 術後再建腸管症例の遠位悪性胆管閉塞に対するドレナージ方法の比較検討: EUS下順行性胆管ステント留置 vs 経皮経肝胆管ステント留置

- 1 岐阜大・1内科
  - 2 岐阜市民病院・消化器内科
- 岩下 拓司<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>2)</sup> 清水 雅仁<sup>1)</sup>

JDDW2022

2022年10月27～30日 福岡

## シンポジウム2(消化器病学会・消化器内視鏡学会・肝臓学会・消化器外科学会・消化器がん検診学会)

## 高齢化と消化器病学

## 高齢者の総胆管結石性胆管炎に対する一期的内視鏡治療の有用性と課題

- 1 岐阜県総合医療センター・消化器内科
  - 2 岐阜大附属病院・1内科
  - 3 岐阜市民病院・消化器内科
- 丸田 明範<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup> 岩田 圭介<sup>3)</sup>

JDDW2022

2022年10月27～30日 福岡

## シンポジウム10(消化器病学会・消化器内視鏡学会・消化器外科学会・消化器がん検診学会)

## ガイドライン改訂後の膵炎診療の現状と課題

## 膵石治療における膵管鏡下直接破碎術とESWLの比較

- 1 岐阜市民病院・消化器内科
  - 2 岐阜大・1内科
  - 3 岐阜県総合医療センター・消化器内科
- 岩田 圭介<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup> 丸田 明範<sup>3)</sup>

JDDW2022

2022年10月27～30日 福岡

## デジタルポスターセッション消012(消化器病学会)

## 膵臓 (自己免疫性膵炎)

## 自己免疫性膵炎におけるEUS-FNBの組織診断能の比較検討: 19G FNB針 versus 22G FNB針

- 1 岐阜市民病院・消化器内科
  - 2 岐阜大附属病院・1内科
- 岩田 翔太<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup>

JDDW2022

2022年10月27～30日 福岡

## デジタルポスターセッション肝014(肝臓学会)

## 原発性肝癌 (発癌・診断)

## 進行肝細胞癌におけるアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の治療効果とEOB-MRI所見との関連についての検討

- 1 岐阜市民病院・消化器内科
  - 2 岐阜市民病院・中央検査部
  - 3 岐阜市民病院・病理検査
- 林 秀樹<sup>1)</sup> 西垣 洋一<sup>1)</sup> 富田 栄一<sup>1)</sup>  
 大橋 洋祐<sup>1)</sup> 田尻下聡子<sup>1)</sup> 奥野 充<sup>1)</sup>  
 河内 隆宏<sup>1)</sup> 小木曾富生<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup>  
 杉山 昭彦<sup>1)</sup> 内木 隆文<sup>2)</sup> 渡部 直樹<sup>3)</sup>

JDDW2022

2022年10月27～30日 福岡

## デジタルポスターセッション消044(消化器病学会)

## 胆道 (検査・診断)

## 当院胆嚢摘出術症例における術前診断と臨床病理学的検討

- 1 岐阜市民病院・消化器内科
- 2 岐阜市民病院・外科

## 3 岐阜市民病院・病理検査

大橋 洋祐<sup>1</sup> 岩田 圭介<sup>1</sup> 下城 宏太<sup>1</sup>  
 岩佐 太誠<sup>1</sup> 岩田 翔太<sup>1</sup> 岩佐 悠平<sup>1</sup>  
 奥野 充<sup>1</sup> 河内 隆宏<sup>1</sup> 小木曾富生<sup>1</sup>  
 林 秀樹<sup>1</sup> 杉山 昭彦<sup>1</sup> 西垣 洋一<sup>1</sup>  
 富田 栄一<sup>1</sup> 佐々木義之<sup>2</sup> 渡部 直樹<sup>3</sup>  
 田中 卓二<sup>3</sup>

JDDW2022

2022年10月27～30日 福岡

### International Poster Session10 Biliary-2 Factors prolonging self-expandable metal stent patency in patients with malignant distal biliary obstruction: a multicenter retrospective study

1 Department of Gastroenterology, Gifu Municipal  
 Hospital

2 Department of Gastroenterological Endoscopy,  
 Kanazawa Medical University

Mitsuru Okuno<sup>1</sup>, Keisuke Iwata<sup>1</sup>,  
 Tsuyoshi Mukai<sup>1,2</sup>

JDDW2022

2022年10月27～30日 福岡

### デジタルポスターセッション消073(消化 器病学会)

#### 膵臓 (その他の治療)

#### 高齢者の切除不能進行膵癌に対するmodified FOLFIRINOXの治療成績

1 岐阜大・1内科

2 岐阜市民病院・消化器内科

3 岐阜県総合医療センター・消化器内科

手塚 隆一<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>1</sup> 市川 広直<sup>1</sup>  
 上村 真也<sup>1</sup> 清水 雅仁<sup>1</sup> 岩田 翔太<sup>2</sup>  
 岩佐 悠平<sup>2</sup> 奥野 充<sup>2</sup> 岩田 圭介<sup>2</sup>  
 吉田 健作<sup>3</sup> 丸田 明範<sup>3</sup>

JDDW2022

2022年10月27～30日 福岡

### デジタルポスターセッション内052(消化 器内視鏡学会)

#### 膵臓 (膵炎・膵石) 2

#### 難治性膵石・膵管狭窄のリスク因子に関する検討

1 岐阜県総合医療センター・消化器内科

2 岐阜市民病院・消化器内科

3 岐阜大・1内科

吉田 健作<sup>1</sup> 丸田 明範<sup>1</sup> 清水 省吾<sup>1</sup>

岩田 圭介<sup>2</sup> 岩下 拓司<sup>3</sup> 清水 雅仁<sup>3</sup>

JDDW2022

2022年10月27～30日 福岡

### デジタルポスターセッション内066(消化 器内視鏡学会)

#### 胆嚢・ドレナージ (ERCP・EUS関連) 1 胆嚢病変に対する造影ハーモニックEUS の有用性に関する検討

1 岐阜県総合医療センター・消化器内科

2 岐阜大・1内科

3 岐阜市民病院・消化器内科

吉田 健作<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>2</sup> 丸田 明範<sup>1</sup>

岩佐 悠平<sup>3</sup> 奥野 充<sup>3</sup> 手塚 隆一<sup>2</sup>

上村 真也<sup>2</sup> 岩田 圭介<sup>3</sup> 清水 省吾<sup>1</sup>

清水 雅仁<sup>2</sup>

JDDW2022

2022年10月27～30日 福岡

### デジタルポスターセッション内076(消化 器内視鏡学会)

#### 悪性胆道狭窄 (ERCP関連) 3

#### 閉塞性黄疸を伴う切除企図膵癌に対する 内視鏡的術前胆管ドレナージの有用性

1 岐阜大・1内科

2 岐阜市民病院・消化器内科

3 岐阜県総合医療センター・消化器内科

市川 広直<sup>1</sup> 岩下 拓司<sup>1</sup> 手塚 隆一<sup>1</sup>

上村 真也<sup>1</sup> 岩佐 悠平<sup>2</sup> 奥野 充<sup>2</sup>

岩田 圭介<sup>2</sup> 吉田 健作<sup>3</sup> 丸田 明範<sup>3</sup>

清水 雅仁<sup>1</sup>

JDDW2022

2022年10月27～30日 福岡

### 一般講演

#### 「当院にて経験したIBDと鑑別を要した 腸炎症例の検討」

岐阜市民病院 消化器内視鏡部長

小木曾富生

腸内細菌を考える会in岐阜

2022年11月2日 岐阜

### シンポジウム2 『肝胆膵疾患診断・治療 の最近の進歩』

#### 切除不能悪性肝門部領域胆管閉塞に対す

### る Stent-in-stent 留置に用いるメタリックステントの種類別成績

岐阜市民病院 消化器内科  
奥野 充 岩佐 悠平 岩田 圭介  
日本消化器病学会 第137回東海支部例会  
2022年11月5日 浜松

### 一般演題 胃・十二指腸2 ジアミノジフェニルスルホン (DDS) が腹部症状に著効した成人発症 IgA 血管炎の1例

岐阜市民病院  
大西 拓海 小木曾富生 犬飼 将旭  
川出 真史 日野 孝彬 伊藤 有紀  
高木 暁広 相羽 優志 岩佐 悠平  
奥野 充 河内 隆宏 林 秀樹  
岩田 圭介 杉山 昭彦 西垣 洋一  
富田 栄一  
日本消化器病学会 第137回東海支部例会  
2022年11月5日 浜松

### 一般演題 胆2 ERCP 後膵炎に伴う急性壊死性貯留および遅発性主乳頭部穿孔に対し、胆管メタリックステント留置と穿孔部への ENBD チューブ留置後、経皮的な内視鏡的ネクロセクトミーを行った 1 例

岐阜市民病院 消化器内科  
川出 真史 奥野 充 岩田 圭介  
犬飼 将旭 大西 拓海 日野 孝彬  
伊藤 優紀 高木 暁広 相羽 優志  
岩佐 悠平 河内 隆宏 小木曾富生  
林 秀樹 杉山 昭彦 西垣 洋一  
富田 栄一  
日本消化器病学会 第137回東海支部例会  
2022年11月5日 浜松

### 一般演題 「難治性末梢性T細胞リンパ腫に対してジフォルタを導入した一例」

岐阜市民病院 血液内科  
相崎 友宏  
岐阜リンパ腫Web Seminar  
2022年11月8日 Web

### 講演「COVID-19から連携とコミュニケーションを考える」

岐阜市民病院 事業管理者  
富田 栄一  
岐阜西ライオンズクラブ第977回健康例会  
2022年11月8日 岐阜

### アドバイザー

岐阜市民病院 副院長/血液内科部長  
笠原 千嗣  
AML 領域アドバイザー会議  
2022年11月9日 名古屋

### 特別講演

「当院におけるFLT3 AMの診療経験」  
岐阜市民病院 血液内科 副部長  
柴田 悠平  
AML Webセミナー  
2022年11月10日 Web

### 岐阜地域医師会連携パスの発足・連携を経て

岐阜市民病院 事業管理者  
富田 栄一  
メダップ株式会社 代表取締役CEO  
柳内 健  
第1回機能分化・連携の未来を拓く『鍵』に迫る  
2022年11月14日 Web

### 講演③「COVID-19第7波に飲み込まれた当院血液内科病棟を振り返る」

岐阜市民病院 血液内科副部長・輸血部長  
北川 順一  
第2回岐阜地区造血細胞移植地域拠点病院セミナー  
2023年11月24日 岐阜

### シンポジウム1 代謝性肝疾患の標準治療確立のためのエビデンス構築 特別発言. NASHに対する抗糖尿病薬への期待と展望—国内のエビデンスからグローバル治験—

愛知医科大学肝胆膵内科<sup>1</sup>,  
岐阜市民病院消化器内科<sup>2</sup>,  
大垣市民病院消化器内科<sup>3</sup>

角田 圭雄<sup>1</sup> 林 秀樹<sup>2</sup> 豊田 秀徳<sup>3</sup>  
第44回日本肝臓学会東部会  
2022年11月25日～26日 仙台

杉山 昭彦<sup>1</sup> 西垣 洋一<sup>1</sup> 富田 栄一<sup>1</sup>  
小居 幹太<sup>2</sup> 渡部 直樹<sup>3</sup> 内木 隆文<sup>4</sup>  
第44回日本肝臓学会東部会  
2022年11月25日～26日 仙台

### 一般演題3 肝細胞癌①

#### MRI の見かけの拡散係数画像において低信号で描出される肝細胞癌に対する定位放射線治療 の検討

岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>,  
岐阜市民病院病理診断部<sup>2</sup>,  
岐阜市民病院中央検査部<sup>3</sup>

河内 隆宏<sup>1</sup> 西垣 洋一<sup>1</sup> 日野 孝彬<sup>1</sup>  
高木 暁広<sup>1</sup> 相羽 優志<sup>1</sup> 奥野 充<sup>1</sup>  
小木曾富生<sup>1</sup> 岩田 圭介<sup>1</sup> 林 秀樹<sup>1</sup>  
杉山 昭彦<sup>1</sup> 富田 栄一<sup>1</sup> 渡部 直樹<sup>2</sup>  
内木 隆文<sup>3</sup>

第44回日本肝臓学会東部会  
2022年11月25日～26日 仙台

### 若手セッション8 肝細胞癌④

#### 切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の治療効果・予後予測因子についての検討

岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>,  
岐阜市民病院病理診断科部<sup>2</sup>,  
岐阜市民病院中央検査部<sup>3</sup>

相羽 優志<sup>1</sup> 西垣 洋一<sup>1</sup> 日野 孝彬<sup>1</sup>  
高木 暁広<sup>1</sup> 奥野 充<sup>1</sup> 河内 隆宏<sup>1</sup>  
小木曾富生<sup>1</sup> 岩田 圭介<sup>1</sup> 林 秀樹<sup>1</sup>  
杉山 昭彦<sup>1</sup> 富田 栄一<sup>1</sup> 渡部 直樹<sup>2</sup>  
内木 隆文<sup>3</sup>

第44回日本肝臓学会東部会  
2022年11月25日～26日 仙台

### 若手セッション13 門脈圧亢進症・静脈瘤

#### 脾腎シャントに対する B-RTO に下横隔膜-心膜周囲静脈シャントに対する B-RTO を追加し改善が得られた肝性脳症の1例

岐阜市民病院消化器内科<sup>1</sup>  
中濃厚生病院消化器内科<sup>2</sup>,  
岐阜市民病院病理診断科部<sup>3</sup>,  
岐阜市民病院中央検査部<sup>4</sup>

村山 由季<sup>1</sup> 河内 隆宏<sup>1</sup> 日野 孝彬<sup>1</sup>  
高木 暁広<sup>1</sup> 相羽 優志<sup>1</sup> 奥野 充<sup>1</sup>  
小木曾富生<sup>1</sup> 岩田 圭介<sup>1</sup> 林 秀樹<sup>1</sup>

### 若手セッション15 肝細胞癌⑥

#### アテゾリズマブ, ベバシズマブ併用療法で conversion surgery が可能となった肝細胞癌の1例

岐阜市民病院消化器内科

川出 真史 林 秀樹 日野 孝彬  
高木 暁広 相羽 優志 奥野 充  
河内 隆宏 小木曾富生 岩田 圭介  
杉山 昭彦 西垣 洋一 富田 栄一

第44回日本肝臓学会東部会  
2022年11月25日～26日 仙台

### 生と死にかかわるもの

岐阜市民病院 事業管理者

富田 栄一

岐阜・生と死を考える会  
2022年11月26日 各務原

### 特別講演『AML治療におけるベネクレクスタへの期待』

岐阜市民病院 副院長

笠原 千嗣

ベネクレクスタによる新しいAML治療戦略-外来での継続治療を目指して-  
2022年11月28日 Web

### Panel Discussion

#### 『実臨床の患者像&外来治療の工夫』

綿本 浩一 澤 正史 笠原 千嗣  
ベネクレクスタによる新しいAML治療戦略-外来での継続治療を目指して-  
2022年11月28日 Web

### 一般講演

#### 「当科におけるPOEMS症候群の治療経験」

岐阜市民病院 血液内科 医員

鷺崎 知美

FUJIMOTO希少疾患セミナー  
2022年11月30日 Web

**ケースディスカッション**

岐阜市民病院 血液内科 副部長  
柴田 悠平  
イムブルピカ東海エリア 慢性GVHD適応追加1  
周年記念講演会  
2022年11月30日 Web

**講演 II**

『FLT3変異陽性AMLのマネージメント』  
岐阜市民病院 副院長 血液内科部長  
笠原 千嗣  
造血器腫瘍トータルケアWebセミナー  
2022年12月2日 Web

**シンポジウム2 胆膵疾患に対する内視鏡診断と治療の工夫  
良性胆管空腸吻合部狭窄に対する治療の検討**

岐阜市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>、  
岐阜大学医学部附属病院 第一内科<sup>2)</sup>  
岩佐 悠平<sup>1)</sup> 岩田 圭介<sup>1)</sup> 岩下 拓司<sup>2)</sup>  
第65回日本消化器内視鏡学会東海支部例会  
2022年12月3日 静岡

**特別講演 I 『PTCLの治療戦略を考える』**

岐阜市民病院 血液内科 副部長  
北川 順一  
第2回 Meiji リンパ腫 Web セミナー in 富山  
2022年12月9日 Web

**症例発表 『岐阜市民病院における初発DLd療法の使用経験』**

岐阜市民病院 血液内科  
山口 公大  
Daratumumab講演会 in Gifu  
2022年12月9日 Web

**『造血器腫瘍に続発する低ガンマグロブリン血症ではどのような患者に免疫グロブリン補充療法を行う？』**

安城更生病院 血液・腫瘍内科 代表部長  
澤 正史  
岐阜市民病院 輸血部長  
北川 順一

愛知医科大学病院 血液内科 准教授  
水野 昌平  
東海造血器腫瘍感染セミナー  
2022年12月23日 名古屋

「働き方改革の一環としてICTツールを積極活用。スタッフの負担を軽減するとともに、患者さんの利便性をより高めたい」

岐阜県 岐阜市民病院  
副院長兼医療推進局長  
山田 誠  
血液内科医長  
柴田 悠平  
ユビーAI問診 導入事例 Web掲載

**岐阜薬科大学健康医療薬学研究室 岐阜市民病院サテライト研究室  
抗癌剤や多剤服用に焦点**

岐阜市民病院副院長、岐阜薬科大学特任教授  
笠原 千嗣  
薬事日報 「岐阜薬科大学 臨床教育を強化」

**働くあなたのクリニック  
膵癌**

岐阜市民病院 消化器内科  
岩田 圭介  
岐阜商工月報 2022年12月 p14-15.

腎臓内科

**講演**

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 腹膜透析診療チーム座談会  
特別講演「当院におけるPD診療 院内連携+地域連携について」

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
2022.1.13 名古屋

**エベレンゾ適正使用を考える会  
Opening Remarks**

岐阜市民病院 腎臓内科  
高橋 浩毅

**ディスカッション「HIF-PH阻害薬の最適な患者像とは？ 鉄代謝を考慮したHIF-PH阻害薬の適正使用を考える」**

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
2022.3.22 岐阜, ハイブリッド

**CKD地域連携を考える会  
講演1「地域連携を目指したCKD教育入院」**

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
2022.3.24 Web

**第2回 Middle Renal Community  
Session1「腎臓内科医が診るCKDと高カリウム血症」**

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
2022.4.14 岐阜 (Web)

**Scientific Exchange Meeting in 岐阜  
Panel Discussion「岐阜県のCKD対策にいま必要な取り組みを考える」  
ディスカッサント**

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
2022.5.17 岐阜, ハイブリッド

**岐阜CKDセミナー**

**General presentation  
「かかりつけ医との連携を目指したCKD診療とダパグリフロジンの可能性」**

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
2022.6.29 Web

**ロケルマ発売2周年記念講演会in岐阜  
特別講演①「腎臓内科医が診るCKDと高カリウム血症」**

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
2022.8.5 Web

**第3回 糖尿病と腎臓病診療の架け橋 in GIFU**

**一般演題 (各施設の取組み②)  
「岐阜市民病院のDKD/CKD重症化予防の取組み」**

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
2022.8.25 岐阜, ハイブリッド

**専門医, 一般内科医のための慢性腎臓病進展防止セミナー**

**パネルディスカッション パネリスト①  
「専門医からみた慢性腎臓病治療の進歩」**

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
2022.10.5 岐阜, ハイブリッド

**変わりゆく腎性貧血治療を考える会～より良いCKD診療を目指して～**

**Closing Remarks**  
岐阜市民病院 腎臓内科  
高橋 浩毅

2022.10.6 Web

**岐阜県腹膜透析地域連携セミナー  
「当院におけるPD診療 院内連携+地域連携について」**

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
2022.10.20 Web

**第2回 明日から活かせる腎臓病診療 in 各務原**

**「かかりつけ医との連携を目指したCKD診療とダパグリフロジンの可能性」**

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
2022.11.10 各務原

**Hypertension Web Seminar～もっと知りたい高血圧のこと～**

**一般講演「当科におけるCKD合併高血圧診療とARNIの使用経験」**

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
2022.12.9 Web

**主催**  
**第40回岐阜県透析研究会**  
**当番世話人**

岐阜市民病院 腎臓内科  
木村 行宏  
2022.12.4 岐阜

**学会発表**  
**□国内学会**

**第119回日本内科学会総会 医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ2022京都【一般】**

「腰椎圧迫骨折を契機に口腔ケア不十分となり、骨吸収抑制薬関連顎骨壊死をきたした1例」

○神田 萌絵<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 中島 教行<sup>2)</sup>  
二村 洋平<sup>3)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup> 河村 涼花<sup>1)</sup>  
久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 同 歯科・口腔外科
- 3) 同 呼吸器・腫瘍内科

2022.4.16

**第119回日本内科学会総会 医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ2022京都**

**【腎臓】**

「原発性アルドステロン症を合併した常染色体優性多発性嚢胞腎の1例」

○長島 芽依<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup>  
河村 涼花<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>  
山田 浩司<sup>2)</sup>

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 同 糖尿病・内分泌内科

2022.4.16

**第119回日本内科学会総会 医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ2022京都**

**【腎臓】**

「外傷性嚢胞出血をきたし、保存的に経過しえた常染色体優性多発性嚢胞腎の1例」

○村山 由季<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup>  
河村 涼花<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>  
玉木 正義<sup>2)</sup>

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 同 泌尿器科

2022.4.16

**第119回日本内科学会総会 医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ2022京都**

**【腎臓】**

「潰瘍性大腸炎治療中に続発したIgA腎症の1例」

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 同 消化器内科
- 3) 愛知医科大学病院腎臓・リウマチ膠原病内科

○藤木（日比野）有依<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup>

小堀ことの<sup>1)</sup> 田尻下聡子<sup>2)</sup> 河村涼花<sup>1)3)</sup>  
杉田 道久<sup>3)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>  
杉山 昭彦<sup>2)</sup> 野畑 宏信<sup>3)</sup> 石本 卓嗣<sup>3)</sup>  
伊藤 恭彦<sup>3)</sup>

2022.4.16

**第67回日本透析医学会総会**

「HIF-PH阻害薬への切り替えが有効であった、関節リウマチを合併した腹膜透析導入患者の1例」

○児玉 大地<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 今井 健晴<sup>2)</sup>  
山田 佳輝<sup>3)</sup> 加藤駿一郎<sup>1)</sup> 前田 晃子<sup>1)</sup>  
小堀ことの<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup> 佐々木義之<sup>2)</sup>  
高橋 浩毅<sup>1)</sup> 松岡 哲平<sup>3)</sup>

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 同 外科
- 3) 医療法人社団 大誠会

2022.7.2 横浜

**第67回日本透析医学会総会**

「バラシクロビル投与後、急性腎障害と脳症をきたし血液浄化療法が奏功した1例」

○越路 崇玄<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup>  
久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup> 加納 宏行<sup>2)</sup>

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 同 皮膚科

2022.7.2 横浜

## 第67回日本透析医学会総会

「Mycobacterium fortuitumによるPDカテ  
テルトンネル感染の1例」

- 北垣 博基<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 東 健一郎<sup>2)</sup>  
後藤 祐介<sup>3)</sup> 二村 洋平<sup>4)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup>  
河村 涼花<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>
- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
  - 2) 同 心臓血管外科
  - 3) 同 皮膚科
  - 4) 同 呼吸器・腫瘍内科

2022.7.3 横浜

## 第67回日本透析医学会総会

「難治性PD出口部感染症に対してGM軟  
膏塗布が有効であった1例」

- 河村 涼花<sup>1)2)</sup> 浅井 昭雅<sup>1)</sup> 神谷 圭介<sup>1)</sup>  
鬼無 洋<sup>1)</sup> 伊藤 恭彦<sup>1)</sup>
- 1) 愛知医科大学腎臓・リウマチ膠原病内科
  - 2) 岐阜市民病院 腎臓内科

2022.7.3 横浜

## 第26回透析アクセス医学会

「前胸部交叉シャント（ネックレスシャ  
ント）を造設した1例」

- 1) 岐阜市民病院 心臓血管外科
  - 2) 同 腎臓内科
- 加藤駿一郎<sup>1)</sup> 村上 栄司<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>2)</sup>  
加藤 尚能<sup>1)</sup> 木股竜太郎<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>2)</sup>  
河村 涼花<sup>2)</sup> 久納美蓉子<sup>2)</sup> 高橋 浩毅<sup>2)</sup>  
東 健一郎<sup>1)</sup>

2022.10.2 名古屋

## 第248回日本内科学会東海地方会【腎臓】

「ステロイド療法が奏功した特発性後腹  
膜線維症の1例」

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
  - 2) 同 泌尿器科
  - 3) 同 病理診断科
  - 4) 愛知医科大学病院 腎臓・リウマチ膠原病  
内科
- 井上 紀子<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup>  
石田 貴史<sup>2)</sup> 渡部 直樹<sup>3)</sup> 萩田淳一郎<sup>4)</sup>  
小堀ことの<sup>1)</sup> 河村 涼花<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>  
田中 卓二<sup>3)</sup> 石本卓嗣<sup>4)</sup>

2022.10.9 浜松

## 第248回日本内科学会東海地方会【腎臓】

「アルコール性肝障害にIgA血管炎が合  
併した1例」

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
  - 2) 同 消化器内科
  - 3) 同 皮膚科
  - 4) 愛知医科大学病院 腎臓・リウマチ膠原病  
内科
- 福富 惇<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup> 河村涼花<sup>1)4)</sup>  
久納美蓉子<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 橋本 和明<sup>1)</sup>  
高橋 浩毅<sup>1)</sup> 河内 隆宏<sup>2)</sup> 野田奈津美<sup>3)</sup>  
山口 真<sup>4)</sup> 野畑 宏信<sup>4)</sup> 石本 卓嗣<sup>4)</sup>

2022.10.9 浜松

第248回日本内科学会東海地方会【呼吸  
器／優秀演題賞】「顕微鏡的多発血管炎（MPA）・間質性  
肺炎を伴う高齢患者の1剖検例」

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
  - 2) 同 呼吸器・腫瘍内科
  - 3) 同 病理診断科
  - 4) 岐阜大学医学部附属病院 病理診断科
- 松田 佳奈<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup>  
堀場あかね<sup>2)</sup> 河村 涼花<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup>  
高橋 浩毅<sup>1)</sup> 三嶋 拓也<sup>4)</sup> 渡部 直樹<sup>3)</sup>  
田中 卓二<sup>3)</sup>

2022.10.9 浜松

## 第52回日本腎臓学会西部学術大会

「高度腎機能障害にて発覚した2,8-ジヒ  
ドロアデニン結石症の1例」

- 1) 岐阜市民病院腎臓内科
  - 2) 同 病理診断科
  - 3) 愛知医科大学病院腎臓・リウマチ膠原病内科
- 久納美蓉子<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup>  
河村 涼花<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup> 渡部 直樹<sup>2)</sup>  
小笠原和輝<sup>3)</sup> 山口 真<sup>3)</sup> 野畑 宏信<sup>3)</sup>  
石本 卓嗣<sup>3)</sup> 伊藤恭彦<sup>3)</sup>

2022.11.18 熊本

## 第28回日本腹膜透析医学会

「腹膜透析導入1年後に横隔膜交通症が  
判明し、99mTc-MAAシンチが診断に有用  
であった1例」

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 同 放射線科

○亀山 千晶<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 小島 寿久<sup>2)</sup>  
 菱田真里亜<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup> 河村 涼花<sup>1)</sup>  
 久納美蓉子<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup>

2022.11.26 岡山

### 第28回日本腹膜透析医学会

「かかりつけ医での腎機能未評価のまま  
 末期腎不全に至った片麻痺患者に腹膜透  
 析を導入した1例」

- 1) 岐阜市民病院腎臓内科
- 2) 同 外科

○菱田真里亜<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 今井 健晴<sup>2)</sup>  
 小堀ことの<sup>1)</sup> 河村 涼花<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup>  
 高橋 浩毅<sup>1)</sup> 洞口 岳<sup>2)</sup> 佐々木義之<sup>2)</sup>

2022.11.26 岡山

### 第28回日本腹膜透析医学会

「大動脈弁閉鎖不全症により心不全をき  
 たし、体液管理目的に血液透析併用療法  
 とした腹膜透析患者の1例」

○京極 累<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 福富 惇<sup>1)</sup>  
 村山 由季<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup> 久納美蓉子<sup>1)</sup>  
 佐竹 敦史<sup>2)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup> 西垣 和彦<sup>2)</sup>  
 村川 眞司<sup>3)</sup>

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 同 循環器内科
- 3) 早徳病院

2022.11.27 岡山

## ●研究会・談話会など●

### 第80回中部日本糸球体腎炎談話会【優秀 演題賞】

「高度腎機能障害にて発覚した2,8-ジヒ  
 ドロアデニン結石症の1例」

○久納美蓉子<sup>1)</sup> 木村 行宏<sup>1)</sup> 小堀ことの<sup>1)</sup>  
 河村 涼花<sup>1)</sup> 高橋 浩毅<sup>1)</sup> 渡部 直樹<sup>2)</sup>  
 小笠原和輝<sup>3)</sup> 山口 真<sup>3)</sup> 野畑 宏信<sup>3)</sup>  
 石本 卓嗣<sup>3)</sup> 伊藤恭彦<sup>3)</sup>

- 1) 岐阜市民病院腎臓内科
- 2) 同 病理診断科
- 3) 愛知医科大学病院腎臓・リウマチ膠原病内科

Web

### 第40回岐阜県透析研究会

岐阜県透析医会 感染対策委員会合同企  
 画：HIV患者への透析

「岐阜県下透析施設における、透析を必  
 要とするHIV陽性者の受け入れに関する  
 実態調査」

○木村 行宏<sup>1)4)</sup> 高桑章太郎<sup>2)4)</sup> 松岡 哲平<sup>3)4)</sup>

- 1) 岐阜市民病院 腎臓内科
- 2) 高山赤十字病院 内科
- 3) (医) 大誠会
- 4) 岐阜県透析医会 感染対策委員会

2022.12.4 岐阜

### 第40回岐阜県透析研究会

「小児多発性硬化症患者にて免疫吸着療  
 法・血漿交換療法を施行した経験」

○祐成振一郎

岐阜市民病院

2022.12.4 岐阜

### 第40回岐阜県透析研究会

「保存的腎臓療法を希望した1症例の検  
 討～腎代替療法選択外来での関わりを通  
 して～」

○森 群子<sup>1)</sup> 西堀 文隆<sup>1)</sup> 河村 涼花<sup>2)</sup>  
 木村 行宏<sup>2)</sup> 高橋 浩毅<sup>2)</sup>

- 1) 岐阜市民病院看護部
- 2) 岐阜市民病院腎臓内科

2022.12.4 岐阜

## 乳腺外科

当科における緊急事態宣言前後での乳癌  
 診断症例の検討

岐阜市民病院 乳腺外科

中田 琢巳 細野 芳樹 大川 舞

第30回日本乳癌学会学術総会

2022年6月30日～7月2日 横浜

短期間に再発を繰り返し乳房切除を要し  
 た葉状腫瘍の1例

岐阜市民病院 乳腺外科

大川 舞 中田 琢巳 細野 芳樹

第30回日本乳癌学会学術総会

2022年6月30日～7月2日 横浜

## 乳癌薬物療法施行中の不安感を伴う胸骨背側、喉頭部違和感に半夏厚朴湯が奏功した5例

岐阜市民病院 乳腺外科

細野 芳樹 中田 琢巳 大川 舞

第30回日本乳癌学会学術総会

2022年6月30日～7月2日 横浜

## 対側リンパ節腫大により発見された潜在性乳癌の1例

岐阜市民病院 乳腺外科

中田 琢巳 細野 芳樹

第84日本臨床外科学会総会

2022年11月24日～26日 福岡

## 整形外科

## 上位胸椎に対する前方アプローチの歴史と実際

岐阜市民病院 整形外科

宮本 敬

第8回日本脊椎前方側方進入手術学会

2022年1月29日 Web開催

## 頸椎前方固定術後の気道閉塞の発生と及びその予防策における影響の検討

<sup>1</sup>岐阜市民病院 整形外科

<sup>2</sup>岐阜市民病院 麻酔科

<sup>3</sup>近石病院 整形外科

加藤 皓己<sup>1</sup> 宮本 敬<sup>1</sup> 奥村 孝臣<sup>1</sup>

梅村 浩輔<sup>1</sup> 白井 之尋<sup>1</sup> 佐々木裕介<sup>1</sup>

山本 孝敏<sup>1</sup> 大野 義幸<sup>1</sup> 大島 博人<sup>2</sup>

清水 克時<sup>3</sup>

第8回日本脊椎前方側方進入手術学会

2022年1月29日 Web開催

## 12年前に施行された頸椎前方固定術の内固定具の逸脱・嚙下障害を呈した一例

<sup>1</sup>岐阜市民病院 整形外科

<sup>2</sup>近石病院 整形外科

奥村 孝臣<sup>1</sup> 宮本 敬<sup>1</sup> 加藤 皓己<sup>1</sup>

梅村 浩輔<sup>1</sup> 白井 之尋<sup>1</sup> 佐々木裕介<sup>1</sup>

山本 孝敏<sup>1</sup> 大野 義幸<sup>1</sup> 清水 克時<sup>2</sup>

第8回日本脊椎前方側方進入手術学会

2022年1月29日 Web開催

## 腰椎固定術後の感染性PJKに対し前方支柱再建を含むサルベージ手術を要した1例

<sup>1</sup>木沢記念病院 整形外科

<sup>2</sup>岐阜市民病院 整形外科

増田 剛宏<sup>1</sup> 宮本 敬<sup>2</sup>

第8回日本脊椎前方側方進入手術学会

2022年1月29日 Web開催

## DISHに合併した第2腰椎破裂骨折に対する人工椎体を用いた前方再建術後感染を生じ、サルベージ手術を要した1例

<sup>1</sup>岐阜市民病院 整形外科

<sup>2</sup>はちや整形外科病院

<sup>3</sup>近石病院 整形外科

奥村 孝臣<sup>1</sup> 宮本 敬<sup>1</sup> 加藤 皓己<sup>1</sup>

梅村 浩輔<sup>1</sup> 白井 之尋<sup>1</sup> 佐々木裕介<sup>1</sup>

山本 孝敏<sup>1</sup> 大野 義幸<sup>1</sup> 近藤 祐一<sup>2</sup>

清水 克時<sup>3</sup>

第8回日本脊椎前方側方進入手術学会

2022年1月29日 Web開催

## 頸椎前方固定後の移植骨内ガス像は何を意味するのか？

<sup>1</sup>岐阜大学医学部 整形外科

<sup>2</sup>岐阜大学医学部 放射線科

<sup>3</sup>岐阜市民病院 整形外科

<sup>4</sup>岐阜県総合医療センター 整形外科

<sup>5</sup>平野総合病院 整形外科

<sup>6</sup>近石病院 整形外科

野澤 聡<sup>1</sup> 加藤 博基<sup>2</sup> 川口 真矢<sup>2</sup>

山田 一成<sup>1</sup> 岩井智守男<sup>1</sup> 伏見 一成<sup>4</sup>

宮本 敬<sup>3</sup> 細江 英夫<sup>5</sup> 清水 克時<sup>6</sup>

秋山 治彦<sup>1</sup>

第8回日本脊椎前方側方進入手術学会

2022年1月29日 Web開催

## 圧迫性頸髄症に対する手術法（前方除圧固定、後方除圧固定、後方除圧）の患者立脚型アウトカム（JOACMEQ）を用いた比較

<sup>1</sup>岐阜市民病院 整形外科

<sup>2</sup>近石病院 整形外科

加藤 皓己<sup>1</sup> 宮本 敬<sup>1</sup> 奥村 孝臣<sup>1</sup>

梅村 浩輔<sup>1</sup> 白井 之尋<sup>1</sup> 佐々木裕介<sup>1</sup>

山本 孝敏<sup>1</sup> 大野 義幸<sup>1</sup> 清水 克時<sup>2</sup>  
 第8回日本脊椎前方側方進入手術学会  
 2022年1月29日 Web開催

### 胸椎後縦靱帯骨化症に対する前方アプローチによる手術の意義ー1グループにおける歴史的検討ー

<sup>1</sup>岐阜市民病院 整形外科  
<sup>2</sup>中部国際医療センター 脊椎センター  
<sup>3</sup>松波総合病院 脊椎センター  
<sup>4</sup>岐阜県総合医療センター 整形外科  
<sup>5</sup>岐阜大学 整形外科  
<sup>6</sup>大垣徳洲会病院 整形外科  
<sup>7</sup>平野総合病院 整形外科  
<sup>8</sup>近石病院 整形外科

梅村 浩輔<sup>1</sup> 宮本 敬<sup>1</sup> 加藤 皓己<sup>1</sup>  
 増田 剛宏<sup>2</sup> 日置 暁<sup>3</sup> 伏見 一成<sup>4</sup>  
 飯沼 宣樹<sup>5</sup> 野澤 聡<sup>5</sup> 岩井智守男<sup>5</sup>  
 山田 一成<sup>5</sup> 秋山 治彦<sup>5</sup> 下川 哲哉<sup>6</sup>  
 細江 英夫<sup>7</sup> 清水 克時<sup>8</sup>

第8回日本脊椎前方側方進入手術学会  
 2022年1月29日 Web開催

### 手指末節骨折に発生した表皮嚢腫 (Epidermal cyst) の3例

岐阜市民病院 形成外科  
 大野 義幸

第65回日本手外科学会  
 2022年4月14日～16日 北九州

### 胸腰椎後縦靱帯骨化症に対する前方除圧固定術

岐阜市民病院 整形外科  
 宮本 敬

第31回日本脊椎インストゥルメンテーション学会  
 2022年11月25日～26日 大阪

### 脊椎前方手術の適応の変遷

岐阜市民病院 整形外科  
 宮本 敬

第97回東海脊椎脊髄病研究会  
 2022年12月3日 名古屋

### 下位腰椎を固定尾側端とする脊椎固定術後に遠位隣接障害を生じ、サルベージ手

### 術を要した症例の検討

<sup>1</sup>岐阜市民病院 研修医  
<sup>2</sup>岐阜市民病院 整形外科  
<sup>3</sup>近石病院 整形外科

江崎 菜生<sup>1</sup> 宮本 敬<sup>2</sup> 加藤 皓己<sup>2</sup>  
 奥村 孝臣<sup>2</sup> 梅村 浩輔<sup>2</sup> 白井 之尋<sup>2</sup>  
 佐々木裕介<sup>2</sup> 山本 孝敏<sup>2</sup> 大野 義幸<sup>2</sup>  
 清水 克時<sup>3</sup>

第109回岐阜県整形外科集談会  
 2022年1月22日 岐阜

### 下肢切断術後の大腿骨転子部、転子下骨折をきたし、骨接合術を施行した2例

<sup>1</sup>岐阜市民病院 整形外科  
<sup>1</sup>近石病院 整形外科

梅村 浩輔<sup>1</sup> 白井 之尋<sup>1</sup> 山本 孝敏<sup>1</sup>  
 奥村 孝臣<sup>1</sup> 加藤 皓己<sup>1</sup> 佐々木裕介<sup>1</sup>  
 大野 義幸<sup>1</sup> 清水 克時<sup>2</sup> 宮本 敬<sup>1</sup>

第109回岐阜県整形外科集談会  
 2022年1月22日 岐阜

### セメント人工骨頭置換術の初学者の傾向

<sup>1</sup>岐阜市民病院 整形外科  
<sup>2</sup>近石病院 整形外科

奥村 孝臣<sup>1</sup> 山本 孝敏<sup>1</sup> 白井 之尋<sup>1</sup>  
 梅村 浩輔<sup>1</sup> 加藤 皓己<sup>1</sup> 佐々木裕介<sup>1</sup>  
 大野 義幸<sup>1</sup> 清水 克時<sup>2</sup> 宮本 敬<sup>1</sup>

第109回岐阜県整形外科集談会  
 2022年1月22日 岐阜

### 腰痛に対する前方側方進入手術 (こしの筋肉をいためにくい手術方法)

岐阜市民病院 整形外科  
 加藤 皓己

岐阜市民病院 整形外科WEB市民講座  
 2022年2月12日 岐阜市民病院

### 頸椎に対する前方進入手術 (くびの筋肉をいためにくい手術方法)

岐阜市民病院 整形外科  
 宮本 敬

岐阜市民病院 整形外科WEB市民講座  
 2022年2月12日 岐阜市民病院

**ラグビーU19高校日本代表エキシビジョン  
キャンプ・エキシビジョンマッチ  
2021年度ラグビーU19高校日本代表帯同  
ドクター**

岐阜市民病院 整形外科  
白井 之尋  
2022年3月4～8日 静岡

**後弯症に対する手術治療**

岐阜市民病院 整形外科  
宮本 敬  
北海道脊椎脊髄疾患研究会  
2022年4月16日 Web開催

**ラグビー日本代表vsフランス代表  
Immerdiate Care Lead(グラウンドドクター)**

岐阜市民病院 整形外科  
白井 之尋  
2022年7月2日 豊田

**脊椎前方手術の適応の変遷**

岐阜市民病院 整形外科  
宮本 敬  
東海脊椎脊髄病研究会  
2022年12月3日 名古屋

**3種の神器を用いた手外科診療**

岐阜市民病院 形成外科  
大野 義幸  
愛知県長久手サミット  
2022年12月15日 Web開催

**2022年ラグビーリーグワン Match Day  
Doctor(グラウンドドクター)**

岐阜市民病院 整形外科  
白井 之尋

**2022年度  
ラグビーU19高校日本代表帯同ドクター**

岐阜市民病院 整形外科  
白井 之尋

**泌尿器科**

**泌尿器科における排尿・蓄尿症状の悪化  
に対する多剤併用の影響およびリスク因  
子の探索**

岐阜薬科大学  
吉澤 俊輔 舘 知也 高橋 優太  
野口 義紘 寺町ひとみ  
岐阜市民病院 薬剤部  
青山 智 田中 和秀 安田 昌宏  
水井 貴詞  
岐阜市民病院 泌尿器科  
米田 尚生  
第32回日本医療薬学会年会  
2022年9月23日～9月25日 高崎市

**リハビリテーション科**

**化学療法・放射線療法の合併症とリスク  
管理**

岐阜市民病院 リハビリテーション科  
佐々木 裕介  
令和3年度がんのリハビリテーション研修会in和  
歌山  
2022年1月29日～1月30日 和歌山

**代議員**

岐阜市民病院 リハビリテーション科  
佐々木 裕介  
日本リハビリテーション医学会

**幹事**

岐阜市民病院 リハビリテーション科  
佐々木 裕介  
日本リハビリテーション医学会 中部東海地方会

**世話人**

岐阜市民病院 リハビリテーション科  
佐々木 裕介  
岐阜県多“食”種連携研究会

**コアメンバー**

岐阜市民病院 リハビリテーション科  
佐々木 裕介

岐阜地域の地域包括ケアシステム構築専門部会  
(4)「食べる」を支えるネットワーク

## 麻酔科・集中治療部

経膈的内視鏡手術中の脱気不良から気道  
内圧上昇および血圧低下を呈した一症例

岐阜市民病院 麻酔科

小泉加奈恵 松原 千里 末次 怜子  
大畠 博人 太田宗一郎

日本麻酔科学会 東海・北陸支部第20回学術集会  
(Web)

2022年9月2日～10月3日

大腸癌患者に発症したClostridium septicu  
mによる左上腕ガス壊疽の一症例

岐阜市民病院 麻酔科・集中治療部

大畠 博人

日本蘇生学会第41回大会

2022年11月4日

ホルミウムレーザー前立腺核出術中の呼  
吸苦の訴えから灌流液による肺水腫の診  
断に至った二症例

岐阜市民病院 麻酔科

山田麻由子 小泉加奈恵 杉本 純子  
大畠 博人 太田宗一郎

日本臨床麻酔学会第42回大会

2022年11月11,12日

## 中央放射線部

ISについて

岐阜市民病院 中央放射線部

高橋 秀幸

第33回医療画像情報研究会

2022年2月26日 WEB開催

読影補助について  
岐阜市民病院の現状

岐阜市民病院 中央放射線部

加納 暢貴

第57回岐阜地域画像研究会

2022年5月19日 WEB開催

当院の肺動脈・下肢静脈撮影

岐阜市民病院 中央放射線部

足立 裕紀

第57回X線CT研究会

2022年5月21日 WEB開催

IGRTの運用方法と品質管理

岐阜市民病院 中央放射線部

山 英一

第70回放射線治療技術研究会

2022年6月4日 WEB開催

Silent MRAにおける基礎的撮像条件の検  
討

岐阜市民病院 中央放射線部

横山 貴優

第63回MR技術研究会

2022年6月11日 WEB開催

当院心カテ室における被ばく低減への取  
り組み

岐阜市民病院 中央放射線部

広瀬 茂樹

第52回血管造影技術研究会

2022年9月10日 WEB開催

Silent MRAにおける最適な撮像条件の検  
討

岐阜市民病院 中央放射線部

横山 貴優

第38回日本診療放射線技師学術大会

2022年9月16日～18日 神戸市

肝線維化診断における超音波検査とMRI  
の比較検討

岐阜市民病院 中央放射線部

河口 大介

第37回岐阜県病院協会医学会

2022年10月23日 多治見市

BRAINLAB ELEMENTS MBMの使用経  
験

岐阜市民病院 中央放射線部

野中健太郎

第37回岐阜県病院協会医学会

2022年10月23日 多治見市

**当院での医用画像表示用モニタの精度管理**

岐阜市民病院 中央放射線部

竹中 栄治

第34回医療画像情報研究会

2022年11月19日 WEB開催

**乳がん放射線治療における深吸気息止め照射の実践と精度管理**

岐阜市民病院 中央放射線部

林 雅也

第71回放射線治療技術研究会

2022年12月10日 WEB開催

**中央検査部****肝疾患に関する血液検査/肝がん診断と治療**

肝炎コーディネーター養成講習会

2月12日、2022年 岐阜

**岐阜大学関連施設におけるC型肝炎硬変における抗ウイルス療法の有用性**

ウイルス肝炎講習会

2月5日、2022年 岐阜

**肝炎ウイルス検査とその臨床的意義**

ウイルス肝炎研修会

5月28日、2022年 岐阜

**C型非代償性肝硬変の治療成績と予後の検討**

岐阜県肝疾患セミナー

9月7日、2022年 岐阜

**岐阜大学関連施設におけるC型肝炎硬変のDAA有用性**

HCVフォーラム in 岐阜

12月14日、2022年 岐阜

**病理診断科****『BRACA検査の検体取り扱いについて』**

岐阜市民病院 病理診断科部

渡部 直樹

第28回 岐阜泌尿器科病診連携カンファレンス

2022年4月14日 岐阜

**当院におけるゲノム医療の現状と課題**

岐阜市民病院 病理診断科部

渡部 直樹

第9回 岐阜大学がんセンターゲノム講習会

2022年7月25日 岐阜

**薬剤部****Azacitidine投与による血小板減少発現の時間的解析**

岐阜市民病院 薬剤部

安田 昌宏 大澤 友裕 渡邊 久高

井上 誠二 牧野 哲平 長屋 雄大

森田 美穂 田中 和秀 田中 佑佳

青山 智 水井 貴詞

岐阜薬科大学 病院薬学研究室

舘 知也 寺町ひとみ

岐阜市民病院 血液内科

笠原 千嗣

日本臨床腫瘍薬学会 学術大会 2022

2022年3月12日～3月13日 仙台市

**精神科入院患者における薬物有害事象の治療等に要した費用に関する研究**

岐阜薬科大学健康医療薬学研究室

(岐阜市民病院サテライト研究室)

久保 賢晃 舘 知也 青山 京介

古山 愛紗 野口 義紘 寺町ひとみ

岐阜市民病院 薬剤部

渡邊 繭子 青山 智 田中 和秀

安田 昌宏 水井 貴詞

岐阜市民病院 精神科

柴田 明彦

日本薬学会第142年会

2022年3月25日～3月28日 Web開催

**岐阜市民病院における倫理審査体制の再編**

岐阜市民病院 薬剤部  
 勝野 隼人 水井 貴詞  
 岐阜市民病院 外科  
 山田 誠  
 岐阜市民病院 血液内科  
 笠原 千嗣  
 岐阜市民病院 麻酔科  
 太田 宗一郎  
 岐阜市民病院 消化器内科  
 富田 栄一

第24回日本医療マネジメント学会学術総会  
 2022年7月8日～7月9日 神戸市

### 岐阜薬科大学附属薬局における改訂モデル・コアカリキュラムに対応した実習についてのアンケート調査

岐阜薬科大学健康医療薬学研究室  
 (岐阜市民病院サテライト研究室)

野口 義紘 舘 知也 伊野 陽子  
 山下 修司 長内 理大 井口 和弘  
 寺町ひとみ

医療薬学フォーラム2022・第30回クリニカルファーマーセッションポジウム  
 2022年7月23日～7月24日 Web開催

### 精神科入院患者における精神神経用薬の適正使用による薬物有害事象の治療等に要する費用削減の評価

岐阜薬科大学  
 久保 賢晃 舘 知也 青山 京介  
 古山 愛紗 野口 義紘 寺町ひとみ  
 岐阜市民病院 薬剤部  
 渡邊 繭子 青山 智 田中 和秀  
 安田 昌宏 水井 貴詞  
 岐阜市民病院 精神科  
 柴田 明彦

第32回日本医療薬学会年会  
 2022年9月23日～9月25日 高崎市

### 肺癌化学療法における副作用の不安を軽減する効果的な服薬指導方法についての研究

岐阜市民病院 薬剤部  
 大澤 友裕 梅田 道 牧野 哲平  
 青山 智 安田 昌宏 水井 貴詞

名古屋市立大学病院 緩和ケア部

長谷川貴昭  
 岐阜市民病院 呼吸器内科・腫瘍内科  
 吉田 勉  
 岐阜市民病院 がんセンター  
 澤 祥幸

第32回日本医療薬学会年会  
 2022年9月23日～9月25日 高崎市

### 免疫チェックポイント阻害剤を使用した腎がん治療における実態調査

岐阜市民病院 薬剤部  
 堀 晃代 大澤 友裕 安田 昌宏  
 水井 貴詞  
 岐阜市民病院 泌尿器科  
 米田 尚生

第60回日本癌治療学会学術集会  
 2022年10月20日～10月22日 神戸市

### 岐阜薬科大学附属薬局における改訂モデル・コアカリキュラムに対応した実習状況

岐阜薬科大学健康医療薬学研究室  
 (岐阜市民病院サテライト研究室)

野口 義紘 舘 知也 伊野 陽子  
 山下 修司 玉木 啓文 長内 理大  
 井口 和弘 寺町ひとみ

日本地域薬局薬学会 2022年10月14日～26日

### 精神科入院患者において多剤併用および向精神薬の換算値が薬物有害事象の発現に及ぼす影響

岐阜薬科大学  
 青山 京介 舘 知也 野口 義紘  
 寺町ひとみ  
 岐阜市民病院 薬剤部  
 渡邊 繭子 青山 智 田中 和秀  
 安田 昌宏 水井 貴詞  
 岐阜市民病院 精神科  
 柴田 明彦

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2022  
 2022年11月6日 静岡市

## 臨床工学室

逆行性持続的常温血液冠還流を用いた心

**拍動下体外循環の経験**

岐阜市民病院 臨床工学室

津屋 辰規

第44回日本体外循環技術医学会東海地方会

**末梢血幹細胞採取時における中間値採血の有用性**

岐阜市民病院 臨床工学室

小関 優子

第15回岐阜県臨床工学技士会学術集会

**当院における人工心肺装置更新機器の選定と装置レイアウトの案出**

岐阜市民病院 臨床工学室

杉江 真彦

第32回日本臨床工学会

**当院におけるキャリアパス・クリニカルラダーの取り組みと現状**

岐阜市民病院 臨床工学室

植田 繁如

第32回日本臨床工学会

**圧開放による非強制的大動脈基部ベントの報告**

岐阜市民病院 臨床工学室

有賀 健二

第47回日本体外循環技術医学会

**トラブル時におけるECMO装置を用いたシステム更新の検討**

岐阜市民病院 臨床工学室

津屋 辰規

第47回日本体外循環技術医学会

**小児多発性硬化症患者にて免疫吸着療法・血漿交換療法を施行した経験**

岐阜市民病院 臨床工学室

祐成 振一郎

第40回岐阜県透析研究会

## 活動記録 (誌上)

### 腎臓内科

Bone marrow stromal cell antigen-1 (CD157) regulated by sphingosine kinase 2 mediates kidney fibrosis.

Tsuyoshi Inoue,	Yasuna Nakamura,
Shinji Tanaka,	Takahide Kohro,
Lisa X Li,	Liping Huang,
Junlan Yao,	Suzuka Kawamura,
Reiko Inoue,	Hiroshi Nishi,
Daichi Fukaya,	Rie Uni,
Sho Hasegawa,	Reiko Inagi,
Ryusuke Umene,	Chia-Hsien Wu,
Hong Ye,	Amandeep Bajwa,
Diane L Rosin,	Katsuhiko Ishihara,
Masaomi Nangaku,	Youichiro Wada,
Mark D Okusa	

Front Med (Lausanne). (in press)  
doi: 10.3389/fmed.2022.993698. eCollection 2022.

### 門脈ガス血症を呈した腹膜透析・血液透析併用療法患者の1例

小堀ことの	木村 行宏	中島 拓哉
吉住 瞭	柴田 悠平	村上 栄司
東 健一郎	久納美蓉子	高橋 浩毅

腎と透析Vol.93別冊 腹膜透析2022;127-129

### PDカテーテル周囲に被包化嚢胞を形成した1例

大野 泰輝	木村 行宏	篠田 智仁
小堀ことの	河村 涼花	久納美蓉子
高橋 浩毅	佐々木義之	東 健一郎
村川 眞司		

腎と透析Vol.93別冊 腹膜透析2022;147-148

### 高齢腹膜透析患者の1剖検例

幅 智教	木村 行宏	小堀ことの
河村 涼花	久納美蓉子	高橋 浩毅
丹羽 亜弓	渡部 直樹	田中 卓二

腎と透析Vol.93別冊 腹膜透析2022;151-153

### 消化器内科・血液内科

働き方改革の一環としてICTツールを積極活用。スタッフの負担を軽減するとともに、患者さんの利便性をより高めたい

岐阜県 岐阜市民病院  
副院長兼医療推進局長  
山田 誠  
血液内科医長  
柴田 悠平

ユビーAI問診 導入事例 Web掲載

### 岐阜薬科大学健康医療薬学研究室 岐阜市民病院サテライト研究室 抗癌剤や多剤服用に焦点

岐阜市民病院副院長、岐阜薬科大学特任教授  
笠原 千嗣

薬事日報 「岐阜薬科大学 臨床教育を強化」

### 働くあなたのクリニック 膵癌

岐阜市民病院 消化器内科  
岩田 圭介

岐阜商工月報 2022年12月 p14-15.

### 乳腺外科

### 治療方針決定に超音波内視鏡下穿刺吸引法が有用であった乳癌膵転移の1例

岐阜市民病院 乳腺外科  
中田 琢巳 細野 芳樹

日本臨床外科学会雑誌 83巻6号 Page1147-1152

### 整形外科

### 讀賣新聞掲載 2022.1.13 岐阜・病院の実力 (腰の病気)

岐阜市民病院 整形外科  
宮本 敬

ステロイド性距骨壊死に続発した距骨下関節外側脱臼に対し脱臼整復ならびに骨

### 移植を併用した距骨下関節固定術で距腿関節を温存し得た1例

岐阜市民病院 形成外科

大野 義幸

岐阜市民病院 整形外科

梅村 浩輔 世沢 さ胤

日本足の外科学会雑誌43巻1号 p 283-7, 2022

### 術後肘関節拘縮に対する観血的肘関節授動術の成績

岐阜市民病院 形成外科

大野 義幸

岐阜市民病院 整形外科

白井 之尋

岐阜大学 整形外科

平川 明弘

日本肘関節学会誌29巻2号 P290-295, 2022

## 病理診断科

### PP6 deficiency in mice with KRAS mutation and Trp53 loss promotes early death by PDAC with cachexia-like features.

(1) Division of Cancer Chemotherapy, Miyagi Cancer Center Research Institute

(2) Division of Cancer Molecular Biology, Tohoku University Graduate School of Medicine

(3) Department of Radiation Oncology, Tohoku University Graduate School of Medicine

(4) Department of Head and Neck Surgery, Kanazawa Medical University

(5) Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Tohoku University Graduate School of Medicine

(6) Division of Surgery, Miyagi Cancer Center

(7) Laboratory of Nutritional Biochemistry, Graduate School of Nutritional and Environmental Sciences, University of Shizuoka

(8) Division of Pathology, Miyagi Cancer Center

(9) Division of Cancer Stem Cell, Miyagi Cancer Center Research Institute

(10) Department of Biological Science, Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University

(11) Division of Molecular Cellular Oncology, Miyagi Cancer Center Research Institute

(12) Research Center of Diagnostic Pathology, Gifu Municipal Hospital

(13) Division of Gastroenterology, Tohoku Medical Pharmaceutical University

(14) Department of Investigative Pathology, Tohoku University Graduate School of Medicine

Fukui K<sup>(1)(2)(3)</sup>, Nomura M<sup>(1)</sup>,

Kishimoto K<sup>(1)(2)(4)</sup>, Tanuma N<sup>(1)(2)</sup>,

Kurosawa K<sup>(1)(2)(5)</sup>, Kanazawa K<sup>(1)(2)(6)</sup>,

Kato H<sup>(1)</sup>, Sato T<sup>(7)</sup>,

Miura S<sup>(7)</sup>, Miura K<sup>(1)(6)</sup>,

Sato T<sup>(8)</sup>, Tsuji H<sup>(4)</sup>,

Yamashita Y<sup>(1)</sup>, Tamai K<sup>(9)</sup>,

Watanabe T<sup>(10)</sup>, Yasuda J<sup>(2)(11)</sup>,

Tanaka T<sup>(12)</sup>, Satoh K<sup>(13)</sup>,

Furukawa T<sup>(14)</sup>, Jingu K<sup>(3)</sup>,

Shima H<sup>(1)(2)</sup>

To examine effects of PP6 gene (Ppp6c) deficiency on pancreatic tumor development, we developed pancreas-specific, tamoxifen-inducible Cre-mediated KP (KRAS(G12D) plus Trp53-deficient) mice (cKP mice) and crossed them with Ppp6cflox / flox mice. cKP mice with the homozygous Ppp6c deletion developed pancreatic tumors, became emaciated and required euthanasia within 150 days of mutation induction, phenotypes that were not seen in heterozygous or wild-type (WT) mice. At 30 days, a comparative analysis of genes commonly altered in homozygous versus WT Ppp6c cKP mice revealed enhanced activation of Erk and NF $\kappa$ B pathways in homozygotes. By 80 days, the number and size of tumors and number of precancerous lesions had significantly increased in the pancreas of Ppp6c homozygous relative to heterozygous or WT cKP mice. Ppp6c<sup>-/-</sup> tumors were pathologically diagnosed as pancreatic ductal adenocarcinoma (PDAC) undergoing the epithelial-mesenchymal transition (EMT), and cancer cells had invaded surrounding tissues in three out of six cases. Transcriptome and metabolome analyses indicated an enhanced cancer-specific glycolytic metabolism in Ppp6c-deficient cKP mice and the increased expression of inflammatory cytokines. Individual Ppp6c<sup>-/-</sup> cKP mice showed weight loss, decreased skeletal muscle and adipose tissue, and increased circulating tumor necrosis factor (TNF)- $\alpha$  and IL-6 levels, suggestive of systemic inflammation. Overall, Ppp6c deficiency in the presence of K-ras

mutations and Trp53 gene deficiency promoted pancreatic tumorigenesis with generalized cachexia and early death. This study provided the first evidence that Ppp6c suppresses mouse pancreatic carcinogenesis and supports the use of Ppp6c-deficient cKP mice as a model for developing treatments for cachexia associated with pancreatic cancer.

Cancer Sci. 2022 May;113(5):1613–1624. PMID: 35247012

### Suppression of C–C chemokine receptor 1 is a key regulation for colon cancer chemoprevention in AOM/DSS mice by fucoxanthin.

(1) School of Pharmaceutical Sciences, Health Sciences University of Hokkaido, Ishikari-Tobetsu, Hokkaido Japan; Advanced Research Promotion Center, Health Sciences University of Hokkaido

(2) School of Pharmaceutical Sciences, Health Sciences University of Hokkaido

(3) School of Pharmaceutical Sciences, Health Sciences University of Hokkaido, Ishikari-Tobetsu, Hokkaido Japan; Advanced Research Promotion Center, Health Sciences University of Hokkaido

(4) Advanced Research Promotion Center, Health Sciences University of Hokkaido

(5) Department of Diagnostic Pathology and Research Center of Diagnostic Pathology, Gifu Municipal Hospital

(6) Faculty of Agriculture and Life Science, Hirosaki University

(7) Center for Industry–University Collaboration, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

(8) Department of Molecular–Targeting Prevention, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine

Terasaki M<sup>(1)</sup>, Ono S<sup>(2)</sup>,  
Hashimoto S<sup>(2)</sup>, Kubota A<sup>(2)</sup>,  
Kojima H<sup>(3)</sup>, Ohta T<sup>(4)</sup>,  
Tanaka T<sup>(5)</sup>, Maeda H<sup>(6)</sup>,  
Miyashita K<sup>(7)</sup>, Mutoh M<sup>(8)</sup>

Fucoxanthin (Fx) has shown potential cancer

chemopreventive functions in a carcinogenic murine azoxymethane/dextran sodium sulfate (AOM/DSS) model. However, the molecular mechanisms based on transcriptome profiles in vivo remain poorly understood. We investigated Fx-dependent alterations of the transcriptome with cancer-associated proteins in colorectal mucosal tissue obtained from AOM/DSS mice with or without Fx treatment. Fx administration (50 mg/kg body weight for 14 weeks) significantly prevented the onset of colorectal adenocarcinoma in AOM/DSS mice. A transcriptome analysis revealed that 11 signals, including adhesion, cell cycle, chemokine receptor, interleukin, MAPK, PI3K/AKT, p53, RAS, STAT, TGF- $\beta$ , and Wnt were remarkably altered by Fx administration. In particular, chemokine (C–C motif) receptor 1 (Ccr1), which is contained in a gene set related to cytokine–cytokine receptor interactions, was the only significantly down-regulated gene after Fx administration for both 7 and 14 weeks. CCR1, AKT, Cyclin D1, and Smad2 were found to play central roles in the 11 signals shown above. Fx administration significantly down-regulated CCR1 (0.3- and 0.5-fold in mucosal crypts and lamina propria, respectively), pAKT(Ser473) (0.2-fold in mucosal crypts), Cyclin D1 (0.4-fold in mucosal crypts), and pSmad2(Ser465/467) (0.7-fold in mucosal crypts) compared with proteins in these tissues of control mice after Fx administration for 14 weeks. Our findings suggested that Fx exerts a chemopreventive effect in AOM/DSS mice through attenuation of CCR1 expression along with 11 cancer-associated signals.

J. Nutr. Biochem., 99: 108871, 2022. PMID: 34571188

### A Biscuit Containing Fucoxanthin Prevents Colorectal Carcinogenesis in Mice.

(1) School of Pharmaceutical Sciences, Health Sciences University of Hokkaido

(2) Advanced Research Promotion Center, Health Sciences University of Hokkaido

(3) Department of Diagnostic Pathology and Research Center of Diagnostic Pathology, Gifu Municipal Hospital

(4) Faculty of Agriculture and Life Science, Hirosaki University

(5) Center for Industry–University Collaboration, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

(6) Department of Molecular–Targeting Prevention, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine

Terasaki M<sup>(1)(2)</sup>, Murase W<sup>(1)</sup>,  
 Kamakura Y<sup>(1)</sup>, Kawakami S<sup>(1)</sup>,  
 Kubota A<sup>(1)</sup>, Kojima H<sup>(1)(2)</sup>,  
 Ohta T<sup>(2)</sup>, Tanaka T<sup>(3)</sup>,  
 Maeda H<sup>(4)</sup>, Miyashita K<sup>(5)</sup>,  
 Mutoh M<sup>(6)</sup>.

Fucoxanthin (Fx) is a critical pigment required for photosynthesis in brown algae and microalgae. Fx is also a dietary marine carotenoid that with potent anticancer activity in vitro and in vivo. Some popular light meals for increased satiety, such as biscuits, cereals, and crackers, are frequently fortified with micronutrients for human health benefits. However, data on the anticancer potential of Fx-supplemented light meals in humans and animal models remain limited. In the present study, we investigated the anticancer effects of a Fx-supplemented biscuit using a carcinogenic murine azoxymethane/dextran sodium sulfate (AOM/DSS) model. We observed that periodic administration of biscuits containing 0.3% Fx (Fx-biscuit) at an interval of 3 days (each 15?h) per week for 15?weeks significantly inhibited colorectal carcinogenesis in AOM/DSS mice. Comprehensive gene analysis demonstrated that the Fx-biscuit significantly altered the expression of 138 genes in the colorectal mucosal tissue of the mice. In particular, the expression of heat shock protein 70 (HSP70) genes, Hspa1b (–35.7-fold) and Hspa1a (–34.9-fold), was markedly downregulated. HSP70 is a polyfunctional chaperone protein that is involved in cancer development. Compared to the control-biscuit group, the number of cells with markedly high fluorescence for HSP70 protein (HSP70high) in colorectal mucosal crypts and adenocarcinomas significantly reduced by 0.3- and 0.2-fold, respectively, in the Fx-biscuit group. Our results suggested that Fx-biscuit possesses chemopreventive potential in the colorectal cancer of AOM/DSS mice via the downregulation of HSP70.

Nutr. Cancer 74, 3651–3661, 2022. PMID: 35695489

### Primary serous cystadenocarcinoma of broad ligament: A case report with laparoscopic, histopathologic and immunoistochemical findings.

1)Department of Obstetrics & Gynecology, Gujo City Hospital

2)Department of Obstetrics & Gynecology, Gifu University School of Medicine

3)Department of Obstetrics & Gynecology, Kizawa Memorial Hospital

4)Section of Laboratory Medicine and Obstetrics & Gynecology, Gujo City Hospital

5)Department of Diagnostic Pathology & Research Center of Diagnostic Pathology, Gifu Municipal Hospital

Kenji Niwa<sup>1\*</sup>, Motoki Takenaka<sup>2</sup>,  
 Takeaki Saitake<sup>2</sup>, Tiger Koike<sup>2</sup>,  
 Kentaro Nagata<sup>1</sup>, Kentaro Niwa<sup>3</sup>  
 Kohjiro Niwa<sup>3</sup>, Sakae Mori<sup>4</sup>,  
 Keigo Kuwabara<sup>4</sup>, Akane Onogi<sup>5</sup>  
 Takuji Tanaka<sup>5</sup>

An 86-year-old Japanese woman underwent an examining laparoscopy for removing the huge pelvic tumor. At laparoscope examination, the cystic tumor was found within the left broad ligament, while the ovaries, fallopian tubes and uterus showed almost normal appearance. The tumor was removed together by total laparoscopic hysterectomy and bilateral salpingo-oophorectomies after the suction of serous content in the broad ligament. Cytological findings of the ascites suggested serous carcinoma. The resected ovaries and fallopian tubes were grossly and histologically normal. Histological examination of the solid part of broad ligament tumor, closely next to the fallopian tube, revealed a serous adenocarcinoma. Immunohistochemically, the tumor cells were strongly positive for CK7, WT-1, estrogen receptor, AE1/AE3 and EMA, and negative for CK20, D2-40 and calretinin. Also, they were negative for progesterone receptor and p53. The authors diagnosed the primary tumor as being a serous cystadenocarcinoma of the broad ligament [pT1C3NxM0, as modified and adapted to post-

surgical staging of ovarian cancer (FIGO 2014)]. The patient has been receiving 6 cycles of adjuvant chemotherapies with one course with paclitaxel (PTX) and carboplatin (CBDCA) and five with PTX, CBDCA and Bevacizumab, and has no signs of recurrence and metastasis six months after the operation.

Open J. Pathol., 12: 22-30, 2022.

### Thymic mucoepidermoid carcinoma: A clinicopathological and molecular study.

- (1) Department of Pathology and Molecular Diagnostics, Graduate School of Medical Sciences, Nagoya City University.
- (2) Department of Thoracic Surgery, NTT-East Sapporo Hospital
- (3) Department of Thoracic Surgery, National Hospital Organization Chiba Medical Center
- (4) Department of General Thoracic Surgery, National Center for Global Health and Medicine.
- (5) Department of Pathology, Tokyo Metropolitan Hiroo General Hospital.
- (6) Department of Pathology, Tokyo Kyosai Hospital
- (7) Department of Chest Surgery, Nagano Municipal Hospital
- (8) Department of Diagnostic Pathology, Gifu Municipal Hospital
- (9) Department of Thoracic Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine
- (10) Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Nara Medical University
- (11) Department of General Thoracic Surgery, Osaka International Cancer Institute
- (12) Department of General Thoracic Surgery, Hiroshima City Asa Citizens Hospital
- (13) Department of Pathology, Institute of Medical Genetics and Pathology, University Hospital Basel, University Hospital Basel
- (14) Department of Pathology, National Tuberculosis and Lung Diseases Research Institute
- (15) Department of Pathology, University Medical Center of the Johannes Gutenberg University Mainz
- (16) Department of Pathology, University Medical Centre Mannheim, Heidelberg University

(17) Department of Laboratory Medicine and Pathology, Mayo Clinic Rochester

- |                              |                                |
|------------------------------|--------------------------------|
| Murase T <sup>(1)</sup> ,    | Nakano S <sup>(1)</sup> ,      |
| Sakane T <sup>(1)</sup> ,    | Domen H <sup>(2)</sup> ,       |
| Chiyo M <sup>(3)</sup> ,     | Nagasaka S <sup>(4)</sup> ,    |
| Tanaka M <sup>(5)</sup> ,    | Kawahara Y <sup>(6)</sup> ,    |
| Toishi M <sup>(7)</sup> ,    | Tanaka T <sup>(8)</sup> ,      |
| Nakamura S <sup>(9)</sup> ,  | Sawabata N <sup>(10)</sup> ,   |
| Okami J <sup>(11)</sup> ,    | Mukaida H <sup>(12)</sup> ,    |
| Tzankov A <sup>(13)</sup> ,  | Szolkowska M <sup>(14)</sup> , |
| Porubsky S <sup>(15)</sup> , | Marx A <sup>(16)</sup> ,       |
| Roden AC <sup>(17)</sup> ,   | Inagaki H <sup>(1)</sup> .     |

Thymic Mucoepidermoid Carcinoma: A Clinicopathologic and Molecular Study.

Thymic mucoepidermoid carcinoma (MEC) is a rare tumor, and its characteristics remain to be clarified. Here we investigated 20 cases of thymic MEC to systematically characterize its clinical, histopathologic, and molecular features. The median age of the patients was 56 years (range, 19 to 80?y), there was a slight male predilection (3:2), and 44% of the patients were asymptomatic at diagnosis. The median tumor size was 6.8?cm in diameter, 55% were pT1 tumors, and 50% were TNM stage I tumors. When 4 tumor grading systems for salivary MEC (Armed Forces Institutes of Pathology, Brandwein, modified Healey, and the Memorial Sloan-Kettering) were employed, low-grade, intermediate-grade, and high-grade tumors accounted for 35% to 70%, 5% to 25%, and 25% to 50%, respectively. Many histologic variants were noted, and 70% of the cases were classified as nonclassic variants. MAML2 rearrangement was detected in 56% of cases, and the fusion partner was CRTC1 in all cases. CRTC1-MAML2 fusion was associated with lower pT classification and lower TNM stage. The overall survival rate of all patients was 69% and 43% at 5 and 10 years, respectively. Worse overall survival was associated with higher pT stage, higher TNM stage, residual tumors, greater tumor size, high-grade tumor histology (Armed Forces Institutes of Pathology and Memorial Sloan-Kettering, but not the other 2), and with the absence of CRTC1-MAML2 fusion. Of note, none of the patients with CRTC1-MAML2 fusion-positive tumors died during the follow-up. In conclusion, the clinicopathologic and molecular findings of thymic MEC presented here

are expected to contribute to the management of this rare tumor.

Am. J. Surg. Pathol., 46 (8): 1160–1169, 2022.  
PMID: 35319525

**Case Report: A Case of Gallbladder Carcinosarcoma With Osteoclast-like Multinucleated Giant Cells that Was Associated With RANK–RANKL Signaling.**

(1) Department of Tumor Pathology, Gifu University Graduate School of Medicine

(2) Department of Diagnostic Pathology (DDP), Research Center of Diagnostic Pathology (RC–DiP), Gifu Municipal Hospital

(3) Department of Surgery, Gifu Municipal Hospital

Niwa A<sup>(1)</sup>, Tomita H<sup>(1)</sup>,  
Watanabe N<sup>(2)</sup>, Kiriya S<sup>(3)</sup>,  
Hara A<sup>(1)</sup>, Tanaka T<sup>(2)</sup>.

**Introduction:** Gallbladder carcinosarcoma with osteoclast-like multinucleated giant cells is known to be most uncommon form of gallbladder cancer. Owing to its rarity, the pathogenesis of gallbladder carcinosarcoma with osteoclast-like multinucleated giant cells is largely unknown.

**Case Presentation:** We present a case of carcinosarcoma with osteoclast-like multinucleated giant cells in the gallbladder. A 57-year-old woman visited our hospital due to jaundice. An examination revealed calculous cholecystitis and gallbladder carcinoma. After cholecystectomy, macroscopic examination disclosed one whitish mass and another distinct brown and pendulous mass in the body of the gallbladder. A pathological examination revealed that each mass had a different histological type: adenosquamous carcinoma and carcinosarcoma with osteoclast-like multinucleated giant cells. Immunohistochemistry revealed that these osteoclast-like multinucleated giant cells are CD68(+), CD163(-), and MIB-1(-). In addition, the osteoclast-like multinucleated giant cells showed the strong expression of RANK and sarcoma cells around the osteoclast-like multinucleated giant cells, were positive for RANKL. Furthermore, RUNX2 was positive for some sarcoma cells. The result indicated that

osteoclastic and osteoblast-like differentiation occurred in our case. **Conclusion:** To our knowledge, this is the first case to show the interaction of RANK–RANKL signaling in gallbladder carcinosarcoma with osteoclast-like multinucleated giant cells.

Pathol. Oncol. Res., 28: 1610134, 2022.  
PMID: 35401056

**Ovarian clear cell carcinoma and mature cystic teratoma transformed to PNET and carcinosarcoma: A case report with an immunohistochemical investigation.**

(1) Department of Tumor Pathology, Gifu University Graduate School of Medicine

(2) Department of Pathology and Translational Research, Gifu University Graduate School of Medicine

(3) Research Center of Diagnostic Pathology, Department of Diagnostic Pathology Gifu Municipal Hospital

(4) Department of Obstetrics & Gynecology, Gifu Municipal Hospital,

(5) Department of Pathology, Okayama University Hospital

(6) Center of Genomic Medicine, Department of Diagnostic Pathology, Gifu Municipal Hospital

Matsuo M<sup>(1)</sup>, Saigo C<sup>(2)</sup>,  
Takeuchi T<sup>(2)</sup>, Onogi A<sup>(3)</sup>,  
Watanabe N<sup>(3)</sup>, Aikyo S<sup>(4)</sup>,  
Toyoki H<sup>(4)</sup>, Yanai H<sup>(5)</sup>,  
Tanaka T<sup>(6)</sup>.

Ovarian tumors include neoplasms derived from somatic cells and germ cells, including teratoma. Sometimes, tumors of the somatic cell type may develop from teratoma, causing diagnostic perturbation. We experienced a case of a tumor composed of several types of tissue in the ovary with a teratoma. When findings of teratoma and somatic tumor coexist in an ovary, it is difficult to differentiate whether a somatic tumor was mixed with a teratoma or a teratoma unitarily caused transformation to a somatic cell tumor. A 72-year-old Japanese woman (gravida, 3; para, 1) presented to our hospital with severe constipation and frequent urination, and a large intrapelvic tumor was

detected by computed tomography (CT). Soon after admission, ultrasonography (US) and magnetic resonance imaging (MRI) revealed a large multilocular cystic tumor on her left ovary. Based on the clinical diagnosis of ovarian cancer, she underwent a left ovariectomy, appendectomy, and partial omentectomy. We observed an ovarian tumor consisting of teratoma, primitive neuroectodermal tumor (PNET), adenocarcinoma, various types of sarcomas, and clear cell carcinoma on the H and E-stained sections. The component of clear cell carcinoma showed a nuclear positive reaction against PAX8 and napsin A, as well as a loss of ARID1A, suggesting typical endometriosis-derived clear cell carcinoma. On the other hand, the expression of ARID1A was maintained in teratoma, PNET, non-specific adenocarcinoma, and various types of sarcomas, suggesting that these tumors had an origin different from that of clear cell carcinoma. These findings indicated that the ovarian tumor of this patient contained a clear cell carcinoma derived from a somatic cell and a teratoma that transformed to a wide variety of somatic cell types of tumors, which coexisted on one ovary. The appropriate use of immunohistochemistry was diagnostically effective in this case.

Biomedicines, 10: 547, 2022.

Biomedicines. 2022 Feb 24;10(3):547.

PMID: 35327349

### Evaluation of the Cell Block Method Using Overnight-Stored Bile for Malignant Biliary Stricture Diagnosis.

(1) Department of Gastroenterology, Gifu Municipal Hospital

(2) Department of Gastroenterological Endoscopy, Kanazawa Medical University

(3) Department of Diagnostic Pathology, Gifu Municipal Hospital

Okuno M <sup>(1)</sup> ,	Mukai T <sup>(1)(2)</sup> ,
Iwata K <sup>(1)</sup> ,	Watanabe N <sup>(3)</sup> ,
Tanaka T <sup>(3)</sup> ,	Iwasa T <sup>(1)</sup> ,
Shimojo K <sup>(1)</sup> ,	Ohashi Y <sup>(1)</sup> ,
Takagi A <sup>(1)</sup> ,	Ito Y <sup>(1)</sup> ,
Tezuka R <sup>(1)</sup> ,	Iwata S <sup>(1)</sup> ,
Iwasa Y <sup>(1)</sup> ,	Kochi T <sup>(1)</sup> ,

Ogiso T <sup>(1)</sup> ,	Hayashi H <sup>(1)</sup> ,
Sugiyama A <sup>(1)</sup> ,	Nishigaki Y <sup>(1)</sup> ,
Tomita E <sup>(1)</sup> .	

The specimen collection and subsequent pathological diagnosis of malignant biliary stricture (MBS) are difficult. This study aimed to determine whether the cell block (CB) method using overnight-stored bile is useful in the diagnosis of MBS. This trial was a single-arm prospective study involving a total of 59 patients with suspected MBS. The primary endpoint was cancer detectability and accuracy using the CB method, and a comparison with the detectability and accuracy achieved with bile cytology was made. The immunohistochemical sensitivity for maspin and p53 was also investigated in the CB and surgical specimens. We were able to collect bile from all 59 patients, and 45 of these patients were clinically diagnosed with MBS. The cancer detectability using the CB method (62.2%) was significantly higher than that using cytology (37.8%) ( $p = 0.0344$ ). When CB was combined with biopsy, the rates of cancer detectability (75.6%) and accuracy (81.4%) increased. In eight patients who received surgical therapy, maspin- and p53-immunohistochemistry was applied to the surgical and CB specimens, and cancer cells in both specimens showed positive cytoplasmic and nuclear staining for maspin and nuclear staining for p53. The CB method is, thus, useful for detecting malignancy (UMIN000034707).

Cancers (Basel). 2022 May 30;14(11):2701. doi: 10.3390/cancers14112701.

PMID: 35681681

### A Case of Early-Stage Gallbladder Cancer, Positive for ALDH1A1, Which Arose from Adenomyomatosis of the Gallbladder.

(1) Department of Gastroenterology, Gifu Municipal Hospital

(2) Department of Diagnostic Pathology, Gifu Municipal Hospital

(3) Department of Gastroenterology, Gifu University Graduate School of Medicine

Iwasa Y<sup>(1)</sup>, Iwata K<sup>(1)</sup>,  
 Okuno M<sup>(1)</sup>, Sugiyama A<sup>(1)</sup>,  
 Nishigaki Y<sup>(1)</sup>, Ohashi Y<sup>(1)</sup>,  
 Tanaka T<sup>(2)</sup>, Iwashita T<sup>(3)</sup>,  
 Shimizu M<sup>(3)</sup>, Tomita E<sup>(1)</sup>.

Adenomyomatosis (ADM) of the gallbladder is a condition characterized by the proliferation of Rokitsky-Aschoff sinus (RAS), in which the epithelium of the gallbladder extends into the muscular layer, causing a thickening of the gallbladder wall. Although ADM is generally considered not to be a precancerous lesion of gallbladder cancer, there are some reports of cases of gallbladder cancer from ADM. Therefore, the relationship between ADM and gallbladder cancer remains controversial. We herein report a case of early-stage gallbladder cancer, BilIN3 (high grade), arising from ADM that was positive for ALDH1A1, an important marker of stem cells and cancer stem cells.

Diagnostics (Basel). 2022 Nov 7;12(11):2721.  
 PMID: 36359563

### 傍精巣に生じた低悪性度線維性粘液性肉腫の1例

- 1) 岐阜市民病院 泌尿器科
  - 2) 岐阜市民病院 病理診断科部
- 杉野 文哉<sup>1</sup> 石田 貴史<sup>1</sup> 玉木 正義<sup>1</sup>  
 米田 尚生<sup>1</sup> 渡部 直樹<sup>2</sup> 田中 卓二<sup>2</sup>

A 36-year-old man presented with painless swelling in the right side scrotum. Ultrasonography showed a hypoechoic tumor with mosaic pattern. Plain computed tomography (CT) revealed a 67 mm scrotal cystic lesion with low density area. We suspected an intrascrotal tumor and performed right side radical orchiectomy. The removed sample was yellow clear and elastic hard. A 7 cm multilocular cystic tumor was present on the head side of the normal testis. The cut-surface and the contents of the mass revealed a jelly-like viscous liquid. On the microscopic examination, the tumor was composed of mucinous stroma and spindle-shaped atypical cells with hyperchromatic oval nuclei and eosinophilic cytoplasm. There was a characteristic network of blood vessels with hyperhyalinization in the myxoid zones.

Immunohistochemically, CDK4, MDM2, AE1/AE3, S-100, Alpha-SMA and desmin were negative, but MUC4 showed focal cytoplasmic positivity in the neoplastic cells. In the reverse transcription polymerase chain reaction assay, no FUS-CREB3L2/FUS-CREB3L1 fusion transcripts were identified although the detectable messages of the housekeeping genes were noted. The tumour was finally diagnosed as a paratesticular low-grade fibromyxoid sarcoma. Postoperative course was uneventful and no recurrence or metastasis was seen four months after the operation.

泌尿器科紀要 68 (8): 277-280, 2022.  
 PMID: 36071020

## リハビリテーション科

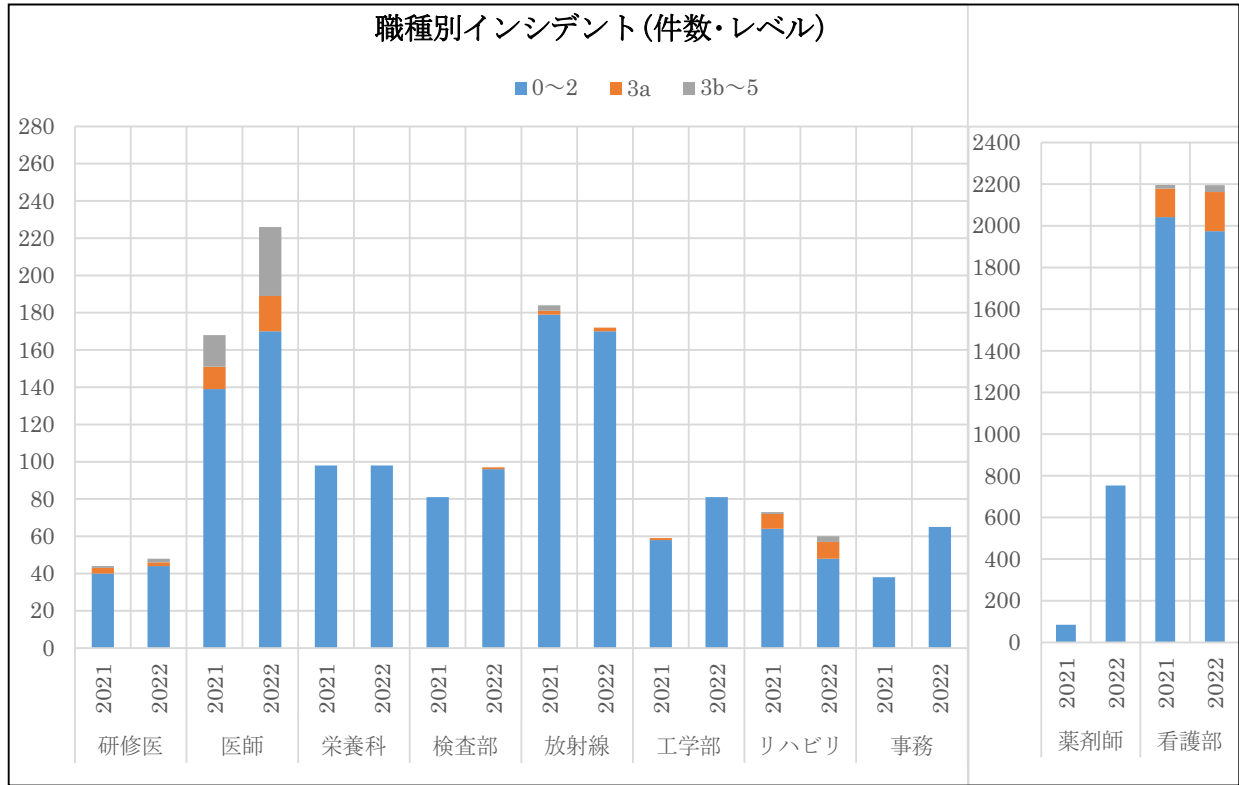
働くあなたのクリニック  
 「働く人々と運動」

岐阜市民病院 リハビリテーション科  
 佐々木 裕介  
 岐阜商工月報、2022年7月、P14~15

# 病院統計

## 医療安全推進室統計

### 1. インシデント集計



### 2. 医療安全研修

2021年6月	医療安全講演会 チーム STEPPS ~ツールを活用してみよう~	Comedix お知らせ回覧板による配信型研修
2021年10月	みんなで考える病院の安全と感染 研修医のインシデント減少に向けた取り組み Im SAFER を使った要因分析を試みて 西10階のコロナ対応について 抗菌薬適正使用支援チームの取り組み	CoMedix お知らせ回覧板による配信型研修 研修センター1年次研修医 井上 紀子 2年次研修医 花木 建貴 中7階リスクマネジメント委員 国枝 桃子 春日井淑恵 西10階 近藤 良子 薬剤部・感染対策部 大橋 洵 馬淵 成博 青山 智
2022年6月	医療安全講演会 当院の画像見落とし事例について 「報告書管理体制」について	Comedix お知らせ回覧板による配信型研修 中央放射線部 林 伸次
2022年10月	みんなで考える病院の安全と感染 カテ室のCOVID-19対応について 抗菌薬適正使用支援チームの取り組み ~治療薬物モニタリング(TDM)~ インシデントレポートから考える転倒・転落について 薬剤を誤嚥し、気管支鏡で除去に至ったケース	Comedix お知らせ回覧板による配信型研修 中3HCU 瀬瀬 美保 薬剤部・感染対策部 リハビリテーション科 作業療法士:水上 智仁 言語聴覚士:平松 佳洋 中8階 古田 淳也

## 3. ラウンド・カンファレンスほか

	2021年度	2022年度
医療安全ラウンド	37回	36回
危機ラウンド	随時	随時
早朝カンファレンス	48回	47回
医療安全管理専門委員会	2症例	4症例
医療事故調査委員会		
医療相談窓口カンファレンス	10回	12回

## 4. 通信一覧表(安全・緊急・ナイスレポート)

〈安全通信 No.148～154〉

No	発行日	掲示内容
No148	R 3. 5.27	科内のインシデント事例はComedix→ファントルくん→報告→報告ファイルから 見ることができます 共有・検討して下さい
No149	R 3. 9.24	具体的に平易な表現で説明、理解されたか確認、カルテに記載をお願いします
No150	R 3.12. 9	そのFAX・郵便物・メール 送る前に指差呼称で確認を
No151	R 4. 2.24	情報は正しく取り込んでください
No152	R 4. 5.30	患者掲示板で診療上の指示をすること、オーダーの記載は禁止されています
No153	R 4. 8. 1	血液検査結果を必ず確認し、対応して下さい
No154	R 5. 1. 5	署名とは、文書に本人が氏名を書き記すことです

〈緊急通信 No.69～74〉

No	発行日	掲示内容
No69	R 3. 5.13	検体ラベルは蓋ではなく容器本体に貼り、検体取り違えを防ぎましょう
No70	R 3. 7.15	アラート（警告）が出たら手を止めて内容を確認！！
No71	R 3.11.11	継続処方の際はその後経過観察をお願いします！！
No72	R 4. 3. 4	診療を終了したらカルテを閉じましょう。離席時は必ずログオフをしましょう
No73	R 4. 6.23	ルート接続の際は、原則ロックをしましょう
No74	R 5. 2. 3	異常値見落としていませんか？

## 〈ナイスレポート通信 No.1～19〉

No	発行日	掲示内容
No1	R 3. 6	事例1 MR I 対応シーネ 事例2 転倒後の対応
No2	R 3. 7	事例1 アルコール禁に気づいた事例2 オーダー左右間違い
No3	R 3. 8	事例1 注射後の対応 事例2 リハビリ中の対応
No4	R 3. 9	事例1 装置の始業前点検 事例2 患者・家族への説明
No5	R 3.10	事例1 検査未実施検体 事例2 オーダー画面の不具合
No6	R 3. 11	院内ラウンドで見つけたナイスな改善、共有します
No7	R 4. 1	事例1 酸素ボンベ残量不足 事例2 画像診断装置管理手順
No8	R 4. 3	事例1 生年月日間違い 事例2 タイムアウト
No9	R 4. 4	年度別 転倒転落インシデント報告件数とインシデントレベルの内訳
No10	R 4. 6	レントゲンオーダー 薬剤疑義照会レポート
No11	R 4. 7	エコー画像取り込み間違い アメニティバッグ
No12	R 4. 8	オーダー部位間違い 輸血製剤受け取り
No13	R 4. 9	令和4年度医療安全講演会(配信型)受講率100%;受講対象者1405名
No14	R 4. 10	アレルギー情報 データ異常値
No15	R 4. 11	指示出し方法の改善事例 改善前/改善後
No16	R 4. 12	改善事例紹介(4件の事例)
No17	R 5.2 上	投与指示再確認 無断離院を止めた
No18	R 5.2 下	書類渡し忘れ 金属装置の確認
No19	R 5. 3	薬剤師さんたちのナイス!

## 医療安全推進室

2021年度 谷川原徹哉 林 秀樹 久保田知希 飯沼 宏和 八幡 和憲 葛谷 命  
 竹中 幸男 南谷 美朱 林 昌代 坂井田 浩 服部 佳朗 安藤 潤一  
 塚原 勝克 梅田 道 14名

2022年度 谷川原徹哉 林 秀樹 八幡 和憲 堀場あかね 馬場 慎也 葛谷 命  
 竹中 幸男 南谷 美朱 林 昌代 山田 哲也 服部 佳朗 安藤 潤一  
 塚原 勝克 梅田 道 14名

消化器病センター統計

2022年 検査件数統計表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	月平均(件)	今年合計	前年合計	前年比(%)
EGD	件 (9) 443 (1) 322 (7) 443 (13) 404 (13) 434 (8) 496 (4) 445 (2) 459 (10) 422 (8) 444 (7) 451 (9) 456	435	5219	5420	96%											
ESD	件 7 7 13 8 9 11 10 8 8 9	103	89	116%												
カプセル内視鏡	件 0 2 1 2 0 2 2 4 4 0 0 1 2 37	16	37	43%												
小腸内視鏡	件 2 0 0 1 0 2 2 2 0 0 0 1 4 17	12	17	71%												
CS	件 (5) 245 (3) 170 (2) 210 (6) 183 (5) 207 (5) 239 (4) 242 (3) 213 (1) 225 (7) 231 (2) 229 (4) 265	222	2659	2723	98%											
EUS・胆膵	件 71 50 61 54 57 59 70 63 60 47 71 71 61 734	633	633	116%												
EUS・消化管	件 7 3 4 1 5 1 2 10 5 3 7 7 5 55	66	66	83%												
EUS計	件 78 53 65 55 62 60 72 73 65 50 78 78 66 789	699	699	113%												
IDUS	件 2 1 1 0 2 1 1 0 1 1 2 0 0 11	11	11	100%												
ERCP	件 44 33 48 64 56 35 43 36 50 51 53 50 47 563	521	521	108%												
EIS・EVL	件 6 2 7 3 6 7 4 3 7 2 2 2 4 4 53	33	33	161%												
PTCS	件 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2	0	2	0%												
小計	件 827 590 788 720 776 853 820 797 778 787 823 866 785 9425	9552	9552	99%												
PTCD	件 4 15 21 6 13 19 7 7 10 23 18 27 14 170	129	129	132%												
US・肝、胆、膵	件 43 33 47 32 36 41 41 25 32 41 28 30 36 429	662	662	65%												
造影エコー	件 36 32 36 46 33 30 43 37 43 42 39 39 38 456	404	404	113%												
肝生検	件 5 7 10 6 3 7 3 6 6 13 5 4 8 6 102	102	102	75%												
PEIT	件 3 0 0 1 3 0 0 0 0 0 0 3 0 1 9	9	9	111%												
RFA	件 5 4 8 14 4 3 10 4 4 10 4 6 6 76	73	73	104%												
マイクログ波	件 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0	0	0%												
その他(*1)	件 0 3 2 2 2 4 4 3 7 7 3 1 2 2 40	40	40	73%												
小計	件 96 94 124 107 94 104 104 82 115 118 97 112 104 1247	1419	1419	88%												
ペグ交換	件 1 3 7 6 3 2 1 3 6 4 4 3 4 43	56	56	77%												
その他(*2)	件 1 1 1 0 6 1 0 1 1 0 1 1 1 13	27	27	48%												
合計	件 925 688 919 839 874 959 926 883 899 910 924 982 894 10728	11054	11054	97%												

\*1 腹水胸水穿刺・IVH挿入、金マーカー  
 \*2 イレウス管挿入・リザーバー・ESWL・CVIリザーバー留置・IVH挿入  
 注)胆膵造影超音波検査 < EUS→EUS・胆膵  
 体外式→造影エコー

## 認知症疾患医療センター統計

## ① 認知症疾患の専門医療、医療相談、関係機関との連携

## ④身体合併症急性期で入院した認知症の方に対する専門的な医療支援

## ・認知症病名のある新規患者入院数 (R4年)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
総人数	23	14	27	24	28	34	17	20	40	34	30	19	310
その内 紹介患者	7	7	10	8	14	12	9	4	7	12	11	6	107

認知症病名のある新規入院患者の 約 34%が紹介患者である。

## ・認知症ケアチームの活動 (対象 当院入院患者)

多職種の見点から、スタッフに対して適切な助言を行い、必要に応じ患者の看護を行う。

→身体疾病の治療や看護業務を円滑に実施し、せん妄や認知症の発症や悪化を防ぐ

メンバー 脳神経内科医師 1名 認知症看護認定看護師(専従) 1名  
精神保健福祉士 1名 公認心理師 1名 薬剤師 1名 計5名

## 介入実績 (R4年)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
人数	23	19	19	22	19	30	20	24	18	22	16	14	246

## 活動内容

- 1)見当識を高めるようなコミュニケーション(会話の工夫、カレンダーや時計の設置など)
- 2)日常生活リズムを整える(歯磨き、洗顔、髭剃りや口腔ケア、離床、日光浴など)
- 3)身体抑制の軽減、中止に向けた提言
- 4)上記1,2,3が各病棟で自発的にできるように啓発

認知症ケア加算 算定件数 2,178件(2022年1月~12月)

## &lt;せん妄対策&gt;

- 1)せん妄ハイリスク患者ケア加算設定に伴うせん妄チェックリストの運用
- 2)認知症看護認定看護師によるせん妄対策の実践・指導
- 3)薬剤師による介入症例の薬剤チェック
- 4)医師による介入症例の「不眠時・不穏時」指示簿の確認およびせん妄リスクの確認を行い主治医宛コメントを記入
- 5)家族向けせん妄啓発資料が完成し運用
- 6)電子カルテ上に「経過表のテンプレート欄の当チーム記録(ワンクリック表示)」を実装
- 7)講演やセミナーによる啓発

せん妄ハイリスク患者ケア加算 算定件数 7,974件(2022.1~2022.12)

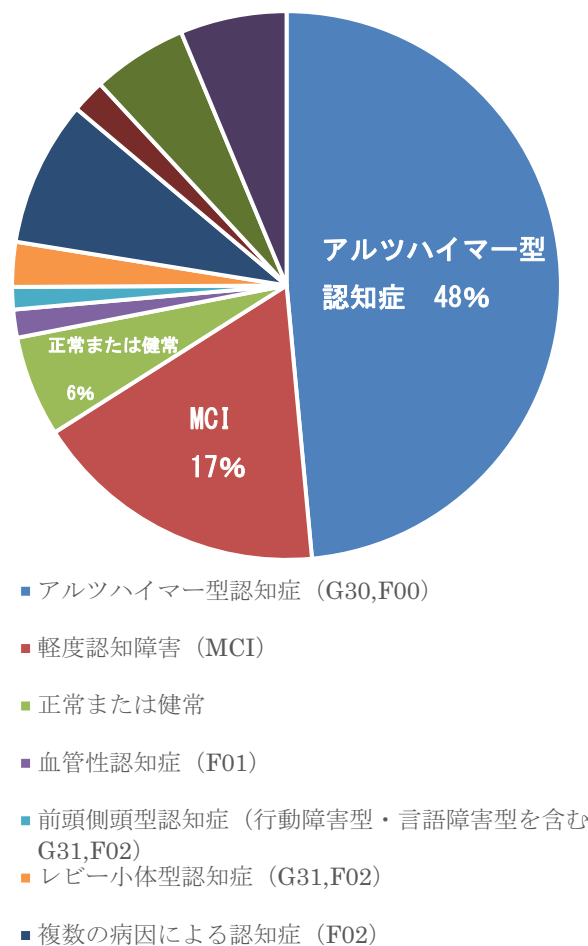
## ②認知症の診断（もの忘れ外来）

・認知症診断件数（脳神経内科外来でのもの忘れ精査例を含む）（R4年）

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
人数	21	25	33	22	25	31	20	21	25	29	27	29	308

・脳神経内科 鑑別診断結果（病名）

病名	人数	割合
アルツハイマー型認知症 (G30,F00)	147	48%
軽度認知障害 (MCI)	53	17%
正常または健常	18	6%
血管性認知症 (F01)	5	2%
前頭側頭型認知症 (行動障害型・言語障害型を含む G31,F02)	4	1%
レビー小体型認知症 (G31,F02)	8	3%
複数の病因による認知症 (F02)	26	8%
その他の認知症	6	2%
上記に含まれない疾患	17	6%
その他 (通院中断等)	19	7%
計	308	100%



全国的なデータと同様、アルツハイマー型認知症が最多であった。MCIが多かったのは昨年と変わらず、総合病院という性格によるものと思われる。

- ・臨時適性検査（75歳以上の高齢者の運転免許更新時等における専門医の受診）年間 26件
- ・認知症診断管理料1（700点）  
認知症の鑑別診断の結果に基づき認知症療養計画書を作成（本人、紹介元）へ送付 年間 46件

◎認知症の医療相談

専門の相談員が認知症の方や家族から不安や悩みの相談に応じる。専用電話(251-5871)が設置されている。

もの忘れ外来の受診予約は地域連携部で行っている。

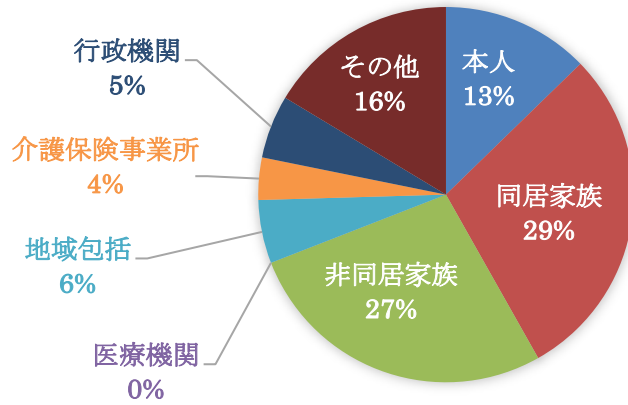
・相談件数推移 (R4年)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	6	4	4	4	0	4	3	4	5	13	3	4	54

毎月ばらつきはあるものの、月に平均4,5件の相談あり。

・相談者内訳 (相談者複数の場合あり)

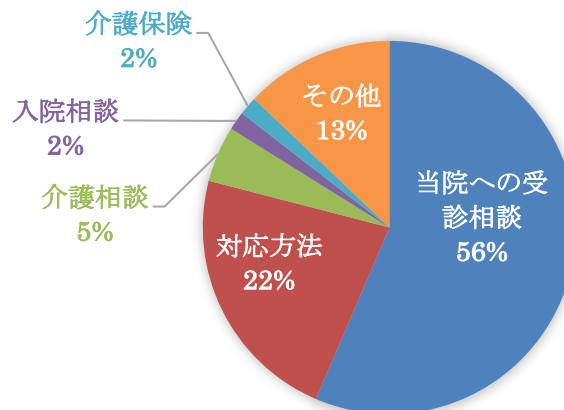
相談者	人数
本人	7
同居家族	16
非同居家族	15
医療機関	0
地域包括	3
介護保険事業所	2
行政機関	3
その他	9
計	55



今年は医療機関からの具体的なケースの相談はなし。

・相談内容 (複数選択あり)

内容	件数
当院への受診相談	35
対応方法	14
介護相談	3
入院相談	1
介護保険	1
その他	8
不明	0
計	62



引き続き、当院への受診方法の問い合わせに相談内容が集中している。

### ④医療・福祉関係機関との連絡調整（協議会、検討会、研究会等への参加）

#### <方針>

- ・県内特に岐阜・西濃の認知症疾患医療センターとの連携の構築
- ・市・県行政、地域包括支援センター、医師会等の当センターへの理解を深めると共に関係構築に務める
- ・全国の認知症疾患医療センター研修会、認知症関係学会等での研修を通して、県内唯一の総合病院に設置された認知症疾患医療センターとしての見識と役割を学ぶ

#### <参加会議と期日>

第9回認知症疾患医療センター全国研修会福井大会	1月29日、30日
第6回精神障がいと介護をつなぐ研修会（須田病院主催）	2月15日
若年性認知症就労支援に関する研修	3月3日
岐阜市認知症地域支援体制構築推進会議（全体会）	1月31日、8月10日
岐阜県若年性認知症就労支援ネットワーク会議	3月24日、10月4日
岐阜県認知症疾患医療センターの運営に係る事務者協議	
5月24日、8月2日、11月1日、3月24日（すべてZOOMによるオンライン会議）	
岐阜市認知症地域支援体制構築推進会議（事例検討会）	7月11日、11月7日
第16回全国認知症疾患医療センター連絡協議会	8月5日
「認知症講演会」（岐阜県高齢福祉課主催）	9月30日
岐阜地域認知症疾患医療連携協議会	11月16日

#### （その他）

##### ○若年性認知症当事者ミーティング「わらっとこぐみ」への参加、支援

川北地区の岐阜市地域包括支援センターが協力して、若年性認知症の当事者が参加し、自主的な活動を行うミーティングを運営。令和2年3月まで活動を行っていたが、それ以降コロナ事情で場所確保ができず活動を中止。その後、「若年性認知症のつどい」として令和3年3月から岐阜市内で当事者グループが活動を始めた。新型コロナウイルス感染症流行状況が落ち着いた状況で岐阜医療圏域の3つの認知症疾患医療センターでも支援を検討。

## ② 認知症に関する医療・福祉関係者の研修

### <研修会の開催>

・認知症対応力向上のため研修会等

○せん妄対策セミナー

1月13日

「入院患者のせん妄対策」岡山大学病院 精神科神経科 助教 井上真一郎 先生

参加人数 来場者数 19名 オンライン参加者 24名 合計 43名

### <講師派遣協力（医療者向け認知症関連講演）>

- 1) 岐阜市民病院公開講座「アルツハイマー型認知症の予防と治療」犬塚 貴 2月26日
- 2) 中部学院大学・JICA 主催「認知症の気づき」ベトナム市民へのオンライン講座  
犬塚 貴 3月16日
- 3) 岐阜市民病院 院内認定看護師教育 認知症看護コース 長屋 千鶴子  
6月～11月 全6回 17:30～19:00
- 4) 「認知症とせん妄」（薬大実習生等対象：岐阜市民病院 薬剤部主催） 犬塚 貴  
6月24日 9月16日 12月16日
- 5) 本巣市多職種連携合同研修会 8月22日  
「岐阜市民病院 認知症疾患医療センターについて」犬塚 貴 村瀬 智明
- 6) 岐阜市民病院 専門看護研修 長屋 千鶴子 9月13日
- 7) 岐阜市民病院 研修医セミナー「認知症とせん妄」 犬塚 貴 9月16日
- 8) 「認知症」（岐阜大学医学部3年生対象） 犬塚 貴 10月6日
- 9) 令和4年度認知症サポート医等フォローアップ研修（県医師会主催）  
「せん妄対策とアルツハイマー病新規治療薬」 犬塚 貴 10月9日
- 10) 「認知症の理解とBPSDへの対応」（本巣市堀部クリニック主催） 犬塚 貴 10月27日
- 11) かかりつけ医認知症対応力向上研修会「診断と治療」 犬塚 貴 12月11日

### <実習協力>

大学・保健所・保健センター職員向け実習

・現場実習（岐阜薬科大学） 令和4年7月4日、10月14日、17日（各日1名）延べ4名

・社会福祉士 相談援助実習（事業説明、認知症ケアチーム カンファレンス参加）

8月8日、15日（同一実習生1名が両日ともに参加）

### ③ 市民への認知症理解への啓発活動

- ・ぎふ若年性認知症講演会

4月20日（水）13：00～ んぎふメディアコスモスにて

（岐阜病院、黒野病院との共同開催）

講師：丹野 智文 おれんじドア実行委員会代表

石原 哲郎 脳と心の石原クリニック 認知症専門医（リモート参加）

第一部は講師2名の対談、第二部は丹野さんの講演。第三部は岐阜県内の当事者も登壇し、丹野さんと対談。

来場者 56名 ZOOMでの参加 64名 計 120名

- ・難病医療テレフォン・メールサービス（県福社会館） 犬塚 貴 5月13日

- ・ラジオ放送での当院認知症専門相談窓口の案内

岐阜市で確保しているラジオでの放送枠を利用し、ホームページ上で認知症に関する基礎知識を学べるミニ講座に関する情報提供を行った。

○シティFMぎふ緊急割り込み放送 9月16日（岐阜支庁 庁内放送）

○FMわっち 9月18日 放送

岐阜チャン 9月20日 放送

- ・岐阜市アルツハイマー月間への協力

岐阜市高齢福祉課主催で本庁1階ロビーにて認知症に関する掲示イベントを開催。

掲示物の協力依頼あり上記ラジオ放送と同様のミニ講座広報チラシを作成し掲示した。

- ・認知症疾患医療センター パンフレットを刷新（10月）

- ・令和4年9月に岐阜県医師会からの依頼で、岐阜県医師会ホームページの岐阜県包括的地域ケアネットワーク（はやぶさネット）から、当院の認知症疾患医療センターホームページへのリンクの貼り付けについて了解した。

- ・認知症ミニ講座

ホームページ上で認知症に関する基礎知識を学べるミニ講座を病院ホームページの認知症疾患医療センターのページに令和3年度作成。当時作成した12件を令和4年も継続して掲載。

- 認知症に関する基礎知識等

【タイトル】（動画時間）	【演者】
「認知症疾患医療センターについて」（11:09）	認知症疾患医療センター センター長 犬塚 貴

「認知症の基礎知識」(18:05)	認知症疾患医療センター センター長 犬塚 貴
「暮らしの中での認知症の気づき」(12:36)	認知症疾患医療センター センター長 犬塚 貴
「家庭でできる認知症予防」(19:58)	認知症疾患医療センター センター長 犬塚 貴
「高齢者の睡眠」(7:23)	認知症疾患医療センター 公認心理師 神戸 誠
「認知症ポジティブと予防」(7:52)	認知症疾患医療センター 認知症看護認定看護師 長屋 千鶴子
「認知症介護を少しでも軽くするために」 (6:08)	認知症疾患医療センター 認知症看護認定看護師 長屋 千鶴子

●もの忘れ外来について

【タイトル】	【演者】
「もの忘れ外来の神経心理検査」(6:20)	認知症疾患医療センター 公認心理師 神戸 誠
「岐阜市民病院「もの忘れ外来」について」 (6:58)	認知症疾患医療センター 相談員 村瀬 智明

●制度・相談関連

【タイトル】	【演者】
「岐阜市民病院認知症疾患医療センター 相談室に寄せられる相談について」(10:31)	認知症疾患医療センター 相談員 村瀬 智明
「介護保険制度について」(6:07)	認知症疾患医療センター 相談員 村瀬 智明
「認知症サポーターになろう」(6:25)	認知症疾患医療センター 相談員 村瀬 智明

## ④ 認知症に関する調査・研究

該当なし

### その他

委嘱 犬塚 貴

岐阜県認知症施策推進会議 委員

岐阜市認知症地域支援体制構築推進会議 委員

岐阜市医師会認知症サポート委員会 委員

岐阜県医師会 医療・介護・福祉連携委員会委員

岐阜認知症多職種ネットワーク研究会 代表世話人

岐阜大学非常勤講師

岐阜県警察本部「銃砲刀剣所持等取締法」に基づく指定医師

委嘱 神戸 誠 (R4年3月まで在籍)

中部学院大学非常勤講師

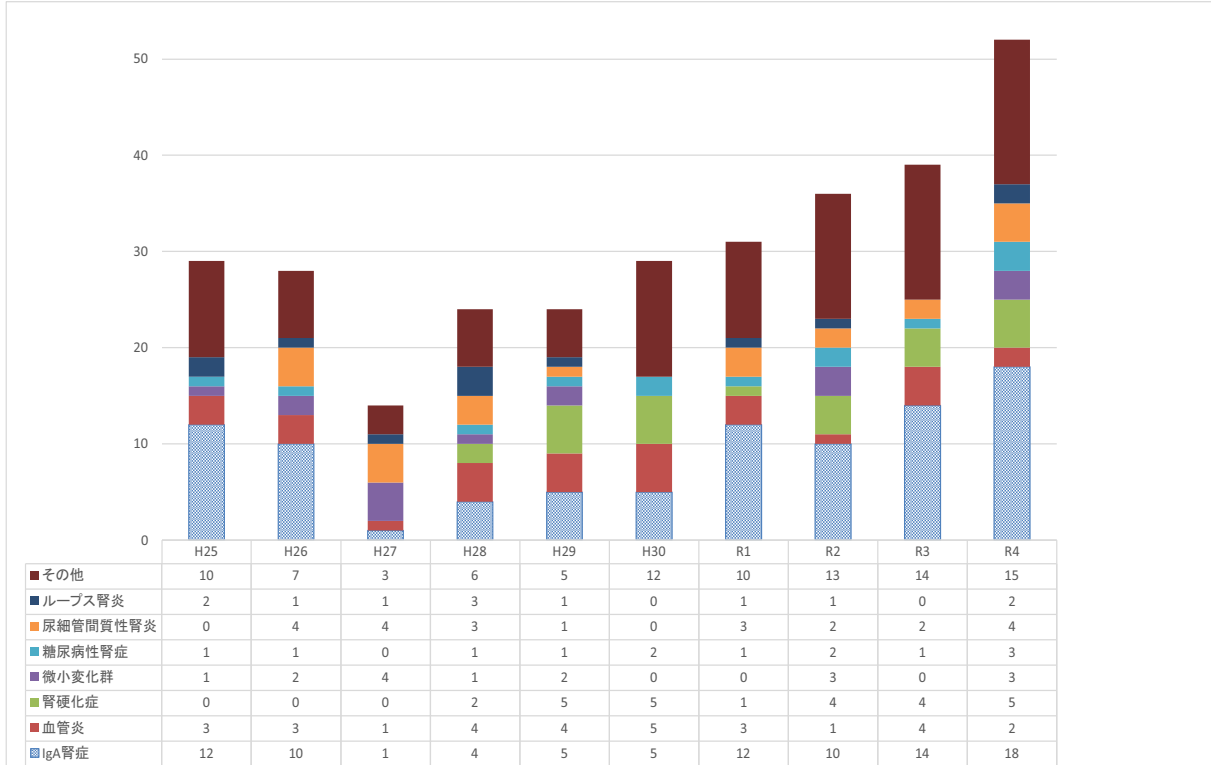
委嘱 村瀬 智明

岐阜県認知症施策推進会議 委員

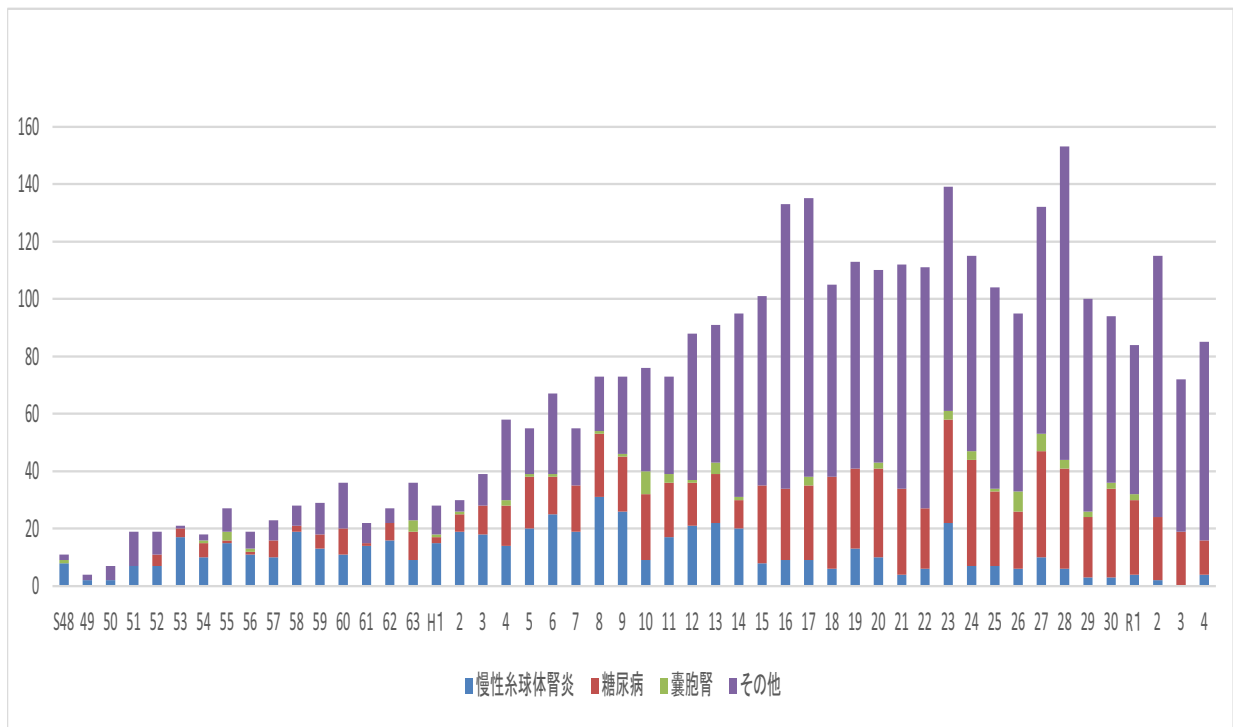
岐阜市認知症地域支援体制構築推進会議 委員

## 腎臓病・血液浄化センター統計

### 腎生検診療実績

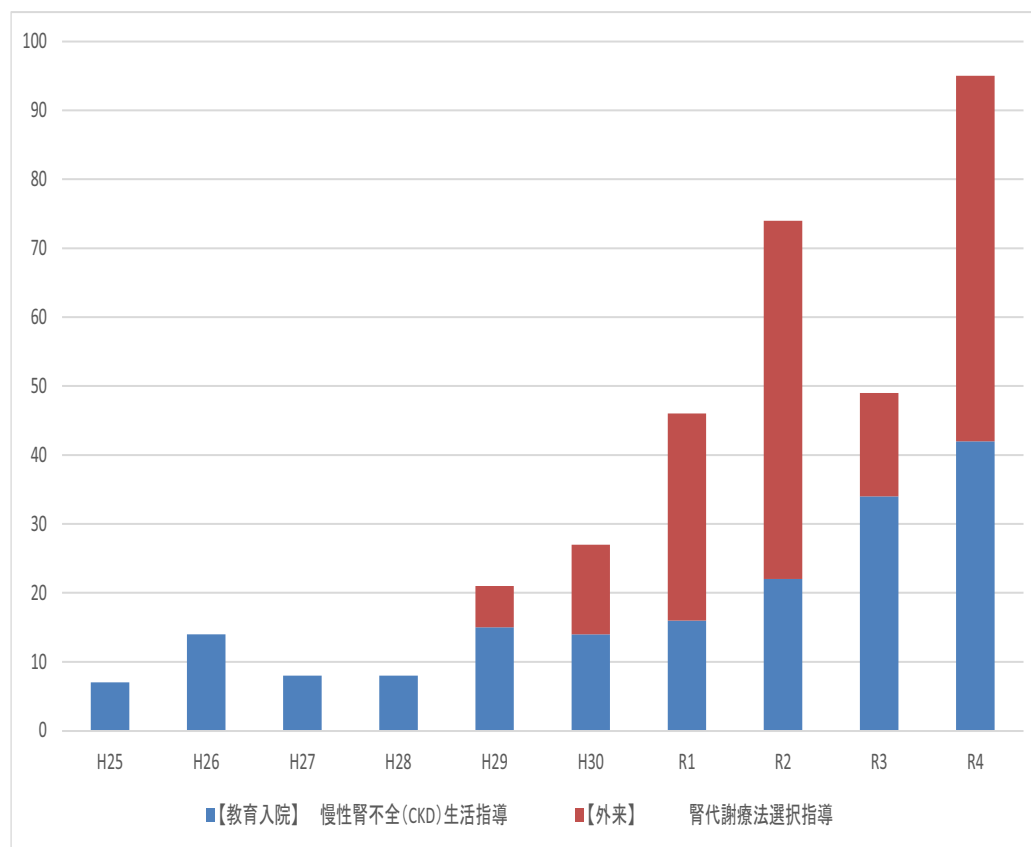


### 血液浄化新規導入患者とその原疾患



## C K D 教育入院

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
【教育入院】 慢性腎不全(CKD)生活指導	7	14	8	8	15	14	16	22	34	42
【外来】 腎代謝療法選択指導	0	0	0	0	6	13	30	52	15	53



各種血液浄化療法（維持透析を除く）

	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
CHDF	2 (4)	8 (15)	9 (42)	8 (28)	12 (8)	8 (58)	18 (91)	14 (59)	10 (54)	11 (76)	15 (62)	21 (116)	21 (141)	23 (180)	25 (192)	26 (130)	21 (110)	19 (111)	25 (141)	20 (147)	30 (237)	29 (270)	36 (292)	19 (159)	25 (107)	35 (240)	25 (114)	7 (36)
G(L)CAP							3 (30)	6 (50)	3 (30)	4 (40)	6 (66)	12 (98)	8 (76)	16 (125)	17 (130)	16 (119)	20 (167)	15 (141)	8 (73)	6 (51)	11 (81)	10 (74)	4 (37)	10 (95)	4 (40)	5 (33)	4 (50)	
PMX	4 (8)	3 (6)	12 (24)	14 (28)	10 (20)	10 (18)	11 (20)	6 (10)	3 (5)	6 (10)	12 (22)	12 (20)	20 (30)	17 (29)	11 (19)	15 (21)	12 (19)	6 (11)	9 (16)	10 (19)	14 (27)	12 (26)	20 (38)	10 (18)	7 (9)	13 (22)	8 (17)	2 (5)
ビリルビン吸着																												
DHP	1 (1)	2 (4)			2 (2)	2 (2)			1 (1)		1 (1)			1 (2)	2 (3)			1 (5)		1 (1)		1 (1)				1 (1)		1 (1)
PE	1 (1)	1 (7)		2 (11)	5 (19)	3 (38)	1 (2)					1 (19)	2 (14)	1 (1)	1 (1)	4 (31)	4 (13)	7 (19)	1 (1)	6 (42)		6 (19)	10 (50)	5 (21)	3 (15)	11 (35)	12 (59)	7 (39)
DFPP		2 (16)	2 (10)		5 (25)					1 (3)	6 (20)	3 (7)	1 (3)	4 (20)	1 (2)	4 (17)		1 (12)										
IAPP						4 (24)	2 (5)	1 (7)		1 (5)	2 (13)		2 (7)	1 (7)						3 (11)	3 (12)						1 (3)	
LDL-A							1 (16)		1 (12)		1 (13)	1 (16)	1 (5)	1 (5)					2 (4)	1 (8)					1 (8)	1 (7)		
CART																							4 (4)	14 (25)	10 (16)	14 (27)	22 (22)	30 (30)

症例数(実施件数)

持続的血液ろ過透析(持続的血液透析、持続的血液ろ過を含む)

- CHDF
- G(L)CAP
- PMX
- DHP
- PE
- DFPP
- IAPP
- LDL-A
- CART

- 持続的血液ろ過透析(持続的血液透析、持続的血液ろ過を含む)
- 白血球系細胞除去療法
- エンドトキシン吸着法
- 直接血液灌流
- 単純血漿交換療法
- 二重濾過血漿交換療法
- 免疫吸着療法
- (V)LDL-コレステロール吸着法
- 腹水濾過濃縮再静注法

## 中央放射線部統計

1. 令和4年 部門別検査人数

2. 部門別・撮影部位別統計

- (1) 一般撮影
- (2) CT
- (3) MRI
- (4) 放射線治療
- (5) 核医学
- (6) 血管造影
- (7) TV使用検査
- (8) 超音波検査
- (9) マンモグラフィ・骨塩定量検査

3. 当直帯検査人数

4. 画像入出力件数

1. 令和4年 部門別検査人数

月	一般撮影	CT		MRI		放射線治療			核医学		血管造影	
		単純	造影	単純	造影	人数	門数	計画CT	RI	PET	消化器・ 脳外・他	循環器
1	4,388	2,277	516	739	153	542	1,045	37	66	126	28	71
2	3,562	1,814	439	666	148	447	890	32	83	124	25	55
3	4,613	2,343	520	854	156	701	1,658	52	119	146	44	80
4	4,145	2,284	484	782	137	709	1,677	36	91	112	35	85
5	4,315	2,218	533	744	120	688	1,641	38	91	138	32	91
6	4,311	2,335	546	857	145	811	1,880	50	98	179	36	93
7	3,874	2,179	465	702	163	608	1,132	28	91	141	32	71
8	4,149	2,251	510	743	145	505	1,373	47	75	147	25	64
9	3,832	2,272	492	722	121	627	1,435	38	81	126	23	62
10	4,069	2,125	479	729	153	722	1,688	42	108	127	25	91
11	4,286	2,308	513	766	155	614	1,524	44	68	125	33	68
12	4,330	2,279	529	789	128	699	1,595	38	86	138	29	91
小計		26,685	6,026	9,093	1,724				1,057	1,629	367	922
合計	49,874	32,711		10,817		7,673	17,538	482	2,686			1,289

月	TV使用検査		結石破砕	超音波	マンモ グラフィ	骨塩定量	健康診断				
	放射線科	泌尿器科					胸部	消化管	超音波	マンモグラフィ	骨塩定量
1	106	39	1	836	95	75	157	59	113	26	6
2	68	33	0	810	121	58	139	46	93	18	6
3	101	42	1	1,056	157	77	126	52	86	17	6
4	92	48	6	1,022	145	70	127	37	103	14	7
5	106	42	3	922	96	60	202	88	117	33	3
6	121	53	5	1,031	131	76	318	159	178	57	11
7	98	65	4	938	109	74	280	138	151	45	6
8	79	64	3	914	123	80	266	101	183	49	14
9	74	55	5	900	155	82	278	118	144	58	9
10	75	43	9	921	148	91	256	109	169	46	10
11	89	53	2	951	172	108	256	115	167	41	11
12	105	41	4	959	142	86	196	71	139	39	9
小計	1,114	578									
合計	1,692		43	11,260	1,594	937	2,601	1,093	1,643	443	98

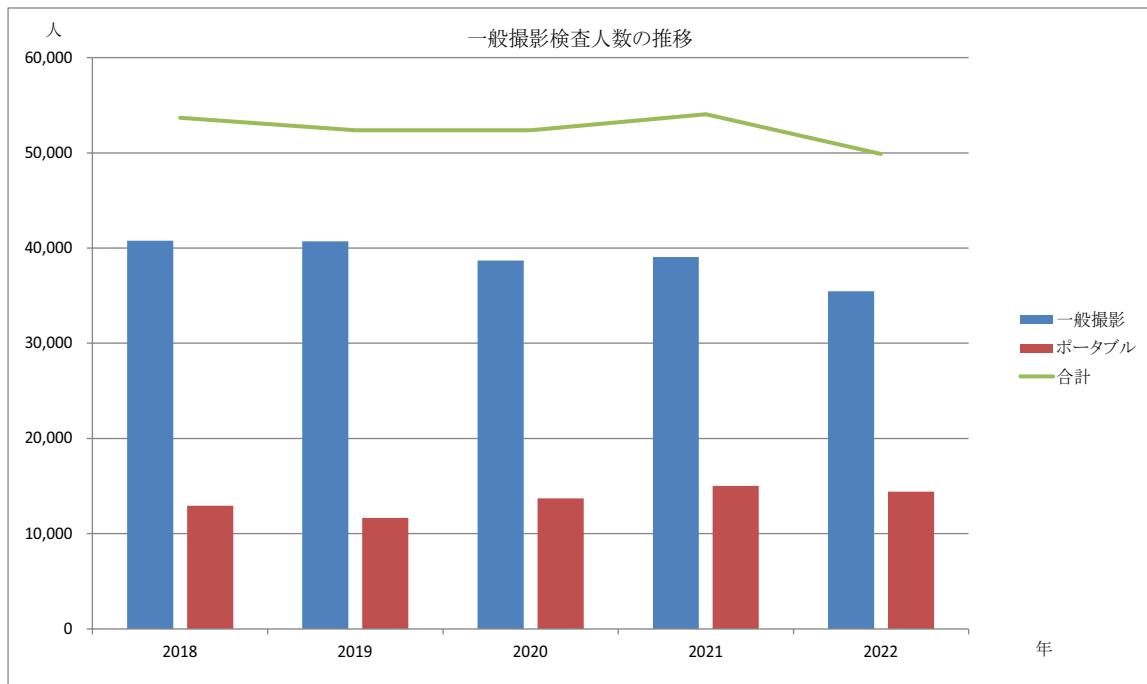
2. 部門別・撮影部位別統計

(1)一般撮影

月	一般撮影	ポータブル	合計
1	3,125	1,263	4,388
2	2,570	992	3,562
3	3,342	1,271	4,613
4	2,993	1,152	4,145
5	3,065	1,250	4,315
6	3,128	1,183	4,311
7	2,834	1,040	3,874
8	2,910	1,239	4,149
9	2,686	1,146	3,832
10	2,877	1,192	4,069
11	2,974	1,312	4,286
12	2,969	1,361	4,330
合計	35,473	14,401	49,874

一般撮影検査人数の推移(2018~2022)

年	一般撮影	ポータブル	合計	前年比 (%)
2018	40,771	12,927	53,698	99.9
2019	40,707	11,655	52,362	97.5
2020	38,671	13,709	52,380	100.0
2021	39,052	15,000	54,052	103.2
2022	35,473	14,401	49,874	92.3

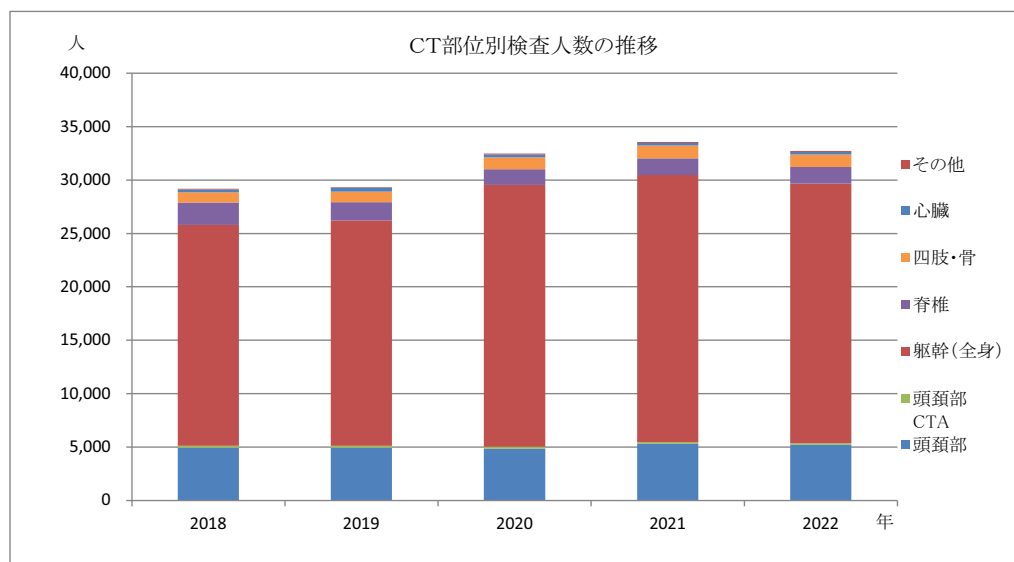


## (2)CT

月	頭頸部		頭頸部 CTA	躯幹(全身)		脊椎		四肢・骨		心臓	その他	合計
	単純	造影	造影	単純	造影	単純	造影	単純	造影	造影		
1	460	15	16	1,564	459	138	0	110	4	22	5	2,793
2	285	12	7	1,327	404	99	0	101	3	13	2	2,253
3	448	9	20	1,622	458	166	0	100	5	28	7	2,863
4	435	10	13	1,603	434	150	0	95	4	23	1	2,768
5	446	12	14	1,544	480	135	0	84	4	23	9	2,751
6	489	11	10	1,609	499	132	0	99	2	24	6	2,881
7	368	17	10	1,600	417	130	0	77	2	19	4	2,644
8	405	17	5	1,652	472	107	0	79	4	12	8	2,761
9	437	13	13	1,621	446	120	0	84	4	16	10	2,764
10	411	8	10	1,510	436	115	0	81	1	24	8	2,604
11	444	16	8	1,620	457	128	0	109	2	30	7	2,821
12	427	11	9	1,607	485	133	0	104	5	19	8	2,808
小計	5,055	151	135	18,879	5,447	1,553	0	1,123	40	253	75	
合計	5,206		135	24,326		1,553		1,163		253	75	32,711

## CT部位別検査人数の推移(2018~2022)

年	頭頸部	頭頸部 CTA	躯幹(全身)	脊椎	四肢・骨	心臓	その他	合計	前年比 (%)
2018	4,923	178	20,704	2,101	936	269	83	29,194	101.0
2019	4,939	184	21,097	1,700	998	350	73	29,341	100.5
2020	4,855	178	24,501	1,472	1,119	279	85	32,489	110.7
2021	5,282	164	25,024	1,549	1,216	240	80	33,555	103.3
2022	5,206	135	24,326	1,553	1,163	253	75	32,711	97.5

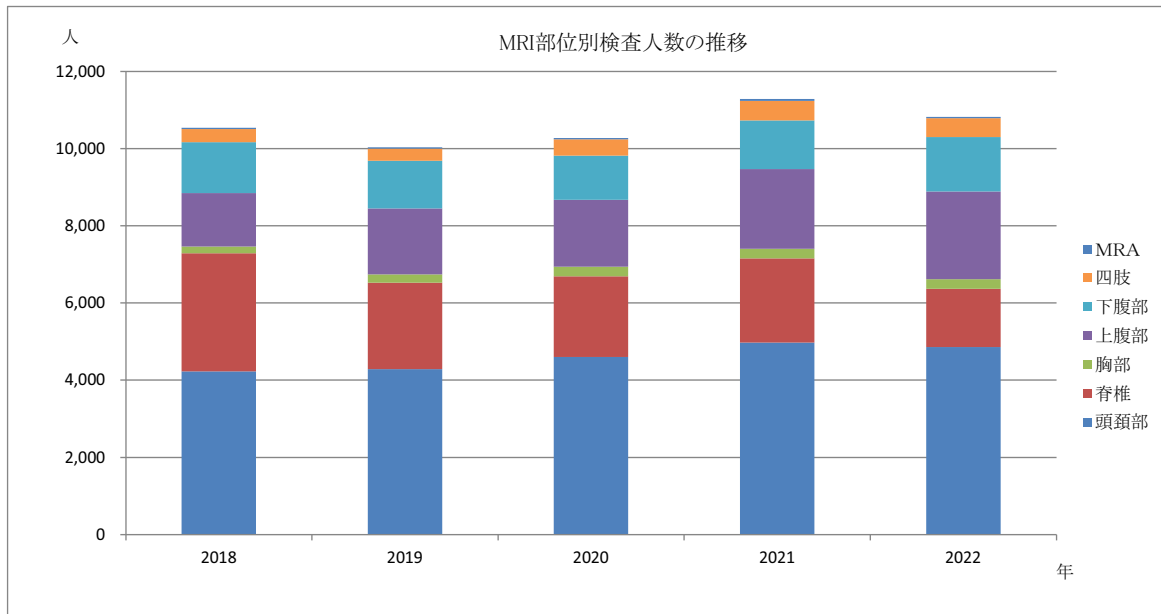


(3)MRI

月	頭頸部		脊椎		胸部		上腹部		下腹部		四肢		MRA		合計
	単純	造影	単純	造影	単純	造影	単純	造影	単純	造影	単純	造影	単純	造影	
1	354	55	101	2	7	17	117	60	107	17	48	2	5	0	892
2	314	50	112	1	7	12	107	68	90	16	33	1	3	0	814
3	408	60	162	3	4	16	135	58	105	18	40	1	0	0	1,010
4	401	42	133	1	6	24	120	60	82	10	39	0	1	0	919
5	340	39	128	2	7	10	117	48	105	21	43	0	4	0	864
6	362	54	152	1	3	13	163	63	130	11	43	3	4	0	1,002
7	315	57	111	1	7	12	137	72	86	16	42	5	4	0	865
8	321	58	122	3	13	10	137	58	113	14	33	2	4	0	888
9	337	42	102	2	7	12	154	53	81	8	39	4	2	0	843
10	339	57	126	1	6	27	119	47	101	19	36	2	2	0	882
11	365	65	112	5	2	11	145	55	105	16	36	2	2	0	921
12	370	56	124	0	8	6	131	45	118	20	34	1	4	0	917
小計	4,226	635	1,485	22	77	170	1,582	687	1,223	186	466	23	35	0	
合計	4,861		1,507		247		2,269		1,409		489		35		10,817

MRI部位別検査人数の推移(2018~2022)

年	頭頸部	脊椎	胸部	上腹部	下腹部	四肢	MRA	合計	前年比(%)
2018	4,230	3,054	180	1,382	1,319	340	35	10,540	100.0
2019	4,289	2,238	215	1,703	1,241	310	38	10,034	95.2
2020	4,600	2,090	248	1,732	1,146	420	39	10,275	102.4
2021	4,976	2,182	241	2,071	1,259	504	52	11,285	109.8
2022	4,861	1,507	247	2,269	1,409	489	35	10,817	95.9



(4)放射線治療

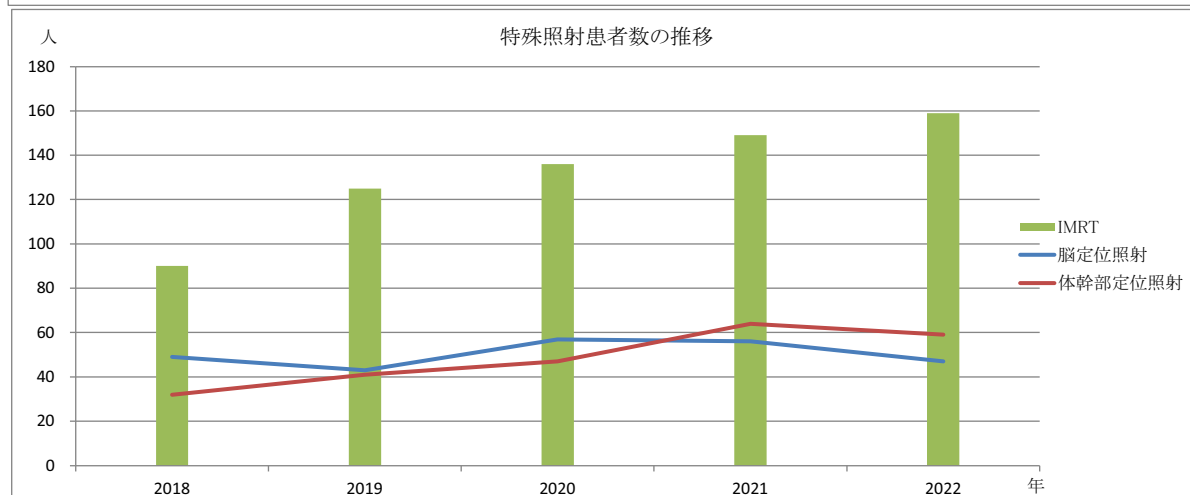
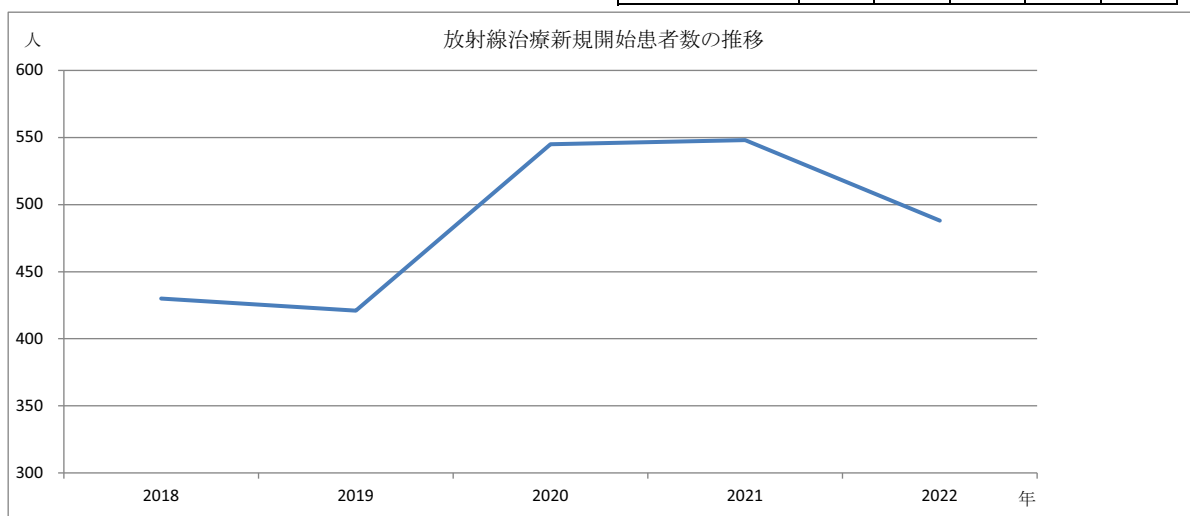
原発	2018	2019	2020	2021	2022
脳・脊髄	8	1	10	8	8
口腔	1	5	5	4	4
咽頭	3	7	7	6	5
喉頭	8	10	2	8	2
頭頸部その他	4	3	5	4	3
食道	8	5	10	14	19
肺・気管支・縦隔	139	139	190	152	123
乳腺	76	83	97	105	84
肝・胆・膵	24	29	30	41	30
胃・腸	29	16	35	31	37
婦人科	26	17	15	30	39
前立腺	36	45	54	56	67
泌尿器(前立腺を除く)	12	10	12	13	16
造血器リンパ系	30	30	31	36	21
皮膚・筋・骨	9	17	6	15	9
悪性リンパ腫	16	1	28	20	18
原発不明	1	3	8	5	3
合計	430	421	545	548	488

放射線治療新規開始患者数の推移(2018~2022)

照射部位	2018	2019	2020	2021	2022
脳・脊髄	70	67	86	78	61
口腔	2	3	5	5	2
咽頭	3	5	4	6	2
喉頭	7	10	1	8	2
頭頸部その他	9	9	20	10	14
食道	5	4	7	8	15
肺・気管支・縦隔	68	71	74	64	56
乳腺	47	42	52	59	48
胸部その他	22	11	19	24	15
肝・胆・膵	19	19	23	24	21
胃・腸	8	5	17	14	13
腹部その他	8	8	10	16	22
婦人科	19	9	11	24	21
前立腺	25	36	39	35	48
泌尿器(前立腺を除く)	4	5	5	1	5
皮膚・筋・軟部	12	8	3	14	10
全身照射	25	20	22	25	17
骨	74	86	140	131	109
その他	3	3	7	2	7
合計	430	421	545	548	488

特殊照射患者数の推移(2018~2022)

特殊照射	2018	2019	2020	2021	2022
脳定位照射	49	43	57	56	47
体幹部定位照射	32	41	47	64	59
IMRT	90	125	136	149	159

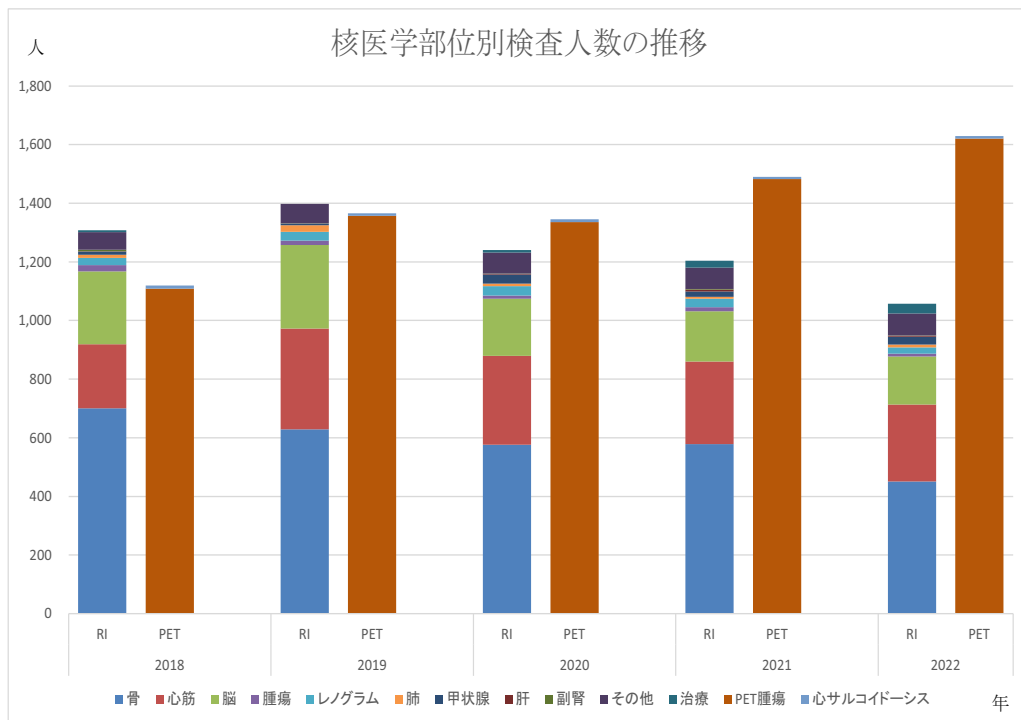


(5)核医学

月	RI												PET			合計
	骨	心筋	脳	腫瘍	レノグラム	肺	甲状腺	肝	副腎	その他	治療	計	腫瘍	心サルコイドーシス	計	
1	27	21	9	0	1	0	2	0	0	3	3	66	123	3	126	192
2	45	16	11	0	1	1	1	0	0	7	1	83	124	0	124	207
3	54	27	18	3	1	3	2	0	1	8	2	119	145	1	146	265
4	48	18	13	0	2	1	1	0	0	5	3	91	111	1	112	203
5	32	26	16	0	2	1	0	0	0	11	3	91	138	0	138	229
6	46	23	16	1	1	0	1	0	0	7	3	98	179	0	179	277
7	35	23	12	1	2	1	5	1	0	8	3	91	141	0	141	232
8	34	14	10	1	2	1	4	0	0	5	4	75	146	1	147	222
9	33	19	13	1	3	0	2	0	0	6	4	81	125	1	126	207
10	51	30	14	0	3	0	3	0	0	5	2	108	127	0	127	235
11	16	25	14	1	1	2	1	2	0	4	2	68	125	0	125	193
12	30	20	18	2	2	0	5	0	0	6	3	86	137	1	138	224
合計	451	262	164	10	21	10	27	3	1	75	33	1,057	1,621	8	1,629	2,686

核医学部位別検査人数の推移(2018~2022)

年	RI												PET				合計	前年比(%)	
	骨	心筋	脳	腫瘍	レノグラム	肺	甲状腺	肝	副腎	その他	治療	計	前年比(%)	腫瘍	心サルコイドーシス	計			前年比(%)
2018	701	218	249	21	25	10	11	1	5	60	7	1,308	94.1	1,120	11	1,131	103.5	2,439	98.2
2019	629	344	285	15	30	22	5	0	2	66	0	1,398	106.9	1,357	9	1,366	120.8	2,764	113.3
2020	578	308	194	11	34	9	31	2	1	72	8	1,248	89.3	1,356	9	1,365	99.9	2,613	94.5
2021	579	281	172	13	29	7	18	6	3	73	23	1,204	96.5	1,482	8	1,490	109.2	2,694	103.1
2022	451	262	164	10	21	10	27	3	1	75	33	1,057	87.8	1,621	8	1,629	109.3	2,686	99.7

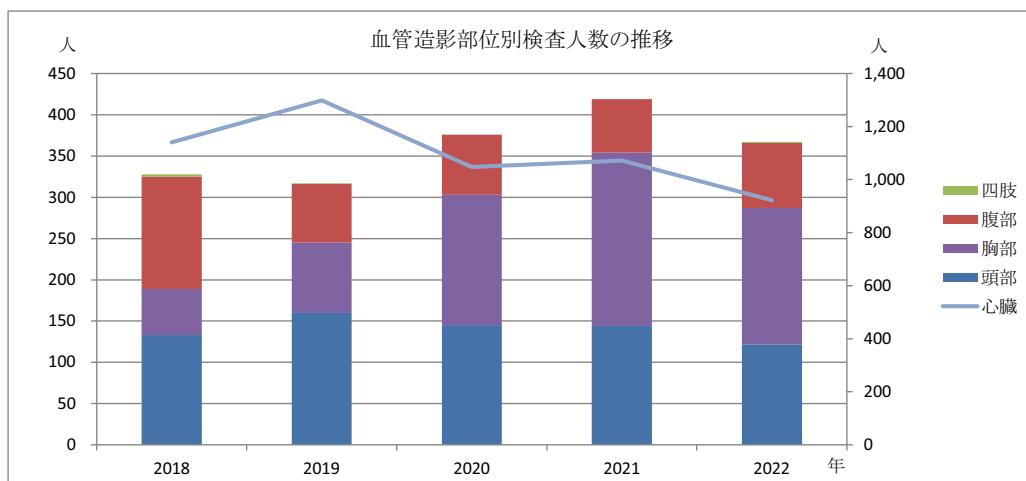


(6) 血管造影

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
頭部	4	6	14	7	14	17	10	7	9	11	12	11	122
胸部	19	12	18	22	11	14	16	11	10	9	13	10	165
腹部	4	7	12	6	7	5	6	7	4	5	8	8	79
四肢	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
心臓	71	55	80	85	91	93	71	64	62	91	68	91	922
合計	99	80	124	120	123	129	103	89	85	116	101	120	1,289

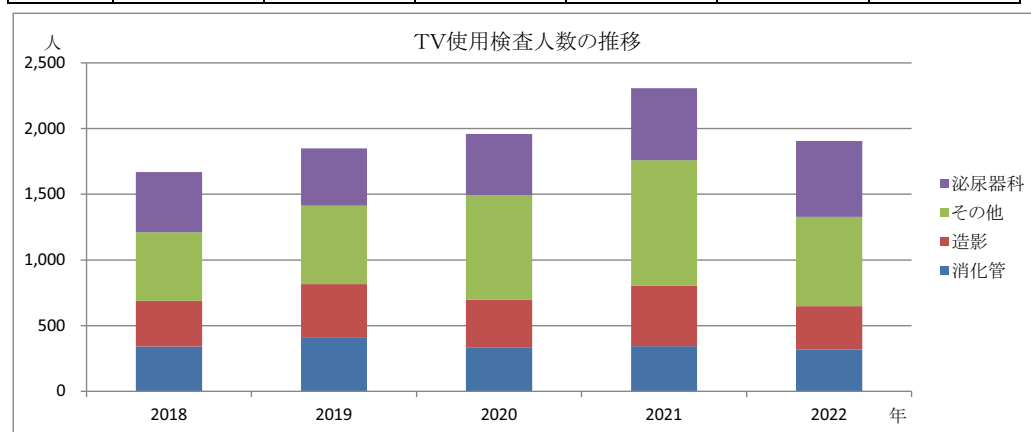
血管造影部位別検査人数の推移(2018~2022)

年	消化器・脳外・その他					循環器		
	頭部	胸部	腹部	四肢	合計	前年比(%)	心臓	前年比(%)
2018	133	56	136	3	328	83.5	1,141	120.4
2019	160	85	71	1	317	96.6	1,299	113.8
2020	145	158	73	0	376	118.6	1,047	80.6
2021	144	210	65	0	419	111.4	1,072	102.4
2022	122	165	79	1	367	87.6	922	86.0



(7) TV使用検査人数の推移(2018~2022)

年	TV使用検査					前年比(%)
	消化管	造影	その他	泌尿器科	合計	
2018	340	350	521	459	1,670	84.7
2019	406	410	597	436	1,849	110.7
2020	332	364	795	469	1,960	106.0
2021	343	460	956	549	2,308	117.8
2022	319	330	679	578	1,906	82.6



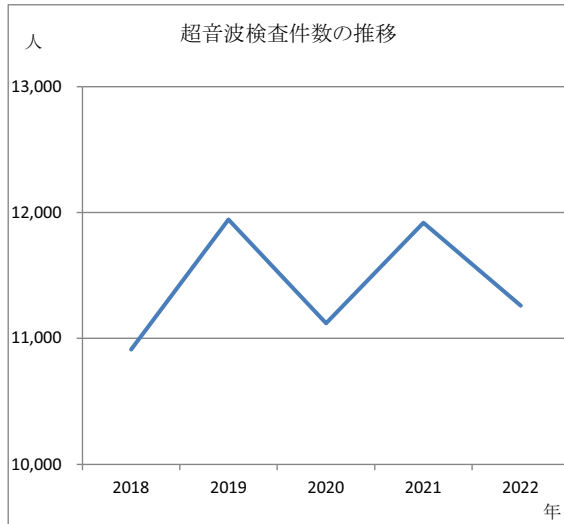
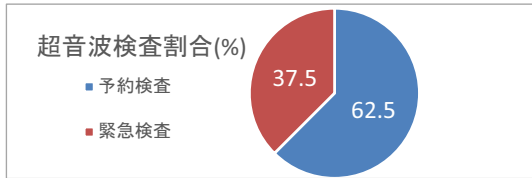
(8)超音波検査

超音波検査 予約緊急別件数

月	予約検査	緊急検査	合計
1	558	278	836
2	544	266	810
3	647	409	1,056
4	675	347	1,022
5	584	338	922
6	598	433	1,031
7	574	364	938
8	585	329	914
9	563	337	900
10	573	348	921
11	565	386	951
12	569	390	959
合計	7,035	4,225	11,260
割合(%)	62.5	37.5	100.0

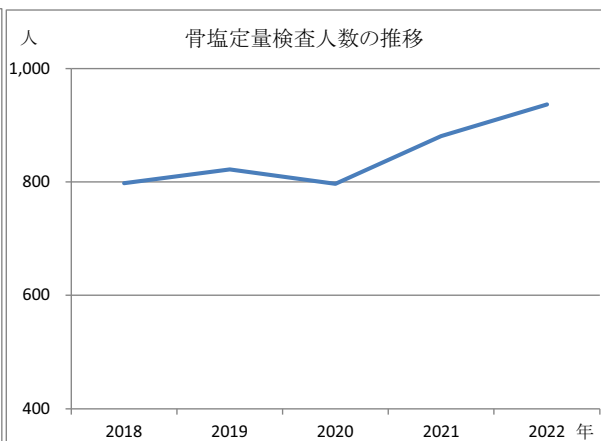
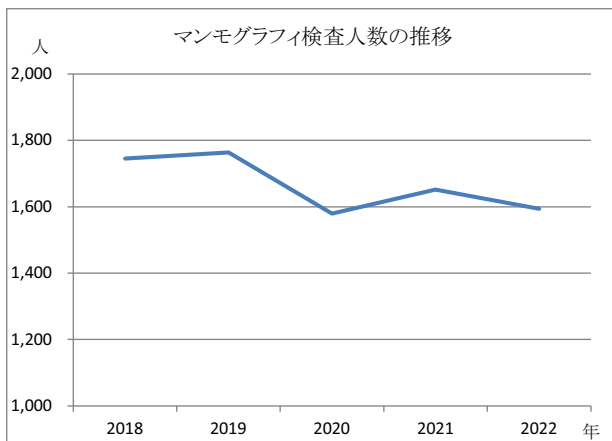
検査件数の推移(2018~2022)

年	件数	前年比(%)
2018	10,912	104.1
2019	11,945	109.5
2020	11,119	93.1
2021	11,919	107.2
2022	11,260	94.5



(9)マンモグラフィ・骨塩定量検査人数の推移(2018~2022)

年	マンモグラフィ	前年比(%)	骨塩定量	前年比(%)
2018	1,745	92.9	798	98.6
2019	1,764	101.1	822	103.0
2020	1,579	89.5	797	97.0
2021	1,652	104.6	881	110.5
2022	1,594	96.5	937	106.4

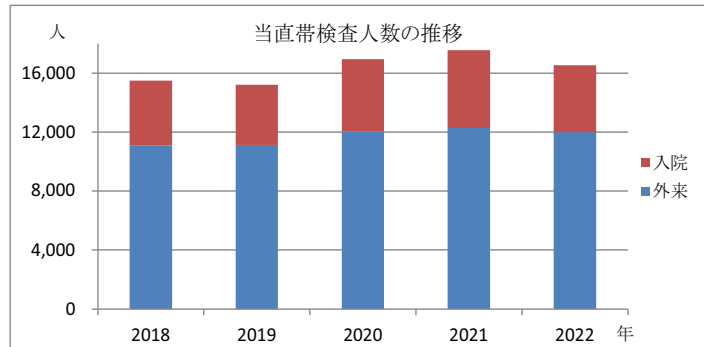


## 3. 当直帯検査人数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外来	1,085	720	922	1,039	1,166	995	983	984	997	995	1,094	1,016	11,996
入院	489	309	401	364	434	317	342	332	356	364	387	451	4,546
合計	1,574	1,029	1,323	1,403	1,600	1,312	1,325	1,316	1,353	1,359	1,481	1,467	16,542

当直帯検査人数の推移(2018~2022)

年	外来	入院	合計	前年比(%)
2018	11,110	4,386	15,496	100.0
2019	11,120	4,091	15,211	98.2
2020	12,039	4,907	16,946	111.4
2021	12,282	5,271	17,553	103.6
2022	11,996	4,546	16,542	94.2

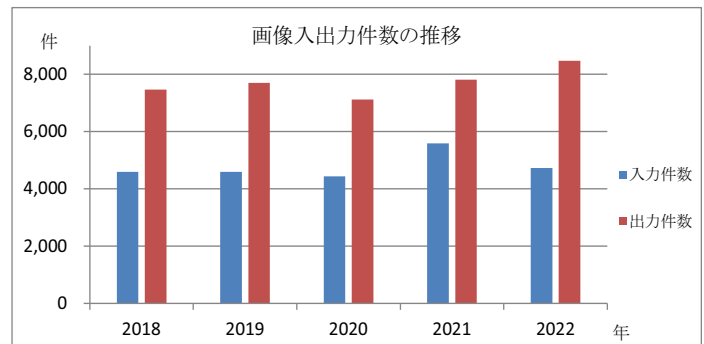


## 4. 画像入出力件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
画像入力	405	321	490	388	377	445	398	353	364	372	417	391	4,721
画像出力	625	588	830	761	740	800	666	691	685	689	705	696	8,476

画像入出力件数の推移(2018~2022)

年	入力件数	前年比(%)	出力件数	前年比(%)
2018	4,590	103.9	7,470	113.6
2019	4,592	100.0	7,698	103.1
2020	4,435	96.6	7,114	92.4
2021	5,588	126.0	7,816	109.9
2022	4,721	84.5	8,476	108.4



## 【業務実績・評価】

画像検査部門の令和4年の総検査件数(健診部門を除く)は、120,576件実施し、前年比約5.7%(令和3年127,836件)の減少であった。

部門別の前年比はCT検査(約2.5%減)、MRI検査(約4.1%減)、超音波検査(約5.5%減)、血管造影検査も減少しており、部位別に見ると腹部が微増しているが、それ以外の部位はすべて減少であった。X線TV使用検査も17.4%減少しているが、これは前年度が特に多かったためで、過去5年で見るとほぼ平均的な値であった。また、核医学検査では、PET検査が9.3%増加している反面、RI検査は12.2%減少した。これは、骨シンチグラフィの減少が大きく影響している。PET検査は2年連続で増加をしており、一昨年と比較すると18%の増加であった。マンモグラフィ検査は3.5%減、骨塩定量検査は6.4%増加した。画像検査数は全体に前年度より減少傾向であったが、過去5年で見るとほとんどのモダリティで前年度に次ぐ検査数であった。

放射線治療部門については、令和元年、2年と新規患者数が増加していたが、令和3年度は10.9%の減少であった。照射部位別に見ると、変動の大きいところでは脳・脊髄が21.0%、肺・縦隔が12.5%、乳腺が19.0%減に対して前立腺は37.0%増であった。また特殊照射のIMRTの件数は毎年増加しており、脳や体幹部の定位照射もここ3年程は高位の照射数を保っている。IMRTは、回転原体照射に強度変調機能を加えたVMAT照射を行うことで照射時間の短縮を図り、スルーポットの向上につなげている。

中央検査部統計(部門別・月別)

丸め項目は単項目として点数計算

		令和4年												令和3年	前年比較	前年比	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	計	(%)	(△印減)
生化学	件数	242,506	209,126	252,281	241,376	243,438	251,494	238,081	256,087	245,870	240,293	246,421	248,563	2,915,536	2,794,838	120,698	4.3%
	点数	3,813,825	3,222,301	3,953,855	3,676,755	3,716,270	3,867,408	3,664,274	3,948,893	3,800,999	3,677,570	3,803,810	3,901,511	45,047,471	43,439,566	1,607,905	3.7%
血清	件数	15,123	12,757	15,879	15,417	15,367	18,743	14,644	15,646	15,609	14,899	15,685	15,404	185,173	147,618	37,555	25.4%
	点数	1,871,004	1,604,614	1,964,667	1,848,859	1,842,382	2,145,970	1,769,592	1,918,091	1,875,062	1,820,069	1,914,609	1,895,066	20,831,985	17,977,895	2,854,090	15.9%
一般	件数	8,311	7,237	8,383	8,076	8,344	9,000	8,556	9,247	8,559	8,423	8,713	8,535	101,384	103,338	△ 1,954	△ 1.9%
	点数	215,543	187,382	215,740	207,734	217,774	237,165	224,489	241,669	224,472	220,218	227,031	220,538	2,639,755	2,708,039	△ 68,284	△ 2.5%
血液	件数	37,609	31,906	38,971	36,833	35,501	35,510	34,231	36,777	35,930	34,971	36,569	36,898	431,706	454,668	△ 22,962	△ 5.1%
	内訳/件数	67	66	69	64	59	64	66	59	59	67	61	64	765	844	△ 79	△ 9.4%
細菌	件数	1,071,678	898,185	1,073,428	1,019,141	927,121	892,750	861,058	907,854	923,714	885,528	946,484	940,683	11,347,624	13,304,503	△ 1,956,879	△ 14.7%
	点数	5,794	4,290	4,600	4,864	5,154	4,550	5,716	6,345	5,056	4,579	5,098	5,576	61,622	59,899	1,723	2.9%
生理	件数	1,612,212	1,057,490	1,058,815	1,392,975	1,490,804	1,212,387	1,864,791	2,107,597	1,500,285	1,252,017	1,432,883	1,649,272	17,631,528	18,274,069	△ 642,541	△ 3.5%
	点数	3,189	2,518	3,338	3,127	3,272	3,698	3,250	3,370	3,225	3,318	3,476	3,148	38,929	44,457	△ 5,528	△ 12.4%
計	件数	997,465	798,505	1,100,965	1,014,420	997,485	1,082,405	920,360	1,029,335	935,175	980,820	1,065,475	962,320	11,884,730	11,772,840	111,890	1.0%
	点数	312,532	267,834	323,452	309,693	311,076	322,995	304,478	327,472	314,249	306,483	315,962	318,124	3,734,350	3,604,818	129,532	3.6%
		9,581,727	7,768,477	9,367,470	9,159,884	9,191,836	9,438,085	9,304,564	10,153,439	9,259,707	7,198,222	9,390,292	9,569,390	109,383,093	107,476,912	1,906,181	1.8%

中央採血室 月別採血件数

		令和4年												令和3年	前年比		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均	令和4年合計	令和3年	前年比
月合計	件数	6,039	5,680	6,743	6,335	6,252	6,726	6,207	6,503	6,362	6,497	6,387	6,526	6,355	76,257	73,055	4.4%
日平均	件数	318	316	307	317	329	306	310	295	318	324	319	326	315/日	294/日		

新規検査機器の導入で生化学、免疫検査の検査件数は増加したが、病棟閉鎖の影響もあり部門によっては検査件数の減少がみられた。

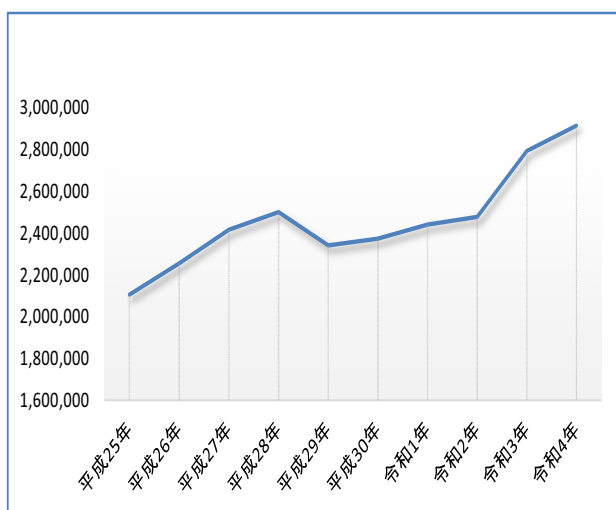
## 部門別依頼件数 年推移

(件)

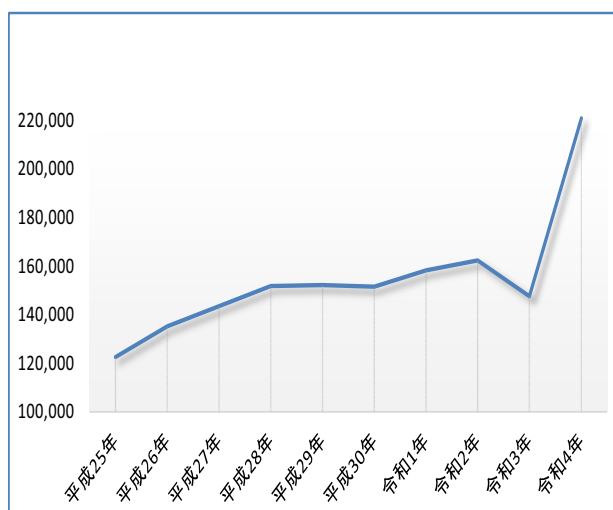
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
生化	2,106,242	2,256,481	2,416,645	2,502,118	2,342,858	2,374,774	2,442,525	2,478,442	2,794,838	2,915,536
血清	122,608	135,272	143,557	151,872	152,198	151,513	158,293	162,341	147,618	220,892
一般	682,931	723,643	756,214	814,865	95,687	89,925	92,486	93,838	103,338	101,384
血液	753,945	804,324	861,476	889,365	363,924	370,627	377,811	390,022	454,668	431,706
細菌	41,981	45,043	50,641	53,284	53,001	48,263	50,571	50,365	54,842	61,622
生理	36,761	38,297	39,999	43,194	40,381	40,632	41,496	38,489	44,457	38,929

依然として新型コロナの影響が残っているが、検査部全体としては増加傾向を示した。

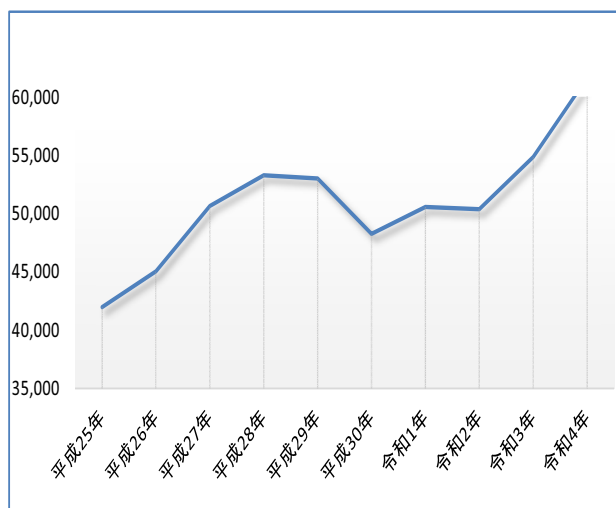
生化部門 件数推移



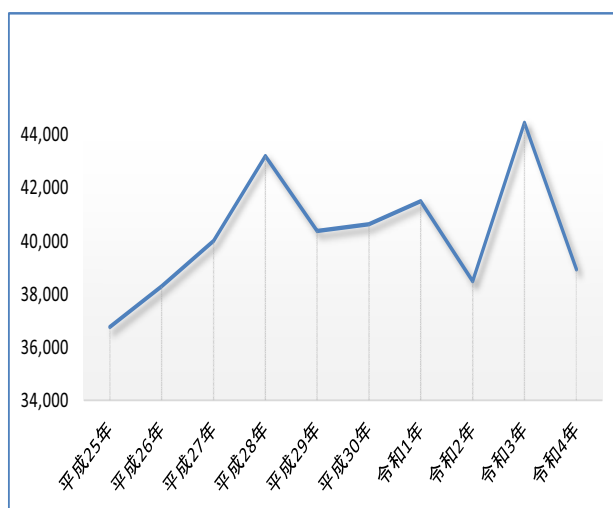
血清部門 件数推移



細菌部門 件数推移



生理部門 件数推移



時間外 緊急検査統計

(令和4年)

	生化・血清検査関連						前年比較(△減)		
	令和3年			令和4年			外来	入院	計
	外来	入院	計	外来	入院	計			
AST(GOT)	6,873	14,546	6,968	12,866	95	△ 1,680	△ 1,585		
ALT(GPT)	6,873	14,543	6,964	12,786	91	△ 1,757	△ 1,666		
ALP	5,904	12,324	6,265	11,117	361	△ 1,207	△ 846		
CHE	702	4,126	616	3,862	△ 86	△ 264	△ 350		
γ-GTP	6,420	11,385	6,640	10,881	220	△ 504	△ 284		
LDH	6,806	13,997	6,914	12,322	108	△ 1,675	△ 1,567		
T-BIL	6,835	14,052	6,929	12,307	94	△ 1,745	△ 1,651		
D-BIL	6,180	5,764	6,246	4,948	66	△ 816	△ 750		
タンパク	6,782	12,527	6,854	11,458	72	△ 1,069	△ 997		
アルブミン	6,818	12,865	6,901	11,394	83	△ 1,471	△ 1,388		
BUN	6,883	14,818	6,990	13,148	107	△ 1,670	△ 1,563		
CRE	6,890	14,864	7,008	13,189	118	△ 1,675	△ 1,557		
尿酸	5,933	4,253	6,135	4,474	202	221	423		
CPK	6,362	8,587	6,559	7,876	197	△ 711	△ 514		
LAP	129	61	59	47	△ 70	△ 14	△ 84		
血清AMY	3,350	4,842	3,439	4,444	89	△ 398	△ 309		
T-CHO	487	706	748	679	261	△ 27	234		
中性脂肪	490	720	654	663	164	△ 57	107		
HDL-C	246	484	465	450	219	△ 34	185		
LDL-C	206	471	395	458	189	△ 13	176		
血清Na	6,885	14,764	6,996	13,203	111	△ 1,561	△ 1,450		
血清Cl	6,848	14,175	6,987	13,078	139	△ 1,097	△ 958		
血清K	6,892	14,766	6,999	13,206	107	△ 1,560	△ 1,453		
血清Ca	5,784	7,288	5,943	6,758	159	△ 530	△ 371		
血清P	786	3,848	1,107	3,520	321	△ 328	△ 7		
血清Mg	580	2,969	841	2,414	261	△ 555	△ 294		
血清鉄	236	605	284	572	48	△ 33	15		
UIBC	102	290	123	287	21	△ 3	18		
フェリチン	214	792	54	397	△ 160	△ 395	△ 555		
血中NH3	472	477	387	713	△ 85	236	151		
CRP	6,835	13,826	6,937	12,287	102	△ 1,539	△ 1,437		
血中ケトン	820	189	896	157	76	△ 32	44		
血糖	6,608	8,080	6,359	7,099	△ 249	△ 981	△ 1,230		
BNP	770	734	1,367	799	597	65	662		
血液ガス	226	2,168	248	1,729	22	△ 439	△ 417		
プロカルシトニン	92	192	758	854	666	662	1,328		
ミオグロビン	3	31	98	136	95	105	200		
トロポニンT	975	124	1,218	130	243	6	249		
HbS抗原	144	37	936	341	792	304	1,096		
HCV抗体	144	37	927	328	783	291	1,074		
HIV抗原・抗体	129	15	765	167	636	152	788		

(件)

	血液検査関連						前年比較(△減)		
	令和3年			令和4年			外来	入院	計
	外来	入院	計	外来	入院	計			
検血(CBC)	6,805	15,537	6,908	13,440	103	△ 2,097	△ 1,994		
網状赤血球	283	3,641	295	3,102	12	△ 539	△ 527		
血液像	3,190	8,024	5,215	7,573	2,025	△ 451	1,574		
PT時間	4,707	5,824	4,375	4,651	△ 332	△ 1,173	△ 1,505		
APTT	4,689	5,292	4,363	4,339	△ 326	△ 953	△ 1,279		
フィブリノーゲン	4,471	3,798	4,125	3,164	△ 346	△ 634	△ 980		
ATⅢ	64	1,108	96	1,030	32	△ 78	△ 46		
血中FDP	4,463	3,974	4,117	3,351	△ 346	-623	△ 969		
Dダイマー	4,597	3,705	4,249	2,950	△ 348	△ 755	△ 1,103		
可溶性フィブリン	24	405	26	133	2	△ 272	△ 270		

(件)

	一般検査関連						前年比較(△減)		
	令和3年			令和4年			外来	入院	計
	外来	入院	計	外来	入院	計			
検尿	1,759	2,345	1,647	2,069	△ 112	△ 276	△ 388		
リコール	20	22	12	9	△ 8	△ 13	△ 21		

(件)

	その他						前年比較(△減)		
	令和3年			令和4年			外来	入院	計
	外来	入院	計	外来	入院	計			
HCG-25	196	1	246	1	50	0	50		
インフルエンザ	309	7	235	9	△ 74	2	△ 72		
RSウイルス	113	9	150	1	37	△ 8	29		
A群溶連菌迅速	119	1	76	2	△ 43	1	△ 42		
心電図	105	93	107	67	2	△ 26	△ 24		

(件)

病棟閉鎖の影響で全体的に入院の検体検査件数減少がみられた。  
新規検査機器の導入により免疫血清検査の時間外測定が可能となり件数の増加につながった。

## 輸血部統計

## 1.月別輸血関連検査数

外来/入院	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	ABO・Rh血液型	605	602	616	538	538	541	612	674	588	587	598	626	7,125
	ABO・Rh血液型(オモテのみ)	1	0	0	1	0	1	2	0	1	1	3	0	10
	Rh因子	0	2	1	0	1	0	1	0	2	1	1	1	10
	不規則抗体スクリーニング	392	380	395	361	356	339	375	423	373	367	385	397	4,543
	間接抗グロブリン試験	20	23	14	15	12	21	21	26	15	20	14	32	233
	直接抗グロブリン試験	15	15	10	10	10	20	13	14	14	14	10	27	172
	交差適合試験本数(T&S出庫含む)	98	92	112	112	122	121	130	122	106	102	108	115	1,340
	輸血後・保存用	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	4
	輸血前・保存用	53	63	67	64	56	85	93	84	79	70	76	81	871
入院	ABO・Rh血液型	156	151	134	129	154	128	103	114	128	107	91	132	1,527
	ABO・Rh血液型(オモテのみ)	1	0	2	2	2	1	1	1	4	2	3	2	21
	Rh因子	1	1	3	0	1	2	0	3	0	3	2	3	19
	不規則抗体スクリーニング	181	195	186	169	188	173	156	152	178	170	137	176	2,061
	間接抗グロブリン試験	3	5	7	5	8	4	7	2	4	4	7	3	59
	直接抗グロブリン試験	7	5	10	7	10	5	8	3	8	6	11	6	86
	交差適合試験本数(T&S出庫含む)	299	329	323	260	300	406	324	328	368	353	310	286	3,886
	輸血後・保存用	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	輸血前・保存用	103	108	100	113	103	123	136	133	147	134	115	114	1,429

※院内血(いわゆる生血)採血:0件

## 2.輸血関連検査数年変移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度	2022年度
交差適合試験本数(T&S出庫含む)	5,471	5,413	4,905	5,178	4,719	5,130	5,376	5,226
ABO・Rh血液型	6,982	7,689	7,767	8,000	8,000	7,708	8,543	8,683
不規則抗体スクリーニング	4,356	4,896	4,838	5,239	5,653	5,972	6,456	6,604
間接抗グロブリン試験	268	257	224	197	213	230	253	292
直接抗グロブリン試験	140	151	118	99	124	164	204	258

## 3.不規則抗体検出状況

血液型	抗体名	件数	血液型	抗体名	件数
Rh	抗E	8	Lewis	抗Le <sup>a</sup>	10
	抗c	2		抗Le <sup>b</sup>	7
	抗C	2		抗Le <sup>a</sup> +抗Le <sup>b</sup>	1
	抗E+抗c	2	Jacobs	抗Jr <sup>a</sup>	1
	抗C+抗e	1	自己抗体		12
Rh+その他	抗C+抗S	1	未確定抗体		12
MNS	抗M	3	未確定抗体+抗E		1
	抗S	1	未確定抗体+抗Le <sup>a</sup>		1
Duffy	抗Fy <sup>b</sup>	4	未確定抗体+抗Le <sup>b</sup>		1
P	抗P1	10	合計抗体検出件数		80
			抗体検出率(%)		1.21%

※抗体検出率の母数は「のべ不規則抗体スクリーニング件数」のため患者は重複している

4.赤血球製剤 型別購入・廃棄数

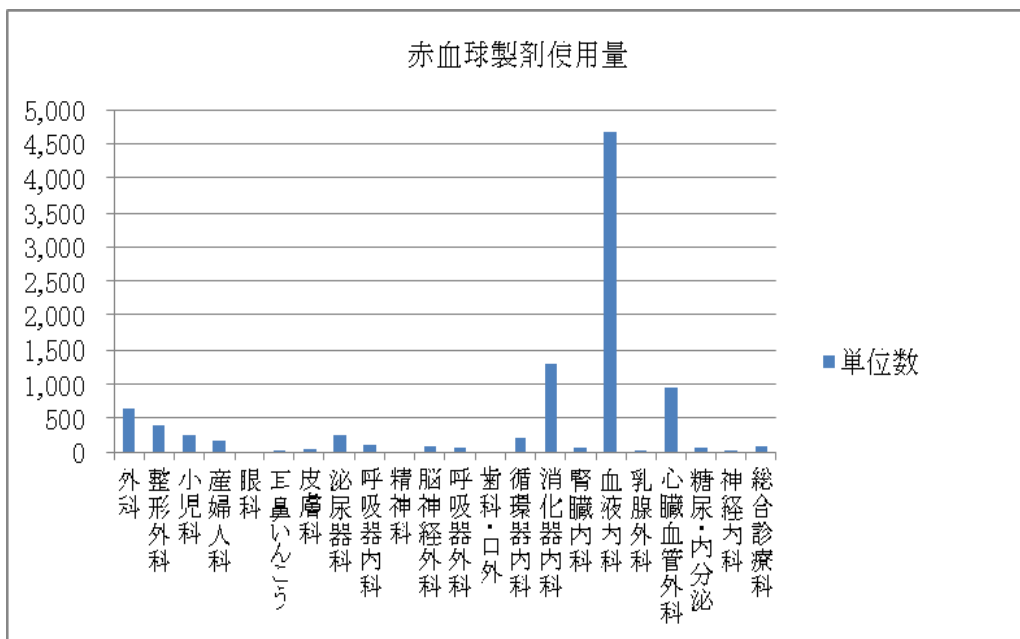
	A			O			B			AB			合計				
	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	購入額	廃棄	廃棄額	廃棄率
	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	(円)	単位数	(円)	(%)
4月	262	0	0.00	196	0	0.00	174	0	0.00	88	4	4.55	720	6,527,522	4	36,264	0.56
5月	280	0	0.00	230	0	0.00	172	2	1.16	52	0	0.00	734	6,654,450	2	18,132	0.27
6月	230	2	0.87	258	0	0.00	268	0	0.00	70	0	0.00	826	7,488,518	2	18,132	0.24
7月	240	0	0.00	142	0	0.00	212	0	0.00	56	0	0.00	650	5,892,924	0	0	0.00
8月	224	0	0.00	248	0	0.00	214	0	0.00	88	0	0.00	774	7,017,088	0	0	0.00
9月	332	0	0.00	316	0	0.00	212	0	0.00	86	0	0.00	946	8,576,438	0	0	0.00
10月	272	0	0.00	254	0	0.00	221	0	0.00	66	0	0.00	813	7,370,663	0	0	0.00
11月	332	0	0.00	184	0	0.00	164	0	0.00	102	0	0.00	782	7,089,630	0	0	0.00
12月	328	0	0.00	201	0	0.00	248	0	0.00	106	0	0.00	883	8,005,297	0	0	0.00
1月	267	0	0.00	198	0	0.00	295	0	0.00	80	0	0.00	840	7,615,456	0	0	0.00
2月	216	0	0.00	197	0	0.00	178	0	0.00	138	0	0.00	729	6,609,121	0	0	0.00
3月	292	0	0.00	180	0	0.00	151	0	0.00	100	0	0.00	723	6,554,727	0	0	0.00
合計	3,275	2	0.06	2,604	0	0.00	2,509	2	0.08	1,032	4	0.39	9,420	85,401,834	8	72,528	0.08

5.赤血球製剤 納品廃棄の年変移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度	2022年度
納品単位数	9,360	9,270	8,632	9,123	8,320	9,243	9,464	9,420
廃棄単位数	4	6	22	12	6	18	8	8
廃棄率(%)	0.04	0.06	0.25	0.13	0.07	0.19	0.08	0.08
購入額(円)	82,964,852	82,160,082	76,505,446	80,857,208	74,133,199	83,436,608	85,431,756	85,401,834
廃棄額(円)	35,452	53,178	194,986	106,356	53,506	162,486	72,216	72,528

6.診療科別 赤血球製剤使用量

診療科	外科	整形外科	小児科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう	皮膚科	泌尿器科	呼吸器内科	精神科	脳神経外科	
単位数	650	398	249	171	0	4	42	256	98	0	92	
	呼吸器外科	歯科・口外	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	血液内科	乳腺外科	心臓血管外科	糖尿・内分泌	脳神経内科	総合診療科	合計
	58	0	214	1,304	64	4,680	8	958	56	6	94	9,402



7.血小板製剤 型別購入・廃棄数

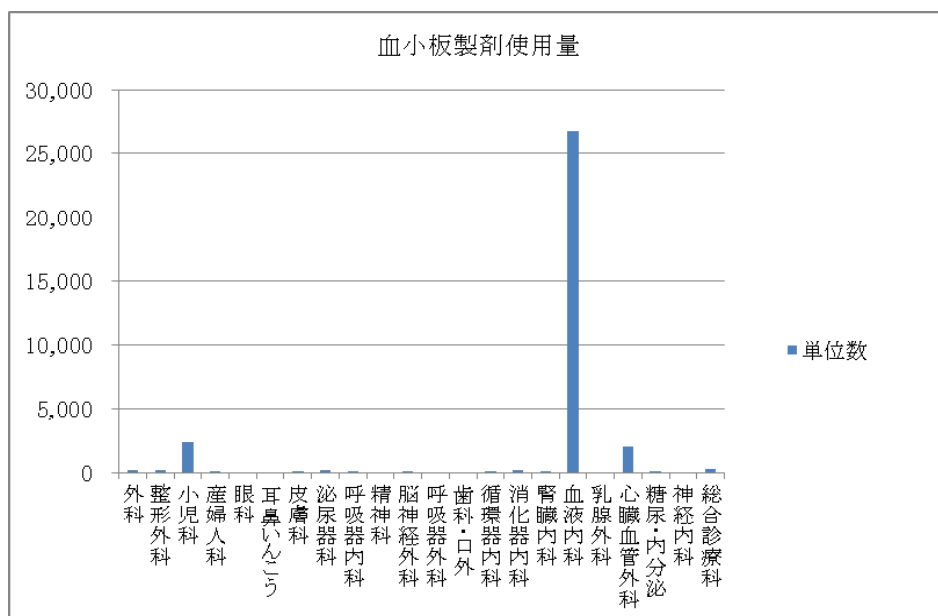
	A			O			B			AB			合計				
	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	購入額	廃棄	廃棄額	廃棄率
	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	(円)	単位数	(円)	(%)
4月	850	0	0.00	450	0	0.00	610	0	0.00	420	0	0.00	2,330	19,359,215	0	0	0.00
5月	970	0	0.00	490	0	0.00	825	0	0.00	520	0	0.00	2,805	23,094,488	0	0	0.00
6月	770	0	0.00	725	0	0.00	1,170	0	0.00	390	0	0.00	3,055	25,187,459	0	0	0.00
7月	710	0	0.00	570	0	0.00	630	0	0.00	440	0	0.00	2,350	19,407,892	0	0	0.00
8月	880	0	0.00	750	0	0.00	1,020	0	0.00	490	0	0.00	3,140	26,129,184	0	0	0.00
9月	1,460	0	0.00	730	0	0.00	1,410	0	0.00	460	0	0.00	4,060	33,585,106	0	0	0.00
10月	770	0	0.00	500	0	0.00	1,080	0	0.00	500	0	0.00	2,850	23,527,641	0	0	0.00
11月	1,070	0	0.00	430	0	0.00	540	0	0.00	420	0	0.00	2,460	20,290,925	0	0	0.00
12月	860	0	0.00	540	0	0.00	830	0	0.00	560	0	0.00	2,790	23,087,448	0	0	0.00
1月	740	0	0.00	360	10	2.78	1,070	0	0.00	520	0	0.00	2,690	22,023,013	10	81,744	0.37
2月	500	0	0.00	360	0	0.00	810	0	0.00	360	0	0.00	2,030	16,594,696	0	0	0.00
3月	660	0	0.00	290	0	0.00	790	0	0.00	290	0	0.00	2,030	16,660,143	0	0	0.00
合計	10,240	0	0.00	6,195	10	0.16	10,785	0	0.00	5,370	0	0.00	32,590	268,947,210	10	81,744	0.03

8.血小板製剤 納品廃棄の年変移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度	2022年度
納品単位数	22,480	27,210	28,360	23,850	22,125	31,885	30,785	32,590
廃棄単位数	15	0	10	50	0	10	0	10
廃棄率(%)	0.07	0.00	0.04	0.21	0.00	0.03	0.00	0.03
購入額(円)	179,367,132	218,401,561	227,320,431	191,668,583	178,586,788	260,189,579	253,286,647	268,947,210
廃棄額(円)	119,378	0	79,875	399,375	0	81,354	0	81,744

9.診療科別 血小板製剤使用量

診療科	外科	整形外科	小児科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう	皮膚科	泌尿器科	呼吸器内科	精神科	脳神経外科	
単位数	200	180	2,355	35	0	0	10	210	110	0	90	
	呼吸器外科	歯科・口外	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	血液内科	乳腺外科	心臓血管外科	糖尿・内分泌	脳神経内科	総合診療科	合計
	0	0	60	160	20	26,740	0	2,050	60	0	310	32,590



10.新鮮凍結血漿 型別購入・廃棄数 (120mlを1単位とする)

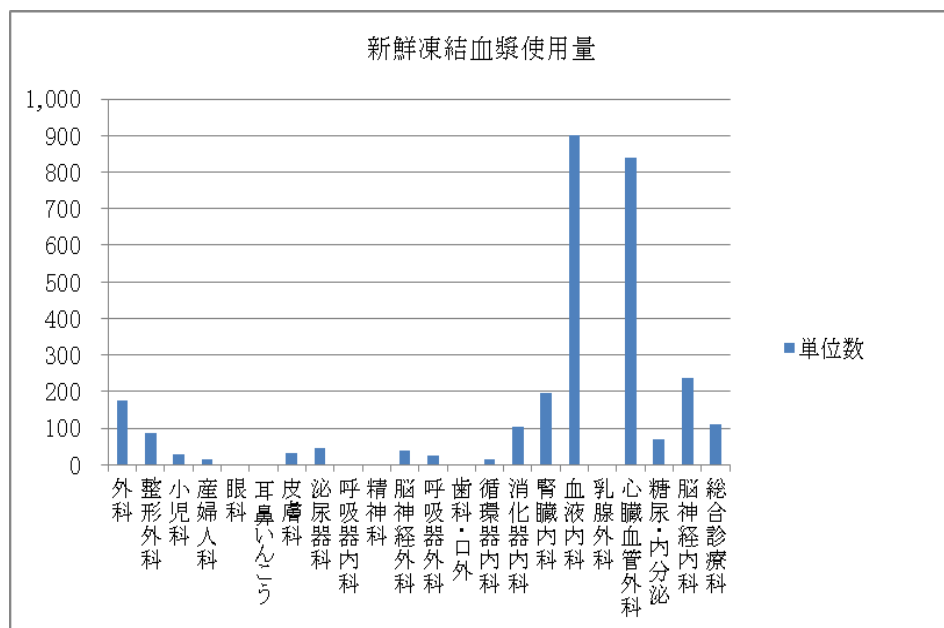
	A			O			B			AB			合計				
	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	廃棄	廃棄率	納品	購入額	廃棄	廃棄額	廃棄率
	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	単位数	(%)	単位数	(円)	単位数	(円)	(%)
4月	64	0	0.00	22	0	0.00	18	0	0.00	20	0	0.00	124	1,111,096	0	0	0.00
5月	46	0	0.00	42	0	0.00	38	0	0.00	0	0	***	126	1,029,946	0	0	0.00
6月	136	0	0.00	96	0	0.00	98	0	0.00	0	0	***	330	2,538,204	0	0	0.00
7月	28	0	0.00	12	0	0.00	218	2	0.92	8	0	0.00	266	1,864,862	2	18,322	0.75
8月	24	0	0.00	60	0	0.00	44	0	0.00	34	4	11.76	162	1,434,346	4	24,210	2.47
9月	176	0	0.00	312	0	0.00	60	0	0.00	12	0	0.00	560	3,961,364	0	0	0.00
10月	70	0	0.00	102	6	5.88	76	0	0.00	0	0	***	248	1,923,776	6	42,532	2.42
11月	54	0	0.00	76	0	0.00	34	0	0.00	0	12	***	164	1,465,102	12	97,498	7.32
12月	154	0	0.00	50	0	0.00	28	0	0.00	48	4	8.33	280	2,204,494	4	36,644	1.43
1月	70	0	0.00	18	0	0.00	98	0	0.00	6	0	0.00	192	1,647,006	0	0	0.00
2月	28	0	0.00	34	0	0.00	192	0	0.00	82	0	0.00	336	2,394,226	0	0	0.00
3月	44	0	0.00	38	0	0.00	36	0	0.00	2	0	0.00	120	1,049,584	0	0	0.00
合計	894	0	0.00	862	6	0.70	940	2	0.21	212	20	9.43	2,908	22,624,006	28	219,206	0.96

11.新鮮凍結血漿 納品廃棄の年変移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度	2022年度
納品単位数	3,083	3,428	3,819	3,129	2,675	3,236	4,004	2,908
廃棄単位数	28	16	10	14	12	8	4	28
廃棄率(%)	0.91	0.47	0.26	0.45	0.45	0.25	0.10	0.96
購入額(円)	24,010,282	27,600,590	28,477,868	25,008,194	21,500,517	25,403,128	30,319,922	22,624,006
廃棄額(円)	226,354	131,089	65,146	113,177	83,058	72,976	24,054	219,206

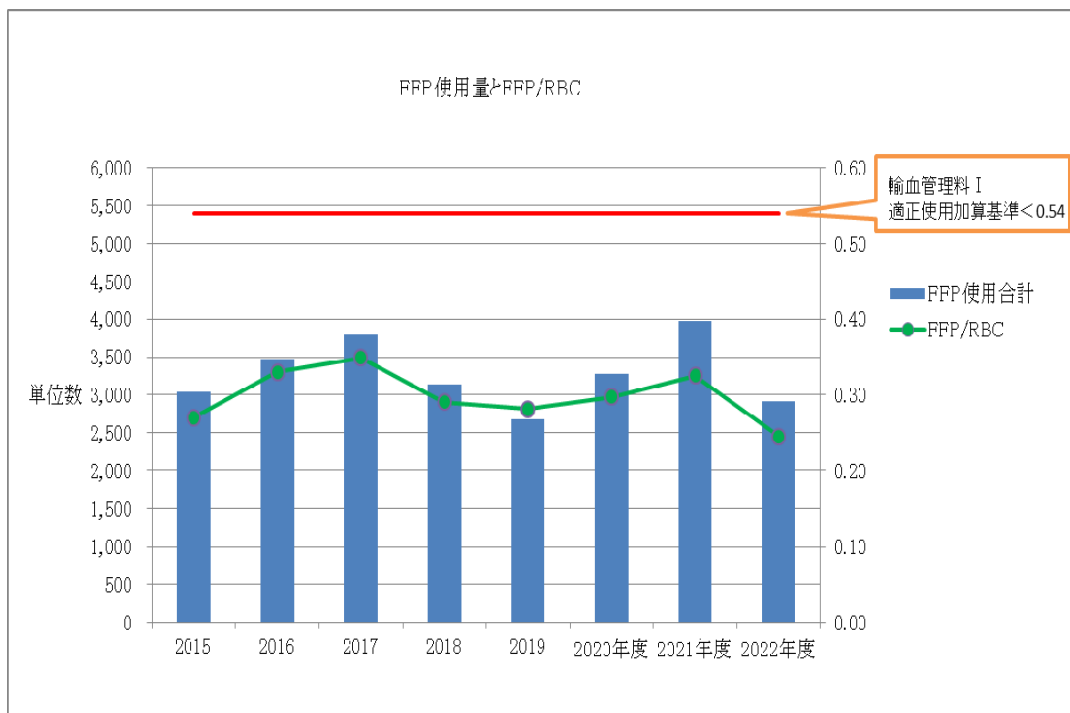
12.診療科別 新鮮凍結血漿使用量

診療科	外科	整形外科	小児科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう	皮膚科	泌尿器科	呼吸器内科	精神科	脳神経外科	
単位数	176	86	30	16	0	0	32	44	0	0	38	
	呼吸器外科	歯科・口外	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	血液内科	乳腺外科	心臓血管外科	糖尿・内分泌	脳神経内科	総合診療科	合計
	24	0	14	104	196	900	0	838	68	236	110	2,912



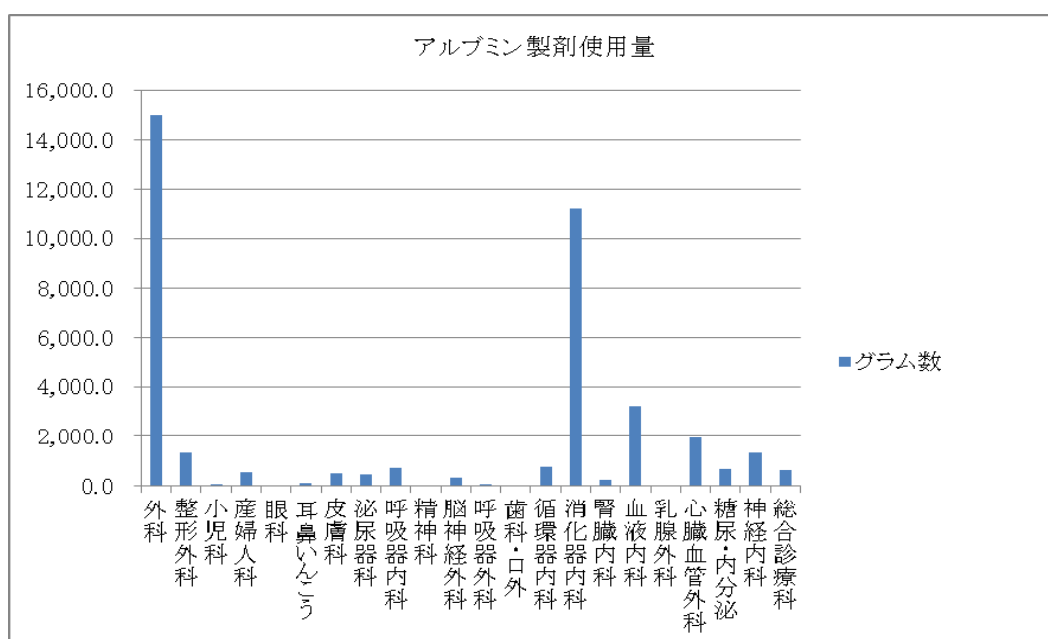
13.新鮮凍結血漿使用単位数とFFP/RBC比（適正使用加算基準<0.54）

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度	2022年度
FFP使用合計	3,043	3,478	3,791	3,135	2,677	3,280	3,970	2,912
血漿交換使用量	870	672	1,448	818	538	942	1,650	1,100
RBC使用量	9,617	9,495	8,789	9,393	8,552	9,453	9,664	9,638
FFP/RBC	0.27	0.33	0.35	0.29	0.28	0.30	0.33	0.25



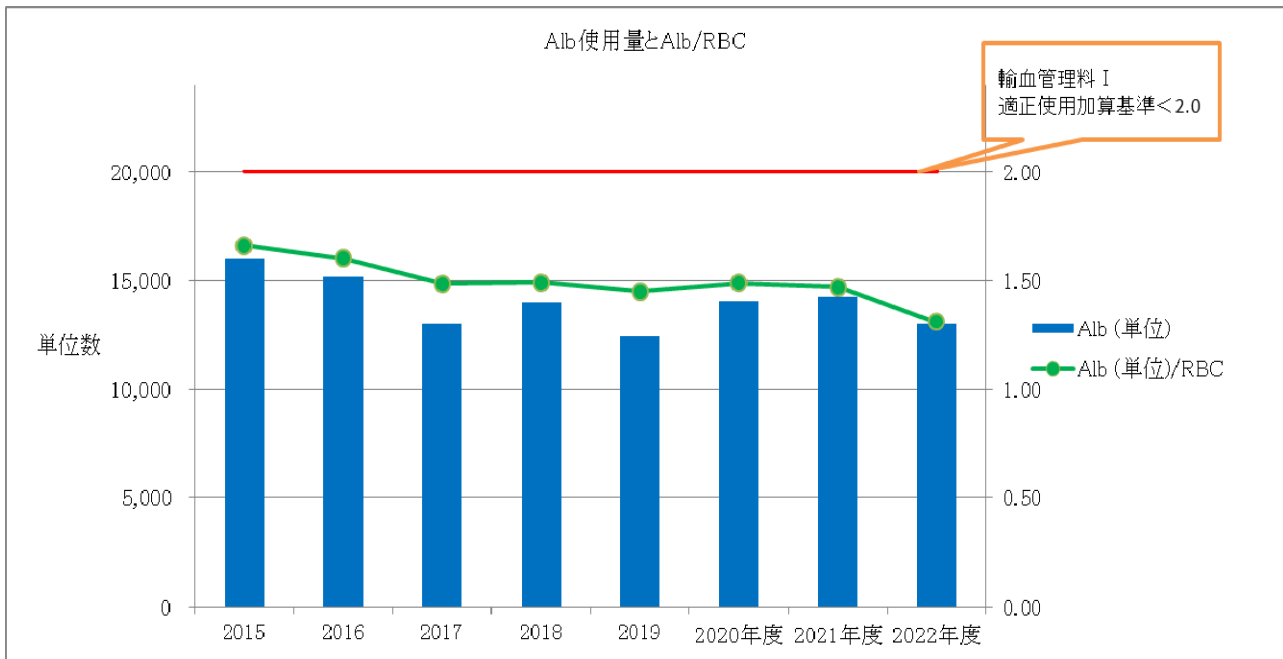
14.診療科別 アルブミン製剤使用量

診療科	外科	整形外科	小児科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう	皮膚科	泌尿器科	呼吸器内科	精神科	脳神経外科	
グラム数	15,012.5	1,325.0	50.0	550.0	0.0	87.5	512.5	462.5	737.5	0.0	312.5	
	呼吸器外科	歯科・口外	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	血液内科	乳腺外科	心臓血管外科	糖尿・内分泌	脳神経内科	総合診療科	合計
	62.5	0.0	775.0	11,237.5	225.0	3,212.5	0.0	1,937.5	675.0	1,325.0	612.5	39,112.5



15.アルブミン使用量とAlb/RBC比（適正使用加算基準<2.0）

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度	2022年度
RBC(単位)	9,617	9,495	8,789	9,393	8,552	9,453	9,664	9,638
Alb(単位)	15,983	15,208	13,054	14,000	12,408	14,079	14,254	13,038
Alb(単位)/RBC	1.66	1.60	1.49	1.49	1.45	1.49	1.47	1.31



16.血液内科および小児科における造血幹細胞移植件数とその年変移

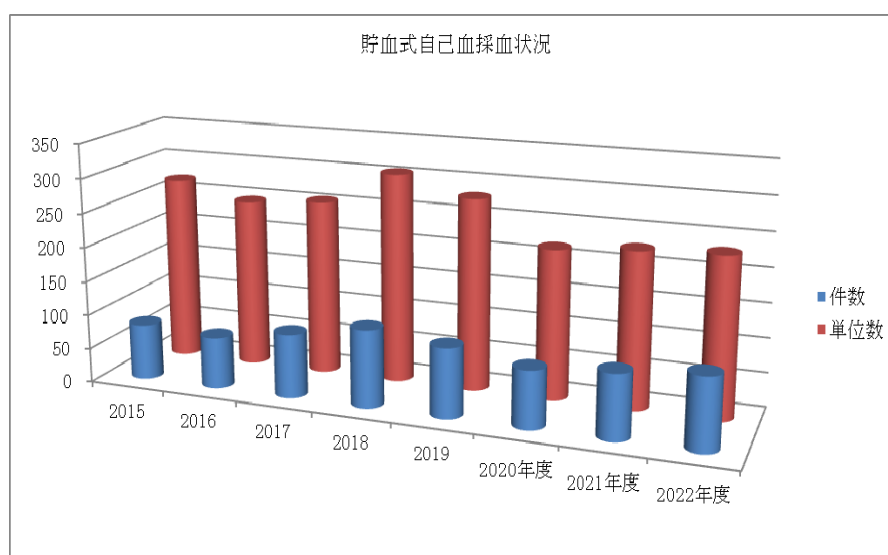
		2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度	2022年度
血液内科	末梢血幹細胞 自家	5	3	9	14	8	7	9	16
	末梢血幹細胞 血縁	4	4	8	5	7	7	10	9
	末梢血幹細胞 バンク	0	0	0	1	0	0	0	0
	骨髄 バンク	5	6	6	1	1	2	2	2
	骨髄 血縁	0	0	1	0	1	0	0	0
	臍帯血	4	11	6	15	11	14	15	8
	ドナーリンパ球	0	0	0	0	4	13	4	1
	顆粒球輸注	0	0	0	0	2	0	0	0
小児科	末梢血幹細胞 自家	1	1	0	0	1	0	0	0
	末梢血幹細胞 血縁	0	0	0	1	0	1	2	2
	末梢血幹細胞 バンク	0	0	1	0	1	0	0	0
	骨髄 バンク	1	0	2	1	2	1	1	0
	骨髄 血縁	0	0	1	0	1	1	0	0
	臍帯血	1	3	3	1	0	0	3	2
	ドナーリンパ球	0	0	0	1	1	0	1	0
	顆粒球輸注	0	0	0	0	0	0	2	0
合計		21	28	36	40	40	46	49	40

## 17.診療科別 自己血採血状況

診療科	整形外科	産婦人科	小児科	泌尿器科	心臓血管外科	血液内科	脳神経外科	合計
件数	36	31	7	31	0	0	0	105
単位数	78	77	13	64	0	0	0	232
廃棄単位数	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 18.自己血採血状況の年変移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度	2021年度	2022年度
件数	81	75	93	113	101	84	94	105
単位数	271	247	256	306	280	218	227	232
廃棄単位数	23	20	16	18	24	12	0	0
廃棄率(%)	8.49	8.10	6.25	5.88	8.57	5.50	0.00	0



## 《まとめ》

- FFP/RBC<0.54、A1b/RBC<2.0 を維持し、輸血管理料 I の施設基準および輸血適正使用加算の基準を満たしている。
- 2022 年度における輸血用血液製剤の廃棄率はどの製剤種も「1.0%以下」を維持し、適正な運用ができていると思われる。
- 学会認定臨床輸血看護師 8 名、学会認定自己血輸血看護師 2 名、アフエレーシスナース 1 名の活動により、安全な輸血細胞治療および造血幹細胞移植の体制が整備されている。
- 岐阜県合同輸血療法委員会専門部会活動に積極的に参加し、看護師ネットワーク・検査技師ネットワークの構築等により、輸血細胞治療の向上に取り組んでいる。

## 臨床工学室統計

## 中央（手術）機器管理部門

	件数
各医療機器点検	14,506
血液ガス日常点検	246

## 呼吸治療部門

	件数
人工呼吸器ラウンド IPPV	1,046
人工呼吸器ラウンド NPPV	779
人工呼吸器ラウンド NHF	560

## 循環器部門

	件数
ペースメーカー外来人数	434
遠隔モニタリング	2,382
手術・検査等立会い	84
アブレーション	59
電気生理学検査	1
デバイス植込み（抜去）業務	55

## 集中治療部門

	件数
CHDF	36
PE	9
HD/HDF	169
PMX	5
活性炭吸着	1

## 血液浄化部門

	件数
シャントエコー	59
エコー下穿刺	51
G-CAP	50
CART	30
HD	2,213
オンライン HDF	126
i-HDF	61
オフライン HDF	70
PE	30
PTA	3

## 手術関連部門

	件数
ダヴィンチ	131
ステント業務	26
ナビゲーション	63
セルセーバー	50
RFA	75

## 人工心臓部門

	件数
人工心臓	37
ECMO(日数)	20
IABP 使用中点検	45

## 薬 剤 部 統 計

## 2022年調剤統計

月	外 来 ( 院 内 )			入 院		
	処方箋枚数	件数	剤数	処方箋枚数	件数	剤数
1月	1,453	3,345	27,499	6,633	15,998	96,924
2月	1,160	2,703	24,827	5,801	14,010	84,867
3月	1,237	3,076	28,458	6,868	17,669	103,384
4月	1,247	2,843	25,841	6,210	16,039	100,390
5月	1,539	3,603	27,295	6,235	15,466	95,160
6月	1,289	3,208	27,086	6,456	16,258	95,060
7月	1,754	3,733	31,388	6,382	15,247	93,959
8月	1,955	4,362	36,036	6,274	15,864	95,455
9月	1,456	3,354	27,767	6,133	15,424	88,883
10月	1,109	2,826	27,170	6,183	15,555	98,584
11月	1,316	3,217	26,789	6,464	15,862	94,226
12月	1,644	3,638	30,491	6,995	17,779	109,068
合計	17,159	39,908	340,647	76,634	191,171	1,155,960
月平均	1,430	3,326	28,387	6,386	15,931	96,330

	外来(院内)	入院	年合計
処方箋枚数	17,159	76,634	93,793
注射箋枚数	53,158	339,928	393,086
調剤件数	39,908	191,171	231,079
調剤剤数	340,647	1,155,960	1,496,607
一日平均			一日合計(診察日)
処方箋枚数	70.3	210.0	280.3
注射箋枚数	217.9	931.3	1149.2
調剤件数	163.6	523.8	687.3
調剤剤数	1396.1	3167.0	4563.1

## 2022年麻薬処方統計

## 処方箋枚数

月	入 院	外 来	合 計
1月	111	13	124
2月	108	13	121
3月	84	19	103
4月	93	10	103
5月	101	12	113
6月	76	9	85
7月	134	11	145
8月	103	12	115
9月	102	5	107
10月	138	10	148
11月	74	29	103
12月	172	10	182
合計	1,296	153	1449
月平均	108.0	12.8	120.8
日平均	3.6	0.4	4.0

## 注射箋枚数

月	入 院	外 来	合 計
1月	642	1	643
2月	365	0	365
3月	614	2	616
4月	519	1	520
5月	586	3	589
6月	538	0	538
7月	542	1	543
8月	578	1	579
9月	524	2	526
10月	587	0	587
11月	537	2	539
12月	720	1	721
合計	6,752	14	6766
月平均	562.7	1.2	563.8
日平均	18.5	0.0	18.5

H29より新システムにて集計

外来注射は予約注射及び当日注射にて、病棟が確定していないものを外来として集計

## 2022年院外処方箋枚数統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
循内科	754	699	838	793	718	720	716	729	700	648	671	710
腎臓内	189	168	207	186	162	213	190	206	187	180	186	190
消化器	1114	1029	1231	1159	1044	1224	1,124	1181	1146	1013	1074	1140
血内科	476	409	521	451	432	449	443	492	498	498	480	496
糖内科	622	676	652	644	645	669	615	692	630	637	605	651
総合診	684	629	797	759	773	751	732	856	742	743	777	786
神内科	461	469	532	520	467	537	471	547	508	503	496	523
呼吸内	648	579	712	668	706	697	685	703	667	673	698	713
小児科	379	333	462	355	372	359	350	385	353	353	369	398
小児二	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	348	377	391	386	389	404	380	401	410	434	403	397
乳腺外科	206	176	223	207	226	218	219	219	215	193	206	209
整形外科	224	187	250	159	167	174	142	167	167	167	147	149
リハ科	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	339	309	362	309	336	390	337	328	359	308	335	367
眼科	67	78	87	98	66	70	64	70	76	61	78	68
耳鼻科	259	265	349	260	262	274	259	270	261	225	253	268
皮膚科	615	558	655	617	598	643	606	654	681	589	655	644
泌尿器科	379	351	424	422	410	440	430	440	463	412	395	449
心臓外	58	63	72	63	60	64	64	78	74	67	87	64
呼吸外	21	12	14	2	0	3	1	8	8	3	7	3
脳外科	227	238	244	262	241	254	231	251	195	215	223	215
放射診	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
放射治	21	14	32	34	37	43	20	23	24	20	23	25
歯口外	96	98	149	118	137	156	129	124	126	107	139	140
精神科	1,330	1,201	1,422	1,356	1,318	1,375	1,345	1,395	1,338	1,308	1,305	1,347
小児夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休成人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休小児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9,517	8,920	10,627	9,828	9,566	10,127	9,553	10,219	9,829	9,357	9,613	9,953

院内	休小児夜間	33	33	32	41	42	50	44	93	83	31	43	65
	休小児	53	21	25	32	71	34	54	40	70	43	39	76
	休成人	125	57	38	45	115	24	118	173	93	49	116	160
	休日歯科	31	3	11	8	17	6	10	8	18	10	8	16

H26/4/6より 休日急病センターは院内処方に変更(県薬剤師会の派遣により)

2022年注射処方箋枚数統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
入院合計	30,562	23,928	28,641	27,868	29,522	27,750	25,985	28,447	29,779	27,474	28,585	31,387	339,928
患者数	51,240	41,178	48,591	46,658	49,550	46,125	43,219	47,660	49,887	45,737	47,388	51,903	569,136
件数	985.9	854.6	923.9	928.9	952.3	925.0	838.2	917.6	992.6	886.3	952.8	1,012.5	931.3
入院 一日平均	1,652.9	1,470.6	1,567.5	1,555.3	1,598.4	1,537.5	1,394.2	1,537.4	1,662.9	1,475.4	1,579.6	1,674.3	1,559.3
外来合計	4,131	3,432	4,496	4,217	4,576	4,795	4,528	4,704	4,733	4,465	4,661	4,420	53,158
患者数	6,797	5,746	7,415	6,855	7,442	7,536	7,415	7,803	7,770	7,231	7,513	7,142	86,665
件数	217.4	190.7	204.4	210.9	240.8	218.0	226.4	213.8	236.7	223.3	233.1	200.9	217.9
外来 一日平均	357.7	319.2	337.0	342.8	391.7	342.5	370.8	354.7	388.5	361.6	375.7	324.6	355.2
合計	34,693	27,360	33,137	32,085	34,098	32,545	30,513	33,151	34,512	31,939	33,246	35,807	393,086
患者数	58,037	46,924	56,006	53,513	56,992	53,661	50,634	55,463	57,657	52,968	54,901	59,045	655,801
件数													

2023年抗がん剤調製件数統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
入院合計	519	408	497	509	457	475	452	484	425	449	470	475	5,620
患者数	735	585	689	696	666	645	648	703	618	618	618	643	7,864
件数	16.7	14.6	16.0	17.0	14.7	15.8	14.6	15.6	14.2	14.5	15.7	15.3	15.4
入院 一日平均	23.7	20.9	22.2	23.2	21.5	21.5	20.9	22.7	20.6	19.9	20.6	20.7	21.5
外来合計	553	518	656	559	619	655	614	666	638	607	631	562	7,278
患者数	1,009	905	1,176	1,012	1,111	1,177	1,106	1,203	1,181	1,110	1,134	1,037	13,161
件数	29.1	27.3	29.8	28.0	32.6	29.8	30.7	30.3	31.9	30.4	31.6	25.5	29.8
外来 一日平均	53.1	50.3	53.5	50.6	58.5	53.5	55.3	54.7	59.1	55.5	56.7	47.1	53.9
合計	1,072	926	1,153	1,068	1,076	1,130	1,066	1,150	1,063	1,056	1,101	1,037	12,898
患者数	1,744	1,490	1,865	1,708	1,777	1,822	1,754	1,906	1,799	1,728	1,752	1,680	21,025
件数													

2022年TPN調製件数統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
入院合計	78	71	95	79	79	98	56	55	42	44	75	79	851
患者数	83	76	70	84	88	100	62	70	45	48	80	94	900
件数	2.5	2.5	3.1	2.6	2.5	3.3	1.8	1.8	1.4	1.4	2.5	2.5	2.3
入院 一日平均	2.7	2.7	2.3	2.8	2.8	3.3	2.0	2.3	1.5	1.5	2.7	3.0	2.5

2022年製剤統計

製剤名	製剤単位	製剤総量
内服散剤		
10% 塩酸モルヒネ散	50g	0 g
0.5% BDP散	50g	1300 g
BDPカプセル	10個	2783 個
外用液剤		
2%塩化第二鉄グリセリン液	100mL	2000 mL
10%硝酸銀液	100mL	590 mL
染色用ルゴール液	100mL	900 mL
2%チオ硫酸ナトリウム液	100mL	900 mL
3%酢酸水溶液	100mL	6316 mL
20%塩化アルミニウムエタノール液	100mL	300 mL
ポラプレジンク含嗽薬	300mL	38.1 L
1%ピオクタンブルー液	3mL	0 mL
SADBE液	50mL	250 mL
DPCP液	50mL	300 mL
0.5%アトロピン点眼液	5mL	0 mL

製剤名	製剤単位	製剤総量
軟膏剤		
モーズ軟膏	50g	150 g
内服液剤		
内服用ルゴール液	50mL	200 mL
注射剤		
5%塩化ナトリウム液	100mL	0 mL
坐剤		
ウリナスタチン陰坐剤	1個	137 個
その他		
骨セメント用パニマイシン500mg	10V	450 V

2022年 薬剤管理指導統計 病棟別内訳

月	ICU	中3HCU	中5HCU	中4	中5	中6	中7	中8	中9	中10	西7	西8	西9	西10	合計
1月	5	16	1	60	47	40	39	31	23	56	21	39	58	4	440
2月	11	20	0	57	11	44	37	26	5	54	22	39	52	0	378
3月	12	22	0	67	42	46	30	35	4	46	20	46	67	0	437
4月	16	25	1	57	51	52	30	45	0	73	26	101	61	9	547
5月	15	23	3	50	48	41	27	36	0	51	26	90	65	27	502
6月	11	21	0	46	58	53	33	57	0	54	33	85	57	14	522
7月	6	14	0	73	44	42	37	36	0	48	19	71	54	21	465
8月	7	17	0	47	52	48	36	46	0	62	23	32	49	15	434
9月	6	23	0	44	46	44	28	44	0	37	26	81	53	10	442
10月	12	22	0	50	61	57	26	51	0	51	32	76	27	30	495
11月	13	25	1	46	61	57	32	54	0	54	33	73	48	23	520
12月	8	20	1	60	64	55	33	47	0	32	22	30	49	26	447

2021年治験審査委員会審議件数

区分	申請・報告名	診療科																	合計										
		院長	第一内科	循環器内科	脳神経内科	腎臓内科	第二内科	消化器内科	消化器内視鏡部	血液内科	総合内科	外科	消化器外科	内視鏡外科	乳腺外科	整形外科	リハビリ科	小児科		産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	呼吸器内科	胸部・心臓血管外科	精神科	脳神経外科	麻酔科
治験	新規申請			1				4	4			1											1		1				12
	中間報告(継続審査)						1	4	10			1																	16
	計画変更申請					6	29	55				11											9		8				118
	重篤な有害事象発生の報告									17																			17
	有害事象発生の報告(軽微)																												0
	新たな安全性の報告						24	31	172			1											3		9				240
	重篤な副作用に関する連絡書(通知書なし)																												0
	逸脱報告書																												0
	その他			1				2	3			1																	7
	その他(通知書なし)							2	1														1		1				5
	直接閲覧実施申請書			2			3	14	35			20											6		4				84
	直接閲覧実施報告書			4			3	14	27			19											5		3				75
	直接閲覧結果報告書																												0
	原資料閲覧申請書兼報告書																												0
	フィルム等原資料複写依頼書																												0
	受領確認書																												0
	終了(中止)報告			1					1															2					4
	実施件数報告書			1					2															2					5
	製造(輸入)承認																												0
	開発中止							1	2	2																			5
	その他(製造承認・開発中止)																												0
直接閲覧実施状況報告書																												0	
直接閲覧実施結果報告書																												0	
合計		0	8	2	0	0	37	1	102	0	329	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	26	0	0	588	
製造販売後 臨床試験	新規申請																											0	
	中間報告(継続審査)																						1					1	
	計画変更申請																						7					7	
	重篤な有害事象発生の報告																											0	
	有害事象発生の報告(軽微)																											0	
	新たな安全性の報告																											0	
	重篤な副作用に関する連絡書(通知書なし)																											0	
	逸脱報告書																												0
	その他																												0
	その他(通知書なし)																												0
	直接閲覧実施申請書																							3				3	
	直接閲覧実施報告書																							3				3	
	直接閲覧結果報告書																											0	
	原資料閲覧申請書兼報告書																											0	
	フィルム等原資料複写依頼書																											0	
	受領確認書																											0	
	終了(中止)報告																											0	
	実施件数報告書																											0	
	製造(輸入)承認																											0	
	開発中止																											0	
	その他(製造承認・開発中止)																											0	
直接閲覧実施状況報告書																											0		
直接閲覧実施結果報告書																											0		
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	14	
委託研究	新規申請																											0	
	中間報告(継続審査)																							5				5	
	計画変更申請						1																6					7	
	重篤な有害事象発生の報告																											0	
	有害事象発生の報告(軽微)																											0	
	新たな安全性の報告									8														10				18	
	重篤な副作用に関する連絡書(通知書なし)																										0		
	逸脱報告書																											0	
	その他																											0	
	その他(通知書なし)																											0	
	直接閲覧実施申請書																											0	
	直接閲覧実施報告書																											0	
	直接閲覧結果報告書																											0	
	原資料閲覧申請書兼報告書																											0	
	フィルム等原資料複写依頼書																											0	
	受領確認書																											0	
	終了(中止)報告																											0	
	実施件数報告書																											0	
	製造(輸入)承認																											0	
	開発中止																											0	
	その他(製造承認・開発中止)																											0	
直接閲覧実施状況報告書																											0		
直接閲覧実施結果報告書																											0		
合計		0	0	0	0	0	1	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	30		
総合計		0	8	2	0	0	37	2	102	0	337	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	64	0	26	0	0	632	

区分	申請・報告名	院長	第一内科	循環器内科	脳神経内科	腎臓内科	第二内科	消化器内科	肝臓内科	消化器内視鏡部	血液内科	総合内科	外科	消化器外科	内視鏡外科	乳腺外科	整形外科	リハビリ科	小児科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	呼吸器内科	胸部・心臓血管外科	精神科	脳神経外科	麻酔科	合計	
使用成績調査	新規申請				1						1						1							2	1						6
	中間報告(継続審査)										2								1												3
	計画変更申請										4							1	1					4							10
	その他																														0
	その他(通知書なし)																														0
	直接閲覧申込書																														0
	直接閲覧報告書																														0
	原資料複写依頼書																														0
	原資料複写受領書																														0
	終了(中止)報告				1		1					4	1	1					1												9
	実施件数報告書				1		1					6	2	1						1										1	13
合計		0	0	0	3	0	2	0	0	0	17	3	2	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	6	1	0	0	0	1	41	
特定使用成績調査	新規申請				2		1				1	2														1				7	
	中間報告(継続審査)				2		1				2	3								1										9	
	計画変更申請				4		1				6	4								1					1					17	
	その他																													0	
	その他(通知書なし)																													0	
	直接閲覧申込書																													0	
	直接閲覧報告書																													0	
	原資料複写依頼書																													0	
	原資料複写受領書																													0	
	終了(中止)報告				1	1		1				5	1													2				11	
	実施件数報告書				1	3		3				6	6							1						2				22	
合計		0	0	2	12	0	0	7	0	0	20	16	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	66	
副作用・感染症報告					2						1													1				2	6		
総合計		0	0	2	15	2	2	7	0	0	37	20	2	0	0	0	3	0	6	0	0	0	0	7	7	0	0	2	1	113	

## 2022年 夜間・休日・業務統計

## 日勤

月	処方箋枚数			調剤数		注射処方箋		麻薬枚数	その他件数	小児件数
	外来	入院	合計	件数	剤数	枚数	処方数			
1月	382	578	960	1,403	6,677	44	109	44	6	49
2月	199	455	654	1,063	5,967	72	161	25	6	50
3月	192	399	591	907	4,781	114	279	38	14	42
4月	220	392	612	906	4,497	91	184	27	4	57
5月	361	513	874	1,376	6,679	173	450	44	2	70
6月	157	298	455	650	2,840	147	392	22	1	31
7月	326	416	742	1,114	6,187	156	362	34	1	77
8月	328	387	715	1,107	5,623	112	259	27	37	62
9月	257	418	675	1,006	4,951	140	343	19	2	69
10月	195	487	682	1,034	4,896	109	252	43	1	40
11月	252	408	660	1,148	5,447	135	339	24	11	49
12月	371	618	989	1,555	7,470	47	87	76	0	85
年合計	3,240	5,369	8,609	13,269	66,015	1,340	3,217	423	85	681
1日平均	26.8	44.4	71.1	109.7	545.6	11.1	26.6	3.5	0.7	5.6

## 夜勤

月	処方箋枚数			調剤数		注射処方箋		麻薬枚数	その他件数	小児件数
	外来	入院	合計	件数	剤数	枚数	処方数			
1月	556	969	1,525	2,517	12,861	789	1,666	32	29	161
2月	441	787	1,228	1,851	8,654	556	1,127	16	1	123
3月	504	861	1,365	2,327	11,935	846	1,839	42	26	152
4月	556	869	1,425	2,448	12,140	723	1,566	40	7	182
5月	704	741	1,445	2,475	12,241	736	1,600	31	15	239
6月	574	764	1,338	2,321	11,939	642	1,274	19	6	191
7月	841	990	1,831	2,836	14,128	684	1,289	29	33	281
8月	916	949	1,865	2,639	13,746	1,163	1,604	36	9	316
9月	657	928	1,585	2,639	13,408	730	1,565	31	9	237
10月	494	772	1,266	2,136	10,398	683	1,363	53	19	164
11月	570	809	1,379	2,405	11,930	722	1,459	20	28	160
12月	765	902	1,667	2,825	14,497	993	1,915	52	20	273
年合計	7,578	10,341	17,919	29,419	147,877	9,267	18,267	401	202	2,479
1日平均	20.8	28.3	49.1	80.6	405.1	25.4	50.0	1.1	0.6	6.8

「1日平均」は、年合計をそれぞれ日勤日121、夜勤日数365で除した値である。

## 注射当番

月	注射処方箋		合計
	夜勤*1	日勤*2	
1月	1437	10304	11741
2月	1192	7512	8704
3月	1540	7230	8770
4月	1395	7635	9030
5月	1341	9765	11106
6月	1741	6293	8034
7月	1445	8018	9463
8月	1603	6906	8509
9月	1593	8284	9877
10月	1476	7931	9407
11月	1775	8551	10326
12月	1754	9595	11349
合計	18292	98024	116316
1日平均	61.8	810.1	

夜勤*1	
平日	17:00~18:00
土曜日	17:30
日勤*2	
土曜日	8:30~11:30
日・祝日	8:30~11:30 17:00

日直＝日直業務  
夜直＝夜直業務

「1日平均」は、年合計をそれぞれ日勤日数121、夜勤日数296で除した値である。

平成29年1月より新システム導入により、注射は処方数を記載

夜勤：日曜祝日以外  
日勤：土日祝

## 看護部統計

### 看護職員配置職員数

令和4年4月1日時点

	正職			非常勤		配置数
	常勤	育短	部分休	パートA	パートB	
中4階	27	1	2	3		33
中5階	31		2	3		36
中6階	29	1	1	3	1	35
中7階	30		2			32
中8階	30	2	2	2		36
中9階						
中10階	30		1	3	1	35
西7階	22		0	1		23
西8階	29		1	3		33
西9階	30	1	1	3	1	36
西10階	22	1				23
ICU	25	2				27
中3HCU	31	1				32
中5HCU	18	2	1			21
手術室	33	2		3		38
救急外来	25	1	1			27
腎センター	4		1	2		7
消化器病センター	6		1	2		9
外来化学療法センター	4	2	2	1	1	10
外来診療部	30	4	8	39	2	83
入退院支援センター	3	1	1	1		6
地域連携	6		1	1		8
医療安全推進室	2					2
感染対策室	1					1
認知症ケア	2					2
緩和ケア	1					1
研修センター	1					1
医事・診療録・がん登	3					3
認定看護師専従	2					2
看護部長室	5			1	1	7
合計	482	21	28	71	7	609

産前産後休暇	10
育児休暇	51
休職	2

### 看護補助者数

令和4年4月1日時点

職種	採用区分	人数
介護福祉士	フルタイム	
	パートA	1
	合計	1
看護助手	正職員	3
	フルタイム	
	パートAA	12
	パートB	69
	合計	84

### 令和4年度 退職者数 (正職員)

他の職場への興味	8
転居	6
子育て	5
適性能力の不安	5
精神的理由	3
疲弊	3
夜勤が負担	2
勤務時間が長い・超勤が多い	1
看護職以外の職場への興味	1
結婚	1
人間関係	1
身体的理由	1
介護	1
定年・再任用満了	7
合計	45

### 令和4年度 専門看護師・認定看護師・特定看護師数

専門看護師			特定看護師
がん看護	精神看護	慢性疾患看護	3
1	1	1	

認定看護師					
がん性疼痛看護	摂食・嚥下障害看護	小児救急看護	がん化学療法看護	集中ケア	がん放射線療法看護
1	1	1	3	1	1
皮膚・排泄ケア	糖尿病看護	手術看護	救急看護	慢性心不全看護	透析看護
2	1	1	2	1	2
認知症看護	慢性呼吸器疾患看護	脳卒中リハビリテーション	緩和ケア	感染管理	クリティカルケア
1	1	1	1	1	1

## 令和4年度 院外研修実績

研修名		場所	人数
第11回岐阜ストーリーリハビリテーションWEB講習会	WEB参加	2022年5月25日～6月14日、6月19日	4
令和4年度感染対策担当者のためのセミナー	WEB参加	2022年7月16日、11月19日、2023年1月14日	2
令和4年度日本看護協会通常総会及び代議員研修会	幕張メッセ	2022年6月8日・9日	1
令和4年度看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	県民ふれあい会館	2022年5月30日	6
「接遇基礎研修～接遇スキルをレベルアップし、住民満足度につなげよう～」	県民ふれあい会館	2022年5月12日	3
第70回日本輸血・細胞治療学会学術総会	WEB参加	2022年5月27日～29日	1
第49回日本集中治療医学会学術集会	WEB参加	2022年4月2日～7月15日 (オンデマンド配信うち1日)	1
令和4年度新卒採用者研修「専門職としての第一歩」	県民ふれあい会館	2022年7月4日	30
第46回CVIT日本心血管インターベンション治療学会 東海北陸地方会	WEB参加	2022年5月27日・28日	1
令和4年度岐阜県保健師助産師看護師実習指導者講習会	eランニング: WEB参加 実習: 県民ふれあい会館	2022年6月6日～9月21日	3
新人看護職員教育事業教育担当者研修	県民ふれあい会館	2022年5月21日・6月11日 7月23日・8月25日・9月16日	3
22年「重症度、医療・看護必要度」評価者及び院内指導者研修	WEB参加	2022年7月1日～9月30日	4
看護人材現任者研修専任教育・実習指導者編「実習指導における臨床指導者と教員の連携」	WEB参加	2022年8月12日	2
2022年度日本看護協会主催医療安全管理者養成研修	インターネット配信研修 集合研修: 滋賀県看護協会滋賀県看護研修センター	2022年7月1日～2023年1月29日 (研修日時: 2022年12月9日)	4
2022年度 同種造血細胞移植後フォローアップのための看護師研修会	WEB参加	eランニング: 2022年7月7日～8月31日 オンライン演習: 2022年9月16日・17日	1
第35回東海ストーリーリハビリテーション講習会	WEB参加	オンデマンド講義: 2022年9月1日～30日 オンライン演習: 2022年10月15日	1
看護管理 看護の可視化とマネジメント	WEB参加	2022年10月7日	1
看護管理 看護管理者研修	WEB参加	2022年10月28日	1
ELNEC-J看護師教育プログラム	岐阜大学医学部付属病院	2022年8月27日・28日	2
第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	幕張メッセ	2022年9月23日・24日	1
第24回日本救急看護学会学術集会	TFTホール	2022年10月14日・15日	3
認知症高齢者の看護実践に必要な知識診療報酬「認知症ケア加算」対象研修(DVD研修)	県民ふれあい会館	2022年11月4日・5日	5
第60回全国自治体病院学会in沖縄	那覇文化芸術劇場なはーと・ホテルコレクティブ・沖縄県立武道館	2022年11月10日・11日	1
第1回腎臓リハビリテーションガイドライン講習会	WEB配信視聴	2022年7月31日	1
日本腎不全看護学会学術集会	名古屋国際会議場	2022年10月15日・16日	1
日本災害看護学会第24回年次大会	WEB参加	2022年8月26日～9月22日	1
第22回日本クリニカルパス学会学術集会	岐阜都ホテル	2022年11月11日・12日	2
第17回医療の質・安全学会学術集会	神戸	2022年11月26日・27日	2
ハードクレーム対応研修～相手を上手に導く対応技術～	県民ふれあい会館	2022年11月24日	2
事例で学ぶリスクマネジメント講座～危機管理能力の向上をめざして～	県民ふれあい会館	2022年10月25日	1

日本放射線腫瘍学会第35回学術大会	リーガロイヤルホテル広島	2022年11月10日～12日	1
2022年度 HCTC認定講習Ⅱ	WEB参加	2022年11月13日・18日・19日	1
第20回日本小児がん看護学会学術集会	虎ノ門ヒルズフォーラム	2022年11月25日～11月27日	1
日本子ども虐待防止学会 第28回学術集会 ぶんくおか大会	福岡国際会議場 福岡サンパレス	2022年12月10日・11日	1
災害時小児周産期リエゾン養成研修	東京医科大学西新宿キャンパス	2023年1月15日	1
第11回岐阜看護学会	県民ふれあい会館	2022年12月12日～19日	14
第14回日本ポイントオブケア超音波医学会学術集会「POCUSの裾野を広げる」	WEB参加	2023年1月7日・8日 (2023年1月7日～2月6日配信予定)	3
AO Spine ORP Course 2023	TKPガーデンシティPREMIUM 横浜駅新高島	2023年2月18日	2
令和4年度岐阜県DPAT研修	WEB参加	2023年2月19日	2
岐阜県透析研究会学術集会	ホテルグランヴェール岐山	2022年12月4日	1
第50回日本集中治療医学会学術集会	国立京都国際会館	2023年3月2日・3日・4日	3
第45回日本造血・免疫細胞療法学会総会	名古屋国際会議場	2023年2月10日・12日	1
第37回日本がん看護学会学術集会	パシフィコ横浜ノース	2023年2月25日・26日	1
第20回日本臨床腫瘍学会学術集会	福岡国際会議場・マリメッセ福岡	2023年3月16日～18日	2

## 令和4年度 看護部院外研究発表一覧

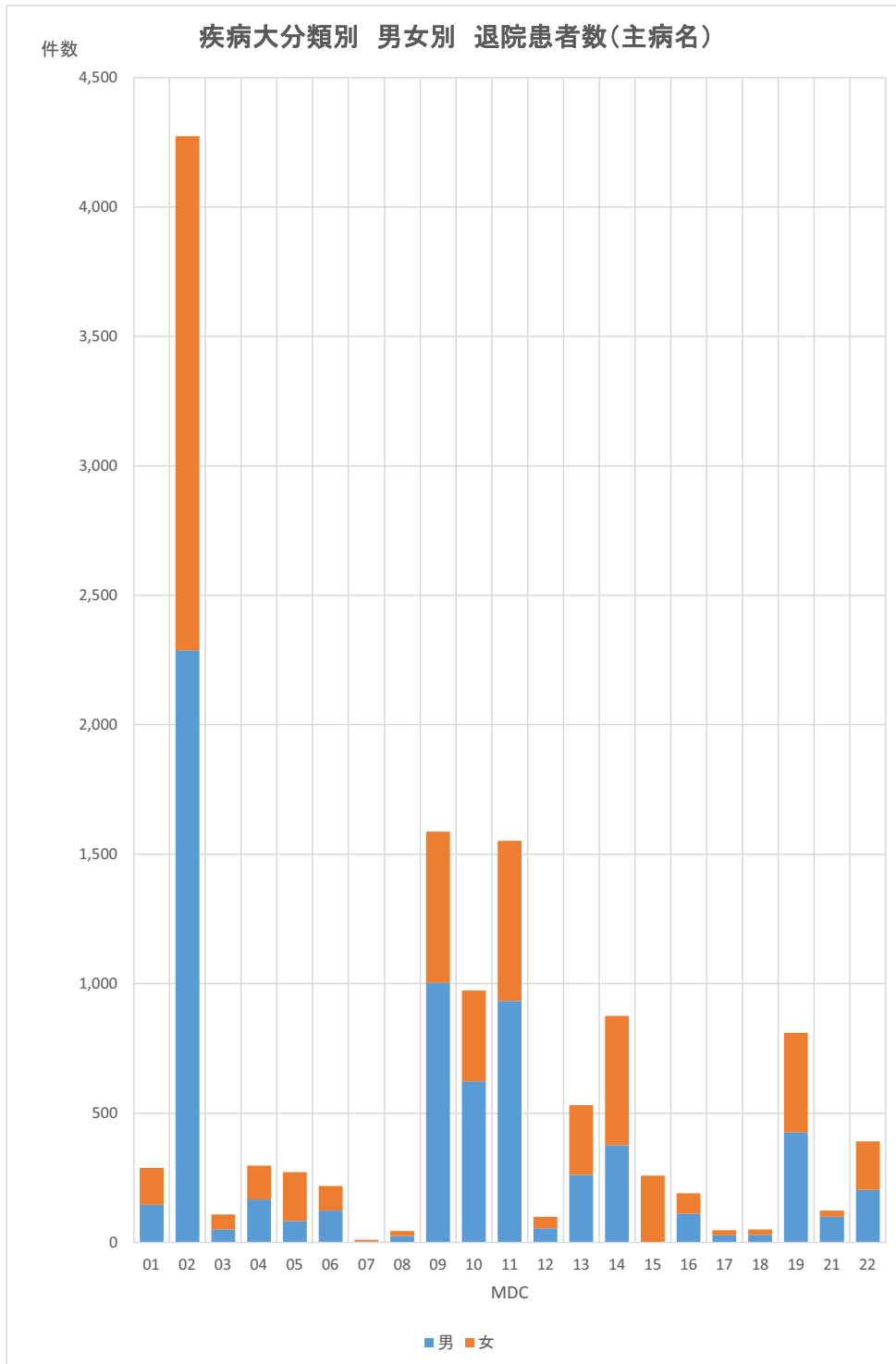
演題名	学会名	発表者
withコロナ時代の心血管インターベンションを考える	CVIT日本心血管インターベンション治療学会 第46回東海北陸地方会	坂之上 俊二
救急初療から全人的ケアを目指した看護の充実	第24回日本救急看護学会学術集会	山口 富士美
Medical Emergency Team発足後の現状と課題	第24回日本救急看護学会学術集会	川久保 嘉文
HCUへの異動・新人を対象とした技術習得に対する意識調査	第60回全国自治体病院学会	小寺 未緒
岐阜市民病院AYAサポートチームの活動報告	第22回中部小児がんトータルケア研究会	野浦 綾乃
AYAサポートチームの介入方法の検討 ～AYA世代がん患者との関わりから～	第20回日本小児がん看護学会学術集会	野浦 綾乃
看護部委員会活動の現状と課題 ～グループワークを通して～	第22回日本臨床カルパス学会学術集会	入山 佳子
「ビダーザ+輸血ありパス」の見直し後の報告	第22回日本臨床カルパス学会学術集会	吉岡 梢

## 診療情報管理室統計

疾病大分類別・退院患者数(主病名) 期間 2022年1月1日～2022年12月31日

大分類(ICD 10国際疾病分類第10版(2013年版))	ICD	男	女	総数	構成比
01:感染症及び寄生虫症	A00-B99	146	142	288	2.22%
02:新生物<腫瘍>	C00-D48	2,288	1,985	4,273	32.87%
03:血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	D50-D89	51	57	108	0.83%
04:内分泌、栄養及び代謝疾患	E00-E90	166	132	298	2.29%
05:精神及び行動の障害	F00-F99	83	189	272	2.09%
06:神経系の疾患	G00-G99	124	94	218	1.68%
07:眼及び付属器の疾患	H00-H59	4	6	10	0.08%
08:耳及び乳様突起の疾患	H60-H95	26	19	45	0.35%
09:循環器系の疾患	I00-I99	1,003	584	1,587	12.21%
10:呼吸器系の疾患	J00-J99	623	351	974	7.49%
11:消化器系の疾患	K00-K93	933	619	1,552	11.94%
12:皮膚及び皮下組織の疾患	L00-L99	55	44	99	0.76%
13:筋骨格系及び結合組織の疾患	M00-M99	262	269	531	4.08%
14:腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99	376	499	875	6.73%
15:妊娠、分娩及び産じょく<褥>	O00-O99	0	258	258	1.98%
16:周産期に発生した病態	P00-P96	112	79	191	1.47%
17:先天奇形、変形及び染色体異常	Q00-Q99	29	18	47	0.36%
18:症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されない	R00-R99	30	21	51	0.39%
19:損傷、中毒及びその他の外因の影響	S00-T98	425	385	810	6.23%
21:健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	Z00-Z99	100	23	123	0.95%
22:特殊目的用コード	U	204	187	391	3.01%
合計		7,040	5,961	13,001	

例年同様に、第1位は新生物、第2位は循環器系の疾患、第3位は消化器系の疾患が占めている。



## ICD別・退院患者数 上位10疾患(主病名)

期間 2022年1月1日～2022年12月31日

	主病名 ICDコード	大分類	主な分類名	男	女	総数	構成比
1	U071	22:特殊目的用コード	COVID-19	204	187	391	3.01%
2	C341	02:新生物<腫瘍>	上葉・気管支または肺の悪性新生物	218	85	303	2.33%
3	I500	09:循環器系の疾患	うっ血性心不全	125	122	247	1.90%
4	C343	02:新生物<腫瘍>	下葉・気管支または肺の悪性新生物	153	75	228	1.75%
5	C61	02:新生物<腫瘍>	前立腺の悪性新生物	212	0	212	1.63%
6	J690	10:呼吸器系の疾患	食物及び吐物による肺臓炎	117	70	187	1.44%
7	I252	09:循環器系の疾患	陳旧性心筋梗塞	157	26	183	1.41%
8	M4806	13:筋骨格系及び結合組織の疾患	腰部脊柱管狭窄症	95	65	160	1.23%
9	C920	02:新生物<腫瘍>	急性骨髄芽球性白血病	74	85	159	1.22%
10	C220	02:新生物<腫瘍>	肝細胞癌	121	34	155	1.19%
合計				1476	749	2225	

## 上位10疾患 ICD別・男

	主病名 ICDコード	大分類	主な分類名	計	構成比
1	C341	02:新生物<腫瘍>	上葉・気管支または肺の悪性新生物	218	3.10%
2	C61	02:新生物<腫瘍>	前立腺の悪性新生物	212	3.01%
3	U071	22:特殊目的用コード	COVID-19	204	2.90%
4	I252	09:循環器系の疾患	陳旧性心筋梗塞	157	2.23%
5	C343	02:新生物<腫瘍>	下葉・気管支または肺の悪性新生物	153	2.17%
6	I500	09:循環器系の疾患	うっ血性心不全	125	1.78%
7	C220	02:新生物<腫瘍>	肝細胞癌	121	1.72%
8	J690	10:呼吸器系の疾患	食物及び吐物による肺臓炎	117	1.66%
9	I251	09:循環器系の疾患	アテローム粥状硬化性心疾患	98	1.39%
10	M4806	13:筋骨格系及び結合組織の疾患	腰部脊柱管狭窄症	95	1.35%
合計				1500	

## 上位10疾患 ICD別・女

	主病名 ICDコード	大分類	主な分類名	計	構成比
1	U071	22:特殊目的用コード	COVID-19	187	3.14%
2	I500	09:循環器系の疾患	うっ血性心不全	122	2.05%
3	C531	02:新生物<腫瘍>	子宮頸外部悪性新生物	119	2.00%
4	C541	02:新生物<腫瘍>	子宮内膜の悪性新生物	110	1.85%
5	C56	02:新生物<腫瘍>	卵巣の悪性新生物	104	1.74%
6	D251	02:新生物<腫瘍>	壁内子宮平滑筋腫	102	1.71%
7	C341	02:新生物<腫瘍>	上葉・気管支または肺の悪性新生物	85	1.43%
8	C920	02:新生物<腫瘍>	急性骨髄芽球性白血病	85	1.43%
9	C343	02:新生物<腫瘍>	下葉・気管支または肺の悪性新生物	75	1.26%
10	D27	02:新生物<腫瘍>	卵巣の良性新生物	75	1.26%
合計				1064	

・総数上位5疾患については、昨年と同様に「U071：COVID-19」が上位を占めている。

・男女別による疾患上位数については、男性は「上葉、気管支または肺 新生物」が最多で、「C61：前立腺の悪性新生物」が増加している。  
女性については「U071：COVID-19」が最多であった。その他「D251：壁内子宮平滑筋腫」よりも「C531：子宮頸外部悪性新生物」や「C541：子宮内膜の悪性新生物」が増加している。

2020年～2022年 入院紙カルテ貸し出し業務統計

入院紙カルテについて

保存方法：1患者1入院ごとに1冊作成

貸し出しについて『岐阜市民病院診療録等管理規定』に基づく

貸し出し可能者：岐阜市民病院に勤務する医療従事者及び事務職員

貸し出し依頼：「診療録(紙媒体)閲覧・借用申込書」を診療情報管理室に提出

貸し出し期間：1ヶ月

外来診療：外来診療を行うため

研究：臨床研究、学会発表のため

治験：治験の際に使用

書類：書類(各種診断書、学会への報告書、保健所への報告書等)作成のため

病棟：入院診療を行うため

面談：患者面談のため

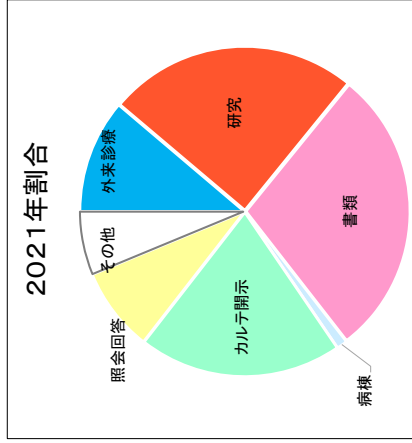
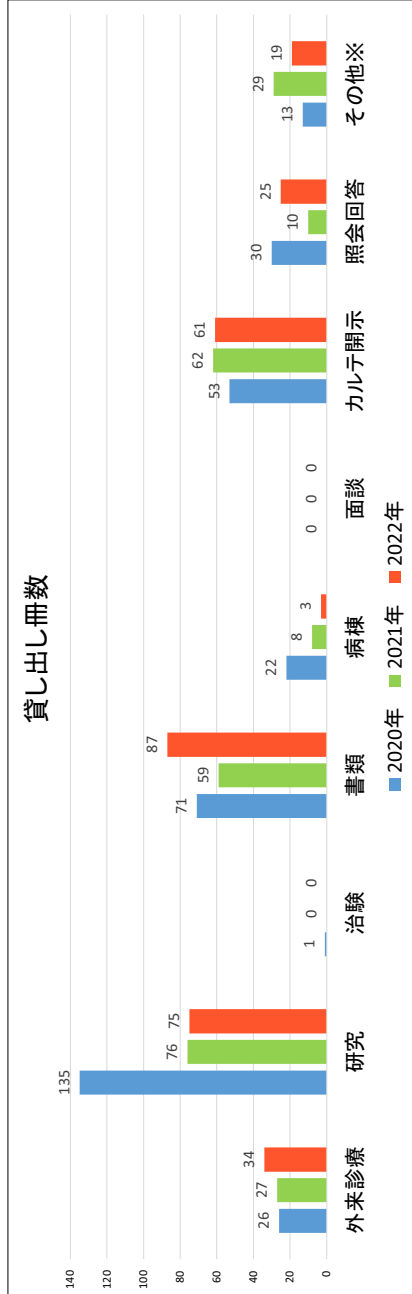
カルテ開示：患者本人もしくは保険会社からの開示依頼のため

照会回答：警察、弁護士事務所等からの法律に基づいた開示依頼のため

その他：入院歴・形態の確認、検査内容の確認、二重カルテ(1患者に2以上の患者番号を付与)の確認、がん登録時の確認、他院紹介、事務的確認等

利用目的別貸し出し冊数及び割合

	外来診療	研究	治験	書類	病棟	面談	カルテ開示	照会回答	その他	合計
2022年	冊数 34冊	冊数 75冊	冊数 0冊	冊数 87冊	冊数 3冊	冊数 0冊	冊数 61冊	冊数 25冊	冊数 19冊	冊数 304冊
	割合 11.2%	割合 24.7%	割合 0.0%	割合 28.6%	割合 1.0%	割合 0.0%	割合 20.1%	割合 8.2%	割合 6.3%	
2021年	冊数 27冊	冊数 76冊	冊数 0冊	冊数 59冊	冊数 8冊	冊数 0冊	冊数 62冊	冊数 10冊	冊数 29冊	冊数 271冊
	割合 10.0%	割合 28.0%	割合 0.0%	割合 21.8%	割合 3.0%	割合 0.0%	割合 22.9%	割合 3.7%	割合 10.7%	
2020年	冊数 26冊	冊数 135冊	冊数 1冊	冊数 71冊	冊数 22冊	冊数 0冊	冊数 53冊	冊数 30冊	冊数 13冊	冊数 351冊
	割合 7.4%	割合 38.5%	割合 0.3%	割合 20.2%	割合 6.3%	割合 0.0%	割合 15.1%	割合 8.5%	割合 3.7%	

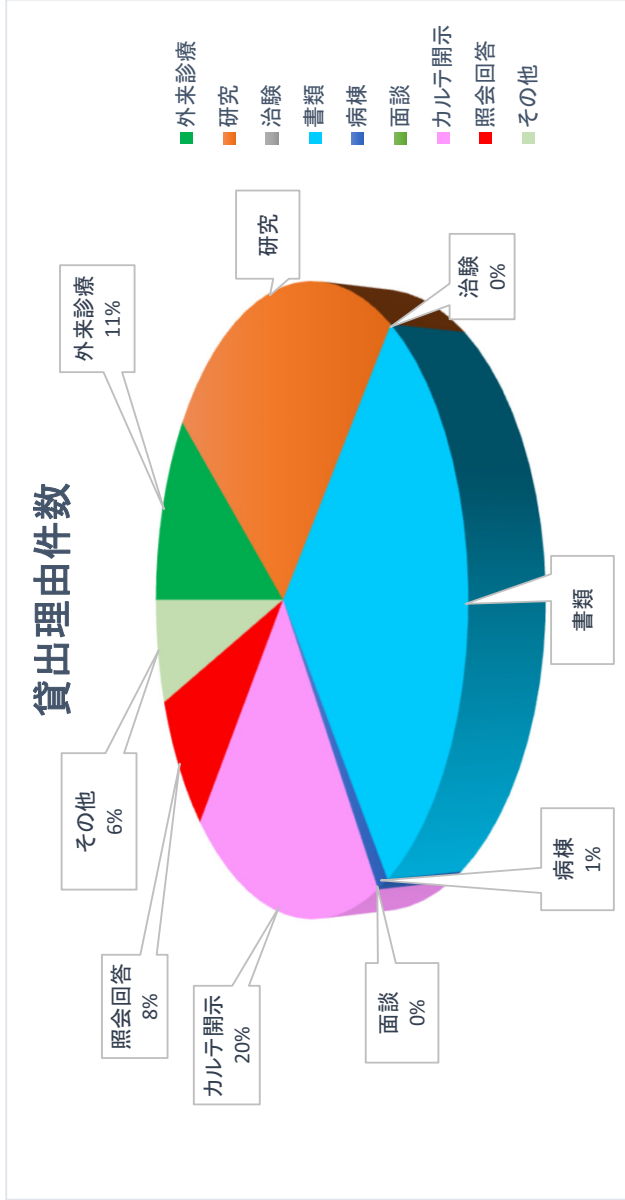


2022年度は書類作成のための貸し出し割合が最も高かった。カルテ開示のための貸し出しが高めで推移している。要因の1つに、B型肝炎訴訟のための開示請求が続いていることが挙げられる。

2022年1/1~2022年12/31 カルテ貸し出し依頼・統計(入院カルテ)

カルテ貸出件数: 304件 (延長の 240件除く)

貸し出し理由	件数	%
外来診療	34	11
研究	75	25
治験	0	0
書類	87	28
病棟	3	1
面談	0	0
カルテ開示	61	20
照会回答	25	8
その他	19	7
合計	304	100



【その他の貸出目的 19件 内訳】

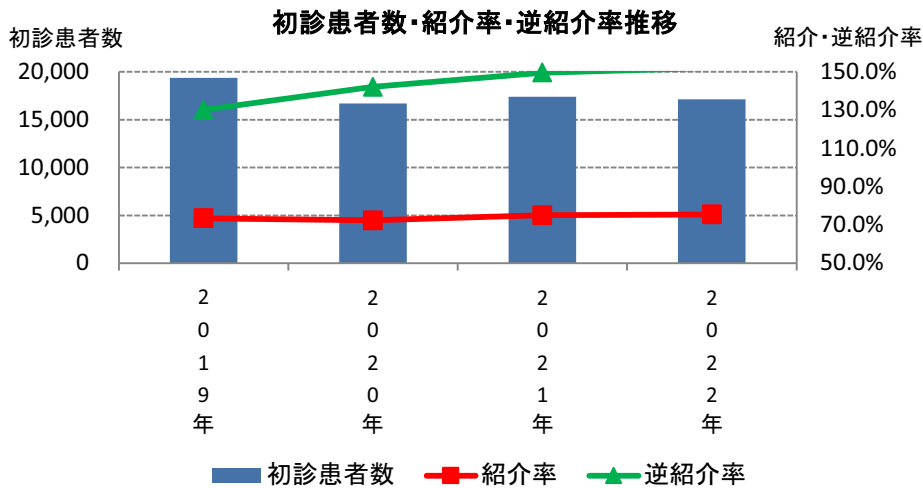
- 手術のため 1件
- 他施設からの診療情報の依頼のため 2件
- 初診歴、入院歴の確認 1件
- 事業管理者室へ 外来サマリー作成のため 13件
- 研究会に使用のため 2件

## 地域連携部統計

### 1. 紹介患者数、紹介率、逆紹介率

(休日・夜間を除く)

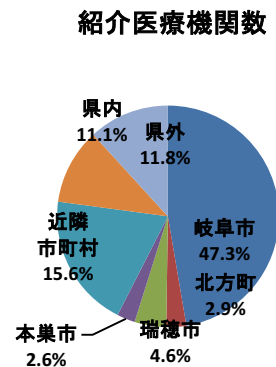
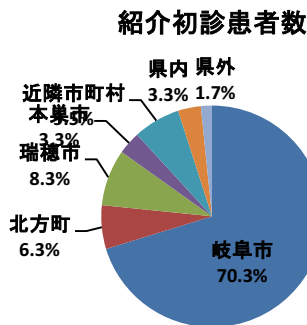
年	患者数	初診患者数	初診紹介患者数	逆紹介患者数	紹介率	逆紹介率
2019年		19,388	14,243	25,218	73.5%	130.1%
2020年		16,710	12,100	23,758	72.4%	142.2%
2021年		17,402	13,061	26,030	75.1%	149.6%
2022年		17,145	12,943	26,069	75.5%	152.1%



### 2. 2022年紹介初診患者分布状況

	岐阜市	北方町	瑞穂市	本巣市	羽島郡	各務原市	山県市	関市	羽島市	揖斐郡	県内	県外	合計
紹介初診患者数	13,526	1,222	1,589	640	366	270	96	119	194	275	637	318	19,252
分布率	70.3%	6.3%	8.3%	3.3%	1.9%	1.4%	0.5%	0.6%	1.0%	1.4%	3.3%	1.7%	100.0%
紹介医療機関数	614	38	60	34	39	88	16	29	39	43	144	153	1,297
分布率	47.3%	2.9%	4.6%	2.6%	3.0%	6.8%	1.2%	2.2%	3.0%	3.3%	11.1%	11.8%	100.0%

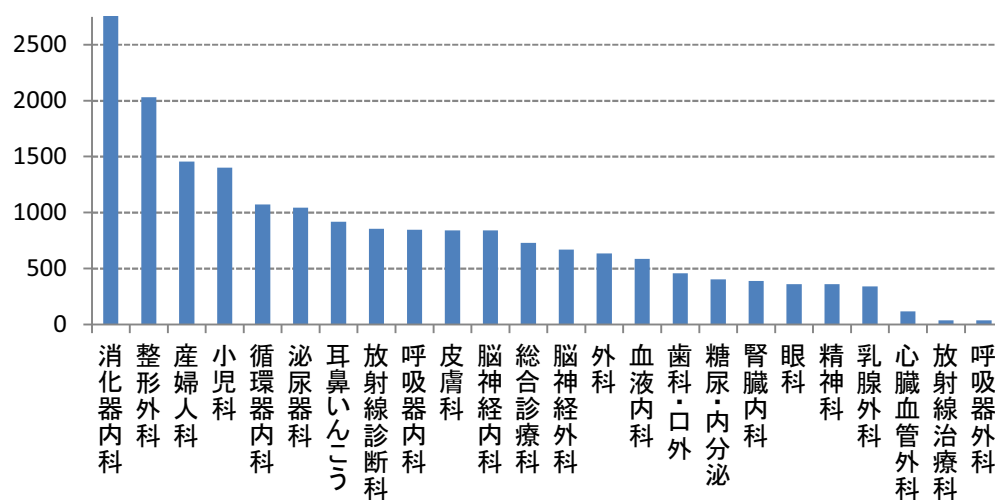
※塗り潰し部分は、下記グラフの近隣市町村に含まれる。



## 3.2022年診療科別紹介初診患者数

診療科	患者数
消化器内科	2823
整形外科	2031
産婦人科	1456
小児科	1401
循環器内科	1072
泌尿器科	1045
耳鼻いんこう	917
放射線診断科	855
呼吸器内科	845
皮膚科	842
脳神経内科	841
総合診療科	730
脳神経外科	670
外科	635
血液内科	585
歯科・口外	458
糖尿・内分泌	404
腎臓内科	389
眼科	361
精神科	359
乳腺外科	341
心臓血管外科	118
放射線治療科	37
呼吸器外科	37
総計	19,252

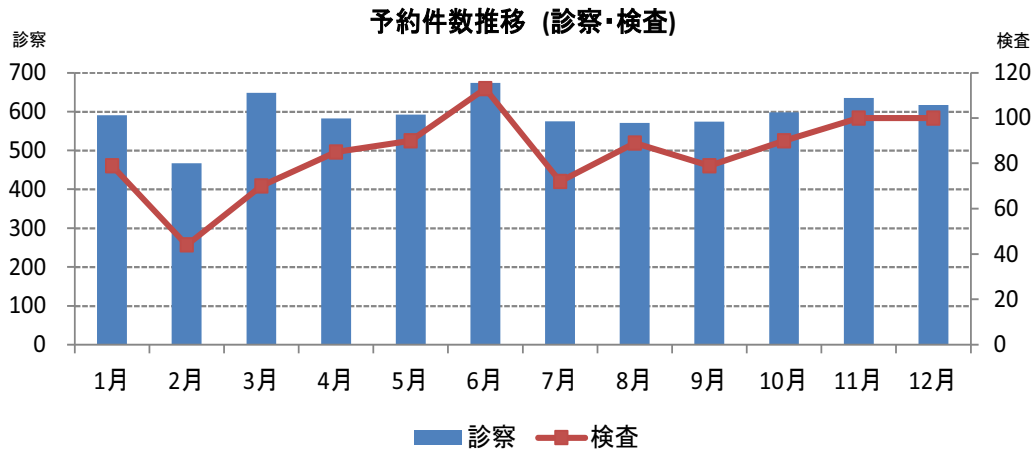
診療科別紹介患者数



4.2022年FAX紹介件数（診察・検査予約）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
診察	591	467	648	582	592	674	575	571	574	598	635	617	7,124
検査合計	79	44	70	85	90	113	72	89	79	90	100	100	1,011
C T	25	14	15	21	18	26	20	22	19	21	26	28	255
M R I	15	16	14	26	23	28	10	25	20	26	21	21	245
PET-CT	17	5	18	18	33	39	23	29	25	23	21	26	277
内視鏡	18	6	16	12	11	16	13	10	9	16	27	18	172
超音波	4	3	4	4	3	1	3	3	3	3	4	6	41
シンチ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	2	4	2	3	3	0	3	1	1	1	20
合計	670	511	718	667	682	787	647	660	653	688	735	717	8,135

※その他に含まれる項目：胃ろう交換・脳波



## 5.2022年開放型病床共同利用状況

医科	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
循環器内科	1	1	1										3
消化器内科						1							1
神経内科													0
呼吸器内科													0
整形外科													0
脳神経外科						1					1	1	3
外科	1										1		2
合計	2	1	1	0	0	2	0	0	0	0	2	1	9
利用率	6.91%	1.28%	1.61%	0.00%	0.00%	5.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.95%	2.76%	1.54%

※ 開放病床 14床

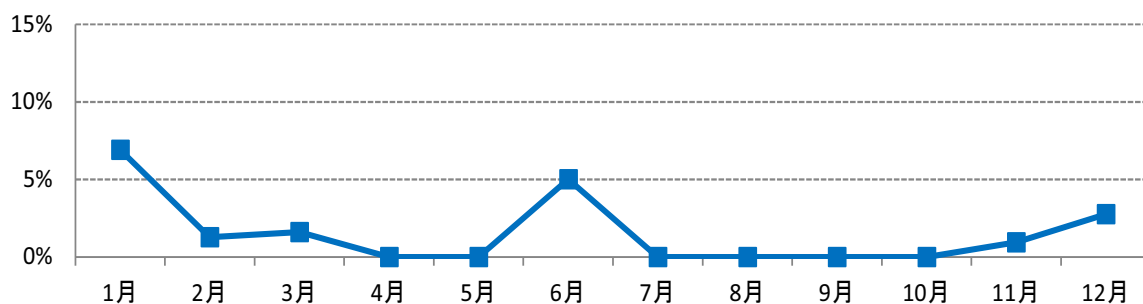
利用率の合計は平均値

歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

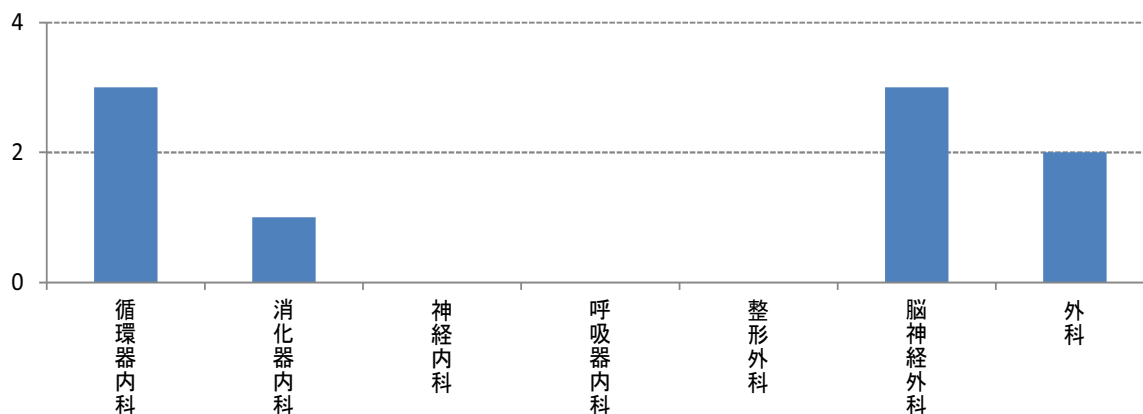
※ 開放病床 2床

利用率の合計は平均値

開放型病床共同利用状況 (利用率推移)



開放型病床共同利用状況 (診療科別件数)



## 看護専門学校統計

### 岐阜市立看護専門学校 受験者合格者入学者の状況

入学年度(期生)	定員	応募者数		受験者数	合格者数		入学者数	競争率(倍)		充足率
		推薦	一般		推薦	一般		推薦	一般	
平成25年度(42)	35	推薦	22	22	推薦	13	37	推薦	1.7	105.7%
		一般	142		一般	50		一般	2.7	
平成26年度(43)	35	推薦	24	24	推薦	12	37	推薦	2.0	105.7%
		一般	128		一般	46		一般	2.7	
平成27年度(44)	35	推薦	32	32	推薦	13	35	推薦	2.5	100.0%
		一般	124		一般	35		一般	3.4	
平成28年度(45)	35	推薦	36	36	推薦	13	33	推薦	2.8	94.2%
		一般	120		一般	28		一般	4.1	
平成29年度(46)	35	推薦	27	27	推薦	8	34	推薦	3.4	97.1%
		一般	107		一般	40		一般	2.6	
平成30年度(47)	35	推薦	22	22	推薦	13	35	推薦	1.7	100.0%
		一般	86		一般	40		一般	2.1	
平成31年度(48)	35	推薦	30	30	推薦	11	35	推薦	2.7	100.0%
		一般	60		一般	37		一般	1.5	
令和2年度(49)	35	推薦	28	28	推薦	10	35	推薦	2.8	100.0%
		一般	83		一般	40		一般	2.0	
令和3年度(50)	35	推薦	26	26	推薦	14	35	推薦	1.9	100.0%
		一般	51		一般	31		一般	1.6	
令和4年度(51)	35	推薦	22	22	推薦	16	37	推薦	1.4	105.7%
		一般	54		一般	30		一般	1.8	
令和5年度(52)	35	推薦	29	29	推薦	18	37	推薦	1.6	105.7%
		一般	52		一般	30		一般	1.7	

- 1) 競争率: 受験者数 ÷ 合格者数
- 2) 充足率: 入学者数 ÷ 定員 × 100
- 3) 推 薦: 推薦入学試験。岐阜県内の高等学校を対象とする。

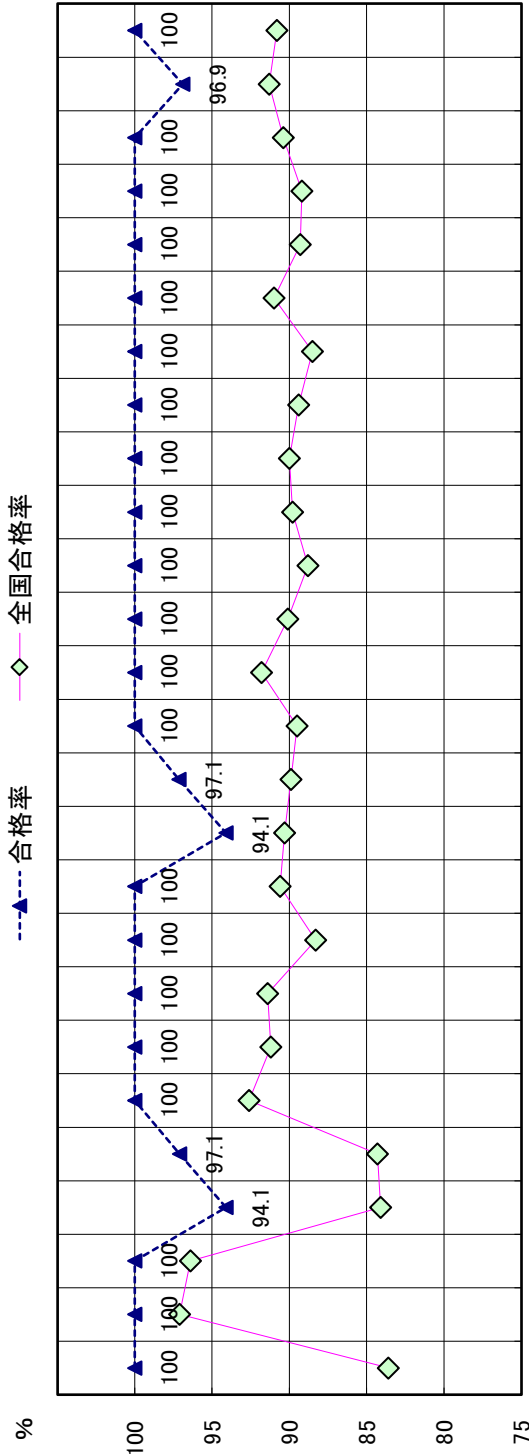
令和5年度推薦入学者選考試験の受験者数が前年度に比し増加しており、一般入学者選考試験の受験者数は、前年度に比し大きな変動はない。大学進学を希望する学生が増えている現状で、コロナ禍による収入の減少や、早い時期に進路を決めたいという考えが一因と考える。今後は、対面での広報活動を継続し、少人数制できめ細かい指導体制や実践力の強化など専門学校の魅力を伝えられるよう努めていく。

### 国家試験合格率の推移

国家試験回数	第101回	第102回	第103回	第104回	第105回	第106回	第107回	第108回	第109回	第110回	第111回	第112回
本校合格率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	96.9%	100%
全国合格率	90.1%	88.8%	89.9%	90.0%	89.4%	88.5%	91.0%	89.3%	89.2%	90.4%	91.3%	90.8%

第112回看護師国家試験出題基準改定の年であったが、個々に合わせた丁寧な支援を行ったことで100%であった。

国家試験合格率の推移



卒業年	卒業者数	合格者数	合格率	全国合格率
平成10年	87	34	47	83.6
平成11年	88	34	47	97.1
平成12年	89	34	47	96.4
平成13年	90	34	32	94.1
平成14年	91	34	33	97.1
平成15年	92	34	34	92.6
平成16年	93	33	33	91.2
平成17年	94	33	33	91.4
平成18年	95	35	32	88
平成19年	96	32	32	90.6
平成20年	97	34	32	90.3
平成21年	98	35	34	89.9
平成22年	99	37	37	89.5
平成23年	100	39	39	91.8
平成24年	101	35	35	90.1
平成25年	102	35	35	88.8
平成26年	103	33	33	89.8
平成27年	104	32	32	90.0
平成28年	105	32	32	89.4
平成29年	106	30	30	88.5
平成30年	107	36	36	91.0
平成31年	108	27	27	89.3
令和2年	109	29	29	89.2
令和3年	110	34	34	90.4
令和4年	111	33	32	91.3
令和5年	112	32	32	90.8

第112回看護師国家試験出題基準改定の年であったが、個々に合わせた丁寧な支援を行ったことで100%であった。

## 卒業生の進学先

	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
信州大学医学部保健学科			1				
三重大学医学部看護学科							
富山大学医学部看護学科			1		1		
滋賀県立大学人間看護学部				1			1
岐阜県立衛生専門学校助産学科		2		2	1	2	1
浜松医科大学医学部看護学科	2		2				
大阪大学医学部保健学科看護学専攻							
筑波大学医学群看護学類	1						
名古屋医専 保健学科		1				1	
名古屋医専 助産学科		1	1				
進学者合計	3	4	5	3	2	3	2

3年次編入を募集する大学が減少傾向にあり、年々3年次編入を実現することが難しくなっている。  
進学希望者には1年次からの学習支援の充実を図っていく。

## 卒業生の就業状況

卒業年度	卒業者数	就 業				進 学	そ の 他
		岐阜県内			県外の病院		
		岐阜市民病院	他の病院	その他			
平成27年度	33	13	6		7	6	1
平成28年度	29	17	5		4	3	
平成29年度	36	17	6		9	4	
平成30年度	27	20	1		1	5	
令和元年度	30	15	8		3	3	1
令和2年度	34	10	13	1	8	2	
令和3年度	33	13	11		5	3	1
令和4年度	32	13	14		3	2	

例年と同様、県内(特に市内)就職者が多く、本校が望まれる役割に貢献できる結果となった。

## 岐阜市民病院年報規定（2021年6月9日改訂）

### 業績提出規定

1. 前年（1月～12月）に発表した研究（著書，原著（査読のあるもの,症例報告を含む），総説（専門雑誌からの依頼原稿を含む），学会発表（論文投稿以外の抄録）,院内外研究会（座長，司会は除く）などを各診療科、各部門毎にまとめ、Microsoft Wordで作成したファイルで集める。開催期間のあるものは発表日ではなく開催期間を明記すること。
2. 簡単に記載された各診療科・各部門の近況や，症例数などの各種統計が分かる原稿を各診療科・各部門で作成する。

その他疑問点は，編集委員にお尋ねください。  
投稿原稿は,編集委員庶務に提出ください。

岐阜市民病院年報編集委員（令和4年度、5年度、7年度）

委員長	吉田 勉 (R4)	庶務	馬淵 亮佑 (R4)
	黒田 英嗣 (R5、7)		清水 陽平 (R4)
委員	葛谷 命 (R4、5、7)		小川 敦史 (R4)
	藤岡 圭 (R7)		田中 真由美 (R4)
	安田 真智 (R4、5、7)		早川 裕美 (R5)
	北川 順一 (R4、5、7)		後藤 順一 (R5)
	福富 久 (R4)		清水 陽平 (R5)
	横山 能文 (R5、7)		國定 信史 (R5)
	八幡 和憲 (R4、5、7)		神谷 里美 (R7)
	菱田 真里亜 (R4)		中野 克哉 (R7)
	沼口 宜史 (R5)		今井 智美 (R7)
	仲 陽香 (R7)		畠山 恭子 (R7)
	渡辺 繭子 (R4)		安江 みちる (R7)
	森本 千尋 (R5)		小野島 恵子 (R7)
	松波 あかね (R7)		石川 大 (R7)
	後藤 朋子 (R4、5)		(順不同)
	丹羽 晴美 (R7)		
	伊藤 生恵 (R4、5)		
	高橋 美嘉 (R7)		

---

岐阜市民病院年報

第42・43号合併号

令和8年3月

発刊 岐阜市民病院  
岐阜市鹿島町7丁目1番地  
TEL(058)251-1101(代)  
FAX(058)252-1335

印刷 株式会社タカダ印刷  
羽島郡岐南町みやまち3丁目13番地  
TEL(058)272-2528  
FAX(058)274-4852

---